

# 第1回鹿部町総合計画策定審議会（進発式）

日 時：令和4年4月26日(火)午後1時30分～

場 所：鹿部町役場 2階 会議室2, 3

## 1 開 会

## 2 委嘱状の交付

## 3 町長あいさつ

## 4 委員の紹介

## 5 会長、副会長の互選について

## 6 鹿部町総合計画策定の諮問

## 7 議事

### 議案第1号 第6次総合計画策定について

(1) 第6次鹿部町総合計画策定について (資料1-1)

(2) 各部会の構成について (資料1-2)

### 議案第2号 現在の進捗状況について (資料2)

### 議案第3号 町民アンケート結果について (資料3、4、5)

### 議案第4号 人口推計について (資料6)

### 議案第5号 今後のスケジュールについて (資料7-1,7-2)

## 8 その他

## 9 閉 会

参考資料1 鹿部町総合計画策定審議会条例

参考資料2 鹿部町総合計画策定審議会委員名簿

## 第 6 次鹿部町総合計画策定について

### 1 計画策定の必要性と背景

鹿部町は、第 5 次鹿部町総合計画に基づき、平成 25 年度から令和 4 年度を計画期間として、「きらめく海・駒ヶ岳・うるおいの湯郷」をメインテーマとして掲げ、総合的かつ計画的なまちづくりを進めている。

計画の根底にある、幾多の試練に耐えぬいた先人の偉業を受けつぎ、豊かで明るいまちづくりをめざす「鹿部町民憲章」の考えを引き続き次代へ継承していく必要がある。

しかし、全国的な人口減少は本町においても同様に急速な減少が進行している。令和 2 年度国勢調査の結果から、令和 4 年 4 月 1 日に過疎指定されたところです。少子高齢化の一層の進行や税収の減少、医療や福祉サービスの確保等、地方自治体を取り巻く環境はますます厳しい状況となる一方で、世界的な脱炭素化（ゼロカーボン）に向けた動きの加速化、SDG s（持続可能な開発目標）、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う価値観の変化などのほか、地域では、地域社会の活性化と産業の強化、ライフスタイルの変化、地域コミュニティの希薄化などの課題が掲げられるなど町政に求められる役割は、ますます多様化していくものと考えられる。

このような認識の下、現行の鹿部町総合計画の計画期間終了後、鹿部町の計画行政における中心的な役割を担う計画として、令和 5 年度を初年度とする第 6 次鹿部町総合計画を策定するものである。

### 2 計画策定の前提

#### (1) 人口

将来人口について、令和 2 年度に実施した国勢調査と住民基本台帳を推計基礎データとして推計を行うものとする。

#### (2) 財政

中長期的な財政計画と整合をとり、財政の健全性を維持していくものとする。

### 3 計画の期間・性格

#### (1) 基本構想

##### ア 期間

基本構想は、令和 5（2023）年度を初年度とし、10 年間を計画期間とする。

##### イ 性格

基本構想は、鹿部町の目標とすべき将来像及びその実現のための基本方針を示すものとして策定する。

なお、基本構想は地域特性を活かした将来像を町民と町が共有するものであり、議会の議決を経るものとする。

## (2) 基本計画

## ア 期間

基本計画は、令和 5（2023）年度を初年度とし、前期の計画期間は 5 年間、後期の計画期間は 5 年間し、中間年度において検証、見直しを行うものとする。（図 1 参照）

## イ 性格

基本計画は、基本構想に即し、その基本方針を具現化するための基本的な施策を体系的に示すものとして策定する。

なお、従来策定してきた実施計画の主な内容は、基本計画の包含するものとし、各施策分野における主要な事業の内容及び規模の概要を基本計画において示すものとする。

【図 1 計画期間】

年度	令和 (西暦)	5 (2023)	6 (2024)	7 (2025)	8 (2026)	9 (2027)	10 (2028)	11 (2029)	12 (2030)	13 (2031)	14 (2032)
基本構想	基本構想(10年間)										
基本計画	前期基本計画(5年間)										
							後期基本計画(5年間)				

見直し

## (3) 各施策分野の計画等

総合計画は、町の各施策分野において策定した個別計画や、国・北海道等が策定した広域的な計画と整合性を確保しながら策定するとともに、総合計画と個別計画との関係を整理し、町全体の計画体系を明確にすることとする。

また、各施策分野の個別計画についても、総合計画の検討とあわせ、必要に応じて見直しを行い、同時期及び今後策定する予定の計画については、総合計画を踏まえた内容として、可能な限り、総合計画の内容や計画期間と整合を図るものとする。

総合計画を着実に実行し、成果を上げていくため、PDCA マネジメントサイクル〈Plan（計画）－Do（実施）－Check（評価）－Action（改革・改善）〉のスキーム構築の検討を進めることとする。

## 4 組織

## 総合計画組織

知識経験者や公共的団体からの推薦者等で構成する総合計画策定審議会（※1）、管理職等で構成する総合計画策定委員会（※2）、一般職員（係長等）で構成するワーキンググループ（※3）の参加、助言のもと、総合計画案の作成に向け、運営する組織とする。（図 1 参照）

## ※1 鹿部町総合計画策定審議会

基本構想・基本計画等の策定・推進に関して助言を受けるため、町議会の議員・知識経験者・公共的団体等から推薦者で構成する組織（公募含む 20 人以内で構成）

## ※2 総合計画策定委員会

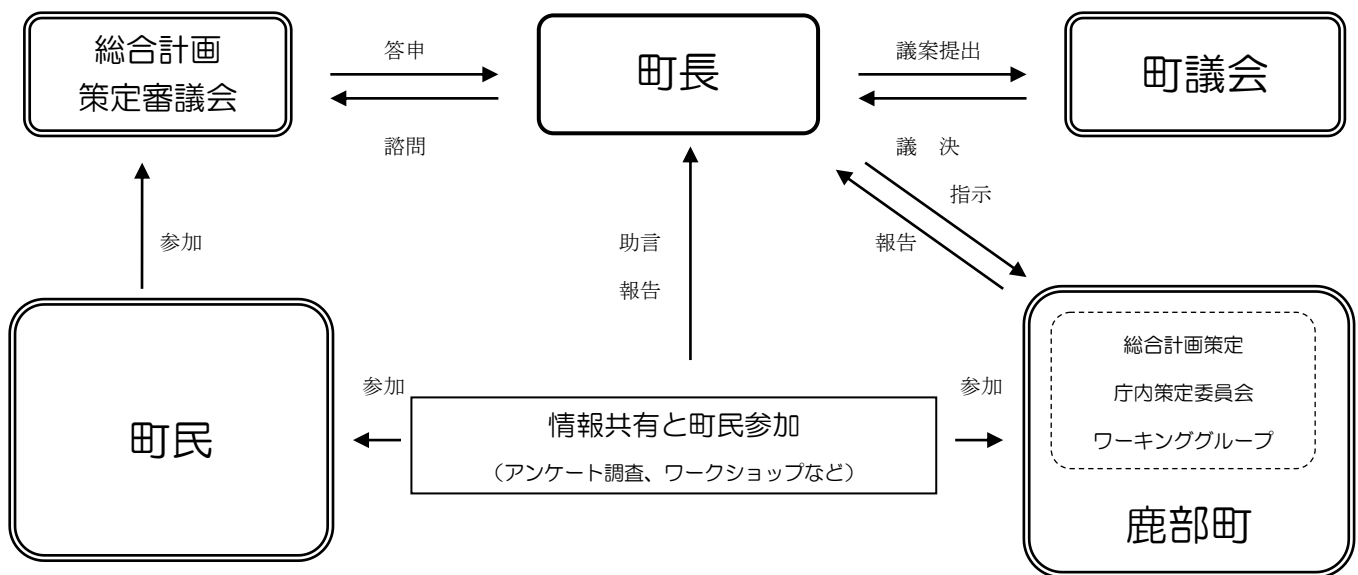
基本計画の策定の基本方針を決定するほか、計画の根幹をなす事項等を協議して計画案を決定するため特別職及び管理職で構成する組織

※3 ワーキンググループ

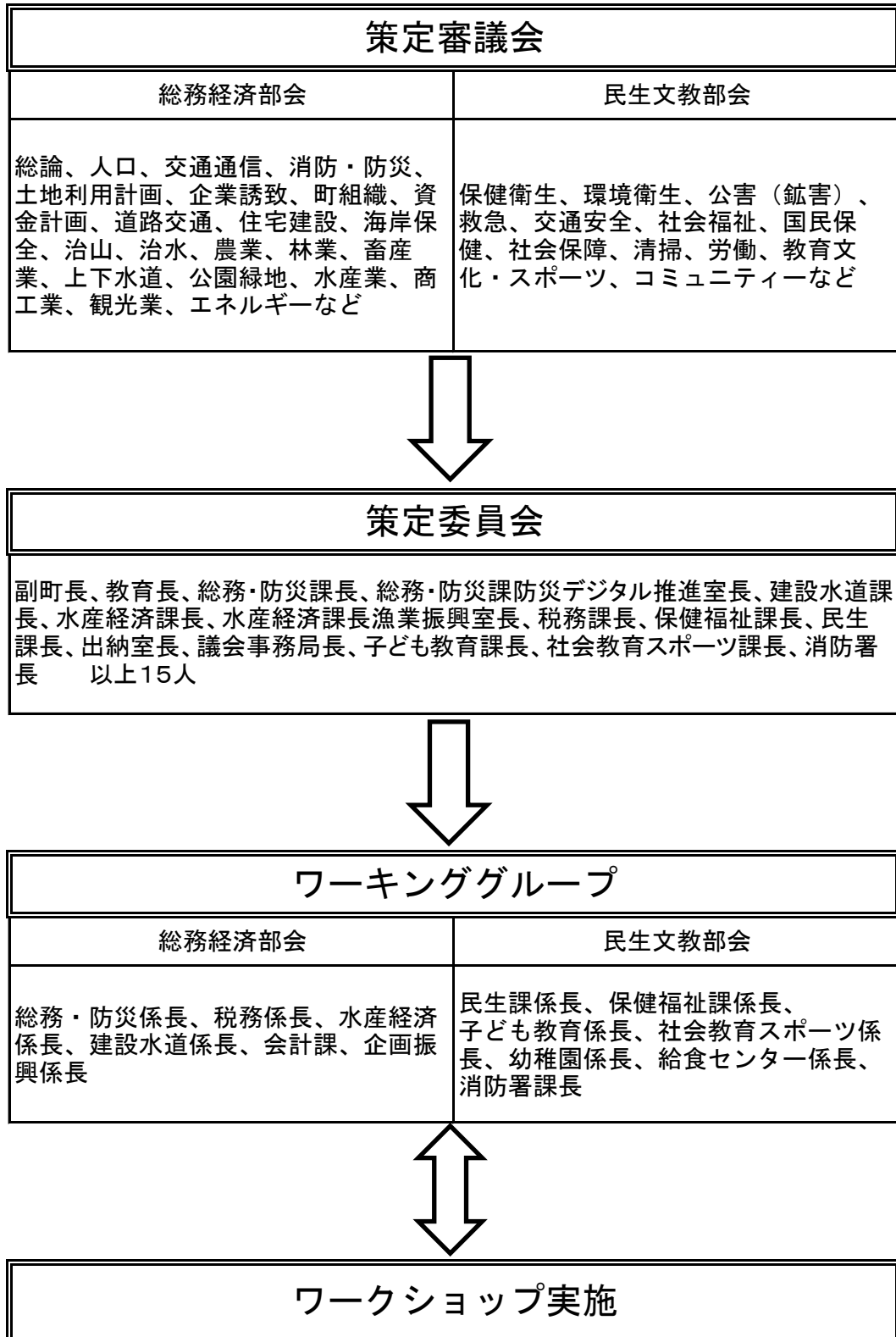
職員（課毎の職員）で構成し、基本構想・基本計画等に用いる資料の分析検討を行い計画素案の決定を行う組織

また、内部協議や異業種（漁業、加工業、建設業、観光業、商業など）毎に選抜した町民とワークショップを開催する。

【図2 組織のイメージ】



## 組 織 図 (第6次総合計画策定)



## 第 6 次鹿部町総合計画策定進捗状況

## R 3 年度

令和 3 年 9 月 2 2 日	指名選考委員会（発注方法並びにプロポーザル参加業者選考）
令和 3 年 1 0 月 2 0 日	プロポーザル審査委員会（採点方法の決定）
令和 3 年 1 1 月 2 日	総合計画策定委託業務プロポーザル実施
令和 3 年 1 1 月 5 日	プロポーザル策定・選定委員会開催（業者の選定）
令和 3 年 1 1 月 1 6 日	総合計画見積合せ（業者決定）
令和 4 年 1 月 1 日	策定審議会公募委員の募集開始（～1/14）
令和 4 年 1 月 7 日	町民アンケート発送（1,638 通）
令和 4 年 1 月 1 → 1 4 日	策定審議会公募委員の募集締切日（申し込み 4 名）
令和 4 年 1 月 1 4 日	中学生アンケート依頼（全学年 82 人）
令和 4 年 1 月 3 1 日	中学生アンケート締切日 24 件（回答率 29.3%）
令和 4 年 2 月 4 日	町民アンケート回収締切日 586 通（回答率 31.5%）
令和 4 年 2 月 2 2 日	職員提言シート配付（正職 71 名、会計年度任用職員 9 名）
令和 4 年 3 月 2 日	第 5 次総合計画の検証調査開始（～3/18）
令和 4 年 3 月 1 6 日	職員提言シート回答期限
令和 4 年 3 月 1 8 日	第 5 次総合計画の検証調査締切日

## R 4 年度

令和 4 年 4 月 1 4 日	トップインタビュー（町長、副町長、教育長） 鹿部町総合計画策定委員会（第 1 回）
令和 4 年 4 月 2 6 日	鹿部町総合計画策定審議会（進発式）

# 鹿部町まちづくり町民アンケート

## 調査結果報告書

令和4年3月

北海道 鹿部町

# もくじ

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
<b>II 回答者の属性</b> .....	<b>3</b>
(ア)性別.....	3
(イ)年代.....	4
(ウ)転出入.....	5
(エ)職業.....	6
(オ)家族構成.....	8
(カ)居住地区.....	9
(キ)子育てや介護の状況.....	10
<b>III 設問別調査結果</b> .....	<b>11</b>
問1 住み良さ.....	11
問2 定住意向.....	13
問2-1 町外に移りたい理由.....	15
問3 暮らしの満足度・重要度.....	18
問3-1 鹿部町のまちづくりで特に重要だと思うもの.....	29
問4 これからのまちづくりで特に必要と思う言葉.....	33
問5 産業全体を通じて特に力を注ぐべきもの.....	36
問6 水産業について、特に力を注ぐべきもの.....	39
問7 観光・交流の振興で、特に力を注ぐべきもの.....	42
問8 少子化対策として特に力を注ぐべきもの.....	45
問9 インターネットを利用する際に一番よく使うもの.....	48
問10 町からほしい情報の内容.....	50
問11 町政や町民参加について.....	52
問12 旧庁舎の活用について.....	58
問13 まちづくりへのアイデアやご提案.....	65
<b>IV 調査票</b> .....	<b>83</b>



## I 調査の概要

このアンケートは、令和5年度(2023年度)から令和14年(2032年)までを計画期間とする「第6次鹿部町総合計画」の策定にあたり、町民を対象に、まちに対する考え方や意見等を把握するために実施しました。

対象	鹿部町に在住する20歳以上の方を対象に、年代がほぼ同数になり、かつ全世帯に配布できるよう調整し、世帯(1,861世帯)に1通ずつ、配布しました。対象者が回答できない場合は、ご家族の他の方(20歳以上の方)が回答できるようにしました。
配布・回収方法	アンケート票とともに返信用封筒を同封し、郵送で回収しました。 そのほか、「ご意見箱」や「回収ボックス」でも回収しました。 また、インターネットからの回答もできるようにしました。
調査時期	令和4年(2022年)1月～2月
回収数	586票※(回収率31.5%) ※インターネットでの回収は66票

報告書の集計・表記方法についての留意点は、次のとおりです。

- ・ 比較や順位付けは、回答数ではなく「回答率」や「加重平均値」で行っています。そのため、「多い・少ない」ではなく、「高い・低い」と表記しています。
- ・ 説明は、回答者全体に関するもののほか、性別や年代別など属性ごとの説明を記載しています。回答者全体の説明には文頭に○、それ以外の説明には●をつけています。
- ・ グラフに[ ]で示している数は、回答者の数です。属性ごとの回答者数は、「無回答」を除いて表示しています。
- ・ 集計結果は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを百分率(%)で表示しています。そのため、選択肢から1つだけ選択する設問では、%を合計しても100.0%にならないことがあります。
- ・ 属性別の横帯グラフなど、多くの数字を表示しているグラフについては、1%未満の数値を非表示にしているものがあります。
- ・ 選択肢の言葉が長い時は、短縮して記載しているものがあります。
- ・ 「その他」を選んで、具体的に記載された内容は、同じ内容のものについてはまとめ、回答数を( )で示しています。
- ・ 前回のアンケート調査結果との比較が可能な設問については、比較を行っています。前回のアンケートの概要については、次のとおりです。(一部、前々回との比較も行っています)

対象	鹿部町に在住する20歳以上(今回と同様の抽出、調整)
配布・回収方法	郵送にて配布、回収
調査時期	平成24年(2012年)1月～2月
回収数	820票(回収率50.7%)

・ 属性別の回収票の内訳は、次のとおりです。

(単位:票)

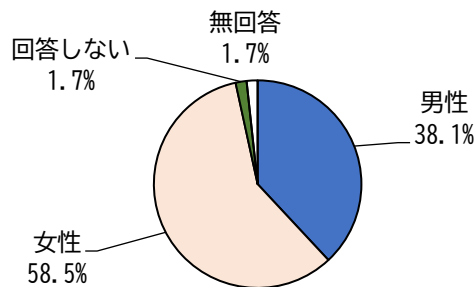
	合計	586
(ア)性別	男性	223
	女性	343
	回答しない	10
(イ)年代	20代	42
	30代	50
	40代	74
	50代	80
	60代	115
	70代	158
	80代以上	62
(ウ)転出入	鹿部町生まれでずっと鹿部町	140
	鹿部町生まれで転出、再び鹿部町	69
	鹿部町外から引っ越してきた	361
(エ)職業	漁業	47
	農林業	3
	製造業、建設業	45
	商業、サービス業、金融業など	57
	保健・福祉・医療関係	28
	公務員(団体勤務含む)	40
	その他の職業(学生含む)	49
	家事専業	121
	無職(退職)	182
(オ)家族構成	ひとり暮らし(単身赴任も含む)	138
	夫婦で住んでいる(パートナーと住んでいる方、子どもが独立している方も含む)	245
	2世代で住んでいる(夫婦と子ども、子どもと住んでいる、親と住んでいるなど)	153
	3世代または3世代以上で住んでいる	22
	その他	24
(カ)居住地区	大岩地区	13
	鹿部地区	80
	宮浜地区	214
	本別地区(リゾート以外)	89
	本別(リゾート)地区	184
	駒見地区	1
(キ)子育てや 介護の状況	未就学児を子育て中	41
	自宅で介護中	22
	子育ても、介護も行っている	3
	どちらもあてはまらない	492

## II 回答者の属性

### (ア)性別

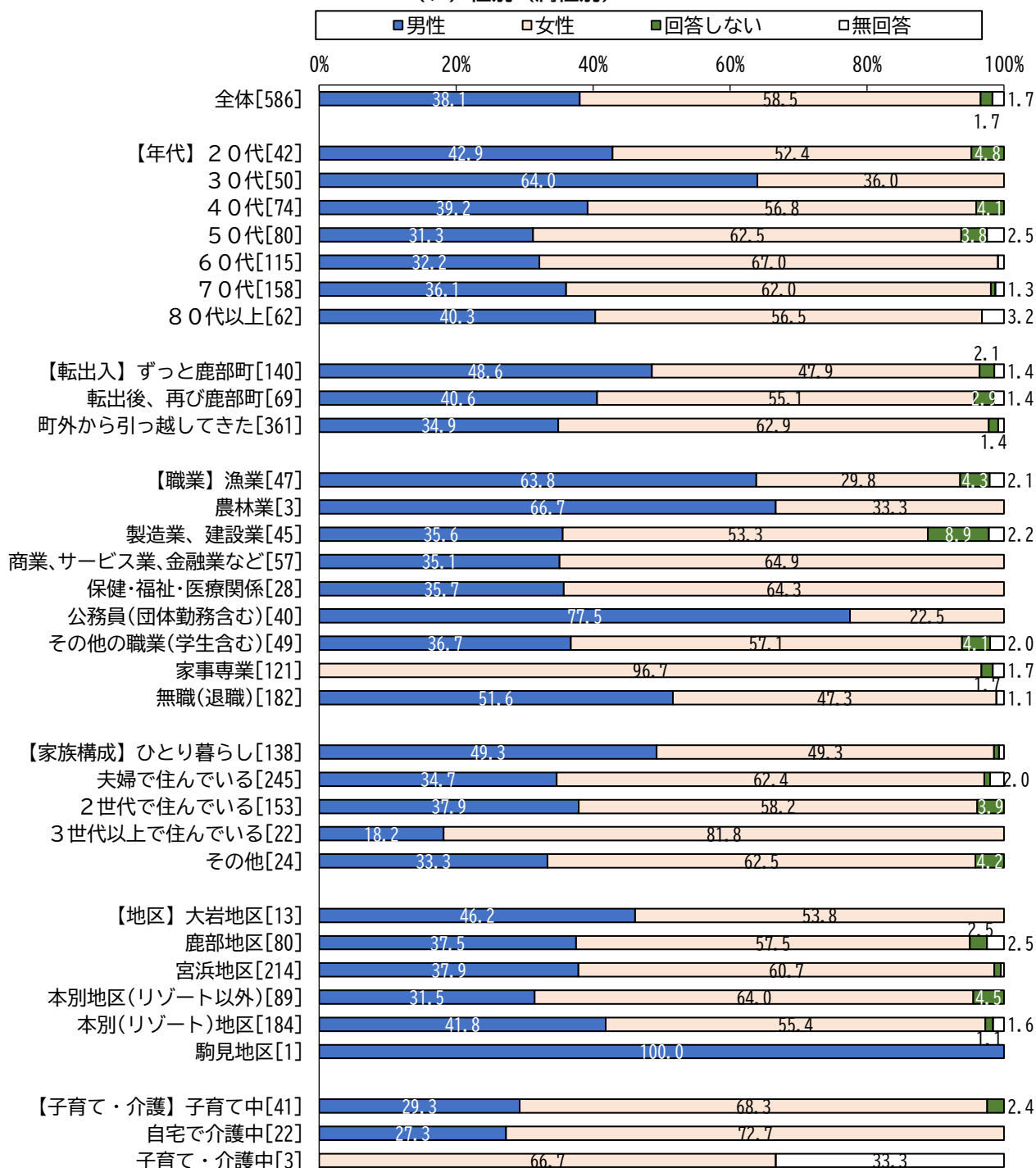
- 「男性」が38.1%、「女性」が58.5%で、女性の割合が高くなっています。
- 年代別で見ると、「男性」は30代のみ6割以上を占め、「女性」より高くなっています。20代は、ほぼ半数ずつです。

(ア) 性別 [586]



※1%未満の数値は非表示

(ア) 性別 (属性別)

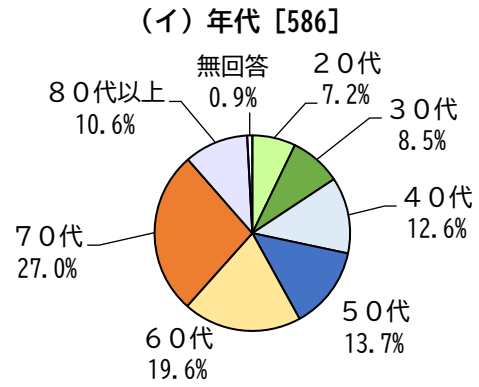


# (イ)年代

○「70代」(27.0%)が最も高く、「60代」(19.6%)が続きます。最も低いのは「20代」(7.2%)です。

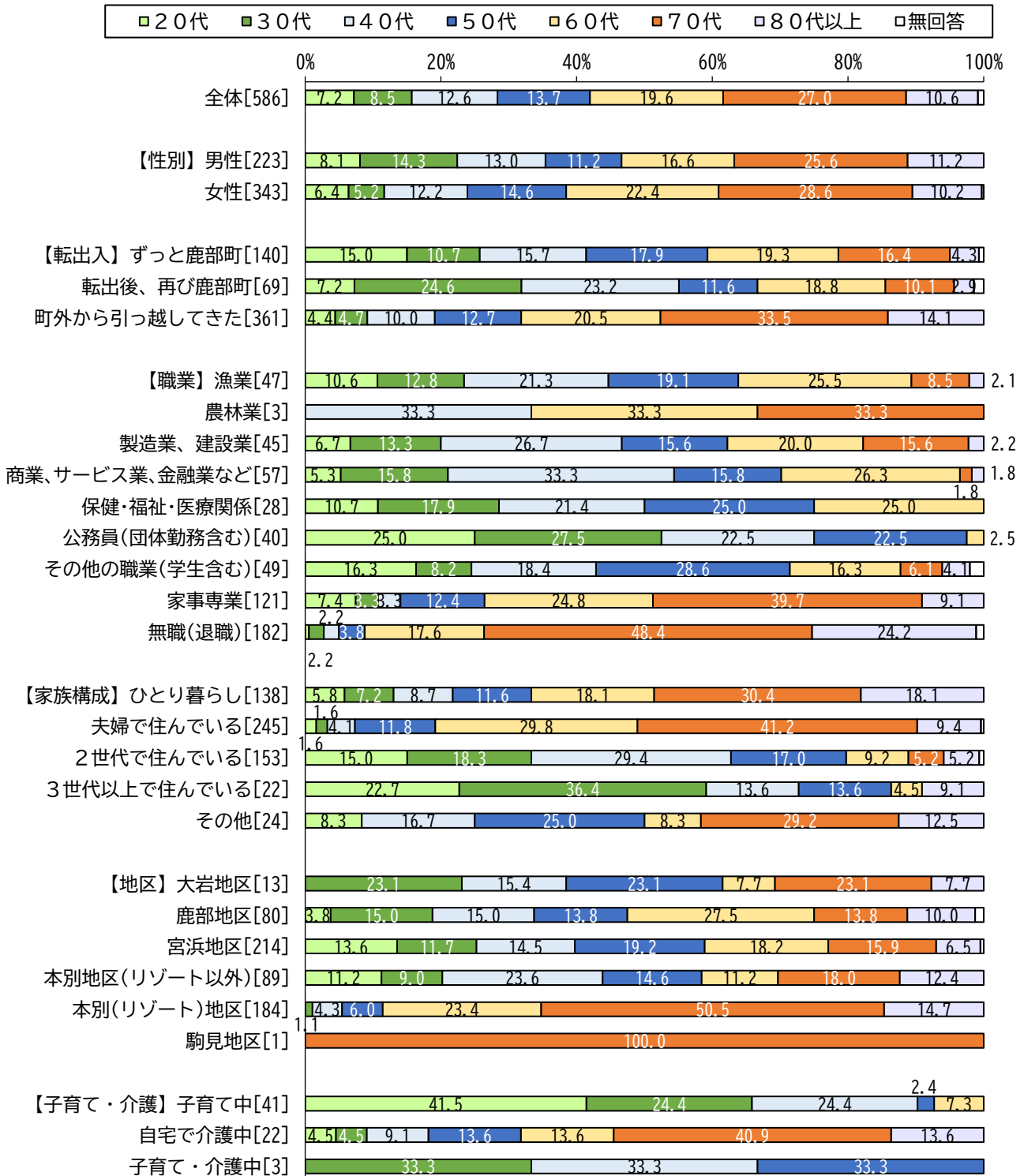
●性別でみると、「30代」は男性、「60代」は女性が高く、それぞれ、男女差がめだちます。

●転出入別でみると、「30代」や「40代」は転出後再び鹿部町の方で高くなっています。



※1%未満の数値は非表示

(イ) 年代 (属性別)



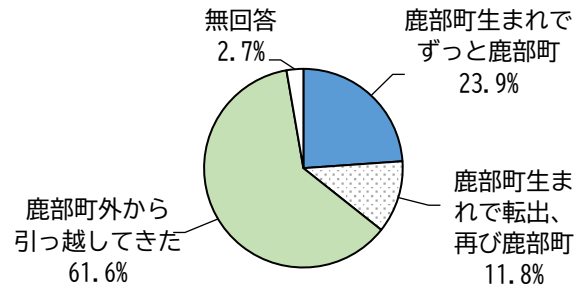
## (ウ) 転出入

○「鹿部町外から引っ越してきた」(61.6%)が最も高く、「鹿部町生まれでずっと鹿部町」(23.9%)が続きます。「鹿部町生まれで転出し、再び鹿部町」は約1割(11.8%)です。

●「鹿部町外から引っ越してきた」は、年代が高いほど高い傾向にあります。

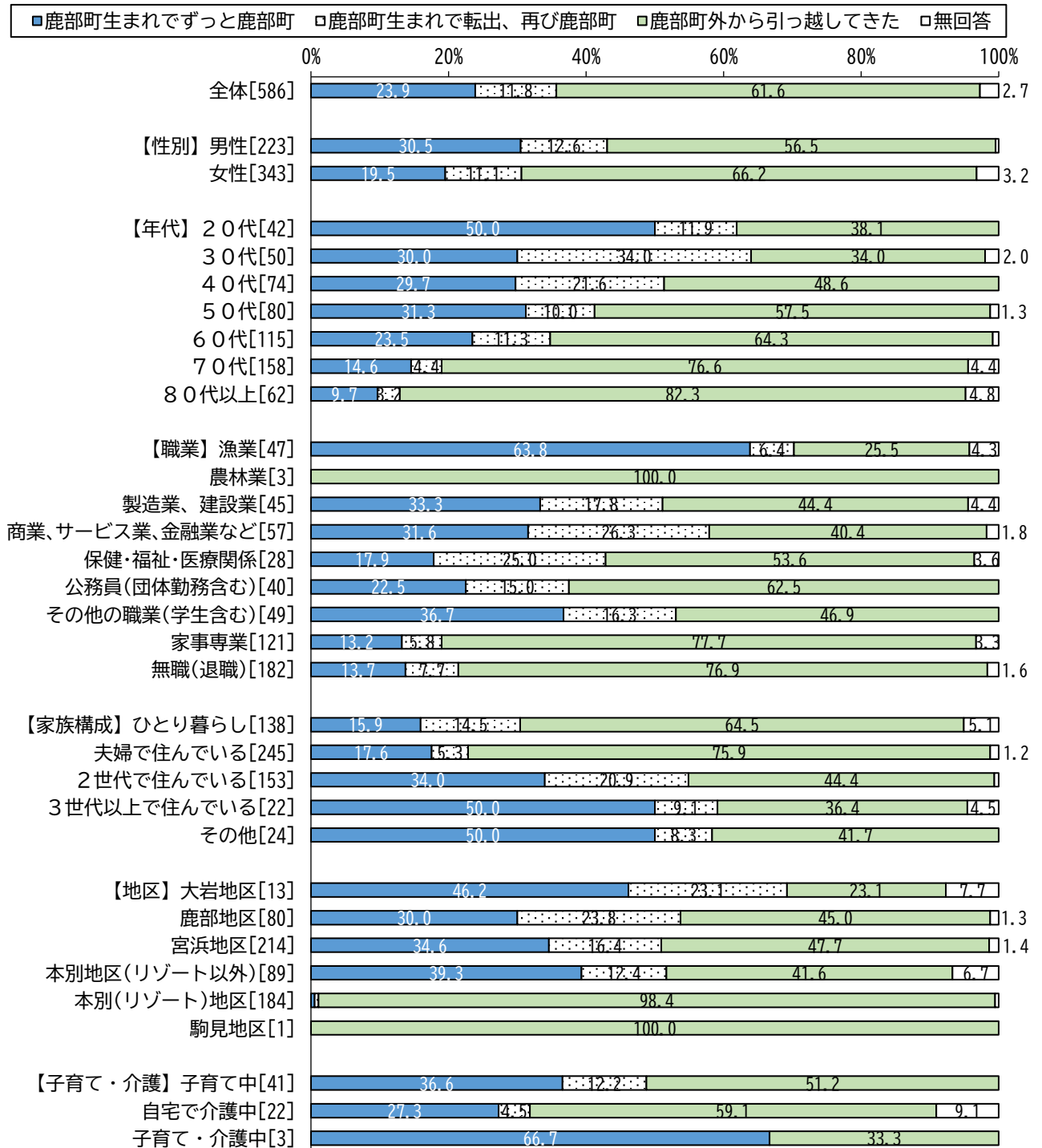
●「鹿部町生まれで転出し、再び鹿部町」は30代で約3分の1(34.0%)、40代で約2割(21.0%)と、他の年代よりも高く、差がめだちます。

(ウ) 転出入 [586]



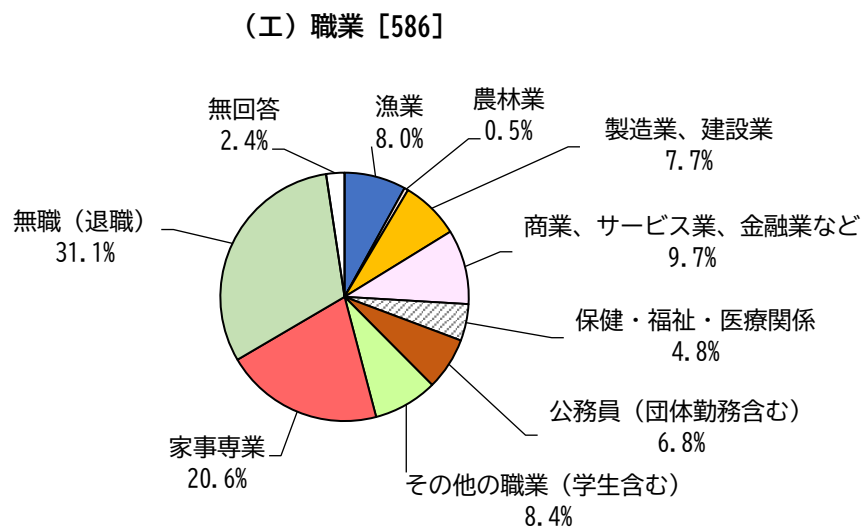
※1%未満の数值は非表示

(ウ) 転出入 (属性別)



## (工)職業

○「無職(退職)」(31.1%)が最も多く、「家事専業」(20.6%)が続きます。

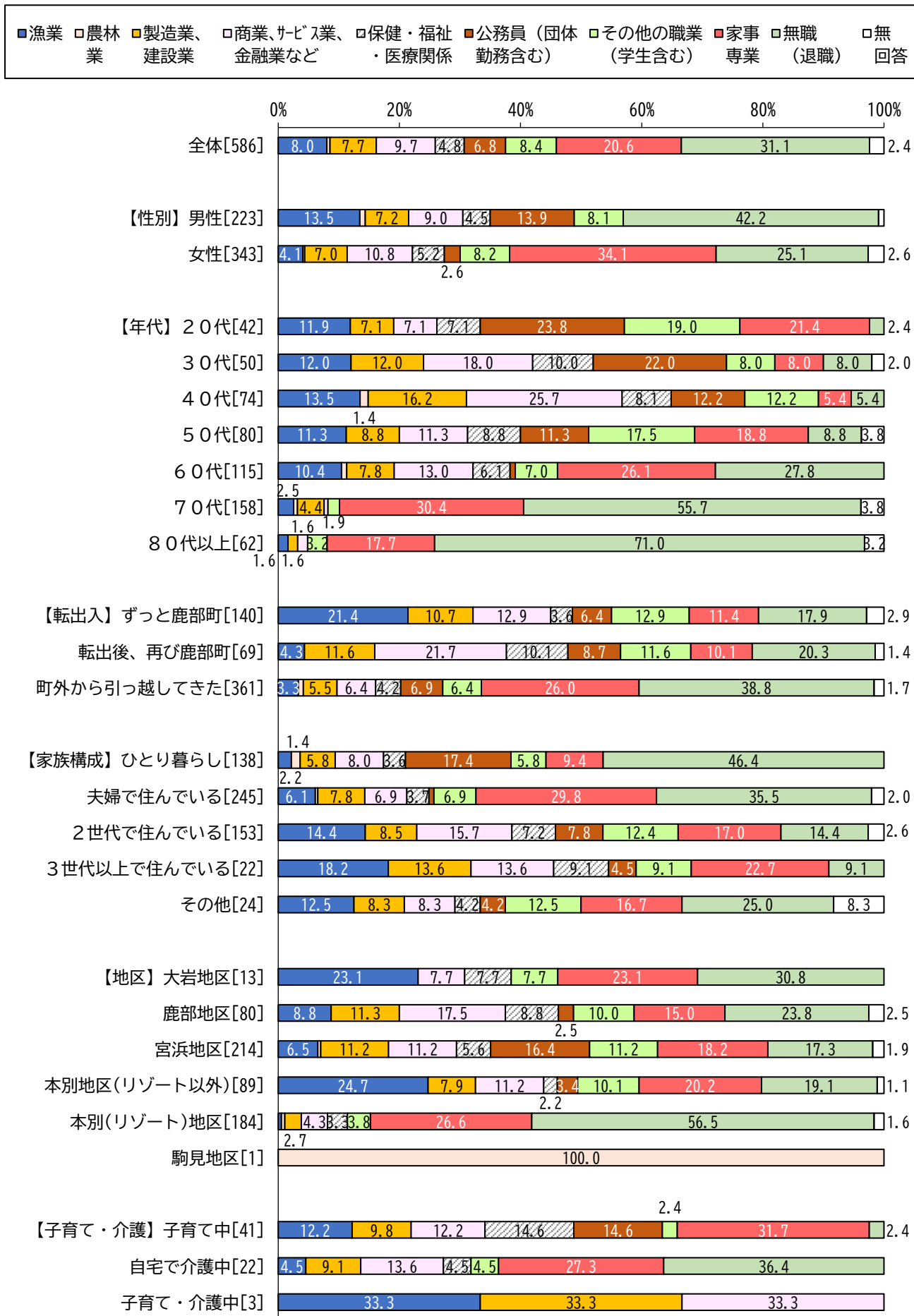


(次のページにグラフがあります)

- 年代別で見ると、「製造業、建設業」や「商業、サービス業、金融業など」は40代、「公務員(団体勤務含む)」は20代や30代で高く、他の年代との差がめだちます。
- 転出入別で見ると、「漁業」はずっと鹿部町の方が2割を占めます。「家事専業」や「無職」は町外から引越してきた方が高くなっています。
- 地区別で見ると、「漁業」は大岩地区と本別地区(リゾート以外)で、それぞれ2割以上を占め、他の地区よりも高くなっています。

※1%未満の数値は非表示

(工) 職業 (属性別)

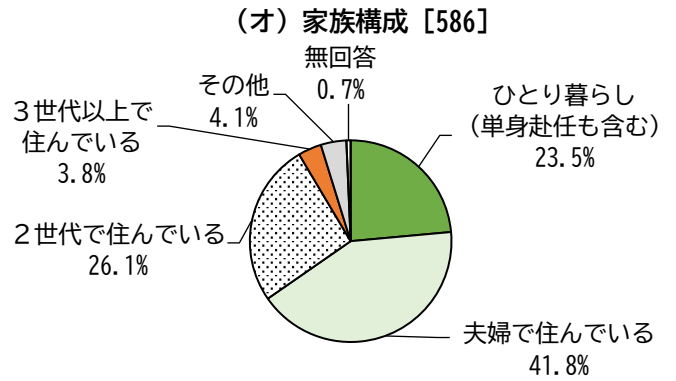


## (オ)家族構成

○「夫婦で住んでいる」(41.8%)が最も多く、「2世代で住んでいる」(26.1%)、「ひとり暮らし(単身赴任も含む)」(23.5%)が続きます。

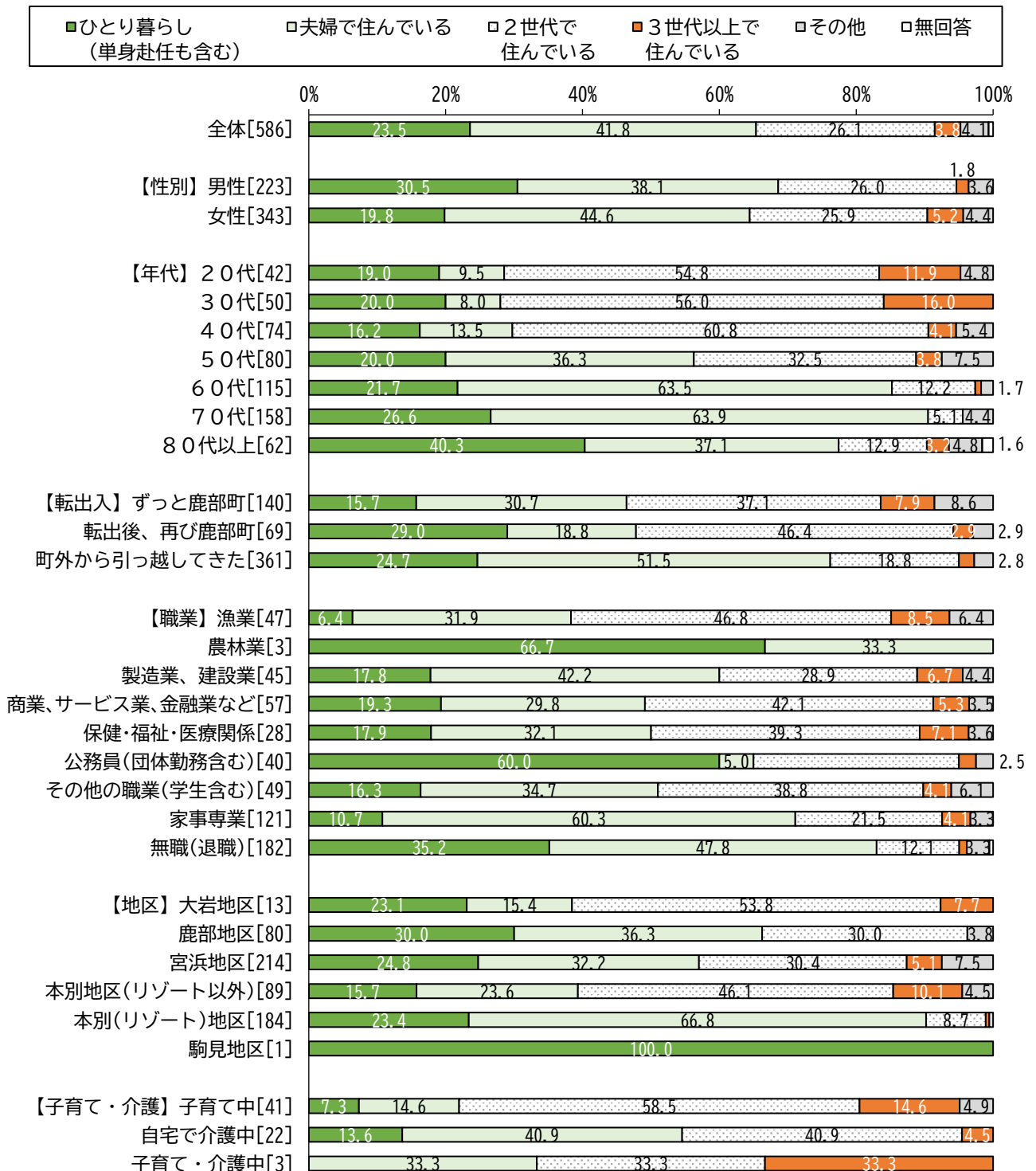
●年代別で見ると、「夫婦で住んでいる」は、60代と70代で6割以上を占めます。

●地区別で見ると、「夫婦で住んでいる」は、本別(リゾート)地区で、約3分の2を占めます。



※1%未満の数値は非表示

(オ) 家族構成 (属性別)

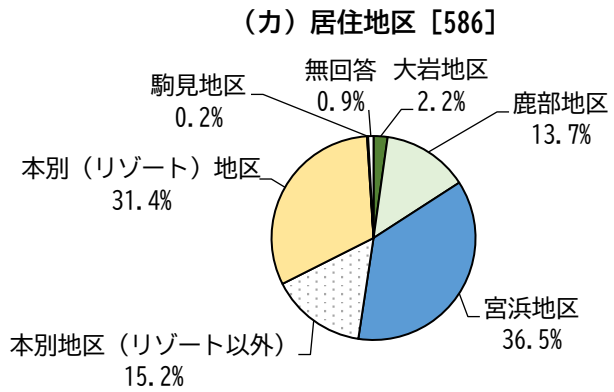




## (カ)居住地区

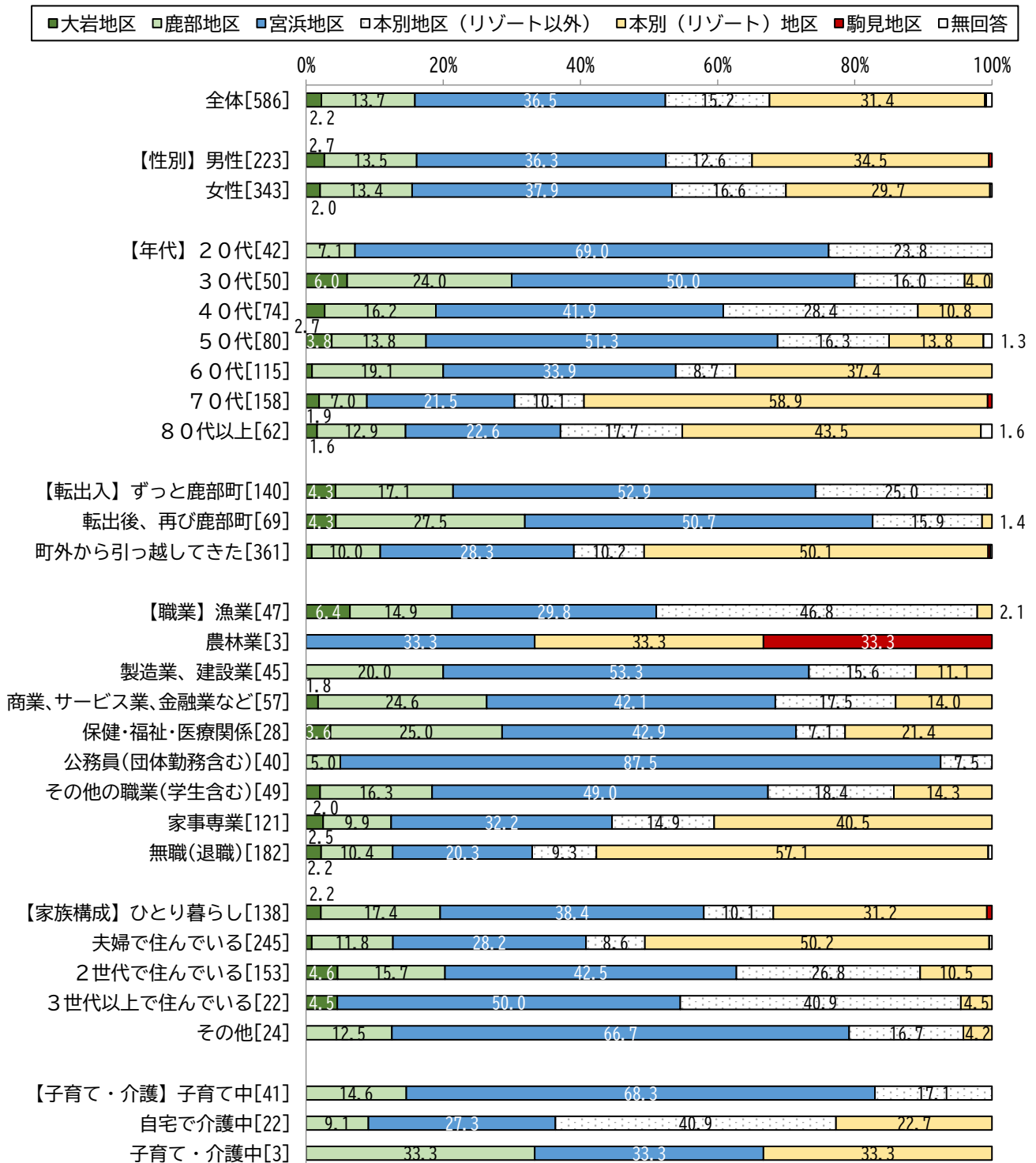
○「宮浜地区」(36.5%)が最も高く、「本別(リゾート)地区」(31.4%)が続きます。

●年代別でみると、「宮浜地区」は20代で約7割、「本別(リゾート)地区」は70代で約6割を占めます。



※1%未満の数値は非表示

### (カ) 居住地区 (属性別)



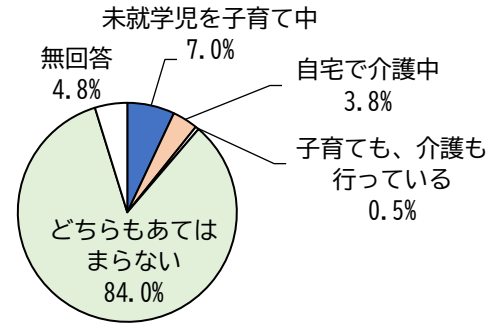
## (キ)子育てや介護の状況

○「どちらもあてはまらない」が 84.0%と8割以上を占めます。

●年代別でみると、「未就学児を子育て中」は 20代で約4割を占めます。

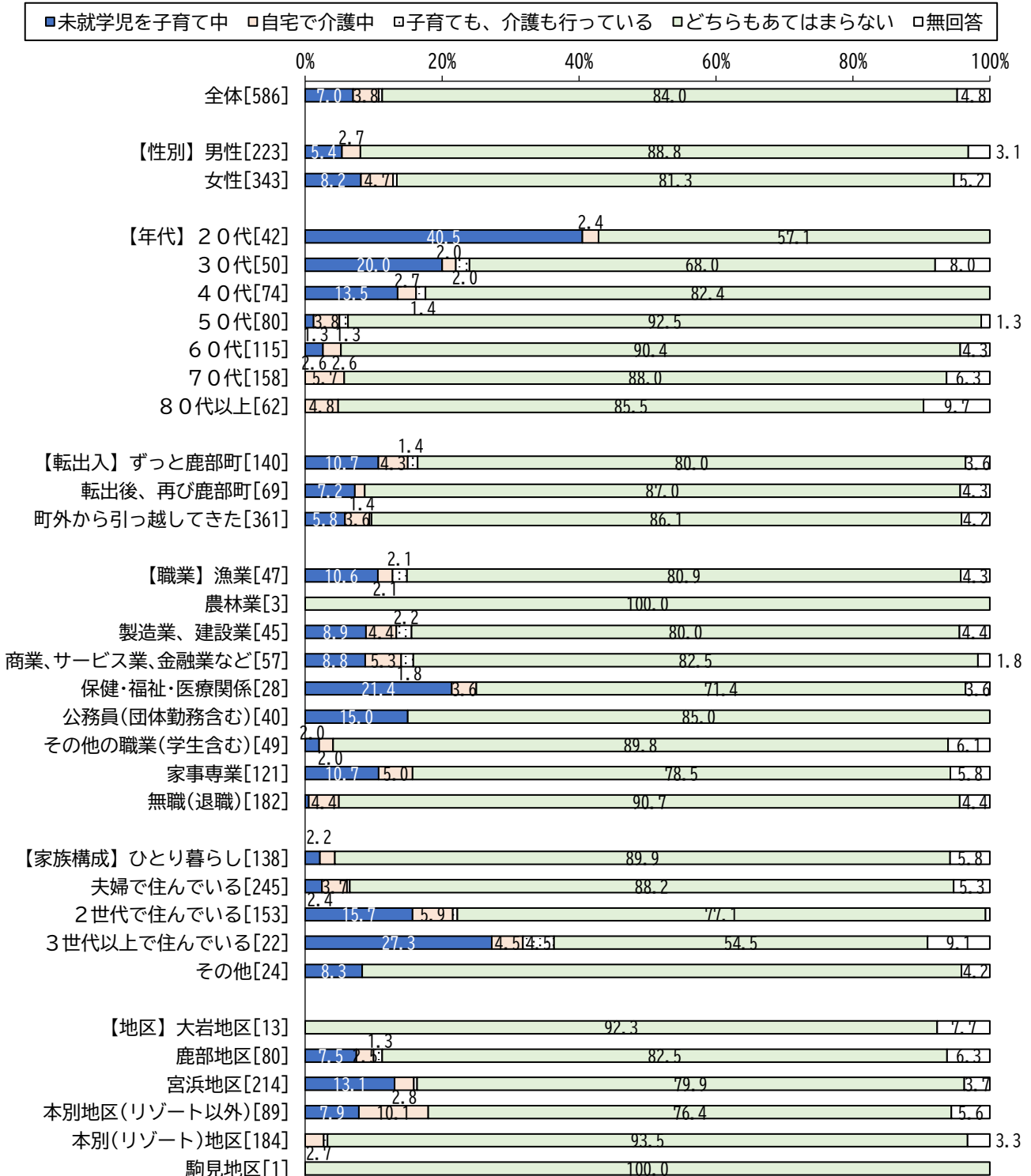
●家族構成別でみると、「未就学児を子育て中」は 3世代以上で住んでいる方で約3割を占めます。

(キ) 子育てや介護の状況 [586]



※1%未満の数値は非表示

(キ) 子育てや介護の状況 (属性別)



### Ⅲ 設問別調査結果

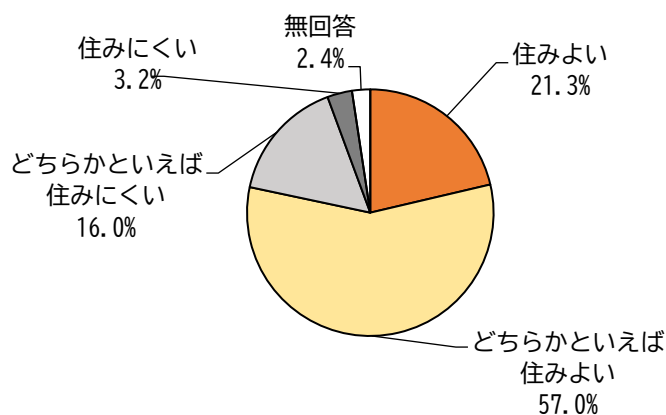
#### 問1 住み良さ

鹿部町は住みよい町ですか。(1つだけ選んで○)

○「どちらかといえば住みよい」(57.0%)が最も高く、「住みよい」(21.3%)が続きます。

○「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の合計は 78.3%で、程度の差はあれ、約8割は“住みよい”と感じています。

問1 鹿部町は住みよい町か [586]



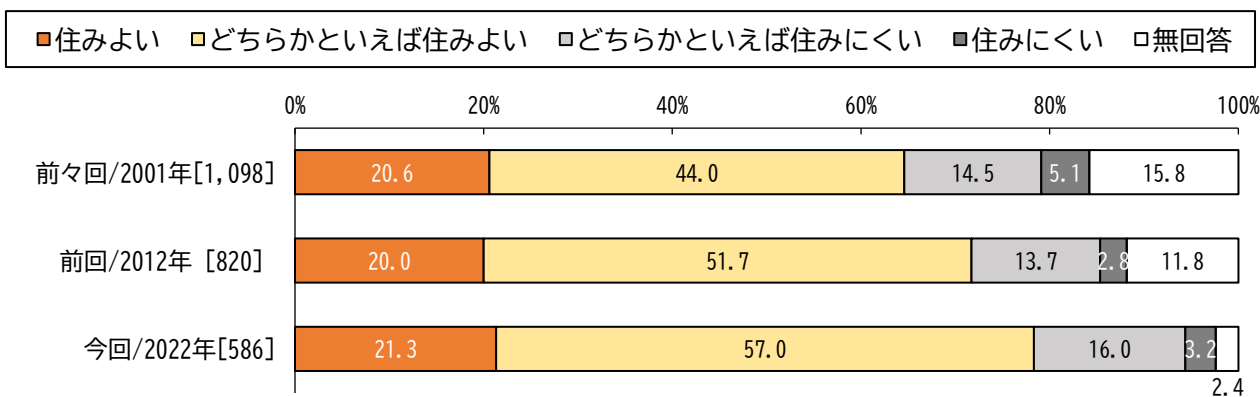
(次のページにグラフがあります)

- 性別でみると、男女の差は、あまりありません。
- 年代別でみると、「住みよい」が最も高いのは80代以上で約3割を占めます。「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計は、60代を除くと、年代が高くなるにつれて回答率が高まります。一方、20～40代は「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計が3割以上を占めます。

#### 前々回、前回との比較

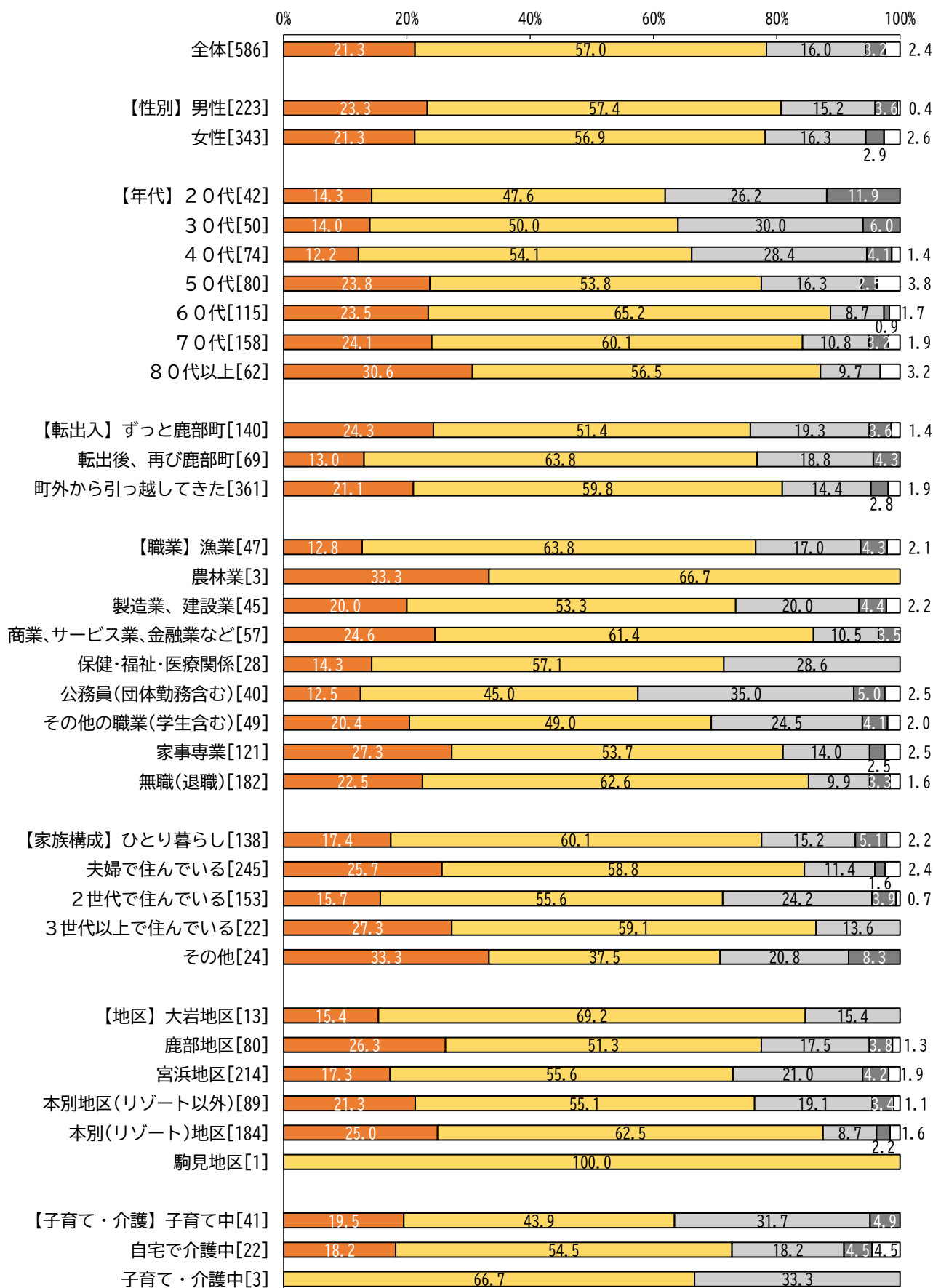
○前々回、前回のアンケート結果と比較すると、「住みよい」はほぼ同率ですが、「どちらかといえば住みよい」は、徐々に高くなっています。

問1 鹿部町は住みよい町か（前回、前々回との比較）



### 問1 鹿部町は住みよい町か（属性別）

■住みよい □どちらかといえば住みよい □どちらかといえば住みにくい ■住みにくい □無回答

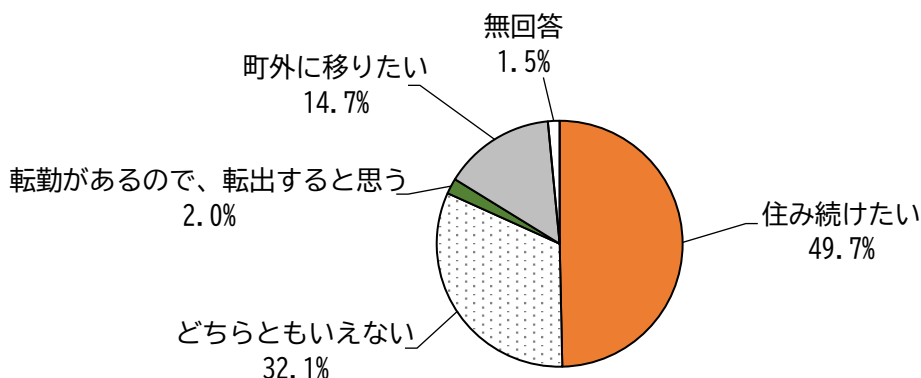


## 問2 定住意向

これからも、鹿部町に住み続けたいと思いますか。(1つだけ選んで○)

○「住み続けたい」(49.7%)が約半数で、「どちらともいえない」が約3分の2(32.1%)で続きます。以下、「町外に移りたい」(14.7%)、「転勤があるので、転出すると思う」(2.0%)という順番です。

問2 鹿部町に住み続けたいと思うか [586]



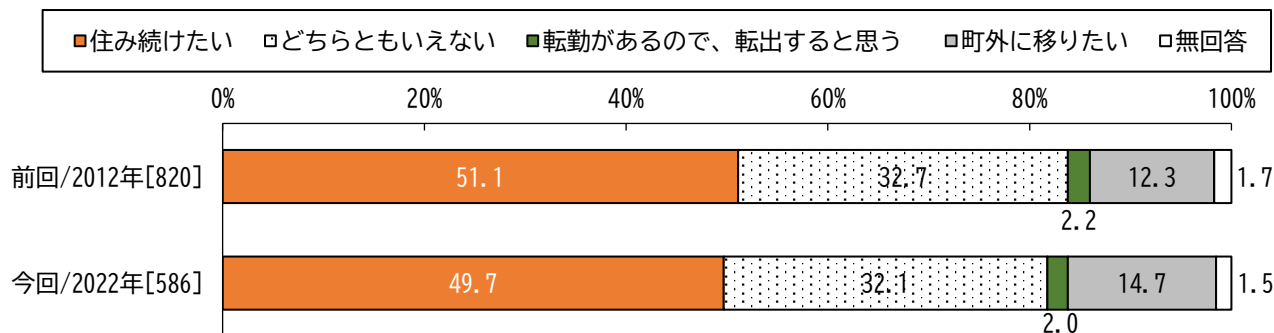
(次のページにグラフがあります)

- 性別で見ると、「町外に移りたい」は女性の方が高くなっています。
- 年代別で見ると、30～50代までは「どちらともいえない」が4割程度を占め最も高いですが、60代以上は「住み続けたい」が半数以上を占め、年代が高くなるにつれて回答率が高くなっています。20代は、「住み続けたい」「どちらともいえない」「町外に移りたい」がほぼ同率です。
- 職業別で見ると、「転勤があるので、転出すると思う」は公務員(団体勤務含む)で2割を占めます。

## 前回との比較

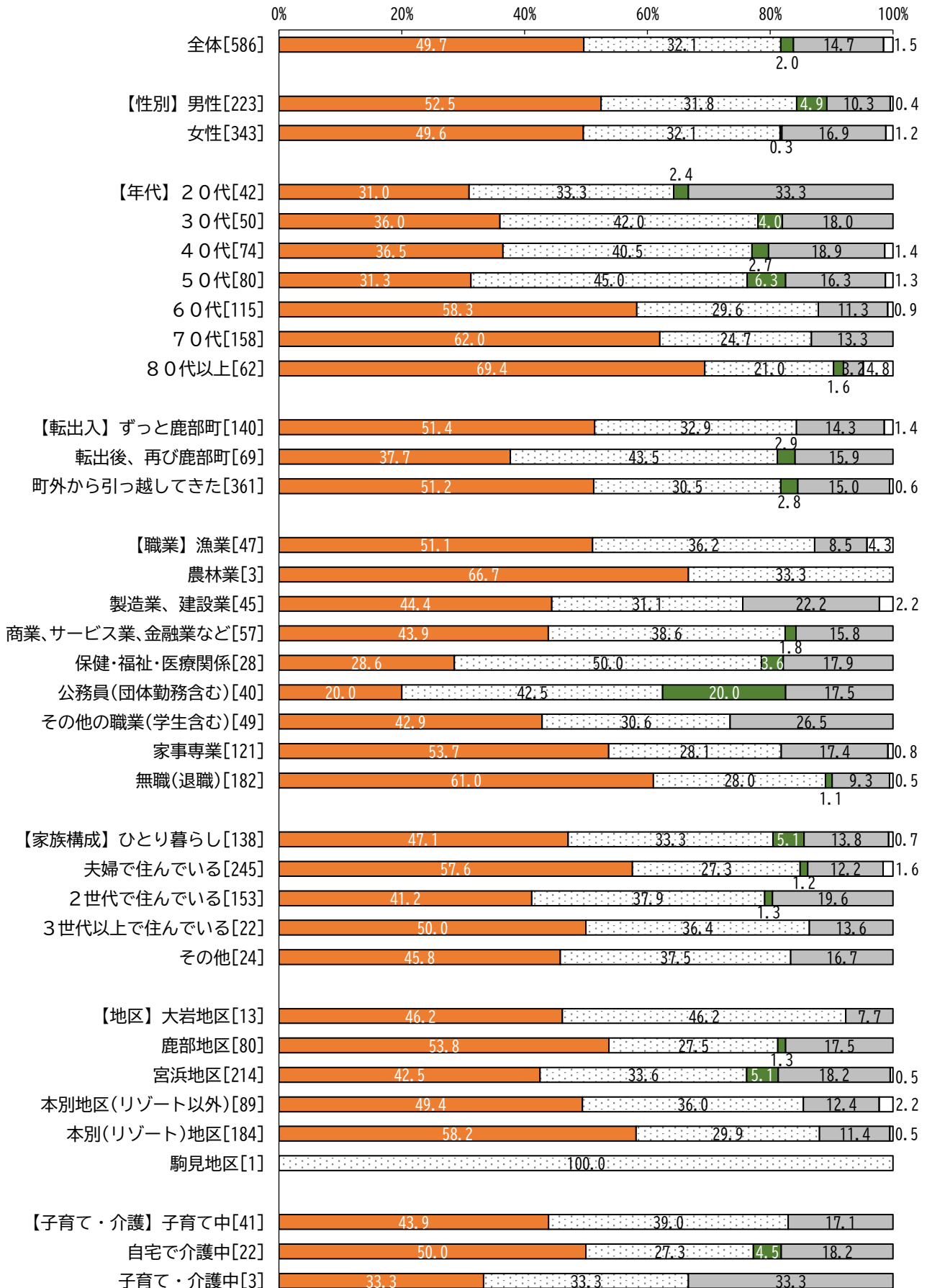
○前回のアンケート結果と比較すると、回答傾向に大きな差はみられません。

問2 鹿部町に住み続けたいと思うか (前回との比較)



## 問2 鹿部町に住み続けたいと思うか（属性別）

■住み続けたい □どちらともいえない ■転勤があるので、転出と思う □町外に移りたい □無回答

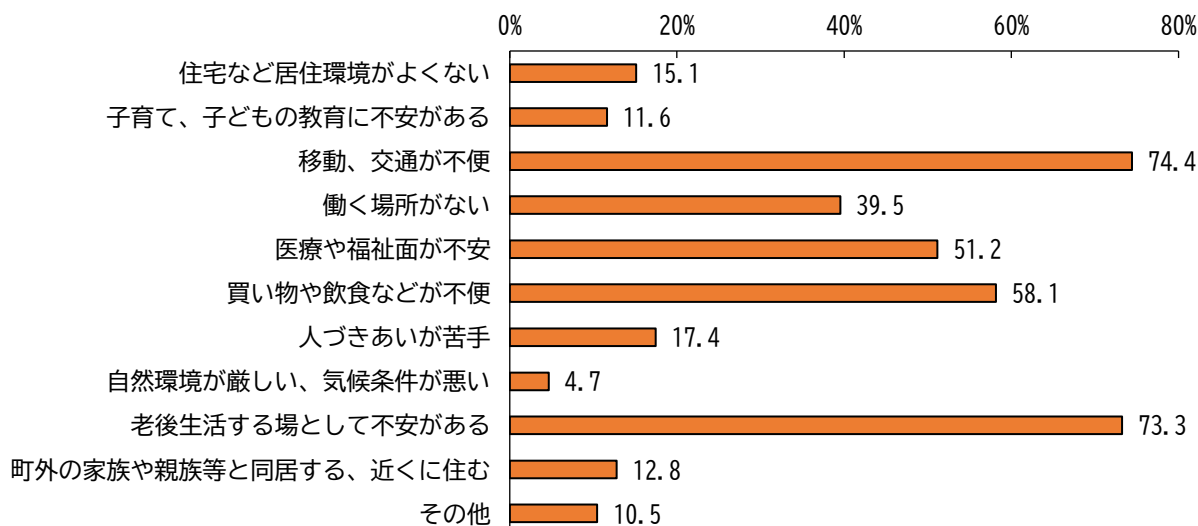


## 問2-1 町外に移りたい理由

「町外に移りたい」を選んだ方は、その理由を教えてください。(○はいくつでも)

○「町外に移りたい」を選んだ回答者は86人で、「移動、交通が不便」(74.4%)が最も高く、「老後生活する場として不安がある」(73.3%)、「買い物や飲食などが不便」(58.1%)が続きます。

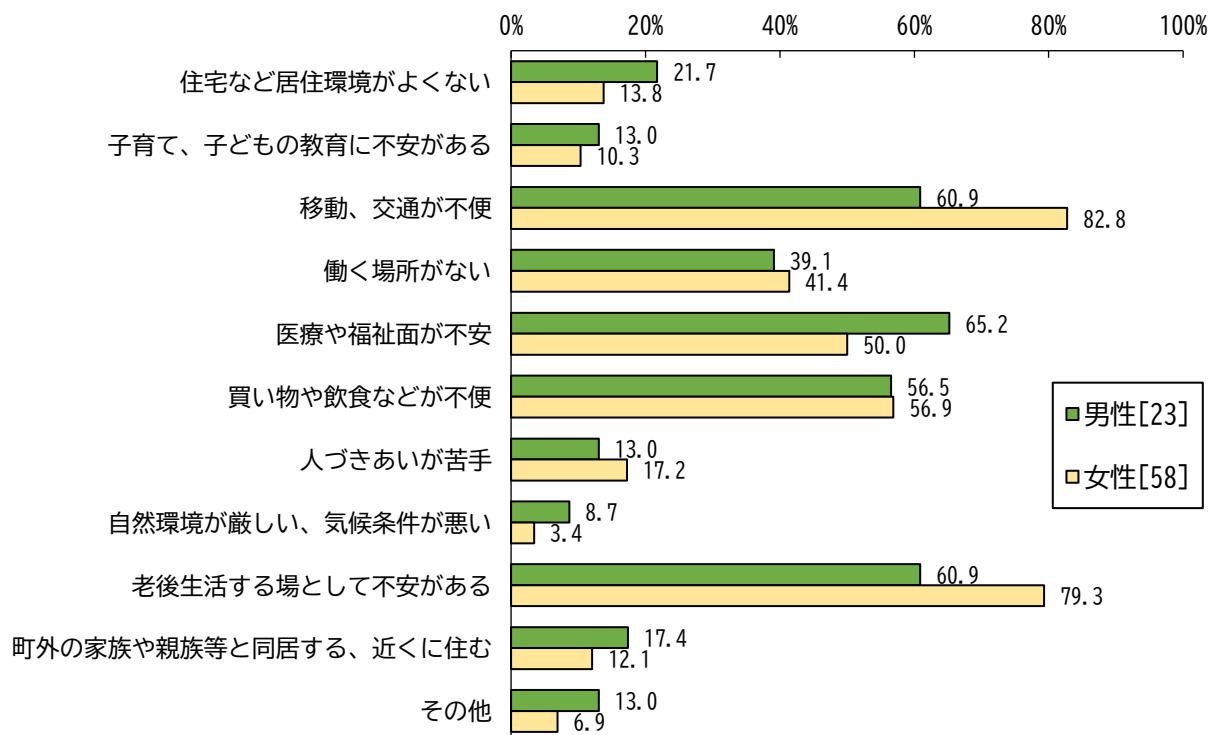
問2-1 町外に移りたい理由 (あてはまるものすべて選択) [86]



【「その他」の内容】ゲオや TSUTAYA がない。スカイホールがなくなったから。運転できなくなったら困る。勤務先が町外。自分の育った関東に戻りたい。鹿部町外に住んでみたい。少しあきた。就職のため転出するから。住み続けたいが不安がある。店が少ない。ツルハやサツドラがない。買い物商店が独占しているから。夫を亡くした為

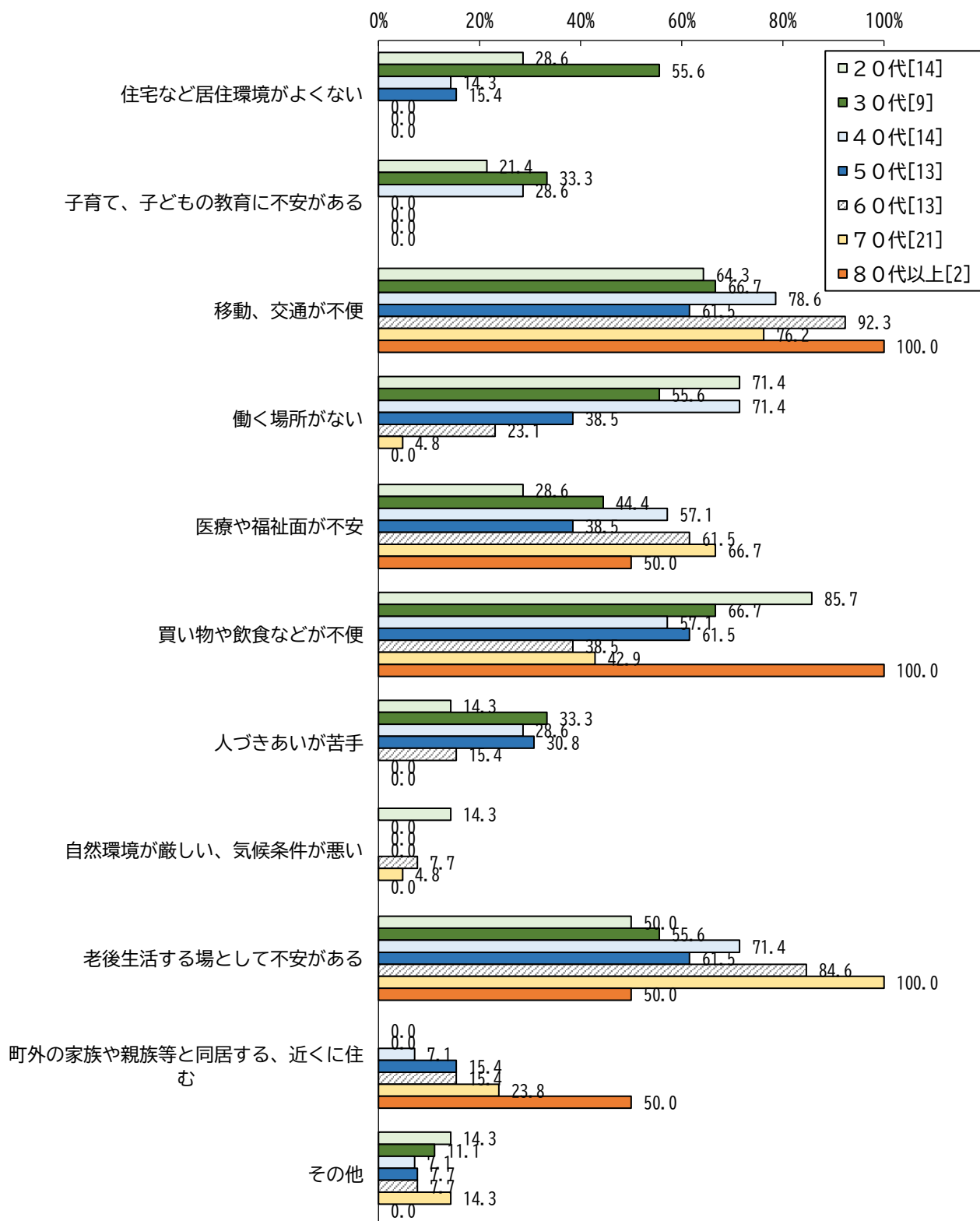
- 性別で見ると、男性は「医療や福祉面が不安」、女性は「移動、交通が不便」が最も高くなっています。
- 「医療や福祉面が不安」は男性、「移動、交通が不便」や「老後生活する場として不安がある」は女性の回答率が高く、差がめだちます。

問2-1 町外に移りたい理由 (あてはまるものすべて選択/性別)



- 年代別でみると、20代は「買い物や飲食などが不便」、30代と80代以上は「移動、交通が不便」と「買い物や飲食などが不便」(同率)、40代と60代は「移動、交通が不便」、50代は「移動、交通が不便」「買い物や飲食などが不便」「老後生活する場として不安がある」(3つ同率)、70代は「老後生活する場として不安がある」が最も高くなっています。
- 回答者が2人のため回答率が高く出る80代以上を除くと、「住宅など居住環境がよくない」は30代、「移動、交通が不便」は60代、「買い物や飲食などが不便」は20代で高く、他の年代との差がめだちます。また、70代は回答者全員が「老後生活する場として不安がある」を回答しています。

問2-1 町外に移りたい理由 (あてはまるものすべて選択/年代別)



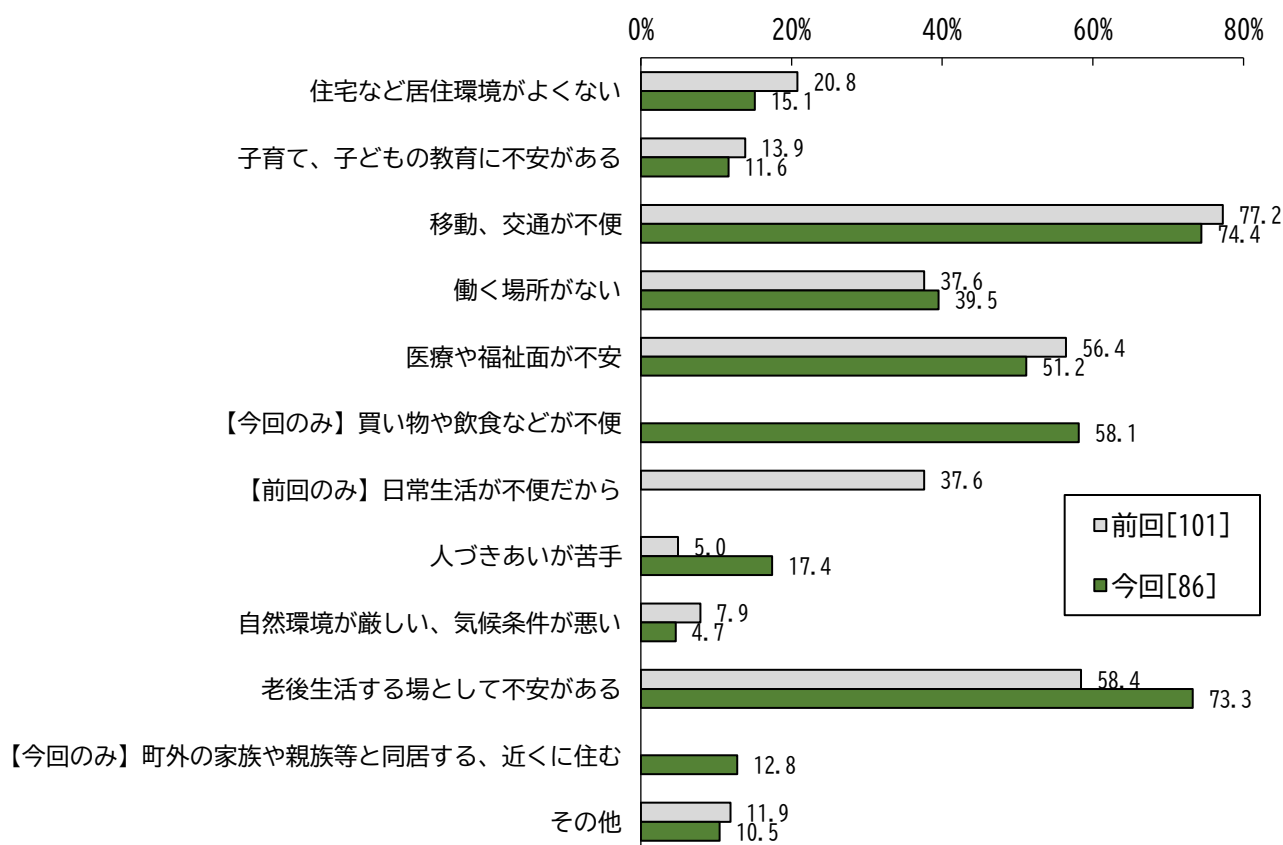


## 前回との比較

○(選択肢の表現・内容が一部異なるものもありますが)前回のアンケート結果と比較すると、今回も前回と同様に「移動、交通が不便」が最も高くなっていますが、「人づきあいが苦手」や「老後生活する場として不安がある」などが前回よりも高く、差がめだちます。

前回の選択肢	生活環境がよくない	子育て、子どもの教育に不安がある	交通が不便	働く場所がない	医療や福祉面が不安	日常生活が不便だから	人づきあいが苦手	気候条件がよくないから	老後に不安があるから	※前回は設定なし
今回の選択肢	住宅など居住環境がよくない	子育て、子どもの教育に不安がある	移動、交通が不便	働く場所がない	医療や福祉面が不安	買い物や飲食などが不便	人づきあいが苦手	自然環境が厳しい、気候条件が悪い	老後生活する場として不安がある	町外の家族や親族等と同居する、近くに住む

問2-1 町外に移りたい理由（あてはまるものすべて選択/前回との比較）



### 問3 暮らしの満足度・重要度

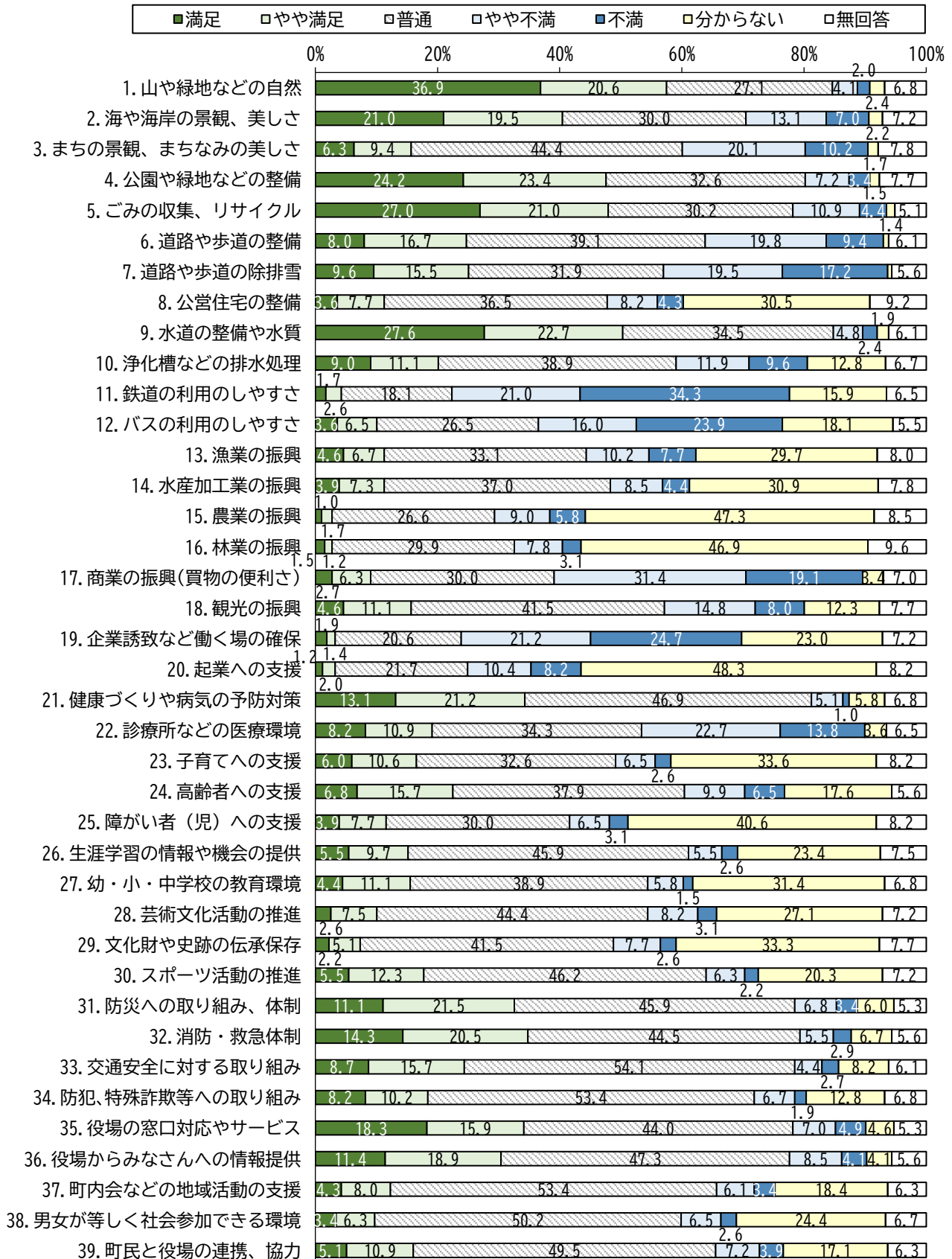
鹿部町での暮らしについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」を、5段階で評価してください。

○「満足」が最も高いのは「1.山や緑地などの自然」で、「9.水道の整備や水質」「5.ごみの収集、リサイクル」が続きます。

○「不満」が最も高いのは「11.鉄道の利用のしやすさ」で、「19.企業誘致など働く場の確保」「12.バスの利用のしやすさ」が続きます。

問3 暮らしの満足度 [586]

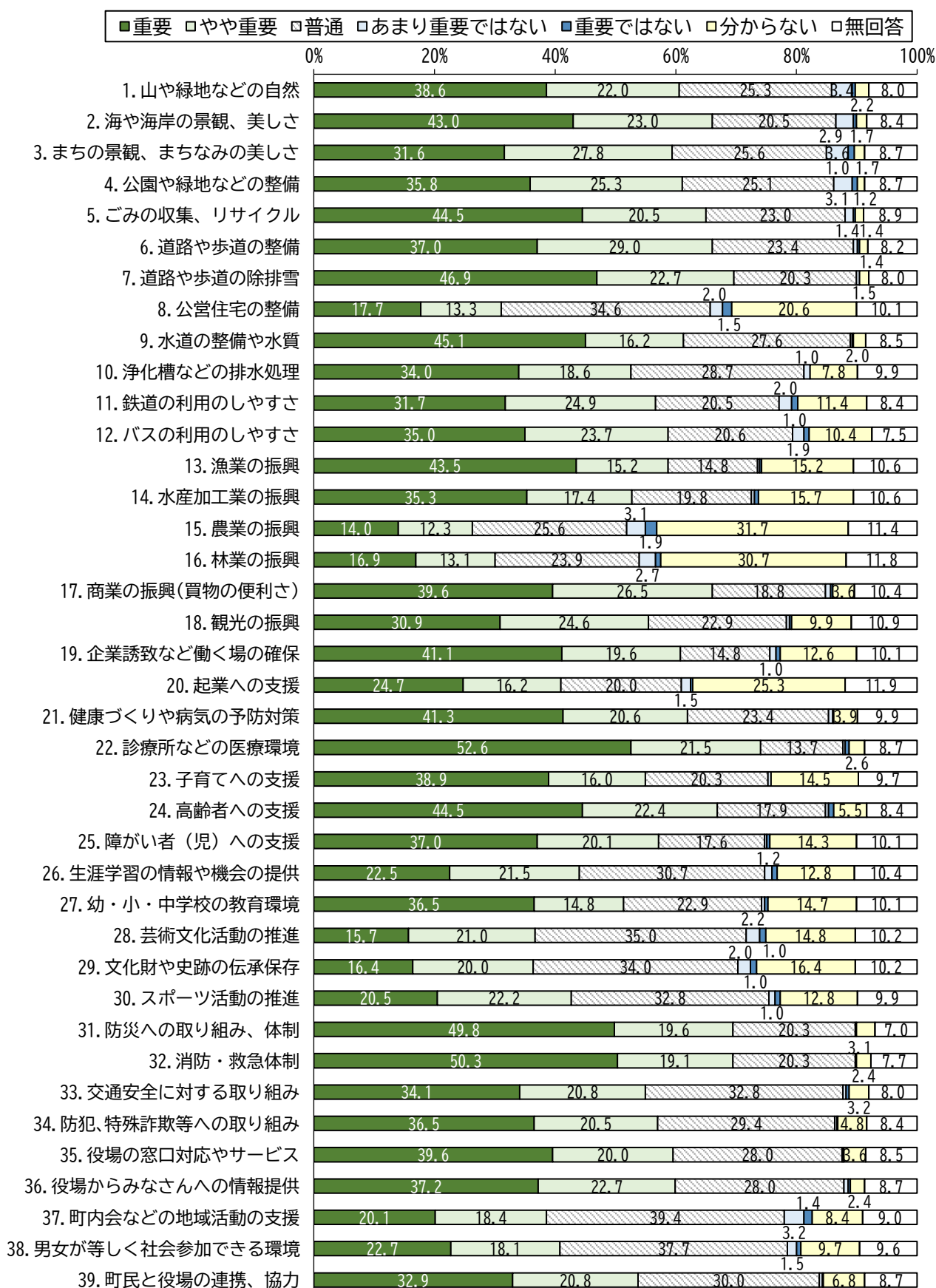
※1%未満の数値は非表示



○「重要」が最も高いのは「22.診療所などの医療環境」で、「32.消防・救急体制」「31.防災への取り組み、体制」が続きます。

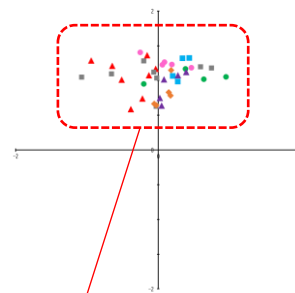
### 問3 暮らしの重要度 [586]

※1%未満の数値は非表示

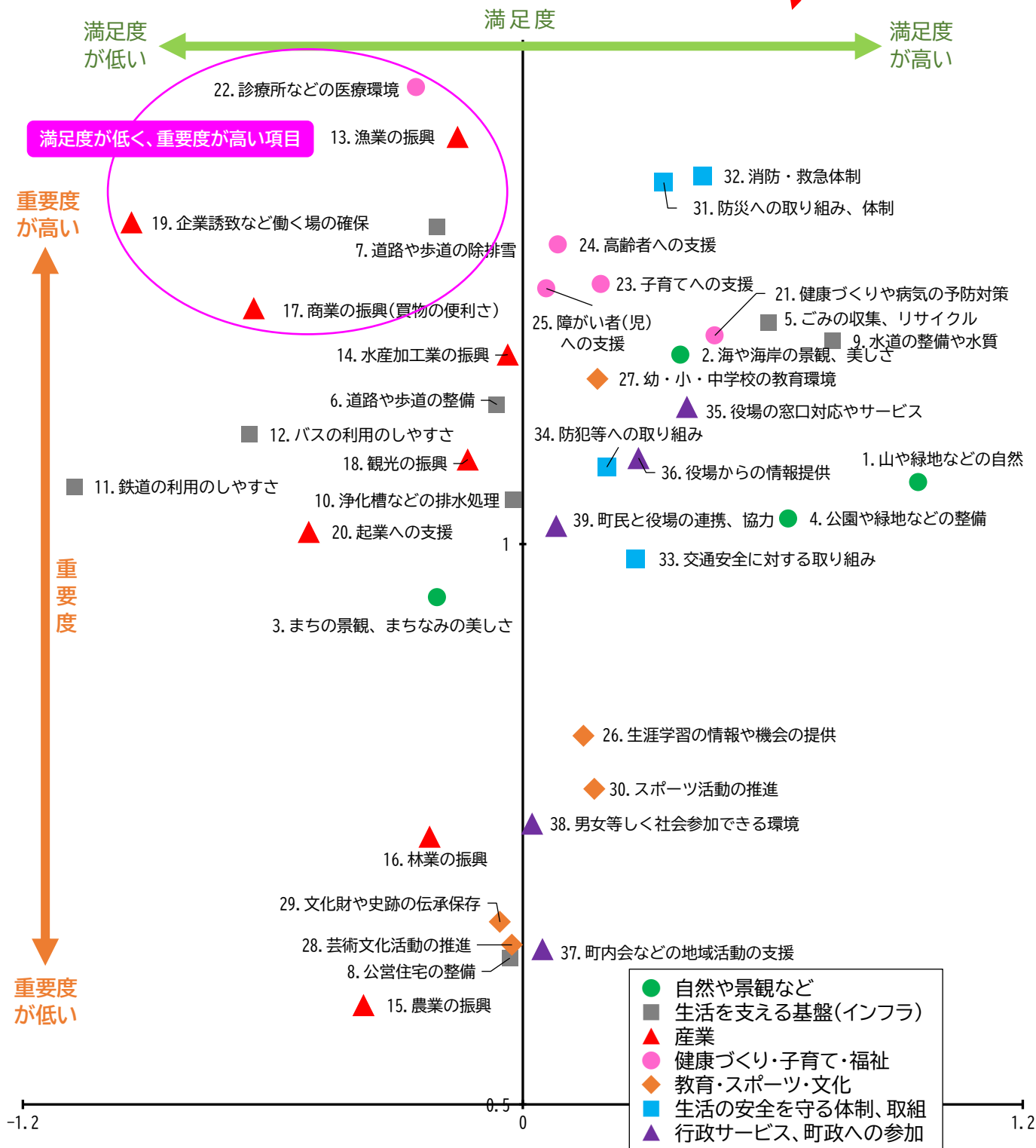


○「満足度」「重要度」の加重平均値※を算出し、満足度をよこ軸、重要度をたて軸とした分布図に示すと、「7.道路や歩道の除排雪」「13.漁業の振興」「17.商業の振興(買物の便利さ)」「19.企業誘致など働く場の確保」「22.診療所などの医療環境」などが満足度が低く、重要度が高い項目となっています。

※「加重平均」は、回答者数によって平均値を算出した数値です。算出方法は次の通りです。  
 満足度： $\{(満足 \times 2) + (やや満足 \times 1) + (普通 \times 0) + (やや不満 \times -1) + (不満 \times -2)\} \div 回答者数$  (「分からない」「無回答」除く)  
 重要度： $\{(重要 \times 2) + (やや重要 \times 1) + (普通 \times 0) + (あまり重要でない \times -1) + (重要でない \times -2)\} \div 回答者数$  (「分からない」「無回答」除く)  
 数値の範囲は-2~+2で、-2に近いほど評価は低く、+2に近いほど評価は高い、とみます。

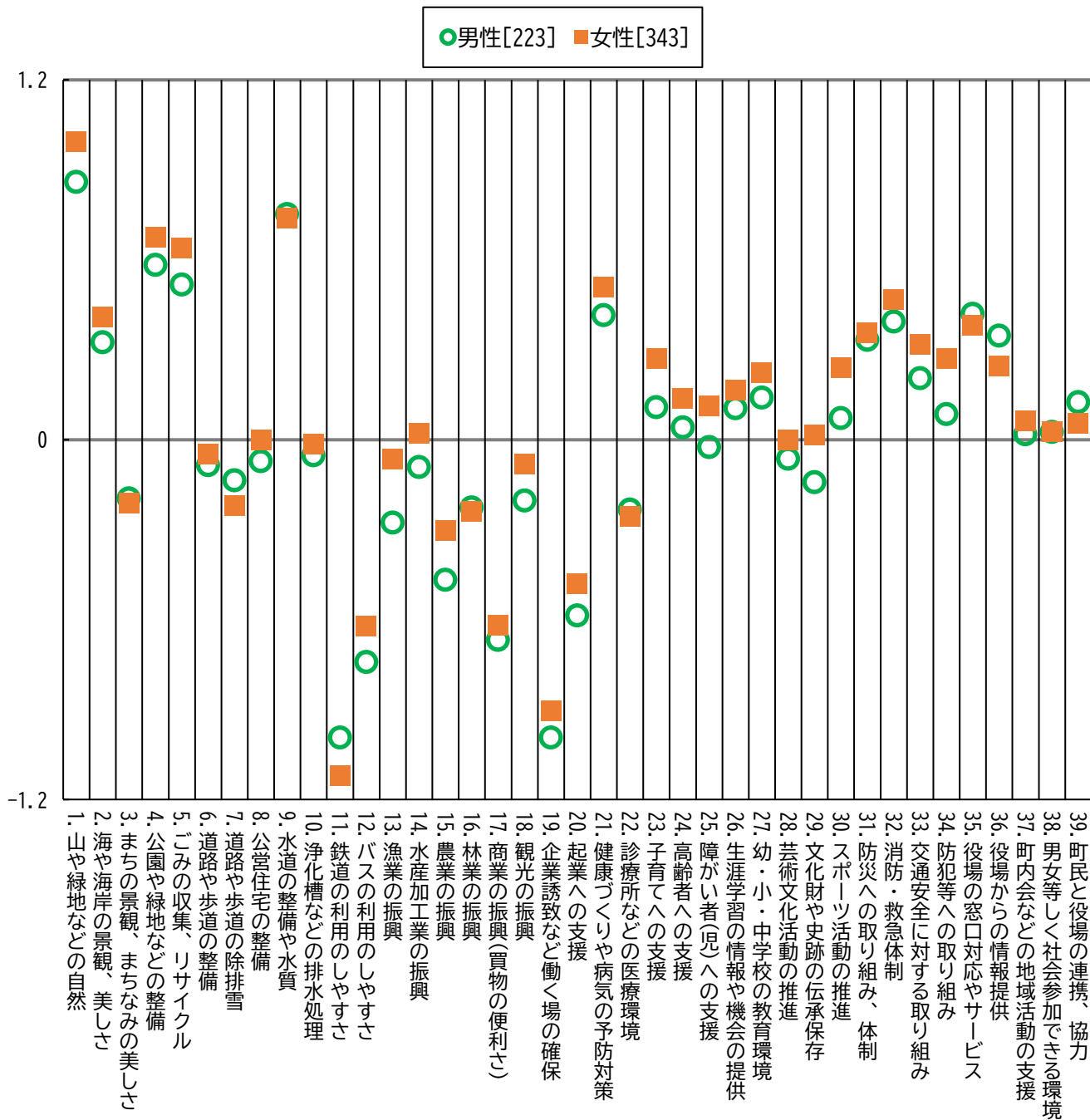


この範囲を拡大したものが、下の図です。

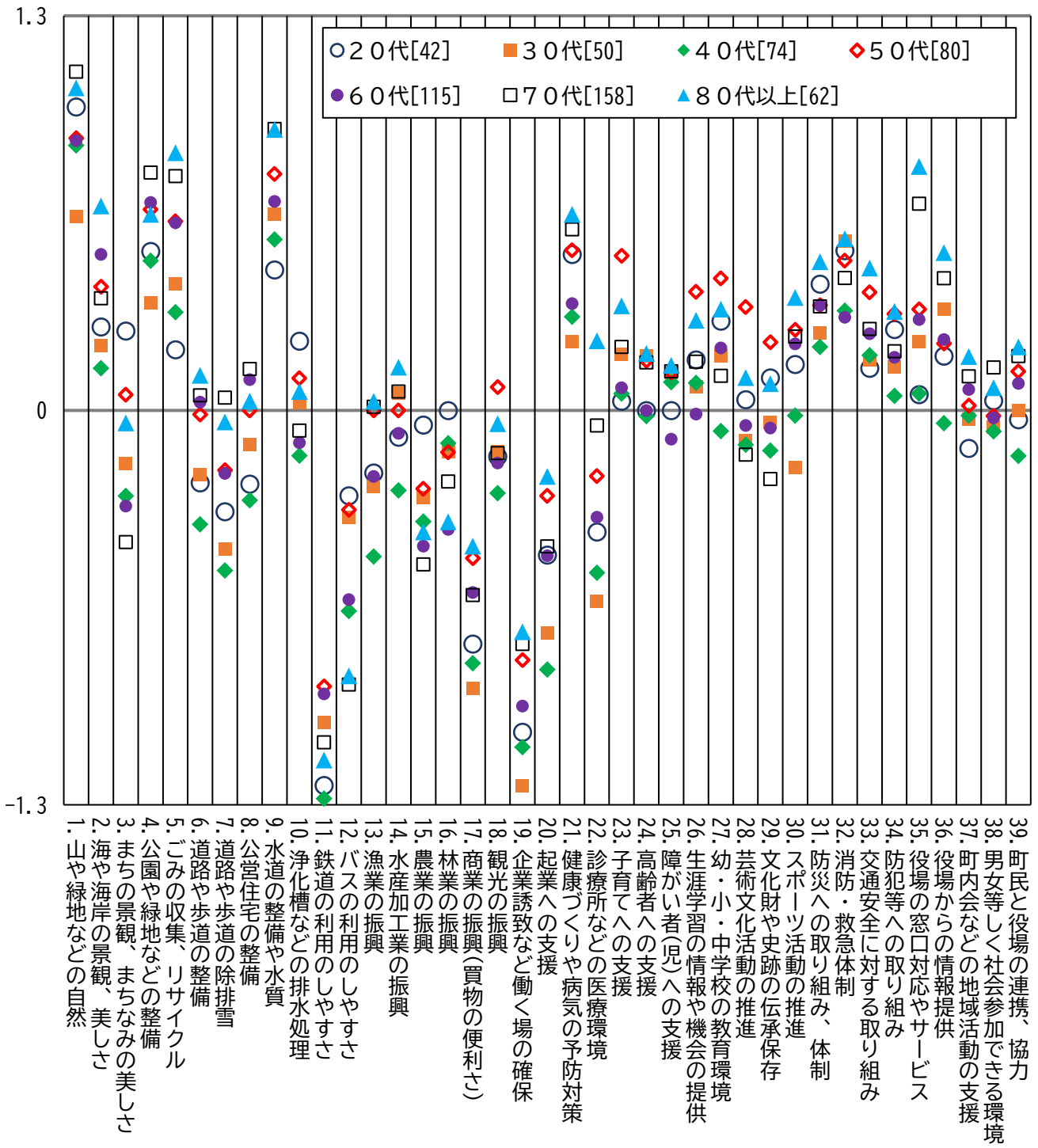


<加重平均での比較(満足度の属性別比較)>

- 性別で見ると、39項目中、男性の方が高い項目は9項目、女性の方が高い項目は30項目で、女性の方が満足度が高い項目が多くなっています。
- 男性と女性で差がめだつ項目は、「13. 漁業の振興」(0.21ポイント差)、「34. 防犯等への取り組み」(0.19ポイント差)、「30. スポーツ活動の推進」(0.17ポイント差)などで、いずれも女性の方が高くなっています。

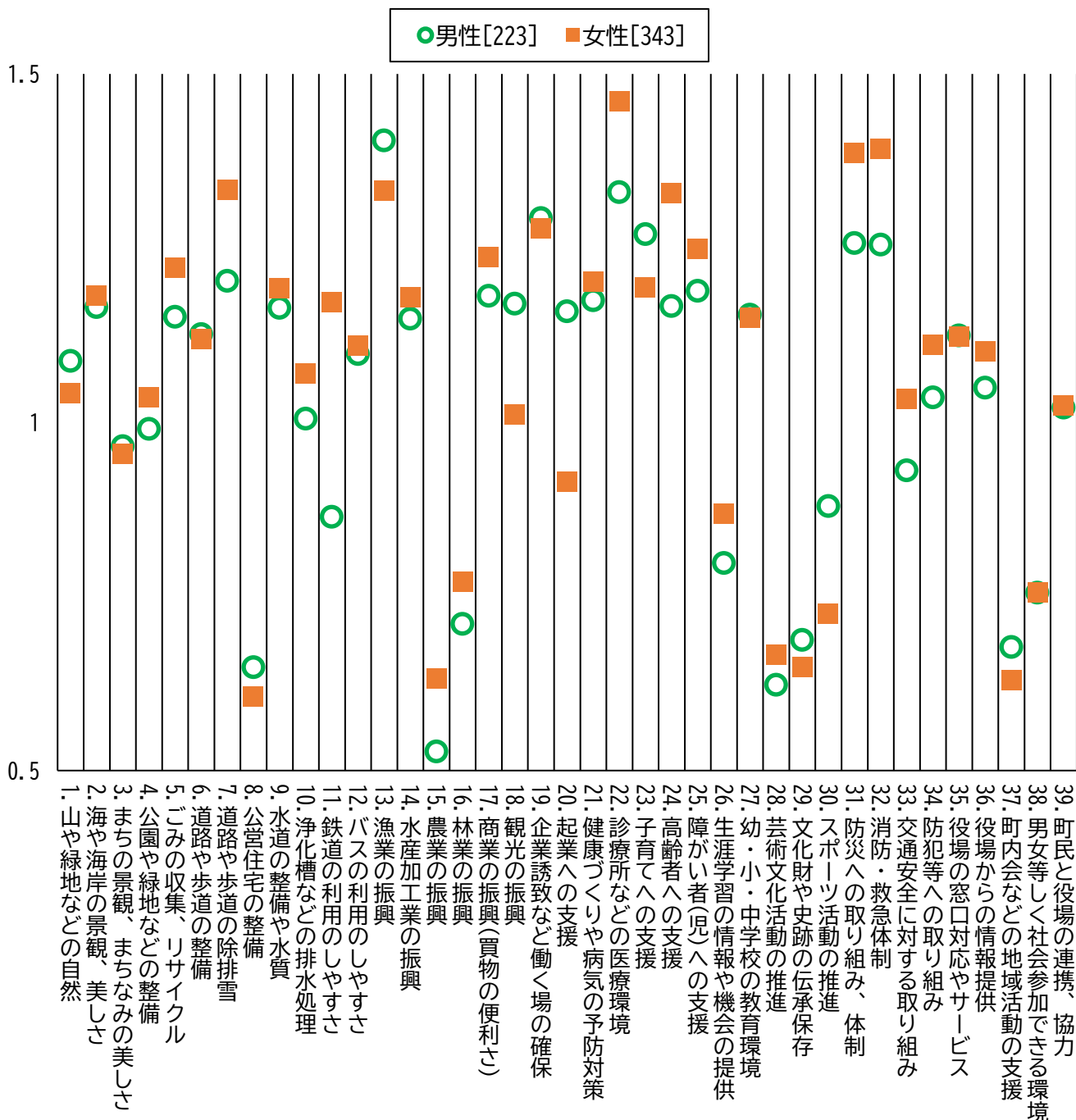


- 年代別で見ると、80代以上の満足度が最も高い項目が多く、39項目中22項目を占めています。一方、満足度が最も低い項目が多いのは40代(39項目中10項目)です。
- 年代による差が最も大きい項目は「22. 診療所などの医療環境」(0.86ポイント差)で、「35. 役場の窓口対応やサービス」(0.75ポイント差)、「3. まちの景観、まちなみの美しさ」(0.70ポイント差)と続きます。



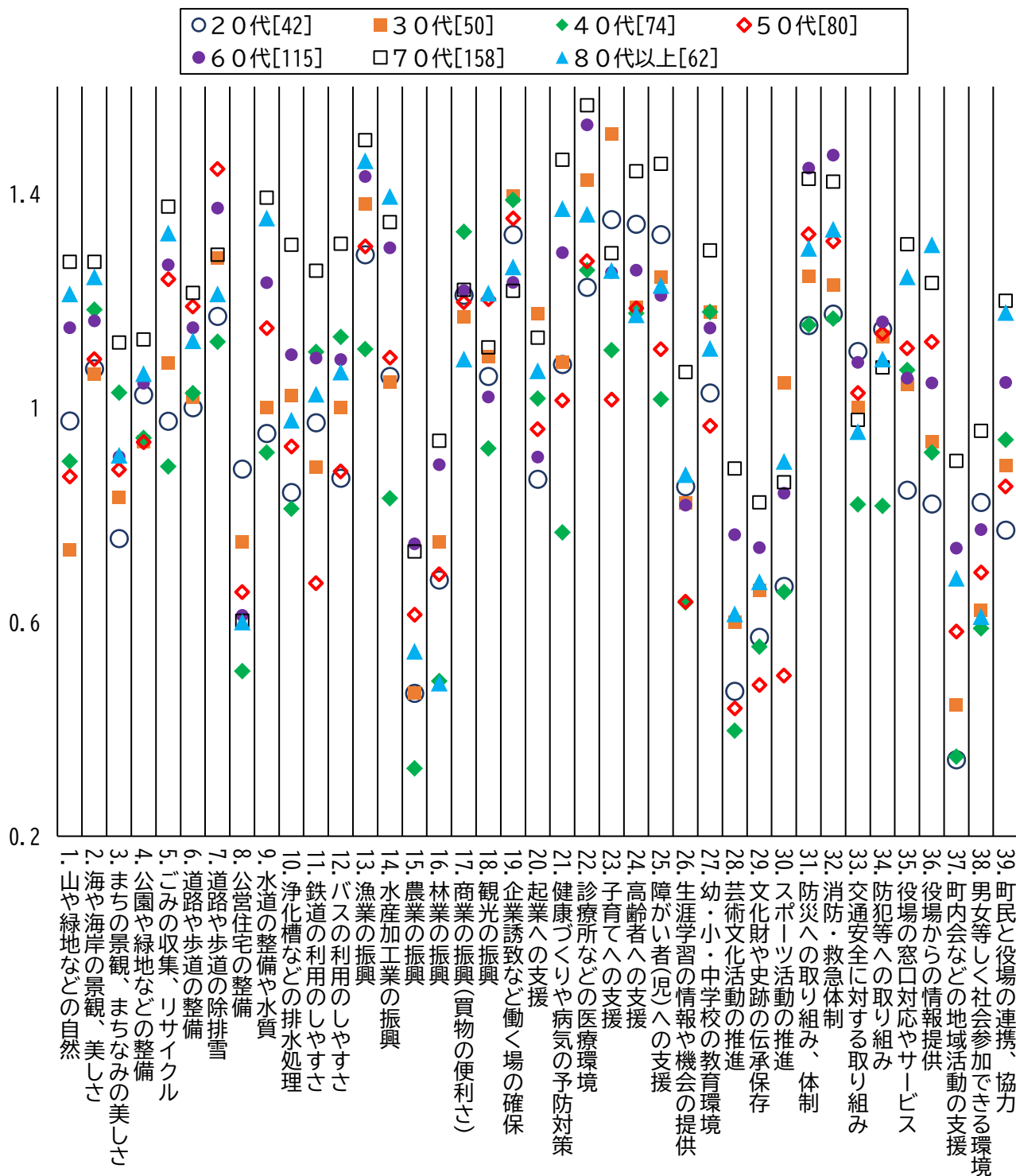
<加重平均での比較(重要度の属性別比較)>

- 性別で見ると、39項目中、男性の方が高い項目は14項目、女性の方が高い項目は25項目で、女性の方が重要度が高い項目が多くなっています。
- 男性と女性で差がめだつ項目は、「11. 鉄道の利用のしやすさ」(0.31ポイント差)、「20. 起業への支援」(0.24ポイント差)、「18. 観光の振興」や「24. 高齢者への支援」(0.16ポイント差)などで、11と24は女性、18と20は男性の方が、それぞれ高くなっています。





- 年代別でみると、70代の重要度が最も高い項目が多く、39項目中24項目を占めています。
- 年代による差が最も大きい項目は「21. 健康づくりや病気の予防対策」(0.70ポイント差)で、「11. 鉄道の利用のしやすさ」(0.58ポイント差)、「14. 水産加工業の振興」と「37. 町内会などの地域活動の支援」(0.56ポイント差)と続きます。



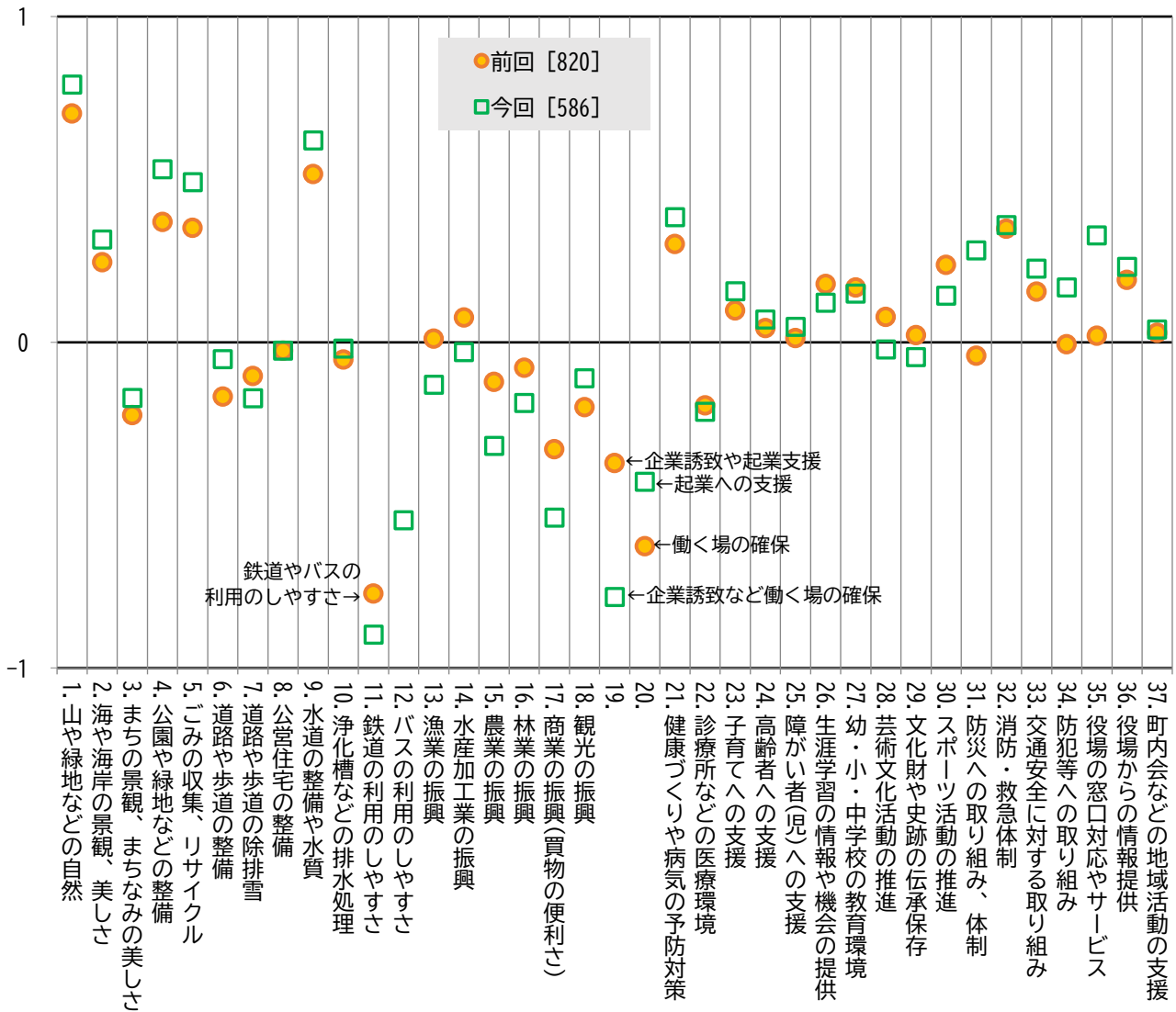


【満足度】

○(選択肢の表現・内容が一部異なるものもありますが)前回のアンケート結果と比較できる37項目を比較すると、直接的な比較が可能な33項目※のうち、前回よりも満足度が高くなったのは21項目、低くなったのは12項目です。

○前回と差がある項目は、「31. 防災への取り組み、体制」(0.39ポイント差)、「35. 役場の窓口対応やサービス」(0.37ポイント差)、「15. 農業の振興」(0.24ポイント差)などで、「15. 農業の振興」は前回よりも満足度が低くなり、「31. 防災への取り組み、体制」と「35. 役場の窓口対応やサービス」は前回よりも満足度が高くなっています。

※下のグラフの37項目の中で、11、12、19、20を除いた33項目です。



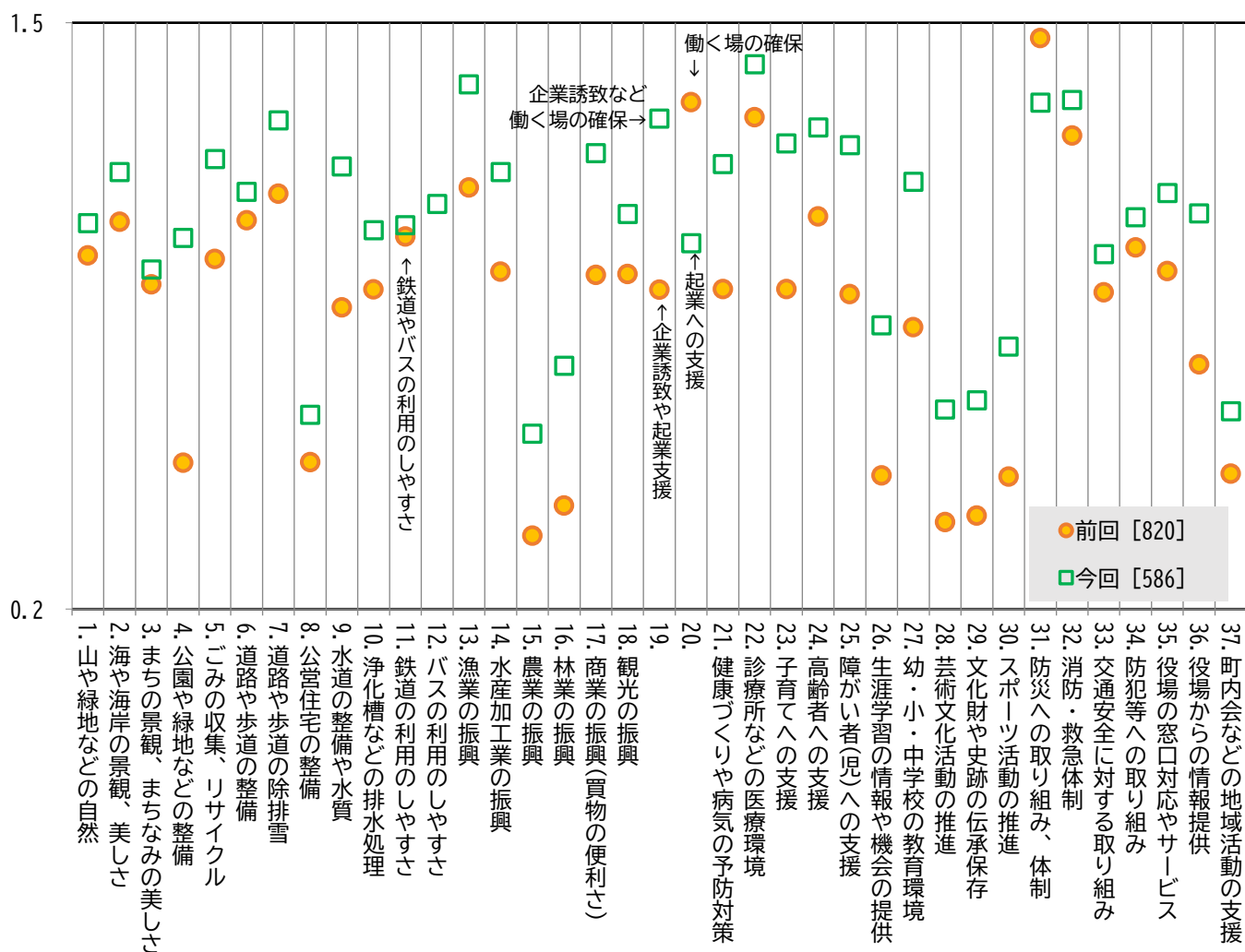
「前回(左の列)」と「今回(右の列)」を比べた結果、数値が高い方をあみかけ(■)にしています。  
 ★は選択肢の内容がやや異なるため直接的な比較は難しいものの、参考のために掲載している項目です。

前回の選択肢	満足度	今回の選択肢	満足度
山や緑地などの自然	0.84	1.山や緑地などの自然	0.95
海や海岸の景観、美しさ	0.29	2.海や海岸の景観、美しさ	0.38
まちの景観、まちなみの美しさ	-0.27	3.まちの景観、まちなみの美しさ	-0.21
公園の整備	0.44	4.公園や緑地などの整備	0.64
ごみの収集・リサイクル	0.42	5.ごみの収集、リサイクル	0.59
道路や歩道の整備	-0.20	6.道路や歩道の整備	-0.06
道路や歩道の除排雪	-0.12	7.道路や歩道の除排雪	-0.21
公営住宅の整備	-0.03	8.公営住宅の整備	-0.03
水道の整備や水質	0.62	9.水道の整備や水質	0.74
浄化槽などの排水処理	-0.06	10.浄化槽などの排水処理	-0.02
★鉄道やバスの利用のしやすさ	-0.93	★11.鉄道の利用のしやすさ	-1.08
		★12.バスの利用のしやすさ	-0.66
漁業の振興	0.01	13.漁業の振興	-0.16
水産加工業の振興	0.09	14.水産加工業の振興	-0.04
農業の振興	-0.15	15.農業の振興	-0.38
林業の振興	-0.09	16.林業の振興	-0.22
商業の振興(買い物の便利さ)	-0.39	17.商業の振興(買物の便利さ)	-0.65
観光の振興	-0.24	18.観光の振興	-0.13
★企業誘致や起業支援	-0.45	★19.企業誘致など働く場の確保	-0.94
★働く場の確保	-0.75	★20.起業への支援	-0.51
健康づくりや病気の予防対策	0.36	21.健康づくりや病気の予防対策	0.46
病院・診療所などの医療環境	-0.23	22.診療所などの医療環境	-0.26
子育て支援	0.12	23.子育てへの支援	0.19
高齢者支援	0.05	24.高齢者への支援	0.08
障がい者(児)支援	0.02	25.障がい者(児)への支援	0.06
生涯学習の情報や機会の提供	0.21	26.生涯学習の情報や機会の提供	0.15
幼・小・中学校の教育環境	0.20	27.幼・小・中学校の教育環境	0.18
芸術文化活動の推進	0.09	28.芸術文化活動の推進	-0.03
文化財や史跡の伝承保存	0.03	29.文化財や史跡の伝承保存	-0.05
スポーツ活動の推進	0.29	30.スポーツ活動の推進	0.17
自然災害などに対する防災体制	-0.05	31.防災への取り組み、体制	0.34
消防・救急体制	0.42	32.消防・救急体制	0.43
交通安全に対する取り組み	0.19	33.交通安全に対する取り組み	0.27
防犯、悪質商法などへの取り組み	-0.01	34.防犯等への取り組み	0.20
役場の窓口対応やサービス	0.02	35.役場の窓口対応やサービス	0.39
広報活動(役場からの情報提供)	0.23	36.役場からの情報提供	0.28
町内会などの地域活動	0.03	37.町内会などの地域活動の支援	0.05

【重要度】

- (選択肢の表現・内容が一部異なるものもありますが)前回のアンケート結果と比較できる37項目を比較すると、直接的な比較が可能な33項目\*のうち、前回よりも重要度が高くなったのは32項目で、低くなったのは「31. 防災への取り組み、体制」のみです。
- (選択肢の表現・内容が一部異なるものもありますが)前回のアンケート結果と比較できる37項目を比較すると、前回と差がある項目は、「4. 公園や緑地などの整備」(0.50ポイント差)、「25. 障がい者(児)への支援」「26. 生涯学習の情報や機会の提供」「36. 役場からの情報提供」(3つとも0.33ポイント差)などで、いずれも前回よりも重要度が高くなっています。

※下のグラフの37項目の中で、11、12、19、20を除いた33項目です。



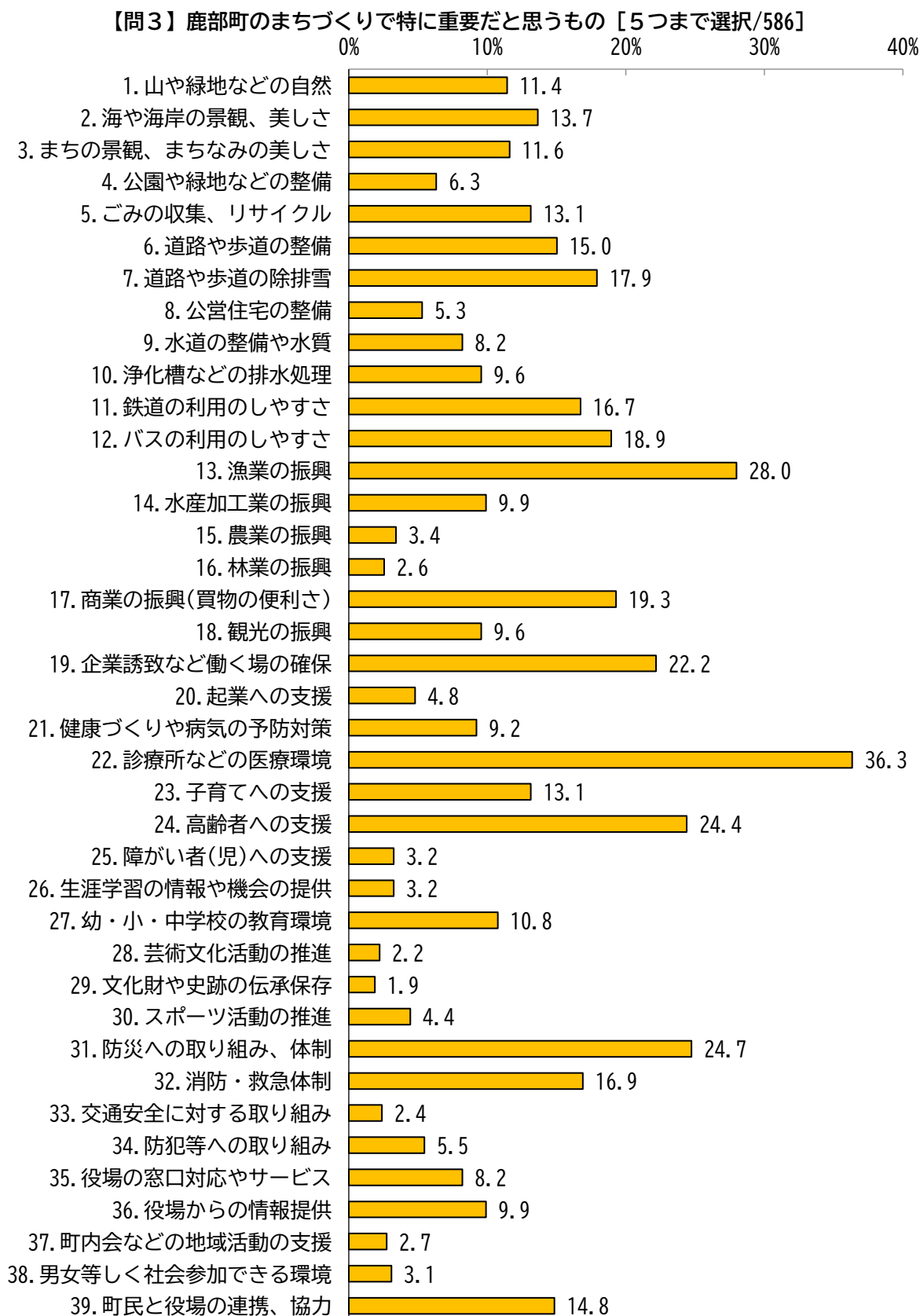
「前回(左の列)」と「今回(右の列)」を比べた結果、数値が高い方をあみかけ(■)にしています。  
 ★は選択肢の内容がやや異なるため直接的な比較は難しいものの、参考のために掲載している項目です。

前回の選択肢	重要度	今回の選択肢	重要度
山や緑地などの自然	0.98	1.山や緑地などの自然	1.06
海や海岸の景観、美しさ	1.06	2.海や海岸の景観、美しさ	1.17
まちの景観、まちなみの美しさ	0.92	3.まちの景観、まちなみの美しさ	0.95
公園の整備	0.52	4.公園や緑地などの整備	1.02
ごみの収集・リサイクル	0.98	5.ごみの収集、リサイクル	1.20
道路や歩道の整備	1.06	6.道路や歩道の整備	1.12
道路や歩道の除排雪	1.12	7.道路や歩道の除排雪	1.28
公営住宅の整備	0.53	8.公営住宅の整備	0.63
水道の整備や水質	0.87	9.水道の整備や水質	1.18
浄化槽などの排水処理	0.91	10.浄化槽などの排水処理	1.04
★鉄道やバスの利用のしやすさ	1.03	★11.鉄道の利用のしやすさ	1.05
		★12.バスの利用のしやすさ	1.10
漁業の振興	1.13	13.漁業の振興	1.36
水産加工業の振興	0.95	14.水産加工業の振興	1.17
農業の振興	0.36	15.農業の振興	0.59
林業の振興	0.43	16.林業の振興	0.74
商業の振興(買い物の便利さ)	0.94	17.商業の振興(買物の便利さ)	1.21
観光の振興	0.94	18.観光の振興	1.08
★企業誘致や起業支援	0.91	★19.企業誘致など働く場の確保	1.29
★働く場の確保	1.32	★20.起業への支援	1.01
健康づくりや病気の予防対策	0.91	21.健康づくりや病気の予防対策	1.19
病院・診療所などの医療環境	1.29	22.診療所などの医療環境	1.41
子育て支援	0.91	23.子育てへの支援	1.23
高齢者支援	1.07	24.高齢者への支援	1.27
障がい者(児)支援	0.90	25.障がい者(児)への支援	1.23
生涯学習の情報や機会の提供	0.50	26.生涯学習の情報や機会の提供	0.83
幼・小・中学校の教育環境	0.82	27.幼・小・中学校の教育環境	1.15
芸術文化活動の推進	0.39	28.芸術文化活動の推進	0.64
文化財や史跡の伝承保存	0.41	29.文化財や史跡の伝承保存	0.66
スポーツ活動の推進	0.49	30.スポーツ活動の推進	0.78
自然災害などに対する防災体制	1.47	31.防災への取り組み、体制	1.32
消防・救急体制	1.25	32.消防・救急体制	1.33
交通安全に対する取り組み	0.90	33.交通安全に対する取り組み	0.99
防犯、悪質商法などへの取り組み	1.00	34.防犯等への取り組み	1.07
役場の窓口対応やサービス	0.95	35.役場の窓口対応やサービス	1.12
広報活動(役場からの情報提供)	0.74	36.役場からの情報提供	1.08
町内会などの地域活動	0.50	37.町内会などの地域活動の支援	0.64

### 問3-1 鹿部町のまちづくりで特に重要だと思うもの

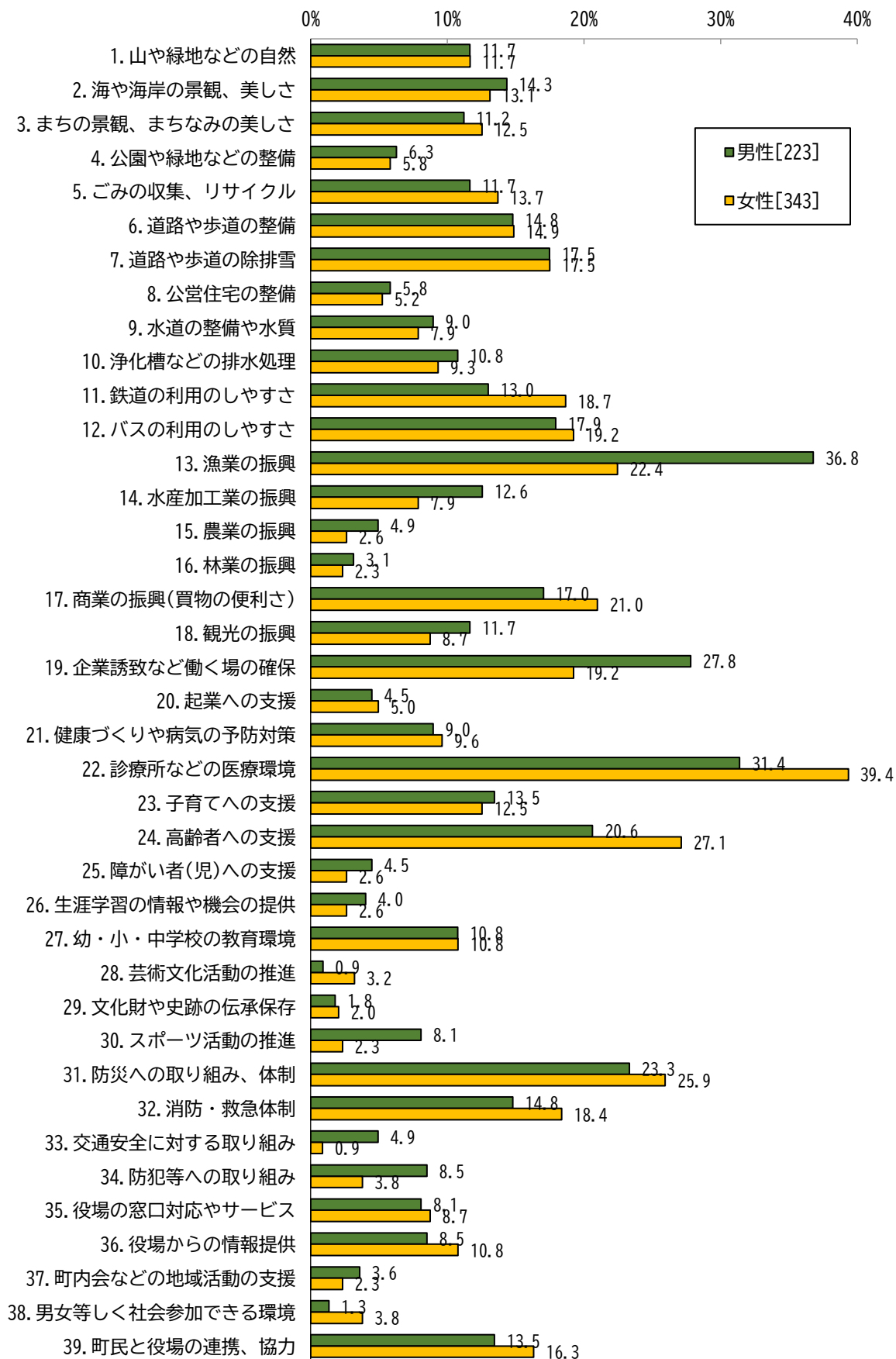
1~39の内容の中で、今後、鹿部町のまちづくりで特に重要だと思うものを選んでください。(5つまで)

○「22.診療所などの医療環境」(36.3%)と最も高く、「13.漁業の振興」(28.0%)、「31.防災への取り組み、体制」(24.7%)、「24.高齢者への支援」(24.4%)が続きます。



- 性別で見ると、男性は「13. 漁業の振興」、女性は「22. 診療所などの医療環境」が最も高く、いずれも男女で差がめだちます。
- 「19. 企業誘致など働く場の確保」や「30. スポーツ活動の推進」は男性、「11. 鉄道の利用のしやすさ」や「24. 高齢者への支援」は女性の回答率が高く、男女で差がめだちます。

問3 鹿部町のまちづくりで特に重要だと思うもの [5つまで選択/性別]





<属性別の回答結果(上位5位までの順位)>

●年代別に回答率が高い順番を比較すると、20代は「23. 子育てへの支援」、30・40代は「13. 漁業の振興」、50代は「7. 道路や歩道の除排雪」と「22. 診療所などの医療環境」、60・70代は「22. 診療所などの医療環境」、80代以上は「24. 高齢者への支援」が最も高くなっています。

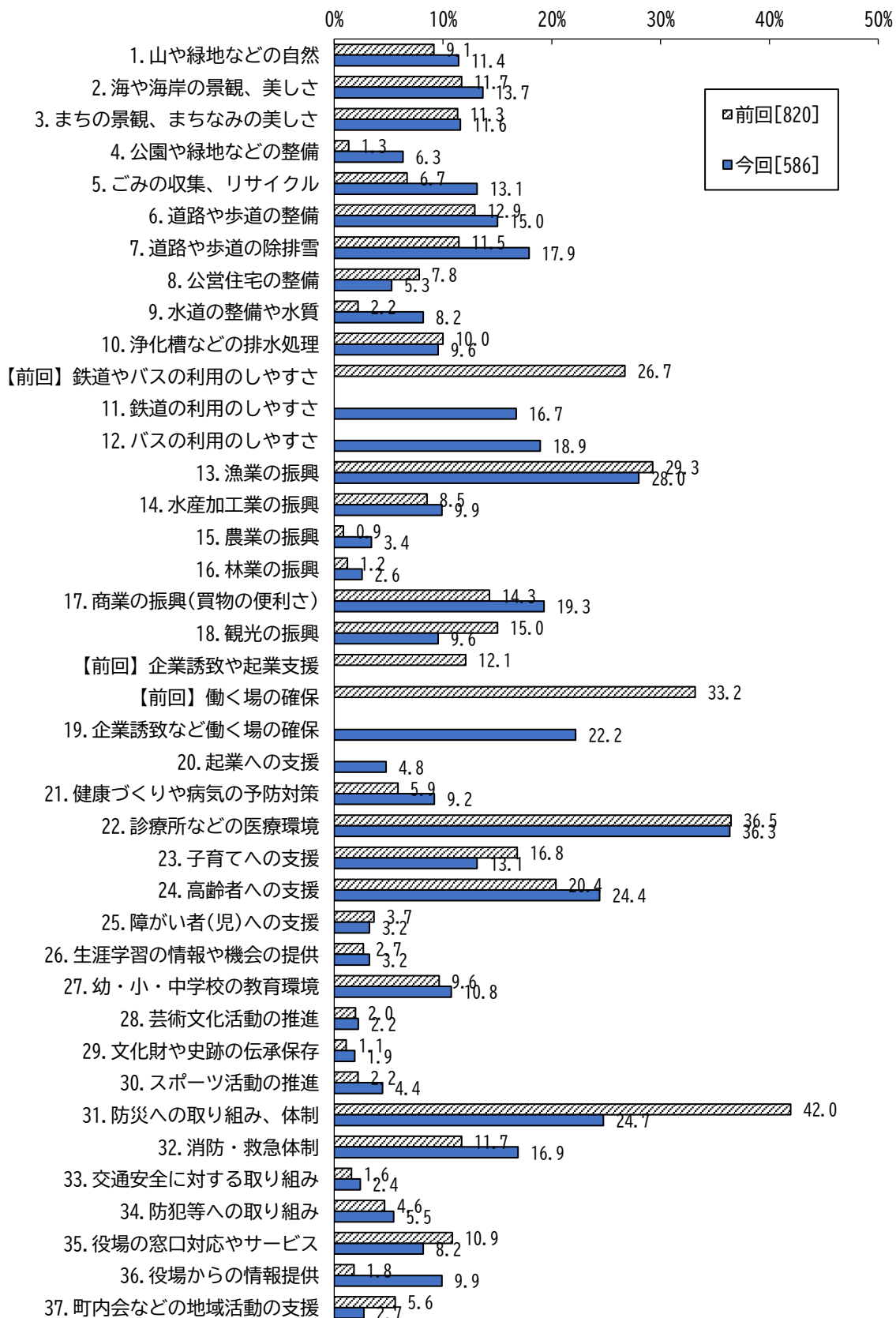
	1位	2位	3位	4位	5位
20代 [42]	23. 子育てへの支援	13. 漁業の振興	19. 企業誘致など働く場の確保 27. 幼・小・中学校の教育環境		2. 海や海岸の景観、美しさ 7. 道路や歩道の除排雪 22. 診療所などの医療環境
	31.0%	28.6%	26.2 (同率) %		23.8 (同率) %
30代 [50]	13. 漁業の振興	19. 企業誘致など働く場の確保	22. 診療所などの医療環境	17. 商業の振興 (買物の便利さ)	23. 子育てへの支援
	42.0%	36.0%	34.0%	30.0%	28.0%
40代 [74]	13. 漁業の振興	19. 企業誘致など働く場の確保 22. 診療所などの医療環境		2. 海や海岸の景観、美しさ	12. バスの利用のしやすさ 31. 防災への取り組み、体制
	41.9%	31.1 (同率) %		27.0%	25.7 (同率) %
50代 [80]	7. 道路や歩道の除排雪 22. 診療所などの医療環境		13. 漁業の振興 31. 防災への取り組み、体制		19. 企業誘致など働く場の確保 24. 高齢者への支援
	32.5 (同率) %		31.3 (同率) %		26.3 (同率) %
60代 [115]	22. 診療所などの医療環境	31. 防災への取り組み、体制	13. 漁業の振興	24. 高齢者への支援	32. 消防・救急体制
	41.7%	28.7%	26.1%	24.3%	22.6%
70代 [158]	22. 診療所などの医療環境	24. 高齢者への支援	12. バスの利用のしやすさ	31. 防災への取り組み、体制	11. 鉄道の利用のしやすさ
	42.4%	25.9%	25.3%	22.8%	20.3%
80代以上 [62]	24. 高齢者への支援	22. 診療所などの医療環境	31. 防災への取り組み、体制	13. 漁業の振興	32. 消防・救急体制 39. 町民と役場の連携、協力 39. 町民と役場の連携、協力
	37.1%	32.3%	27.4%	25.8%	24.2 (同率) %

## 前回との比較

○(選択肢の表現・内容が一部異なるものもありますが)前回のアンケート結果と比較できる37項目を比較すると、直接的な比較が可能な33項目\*のうち、前回よりも高くなったのは23項目、低くなったのは10項目です。 ※下のグラフの37項目の中で、11、12、19、20を除いた33項目です。

○前回との差が大きい項目は、「31. 防災への取り組み、体制」(前回よりも17.2ポイント減少)、「36. 役場からの情報提供」(前回より8.1ポイント増加)などです。

問3-1 鹿部町のまちづくりで特に重要だと思うもの(前回との比較/比較できる項目のみ)





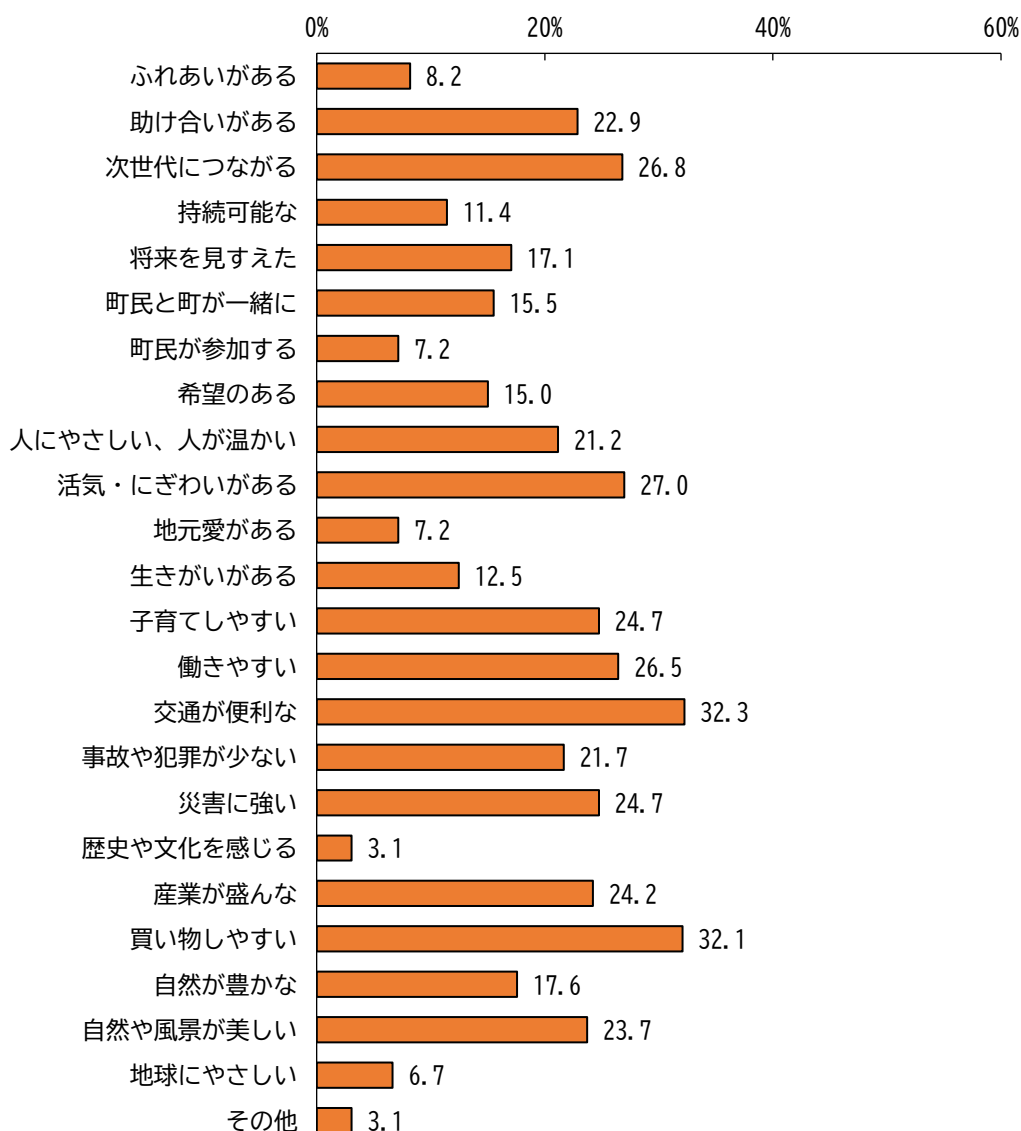
#### 問4 これからのまちづくりで特に必要と思う言葉

これからの鹿部町のまちづくりに特に必要と思う「言葉(キーワード)」を選んでください。(5つまで)

○「交通が便利な」(32.3%)が最も高く、「買い物しやすい」(32.1%)が続きます。

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
交通が便利な	買い物しやすい	活気・にぎわいがある	次世代につながる	働きやすい	子育てしやすい	災害に強い	産業が盛んな	自然や風景が美しい	助け合いがある
32.3%	32.1%	27.0%	26.8%	26.5%	24.7% (同率)	24.2%	24.2%	23.7%	22.9%

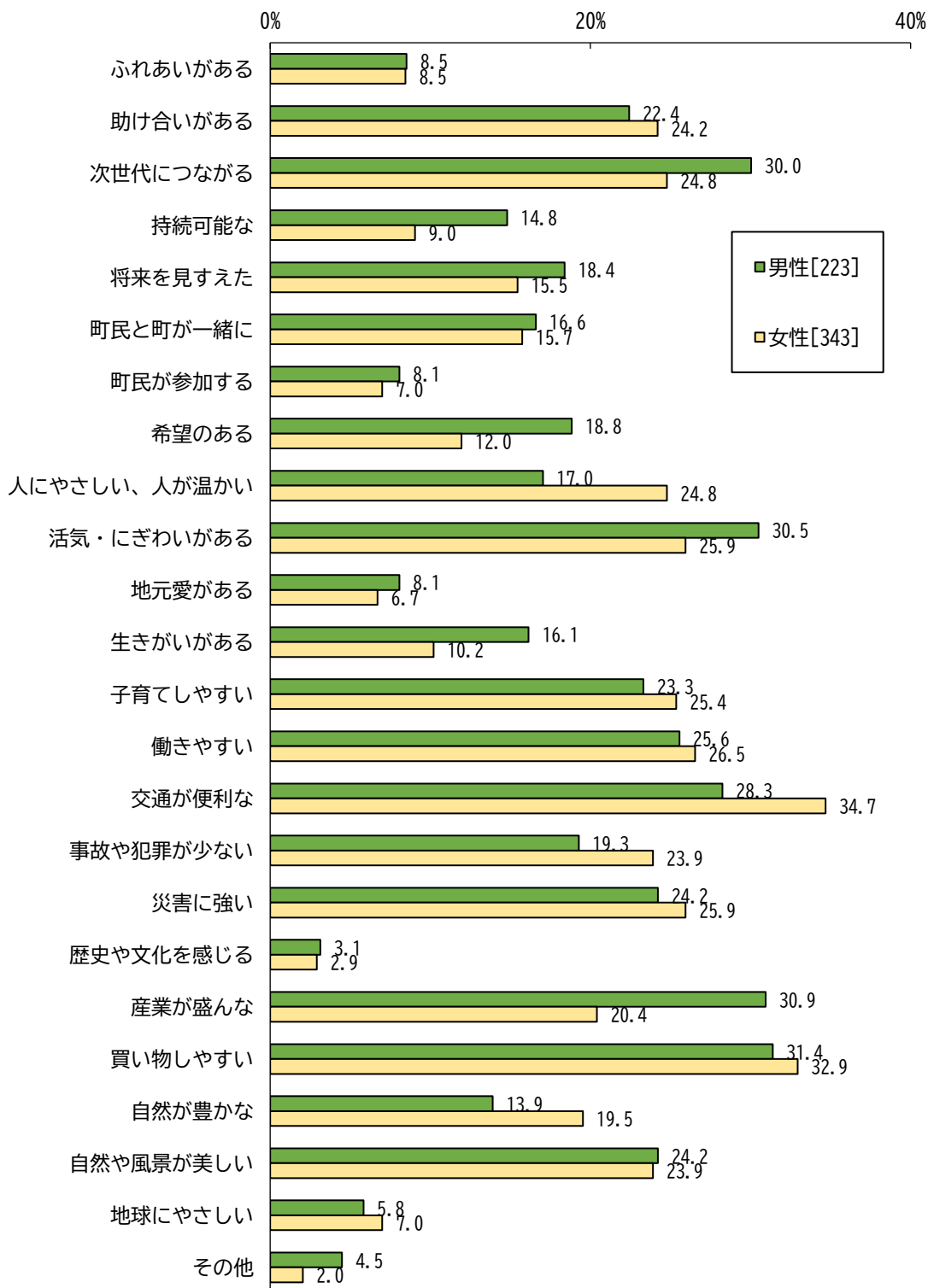
問4 これからのまちづくりで特に必要と思う言葉（5つまで選択） [586]



【「その他」の内容】おもしろい町 ゴミのない リスペクトが有る 人を大切にする気持ち 学ぶ気持ち 変化への対応 高齢者優先 外部の発信ストーリー作り 地球に優しいを超えて、「地球を守る」という視点(鹿部の漁獲量が落ちていることに海水温の上昇や地球温暖化、異常気象が関係していると考え。であれば、せめて漁業の町「鹿部」として、CO<sub>2</sub>削減に向けての明確な方向性を打ち出してはどうでしょうか。) 地産地消 町並みがきれい 文化施設・図書館(室)の整備推進。医療介護 医療施設の充実 温泉施設町民交流 温泉又は銭湯 観光事業

- 性別で見ると、男性は「買い物しやすい」、女性は「交通が便利」が最も高くなっています。
- 「次世代につながる」「持続可能な」「希望のある」「産業が盛んな」は男性、「人にやさしい、人が温かい」「交通が便利」「自然が豊かな」は女性の回答率が高く、男女で差がめだちます。

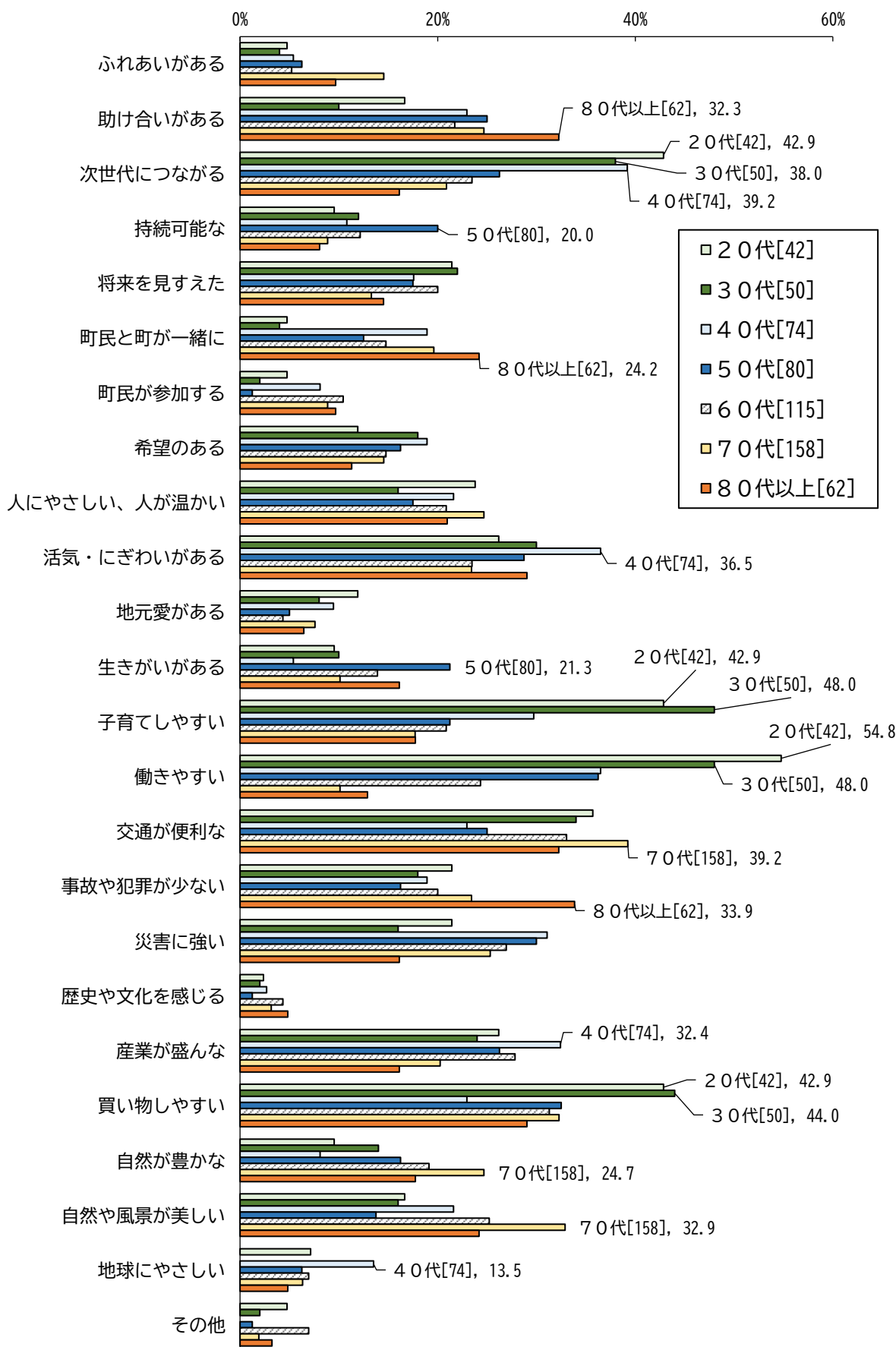
問4 これからのまちづくりで特に必要と思う言葉（5つまで選択/性別）



●年代別で見ると、20代と50代は「働きやすい」、30代は「子育てしやすい」と「働きやすい」(同率)、40代は「次世代につながる」、60・70代は「交通が便利」、80代以上は「事故や犯罪が少ない」が最も高くなっています。

●各項目で、特に回答率が高かった年代とその数値(%)は、下のグラフに示したとおりです。

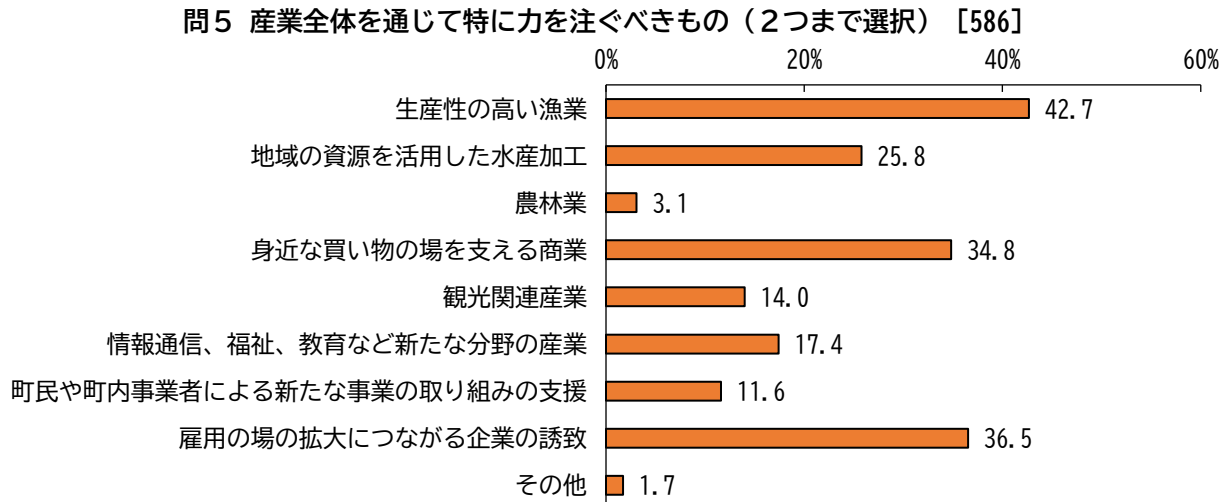
問4 これからのまちづくりで特に必要と思う言葉 (5つまで選択/年代別)



## 問5 産業全体を通じて特に力を注ぐべきもの

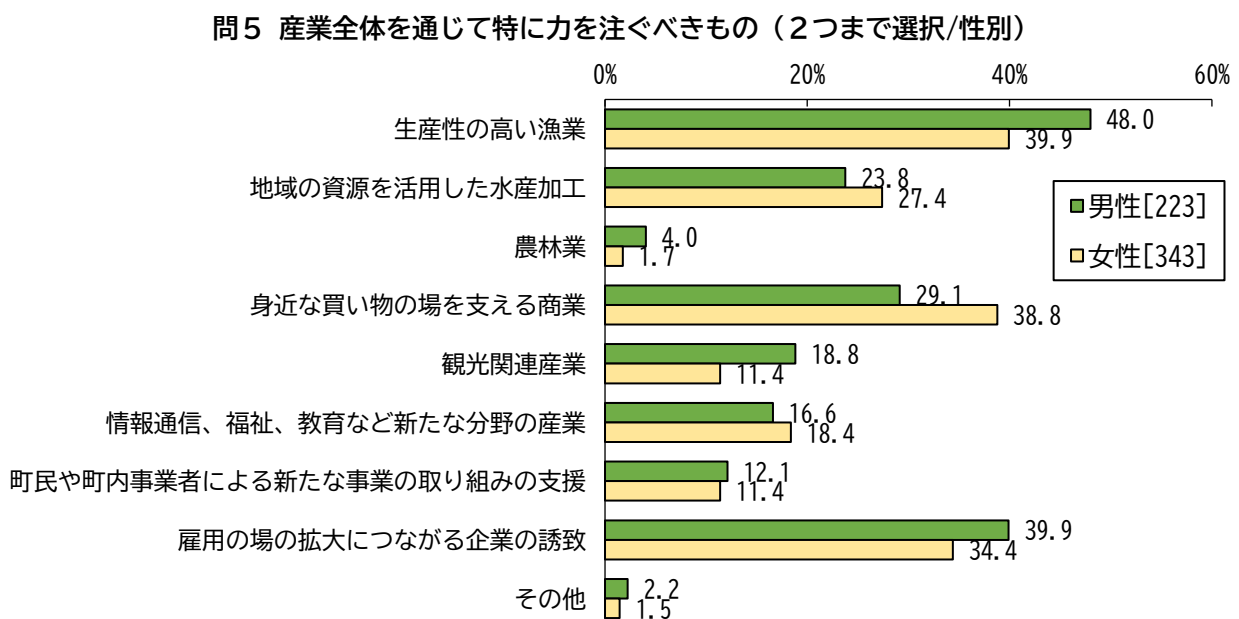
鹿部町の産業全体を通じて、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。(2つまで選んで○)

○「生産性の高い漁業」(42.7%)が最も高く、「雇用の場の拡大につながる企業の誘致」(36.5%)、「身近な買い物の場を支える商業」(34.8%)と続きます。



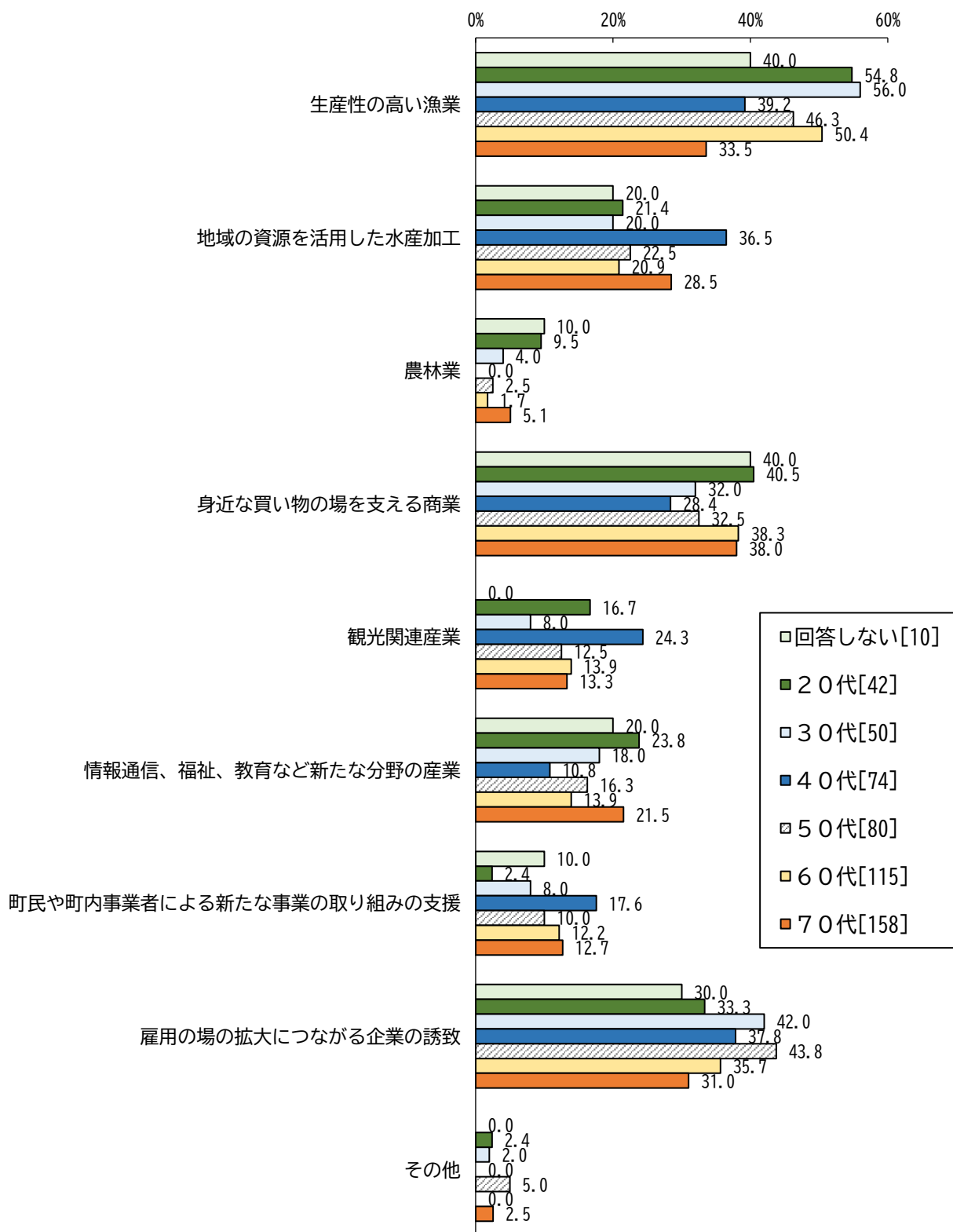
【「その他」の内容】温泉等活用した農業の取り組み(ex七飯山根さん) 旧鹿部ロイヤルホテルの再活用 恵山のハウス農業(イチゴ?)の様なコストパフォーマンスの良い事業 市場で町外の人が簡単に買い物出来る様に 地域の資源を活用した農業 地熱発電 町内事業者による雇用の場の拡大

- 性別でみると、男女ともに「生産性の高い漁業」が最も高いですが、第2位については、男性は「雇用の場の拡大につながる企業の誘致」、女性は「身近な買い物の場を支える商業」です。
- 「生産性の高い漁業」「観光関連産業」「雇用の場の拡大につながる企業の誘致」は男性、「身近な買い物の場を支える商業」は女性の回答率が高く、差がめだちます。



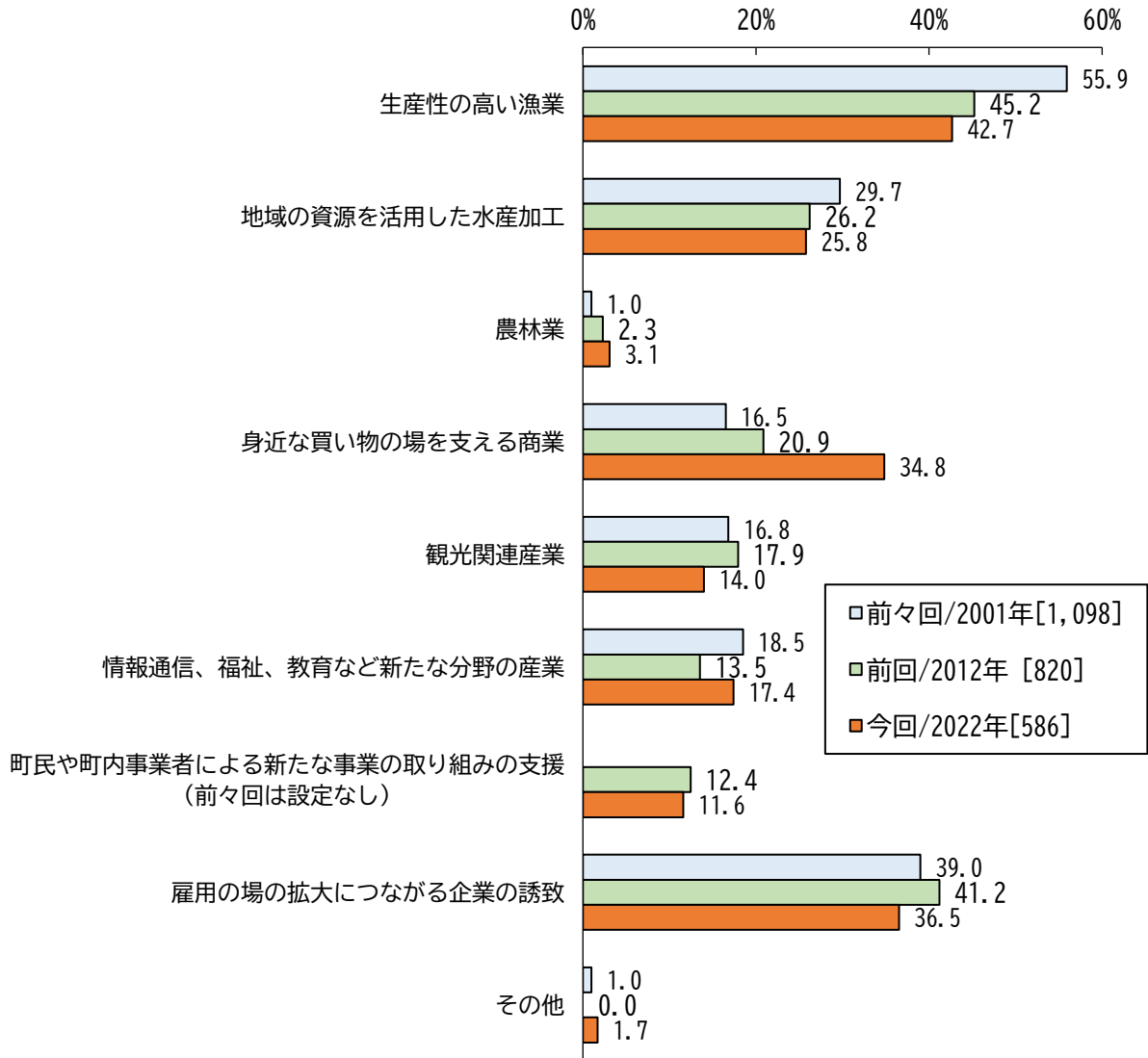
- 年代別で見ると、60代以下の年代は「生産性の高い漁業」、70代は「身近な買い物の場を支える商業」、80代以上は「雇用の場の拡大につながる企業の誘致」が最も高くなっています。
- 「地域の資源を活用した水産加工」や「観光関連産業」は40代の回答率が高く、他の年代との差がめだちます。

問5 産業全体を通じて特に力を注ぐべきもの（2つまで選択/年代別）



- 前々回、前回、今回ともに「生産性の高い漁業」が第1位、「雇用の場の拡大につながる企業の誘致」が第2位ですが、「生産性の高い漁業」の回答率は、徐々に下がっています。
- 「身近な買い物の場を支える商業」は徐々に高まっており、今回特に回答率が高まっています。

問5 産業全体を通じて特に力を注ぐべきもの（前々回、前回との比較）

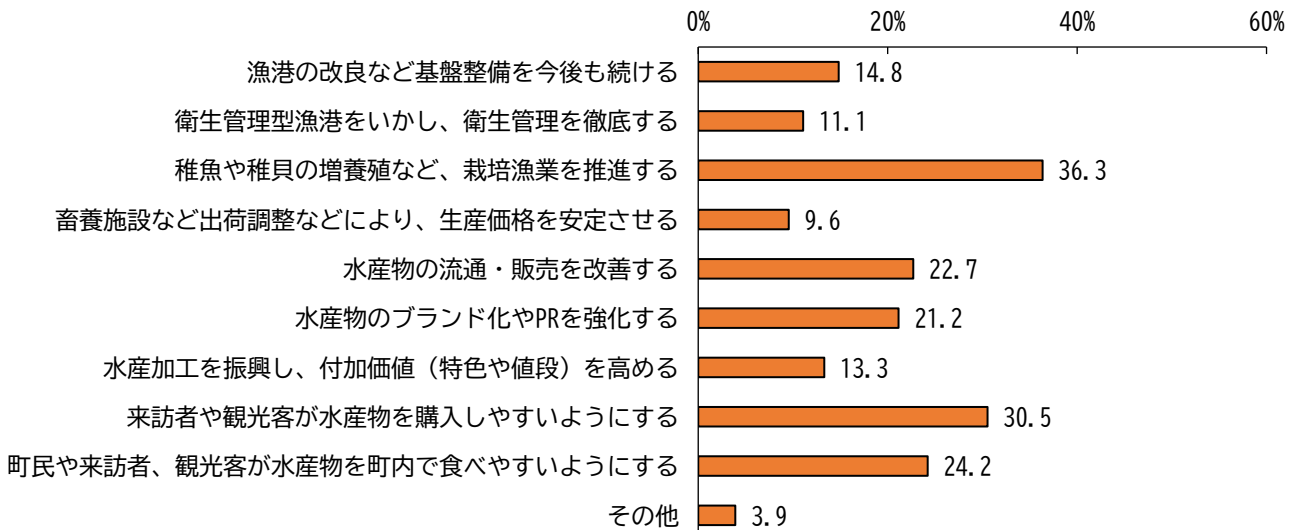


## 問6 水産業について、特に力を注ぐべきもの

鹿部町の水産業について、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。(2つまで選んで○)

○「稚魚や稚貝の増養殖など、栽培漁業を推進する」(36.3%)が最も高く、「来訪者や観光客が水産物を購入しやすいようにする」(30.5%)、「町民や来訪者、観光客が水産物を町内で食べやすいようにする」(24.2%)が続きます。

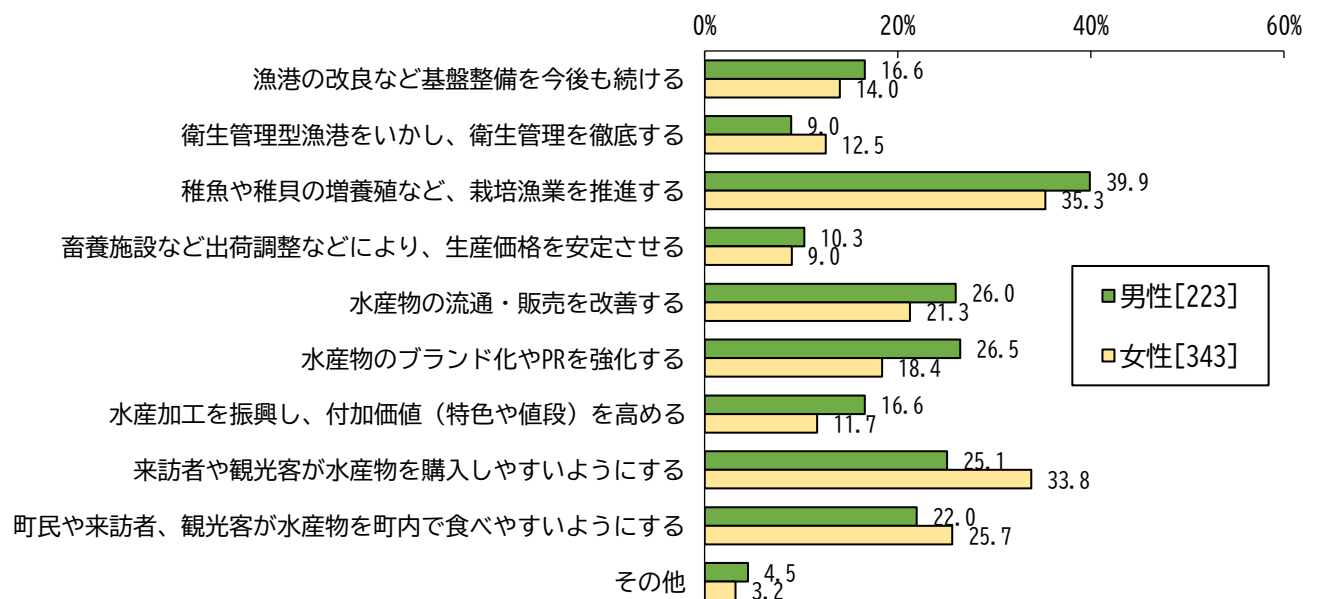
問6 水産業について、特に力を注ぐべきもの（2つまで選択） [586]



【「その他」の内容】天然の海産物が育つよう、海岸や漁場の整備に注力する 大規模漁業、株式会社化の推進 ゴミ投棄をしない。ゴミを回収する清潔な漁港・漁場を！！自分たちの職場を荒らさないマインドの醸成 自分達の海築港を大切に。汚さない！道路にゴミ(網等)あきらかに漁業者だと思われる。海をきれいにしなくては漁業は成り立たない(幼い時からの躰) 歩く所ゴミだらけ年に何か掃除の方がいい 畜養施設をつくる。ニジマス(トラウトサーモン)等を育て販売する 加工場だけもうけがあるが、漁師から安く買いつり、問題は大きい 海の資源回収への取り組み 漁業従事者の知識向上意識改革 たこほっけだけでなくホタテなど様々な魚を販売してほしい 高品質の魚貝類を安価で色々な人に食べてもらう。仲買だけが儲かるのはだめだ。浜値は下げないが、消費者に安く提供 資源管理 台所に直結した活きのよい魚類購入に努力すべきと思う 8と9を両立してほしい

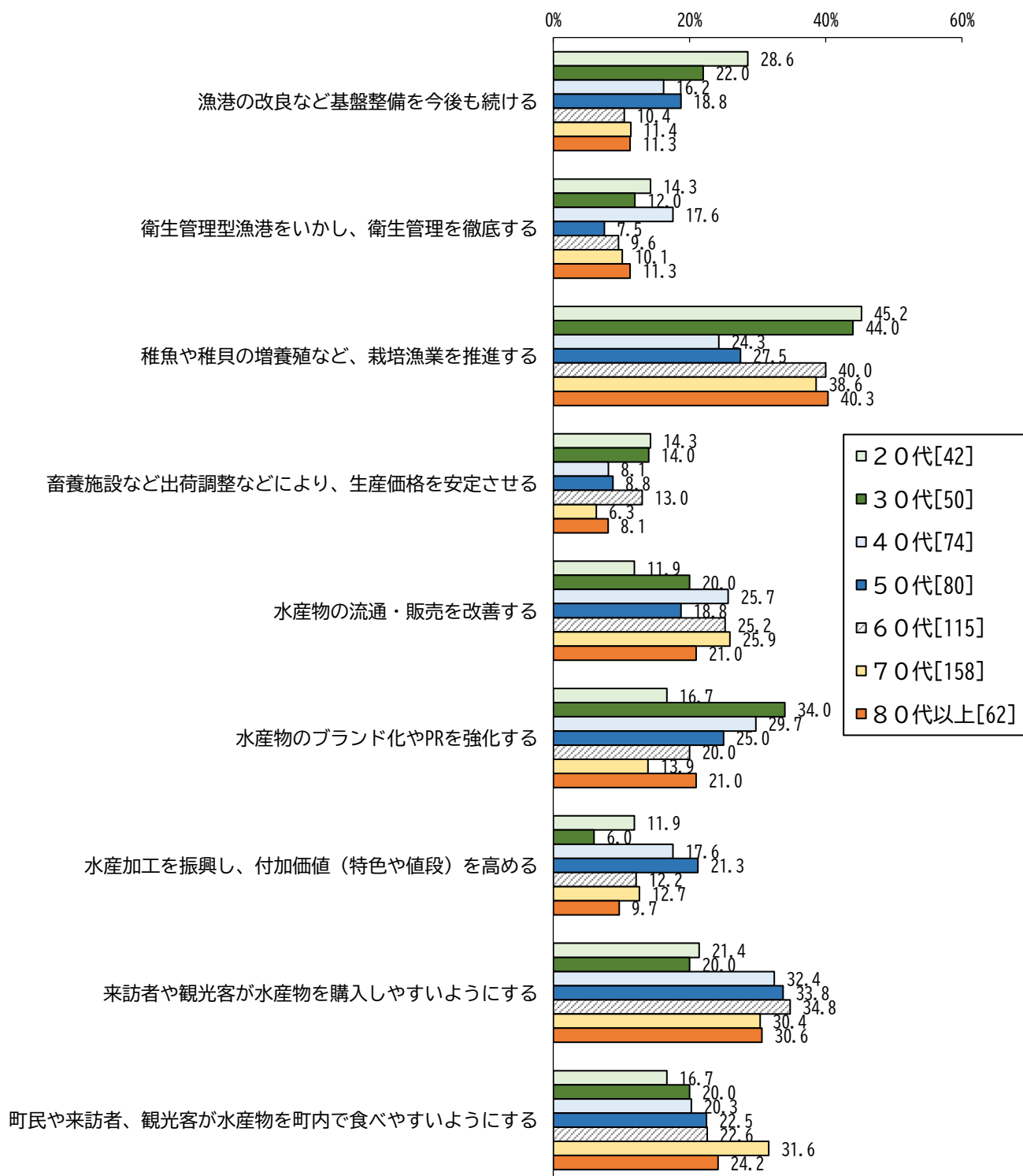
- 性別で見ると、男女とも「稚魚や稚貝の増養殖など、栽培漁業を推進する」が最も高いですが、第2位については、男性は「水産物のブランド化やPRを強化する」、女性は「来訪者や観光客が水産物を購入しやすいようにする」で、いずれも男女の差がめだちます。
- 「水産物のブランド化やPRを強化する」は男性の回答率が高く、女性との差がめだちます。

問6 水産業について、特に力を注ぐべきもの（2つまで選択/性別）



- 年代別で見ると、20・30代と60代以上は「稚魚や稚貝の増養殖など、栽培漁業を推進する」、40・50代は「来訪者や観光客が水産物を購入しやすいようにする」が最も高くなっています。
- 「漁港の改良など基盤整備を今後も続ける」は年代が低いほど回答率が高まる傾向に、「町民や来訪者、観光客が水産物を町内で食べやすいようにする」は年代が高いほど回答率が高まる傾向にあります。

問6 水産業について、特に力を注ぐべきもの2つまで選択/年代別)

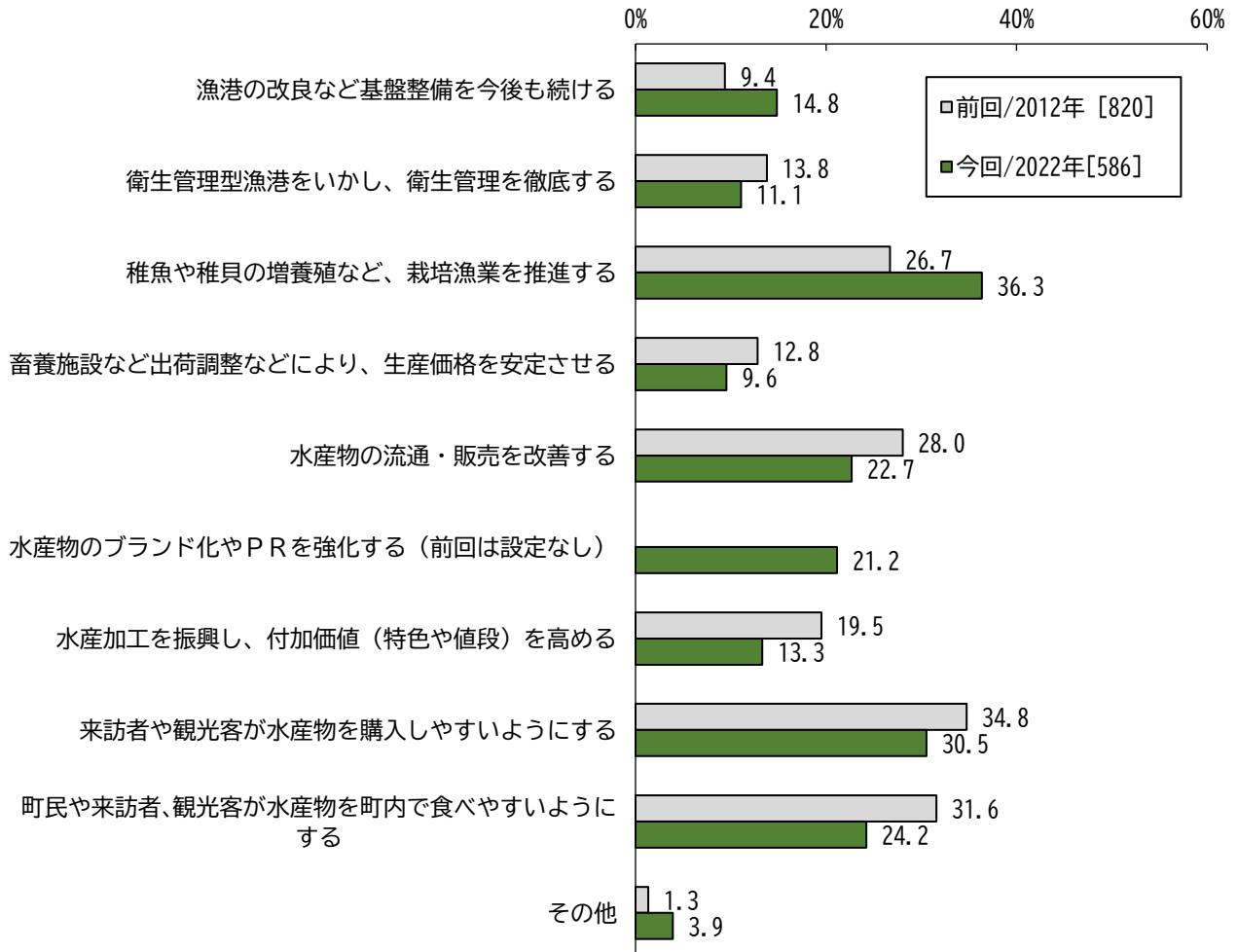




## 前回との比較

- 前は「来訪者や観光客が水産物を購入しやすいようにする」が最も高かったですが、今回は「稚魚や稚貝の増養殖など、栽培漁業を推進する」が最も高く、前回と比較して差がめだちます。
- 「漁港の改良など基盤整備を今後も続ける」と「稚魚や稚貝の増養殖など、栽培漁業を推進する」以外は、前回よりも回答率が低くなっています。

問6 水産業について、特に力を注ぐべきもの（前回との比較）

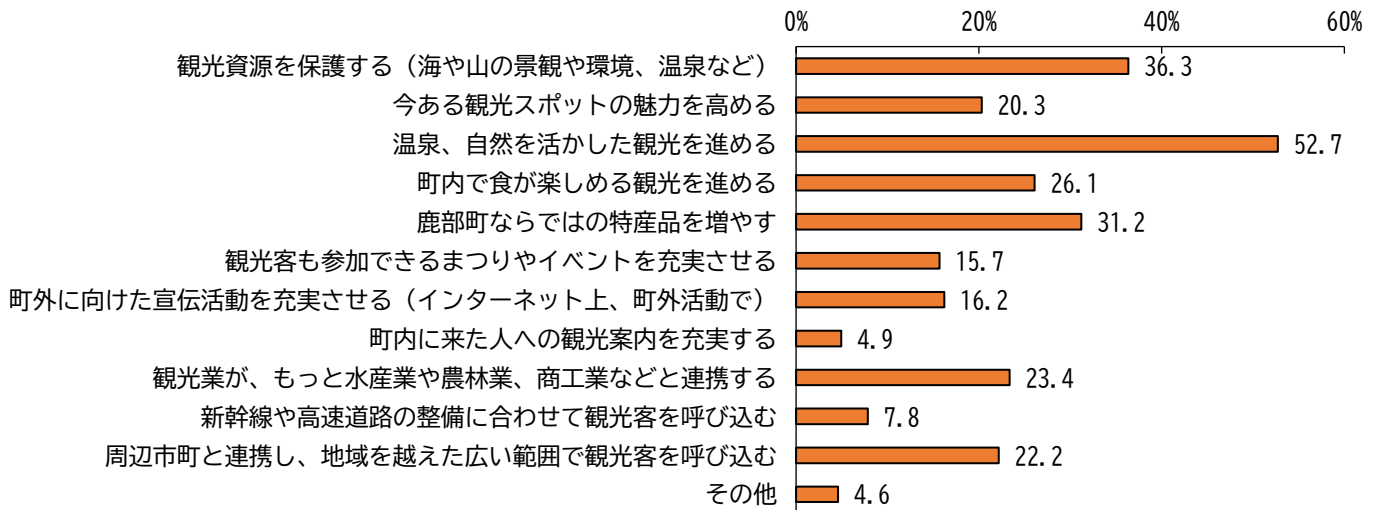


## 問7 観光・交流の振興で、特に力を注ぐべきもの

観光・交流を振興するには、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。(3つまで選んで○)

○「温泉、自然を活かした観光を進める」(52.7%)が最も高く、「観光資源を保護する(海や山の景観や環境、温泉など)」(36.3%)、「鹿部町ならではの特産品を増やす」(31.2%)と続きます。

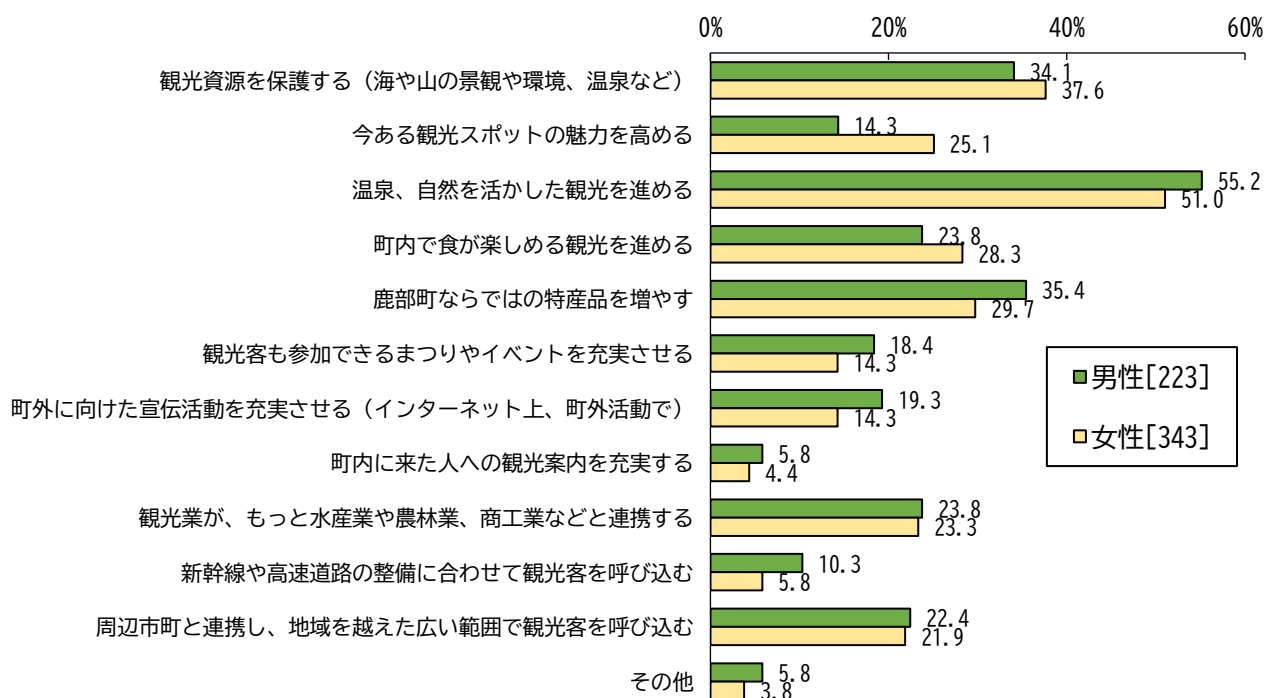
問7 観光・交流の振興で、特に力を注ぐべきもの(3つまで選択) [586]



【「その他」の内容】魅力ある観光スポットを作る。 子供も大人も楽しめるような機会を作る(観光スポット作り)。 行ってみたいくなる観光スポットを増やし、スポット間を周遊する魅力あるコースを作る。 外部から来た人にとっては、水、空気、緑(自然)、温泉も魅力。 リーズナブルな料金で泊って、自然を味わえる工夫を(リゾート内の自然、空家の活用も)。 パークゴルフセット券を作る→日帰り温泉施設を作る(町営)←寿都のゆべつの湯とか、ちゃっぷりんかん程度の規模。チマチマ小さいものでは町外の人には来ない。 ひょうたん沼名水公園鹿部公園等でのオートキャンプ場日帰温泉 温泉が自由には入れる施設を進める。 温泉の町なのに「健康ランド」が無い！1日も早く建設を！！ 温泉保護センターがあれば、年よりから子どもみなが楽しめて、町外からも入りやすい。食事できて、お土産も買えて、お酒も楽しめる場所。 海外への発信を強める。(※続きは次ページ)

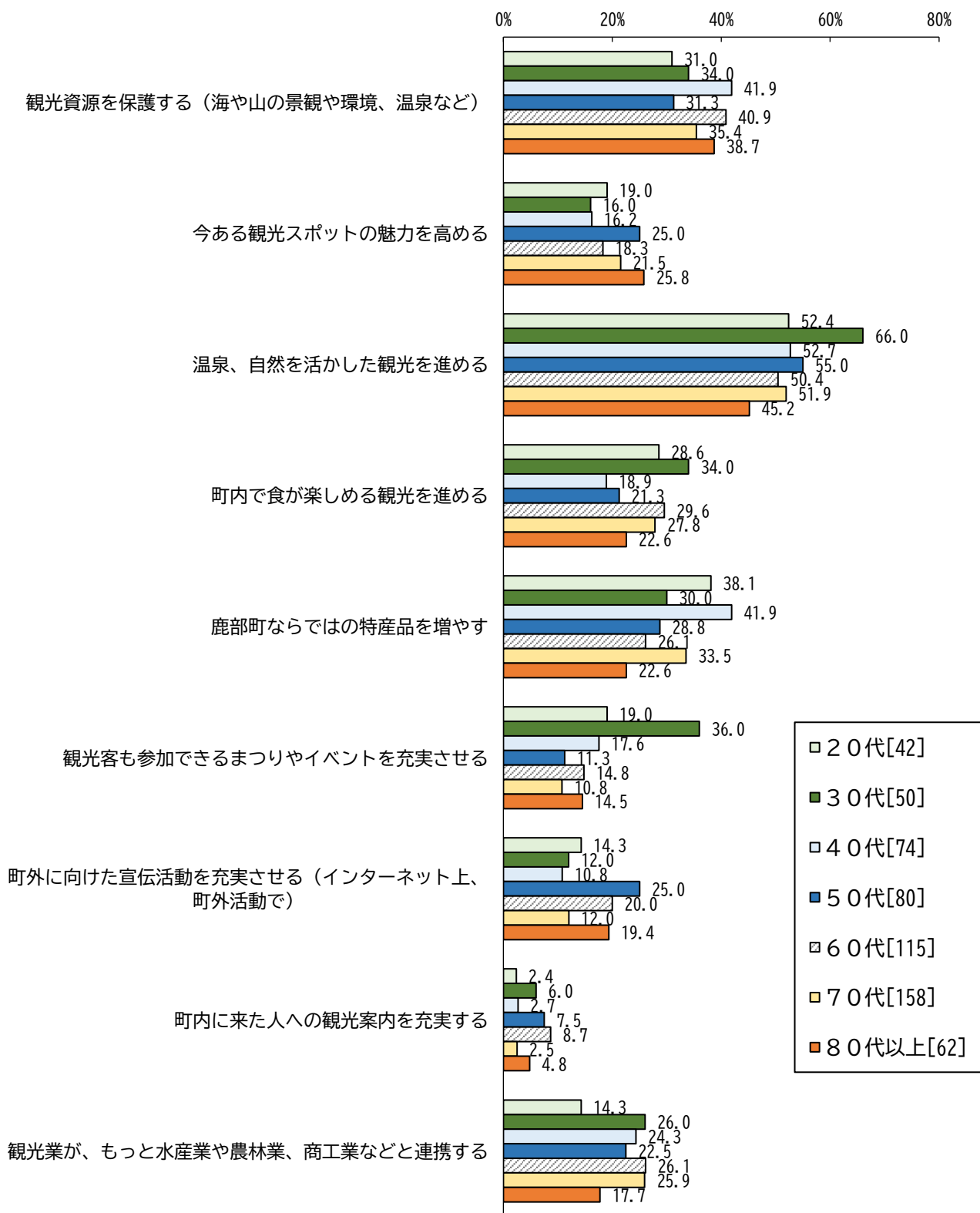
- 性別でみると、男女とも「温泉、自然を活かした観光を進める」が最も高いですが、第2位については、男性は「鹿部町ならではの特産品を増やす」、女性は「観光資源を保護する(海や山の景観や環境、温泉など)」です。
- 「今ある観光スポットの魅力を高める」は女性の回答率が高く、男性との差がめだちます。

問7 観光・交流の振興で、特に力を注ぐべきもの(3つまで選択/性別)



- 年代別で見ると、いずれの年代も「温泉、自然を活かした観光を進める」が最も高くなっています。特に30代の回答率が高く、他の年代との差がめだちます。
- 「観光客も参加できるまつりやイベントを充実させる」は30代の回答率が高く、他の年代との差がめだちます。

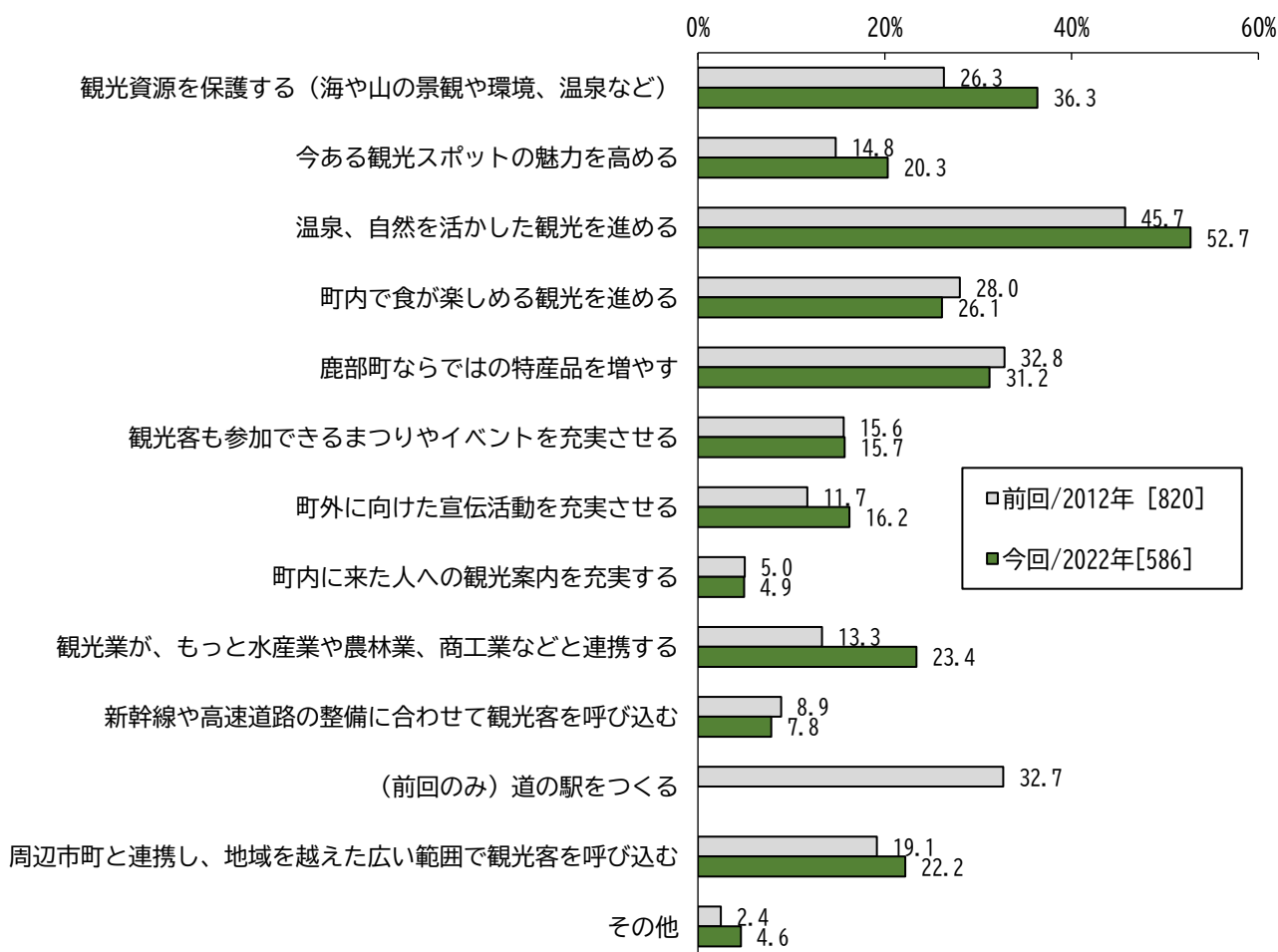
問7 観光・交流の振興で、特に力を注ぐべきもの（3つまで選択/年代別）



【「その他」の内容】（※前ページの続き）鹿部公園、ひょうたん沼公園に、オートバイ専門、ペット連れ専門のキャンプ場。新たな観光資源を掘り起こす、生み出す、創り出すことができると良いですね。人と金の集まる施設を作る。道の駅はその町の顔。鹿部の道の駅は町民が行かない。小・中学生の絵や作品を貼ったり、展示イベントなどつながりを考えたらどうか。道の駅足湯だけでなく温泉に入れるように！埋もれた観光資源の掘り起こしと観光のパッケージ化。海と温泉まつりの再開など検討してはどうか。閉鎖したホテルのまゝではイメージが悪い。ご時世なので、観光以外の分野を開拓が絶対必要。観光ばかり力を入れすぎ漁師を大事にしろ！

- 前回、今回ともに「温泉、自然を活かした観光を進める」が最も高いですが、今回の方が回答率が高く、差がめだちます。第2位は、前は「鹿部町ならではの特産品を増やす」でしたが、今回は「観光資源を保護する(海や山の景観や環境、温泉など)」で、前回との差がめだちます。
- 「観光業が、もっと水産業や農林業、商工業などと連携する」は今回の回答率が高く、前回との差がめだちます。

問7 観光・交流の振興で、特に力を注ぐべきもの(前回との比較)

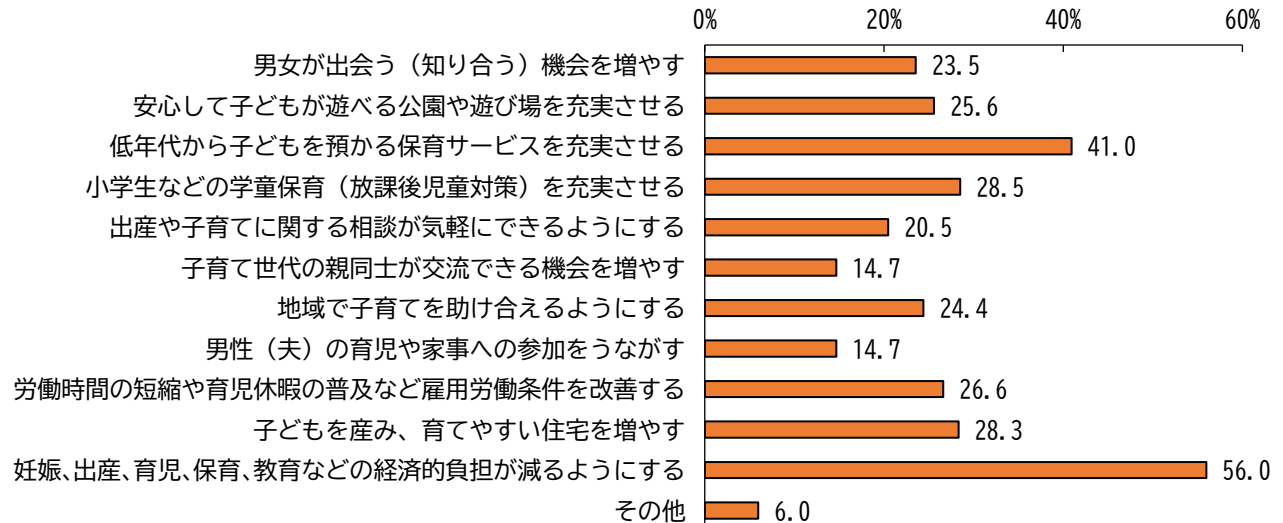


## 問8 少子化対策として特に力を注ぐべきもの

少子化対策として、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

○「妊娠、出産、育児、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」(56.0%)が最も高く、やや間をあけて、「低年代から子どもを預かる保育サービスを充実させる」(41.0%)が続きます。

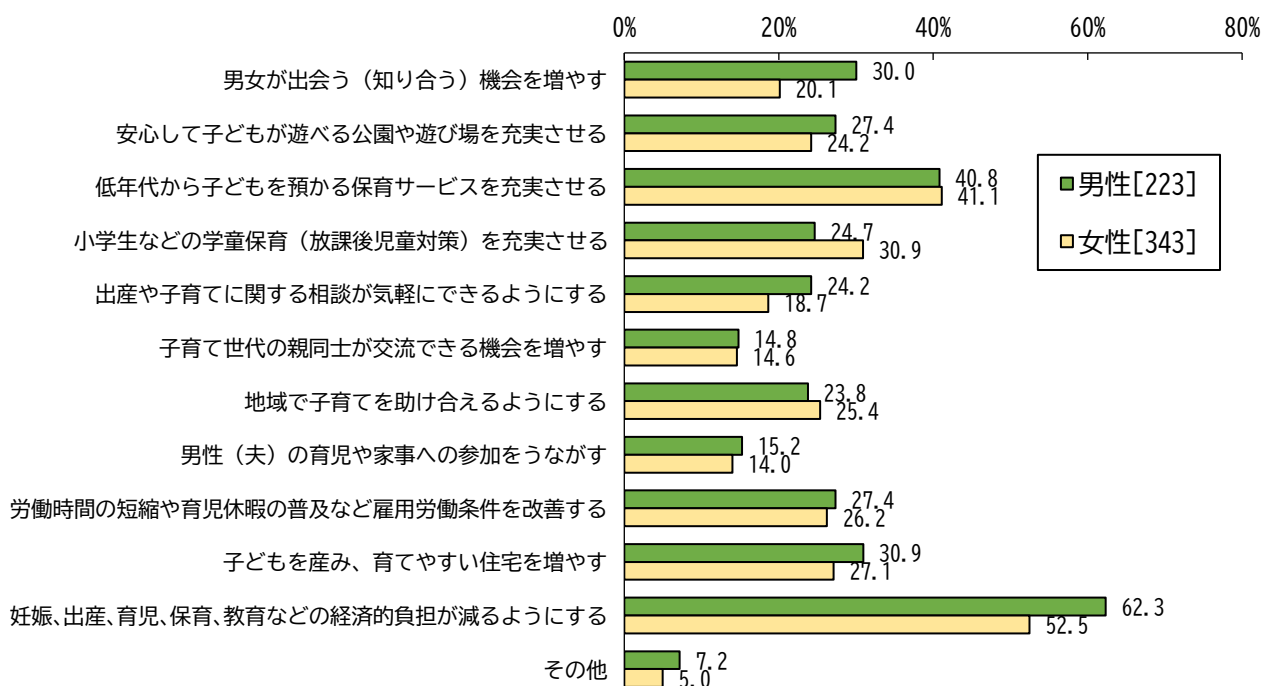
### 問8 少子化対策として特に力を注ぐべきもの(あてはまるものすべて選択) [586]



【「その他」の内容】若い人の働く場を作る(3) 若者の雇用を確保し町内にとどまる様に。 鹿部で就労でき家庭が築けるような環境を作る。若い人が移住して来るような住宅仕事等の宣伝をもっと多くしてほしい。若い男性が町内に住み、安定した収入を得られるようになれば解決しないと思います。若い人達の仕事ができる場所がないから町から出ていってしまうと思います。まずは安心して仕事ができる場。所の提供、そうすれば鹿部町で結婚、出産、子育てにつながると思います。北海道のホタテの町で、長男さん以外も漁業につける様にして、世帯あたりの収入は下るけれど、世帯数を増やすことで、町の活性化につないだと新聞で見た。 経済負担軽減を目玉に、企業勧誘によるワータタウンを造り出す。(※続きは次々ページ)

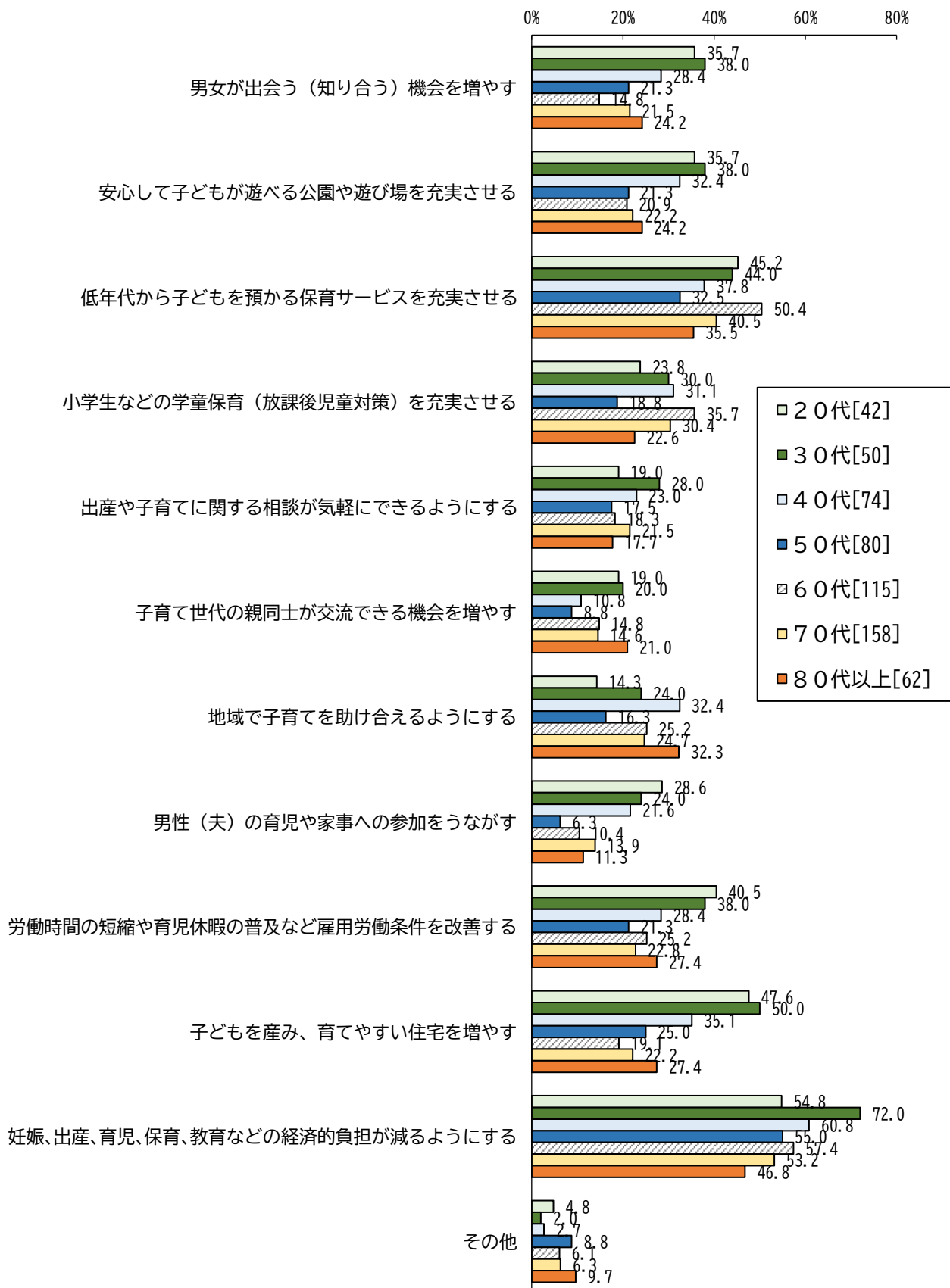
- 性別で見ると、男女とも「妊娠、出産、育児、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」が最も高いですが、男性の方が高く差がめだちます。
- 「男女が出会う(知り合う)機会を増やす」は男性、「小学生などの学童保育(放課後児童対策)を充実させる」は女性の回答率が高く、それぞれ差がめだちます。

### 問8 少子化対策として特に力を注ぐべきもの(あてはまるものすべて選択/性別)



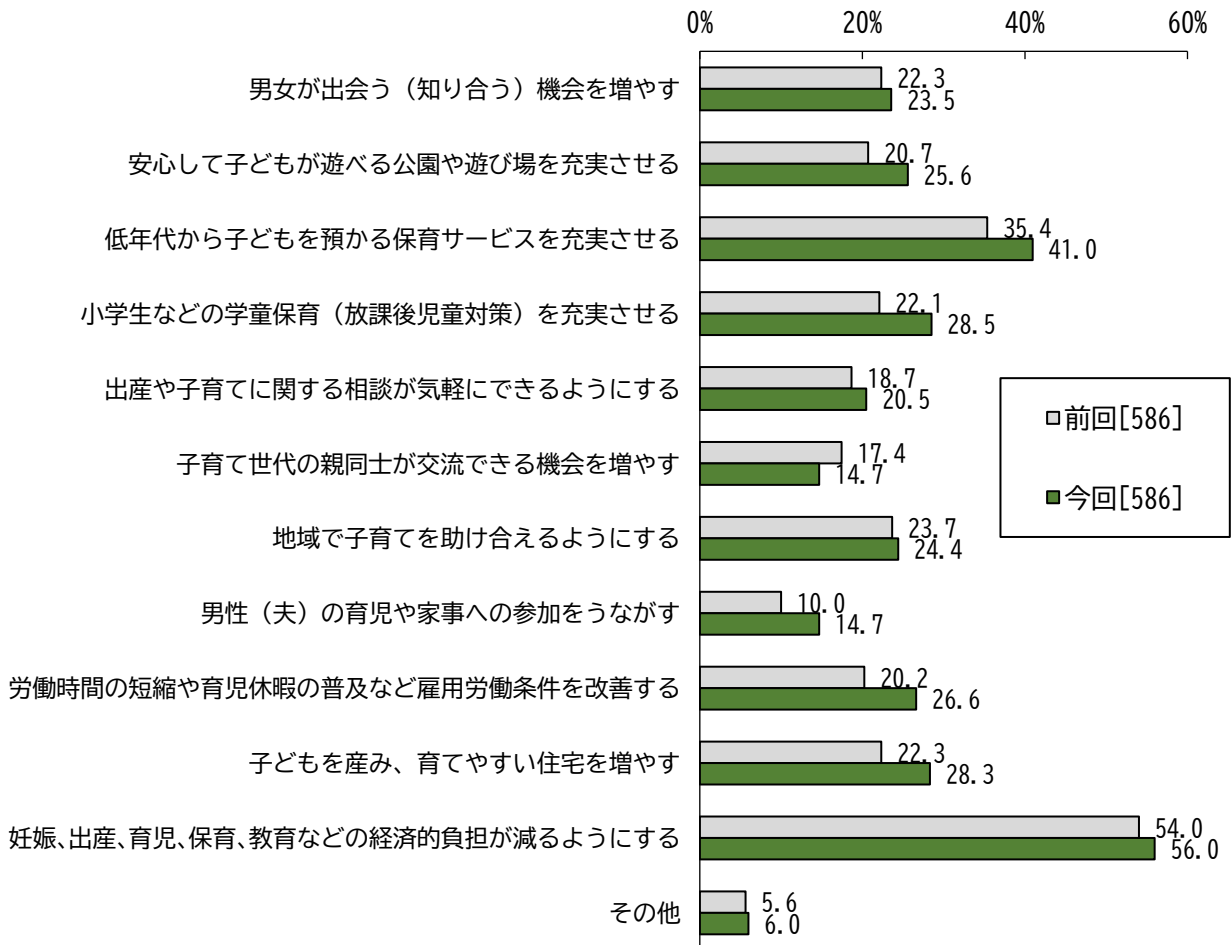
- 年代別で見ると、いずれの年代も「妊娠、出産、育児、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」が最も高く、特に30代の回答率が高く、他の年代との差がめだちます。
- 「労働時間の短縮や育児休暇の普及など雇用労働条件を改善する」は20・30代、「子どもを産み、育てやすい住宅を増やす」は20～40代の回答率が高く、他の年代との差がめだちます。

問8 少子化対策として特に力を注ぐべきもの（あてはまるものすべて選択/年代別）



- 前回、今回ともに「妊娠、出産、育児、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」が最も高く、「低年代から子どもを預かる保育サービスを充実させる」が続きます。
- 「子育て世代の親同士が交流できる機会を増やす」以外は、前回よりも回答率が高く、そのうち、「低年代から子どもを預かる保育サービスを充実させる」「小学生などの学童保育(放課後児童対策)を充実させる」「労働時間の短縮や育児休暇の普及など雇用労働条件を改善する」「子どもを産み、育てやすい住宅を増やす」は前回との差がめだちます。

問8 少子化対策として特に力を注ぐべきもの(前回との比較)



【「その他」の内容】(※前々ページの続き)幼・小・中の教育の無償化。周辺市町村より高い教育レベルの定着推進。減税や手当 親が安心して休めるような子どもを預かってくれる場所がもっと大事。子育ての相談ができる場所。親同士が交流できる場所。雨天でも子供たちが遊べる場所の確保。土日祝日でも利用できる様に人員配置する。子供達自身が「自分達は大切にされている」と感じられる様に大人が対応する。児童館が土曜・日曜が閉鎖なのはなぜか?どこで遊べばいいのか。若者が安心して子どもを産み育て生活していける職・住を保障(提供)する。道外などにPRし、住みやすさをアピールする。鹿部町は離婚率が高すぎる。

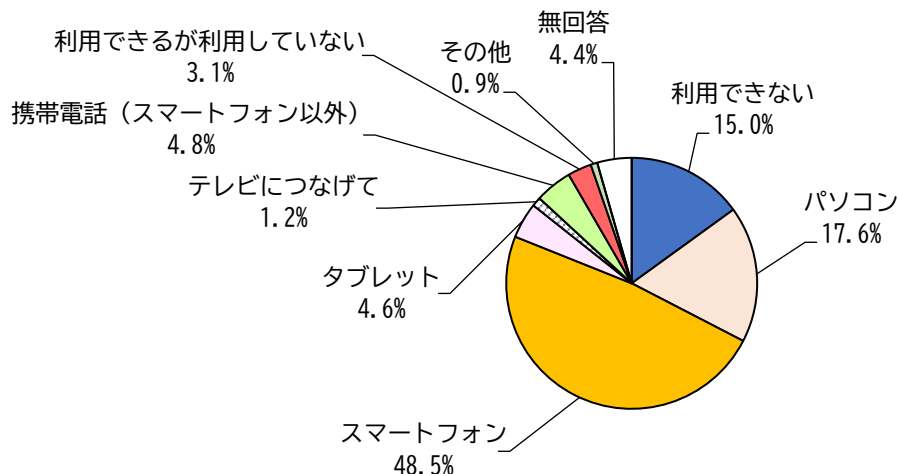


## 問9 インターネットを利用する際に一番よく使うもの

あなたが自宅でインターネットを利用する際に、一番良く使うものは何ですか。(1つだけ選んで○)

○「スマートフォン」(48.5%)が約半数を占め最も高く、「パソコン」(17.6%)が続きます。その次に高いのは「利用できない」(15.0%)で、それ以外は5%未満です。「ゲーム機で」という回答はありませんでした。

問9 インターネットを利用する際に一番よく使うもの [586]



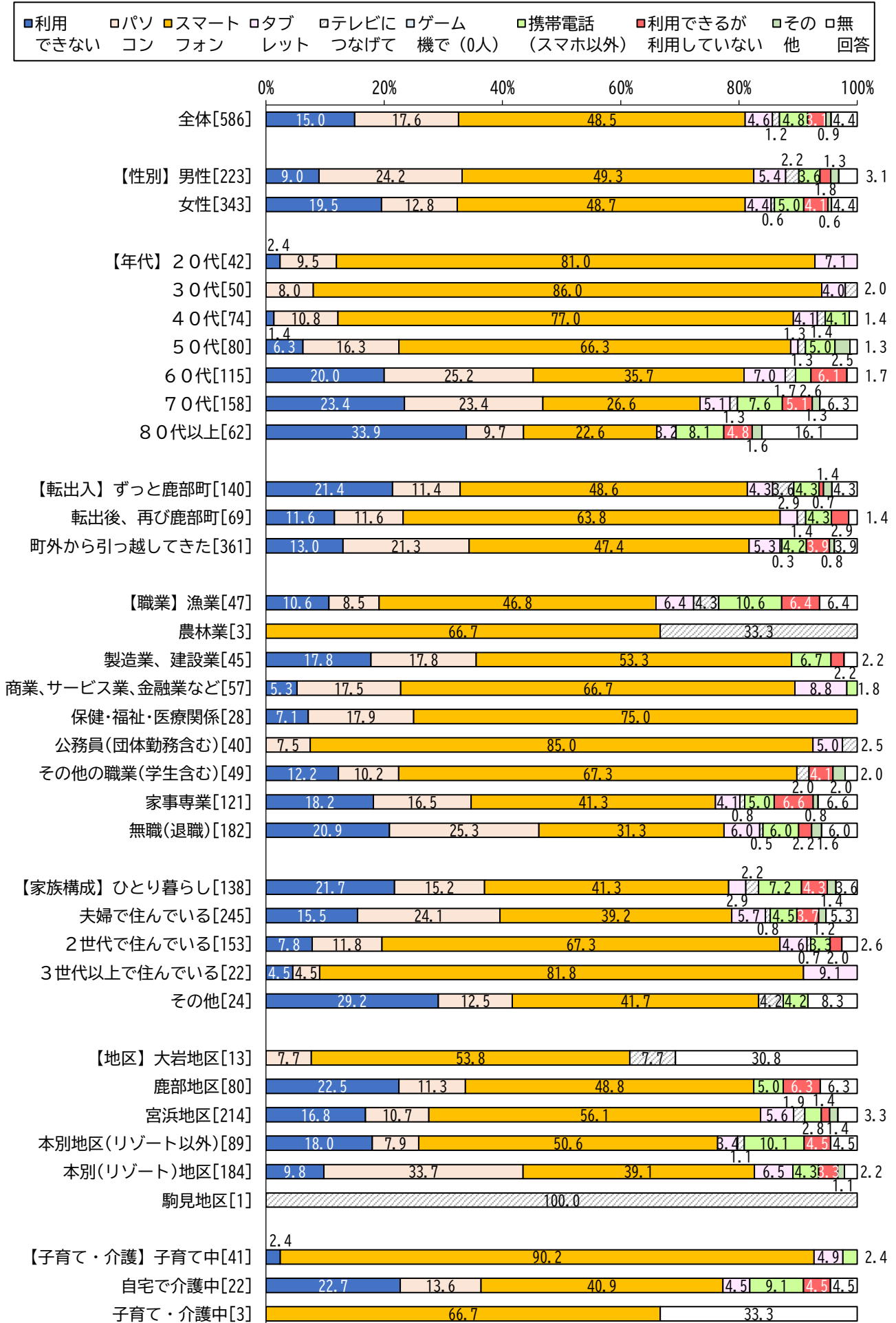
【「その他」の内容】スマホを持っているが、うまく活用できない。

(次のページにグラフがあります)

- 性別で見ると、「パソコン」は男性、「利用できない」は女性の回答率が高く、差がめだちます。
- 年代別で見ると、「スマートフォン」は20～40代は8割前後を占めますが、50代では7割弱にとどまり、60代以上は2～3割になります。「利用できない」は年代は高まるにつれて回答率が高まる傾向にあり、80代以上では約3分の1を占めます。



### 問9 インターネットを利用する際に一番よく使うもの（属性別）

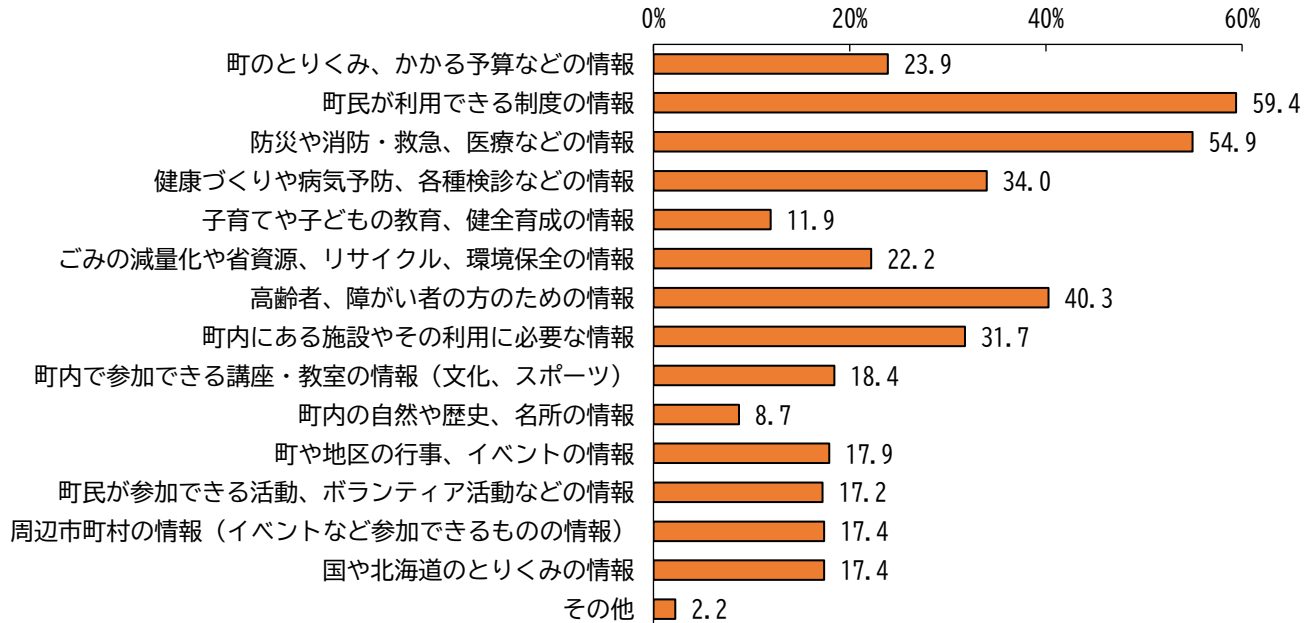


## 問10 町からほしい情報の内容

町からの情報として、どのような内容がほしいですか。(5つまで選んで○)

○「町民が利用できる制度の情報」(59.4%)が最も高く、「防災や消防・救急、医療などの情報」(54.9%)が続き、やや間をあけて「高齢者、障がい者の方のための情報」(40.3%)、「健康づくりや病気予防、各種検診などの情報」(34.0%)、「町内にある施設やその利用に必要な情報」(31.7%)が続きます。

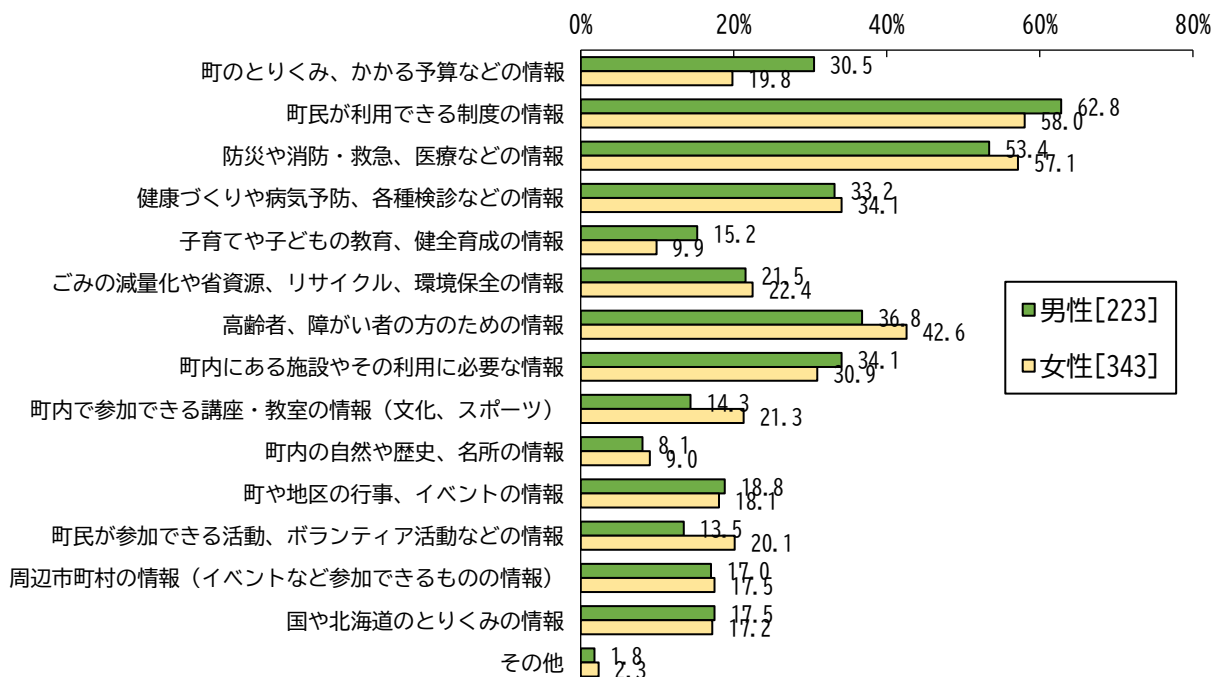
問10 町からほしい情報の内容（5つまで選択） [586]



【「その他」の内容】町内の雇用の情報(2) 周辺の道路情報(2) 災害情報 函館市内の情報。事業のPDCA活動状況、4半期の開示。防災等の情報後のフォローを。危険ばかり伝えるのではなく、その後「火事は鎮火した」「津波は回避した」の情報も知りたい。おくやみ情報はいらぬ。情報があっても読まないで、自分が必要な時にネットで取得できれば良い。内容、手段の見直しも含めて「伝わったのか」を考えてほしい。

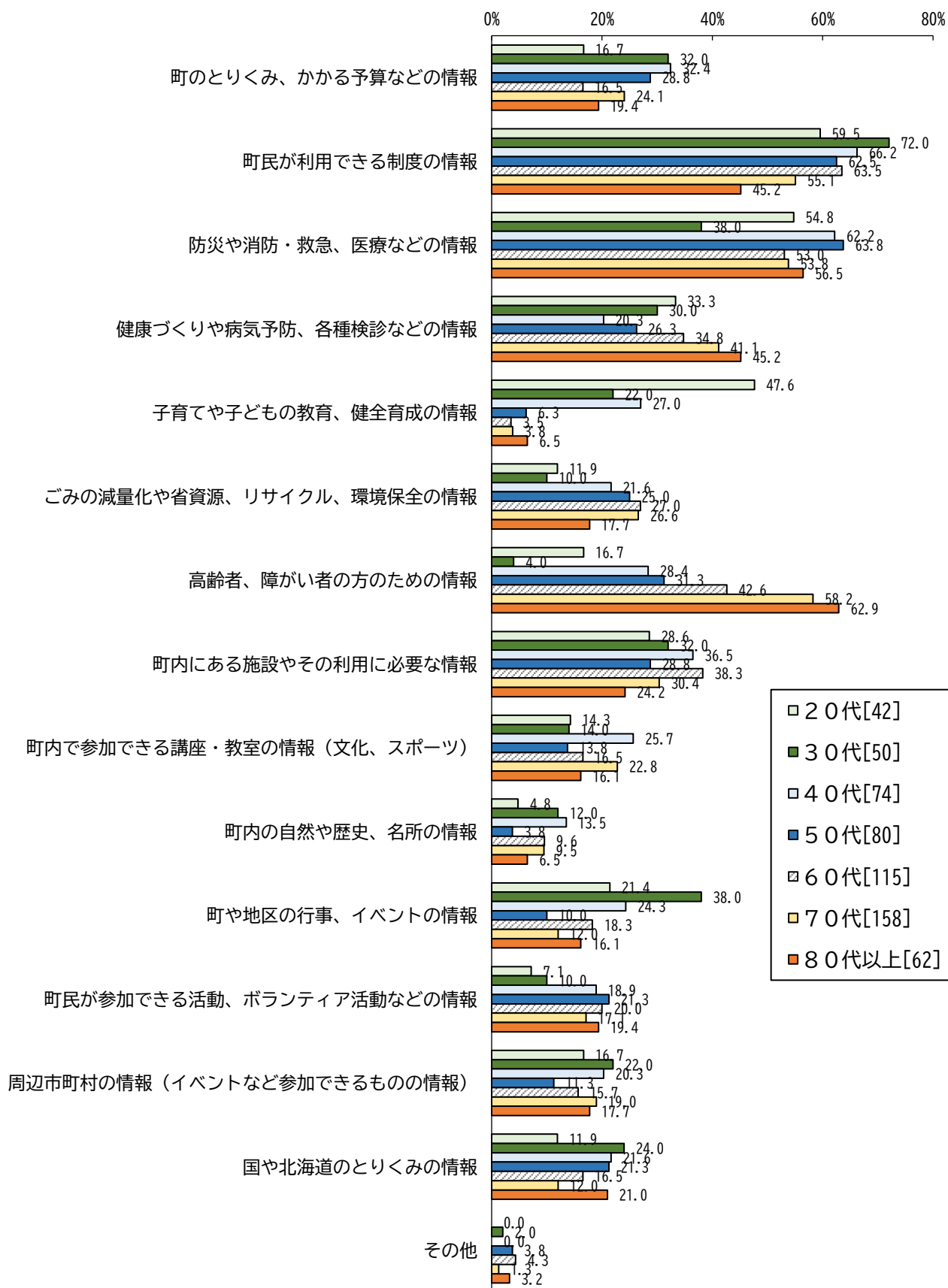
- 性別で見ると、男女とも「町民が利用できる制度の情報」が第1位、「防災や消防・救急、医療などの情報」が第2位です。
- 「町のとりくみ、かかる予算などの情報」は男性、「高齢者、障がい者の方のための情報」「町内で参加できる講座・教室の情報(文化、スポーツ)」「町民が参加できる活動、ボランティア活動などの情報」は女性の回答率が高く、差がめだちます。

問10 町からほしい情報の内容（5つまで選択/性別）



- 年代別で見ると、20～40代は「町民が利用できる制度の情報」、50代は「防災や消防・救急、医療などの情報」、70代と80代以上は「高齢者、障がい者の方のための情報」が最も高くなっています。
- 「子育てや子どもの教育、健全育成の情報」は20代、「町や地区の行事、イベントの情報」は30代が高く、他の年代との差がめだちます。「高齢者、障がい者の方のための情報」は年代が高まるにつれて回答率が高くなる傾向にあります。

問10 町からほしい情報の内容（5つまで選択/年代別）



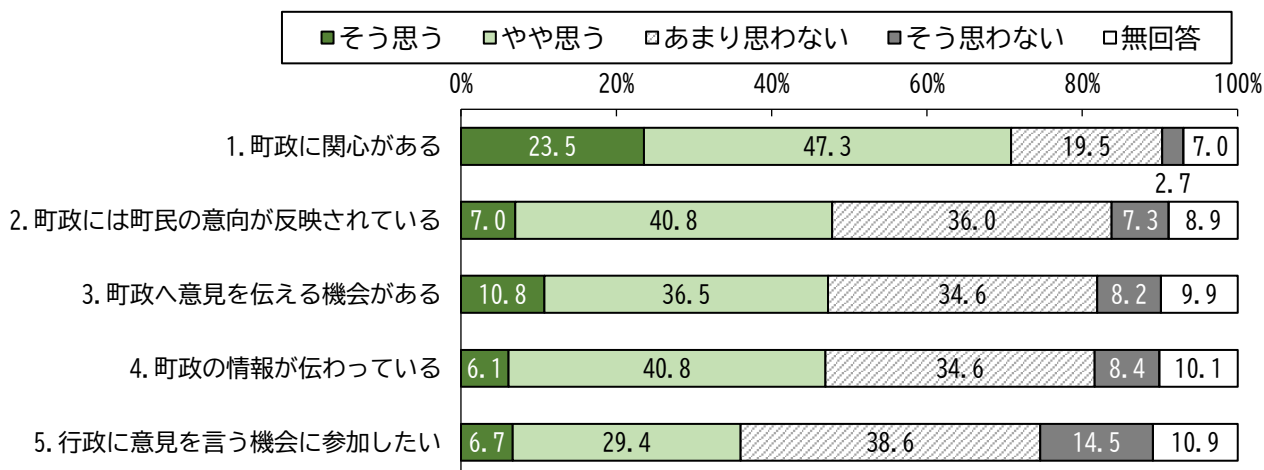
## 問11 町政や町民参加について

町政(まちづくり)や町民参加について、どのようにお考えですか。

○「そう思う」が最も高いのは「1.町政に関心がある」(23.5%)で、「3.町政へ意見を伝える機会がある」(10.8%)が続きます。

○「1.町政に関心がある」は「そう思う」と「やや思う」の合計が7割をこえますが、「2.町政には町民の意向が反映されている」「3.町政へ意見を伝える機会がある」「4.町政の情報が伝わっている」は約半数にとどまります。「5.行政に意見を言う機会に参加したい」は「あまり思わない」と「そう思わない」の合計が半数をこえます。

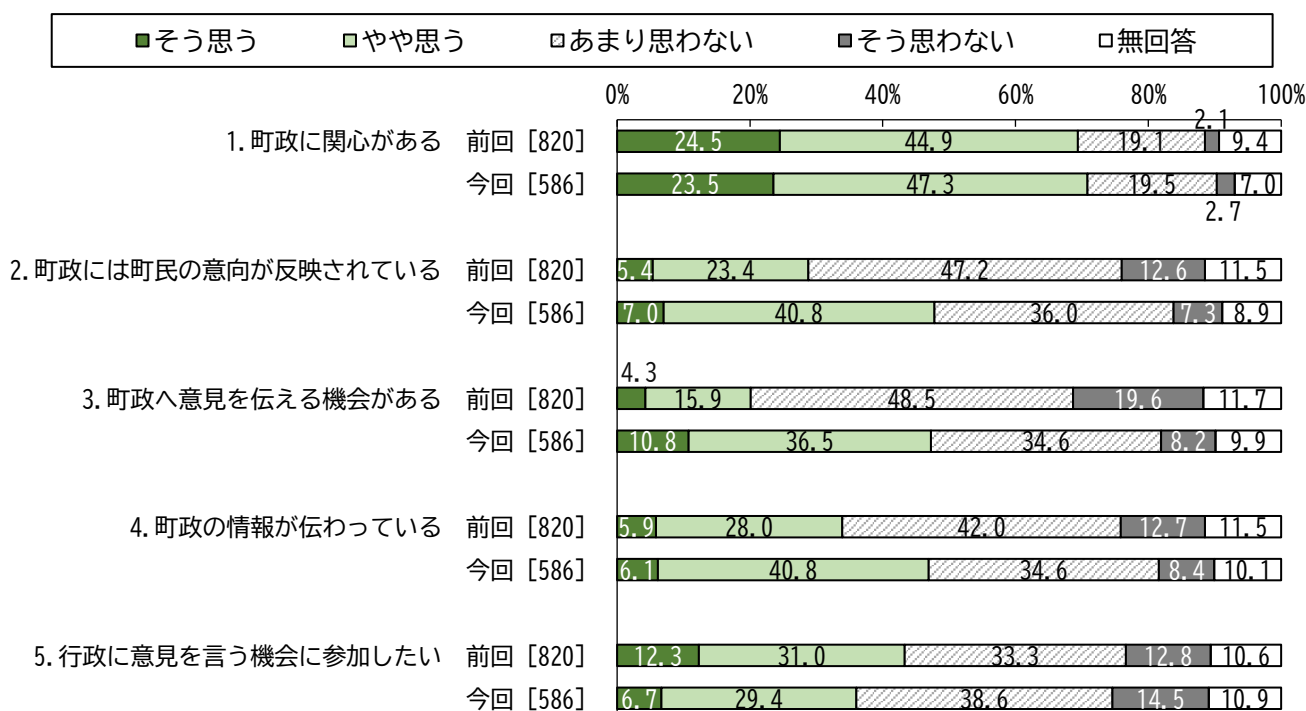
問11 町政や町民参加について [586]



### 前回との比較

○「そう思う」と「やや思う」の合計を比較すると、「1.町政に関心がある」はほぼ同じ、「2.町政には町民の意向が反映されている」「3.町政へ意見を伝える機会がある」「4.町政の情報が伝わっている」は今回の方が高くなっています。「5.行政に意見を言う機会に参加したい」は今回の方が低くなっています。

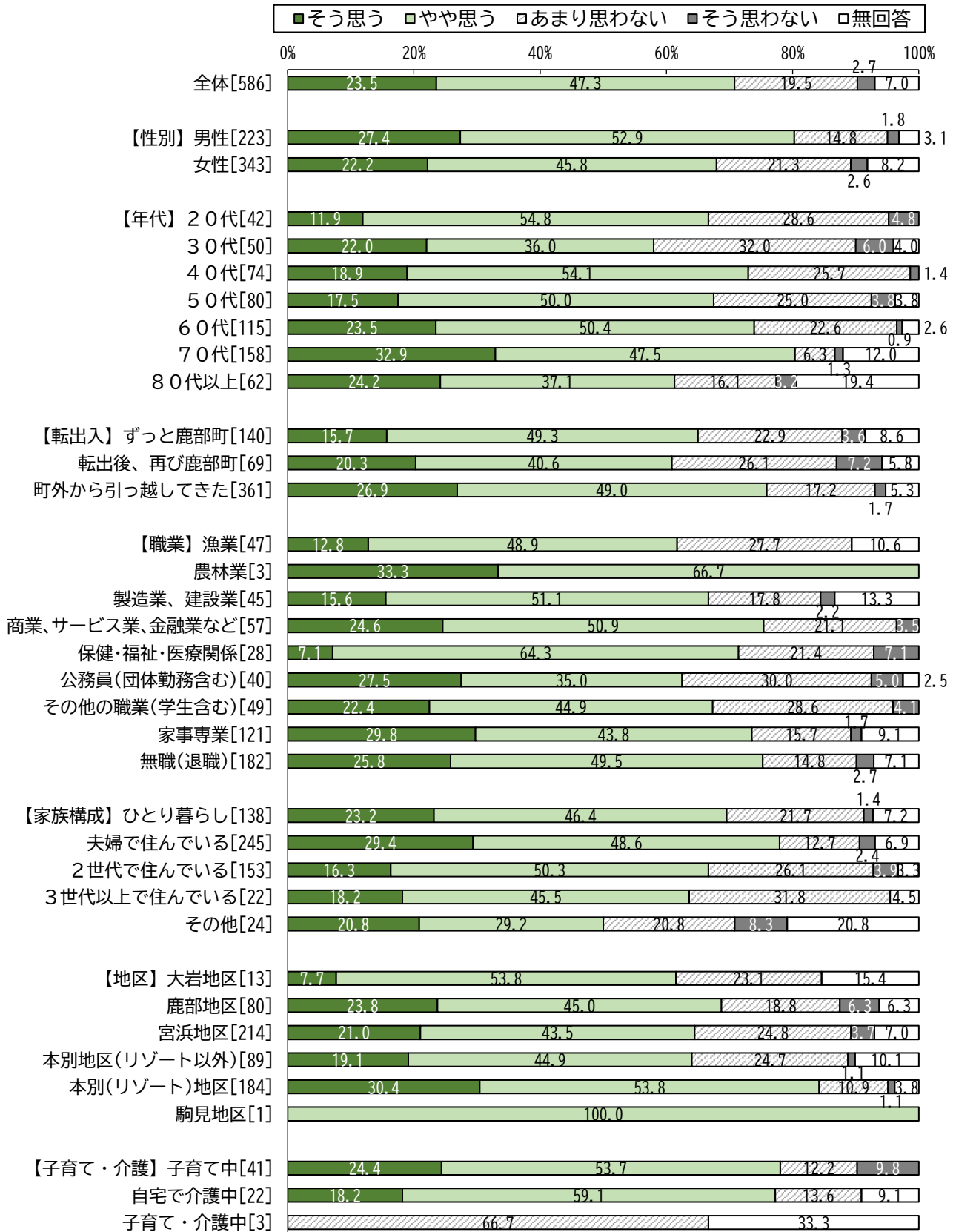
問11 町政や町民参加について [586]



# 1. 町政に関心がある

- 性別でみると、「そう思う」「やや思う」ともに男性の方が高くなっています。
- 年代別でみると、「そう思う」が最も高いのは70代で、「そう思う」と「やや思う」の合計も70代が最も高くなっています。一方、「あまり思わない」と「そう思わない」の合計は20・30代で3割をこえます。

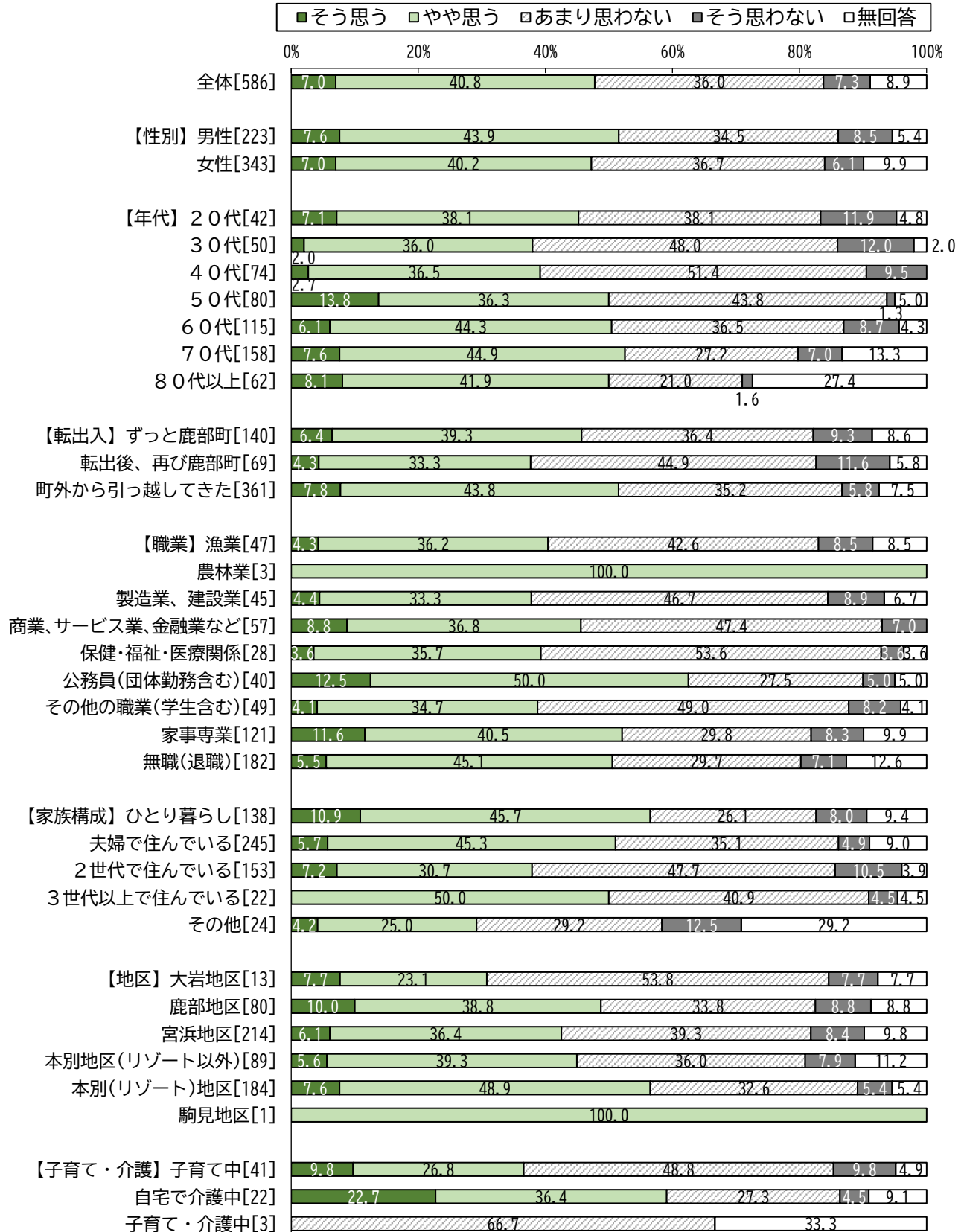
問11-1 町政に関心がある



## 2.町政には町民の意向が反映されている

- 性別でみると、「そう思う」と「やや思う」の合計は男性の方がやや高めです。
- 年代別でみると、「そう思う」が最も高いのは50代です。「そう思う」と「やや思う」の合計は30・40代がやや低く、「あまり思わない」と「そう思わない」の合計は、30・40代で約6割、20代で半数を占めます。

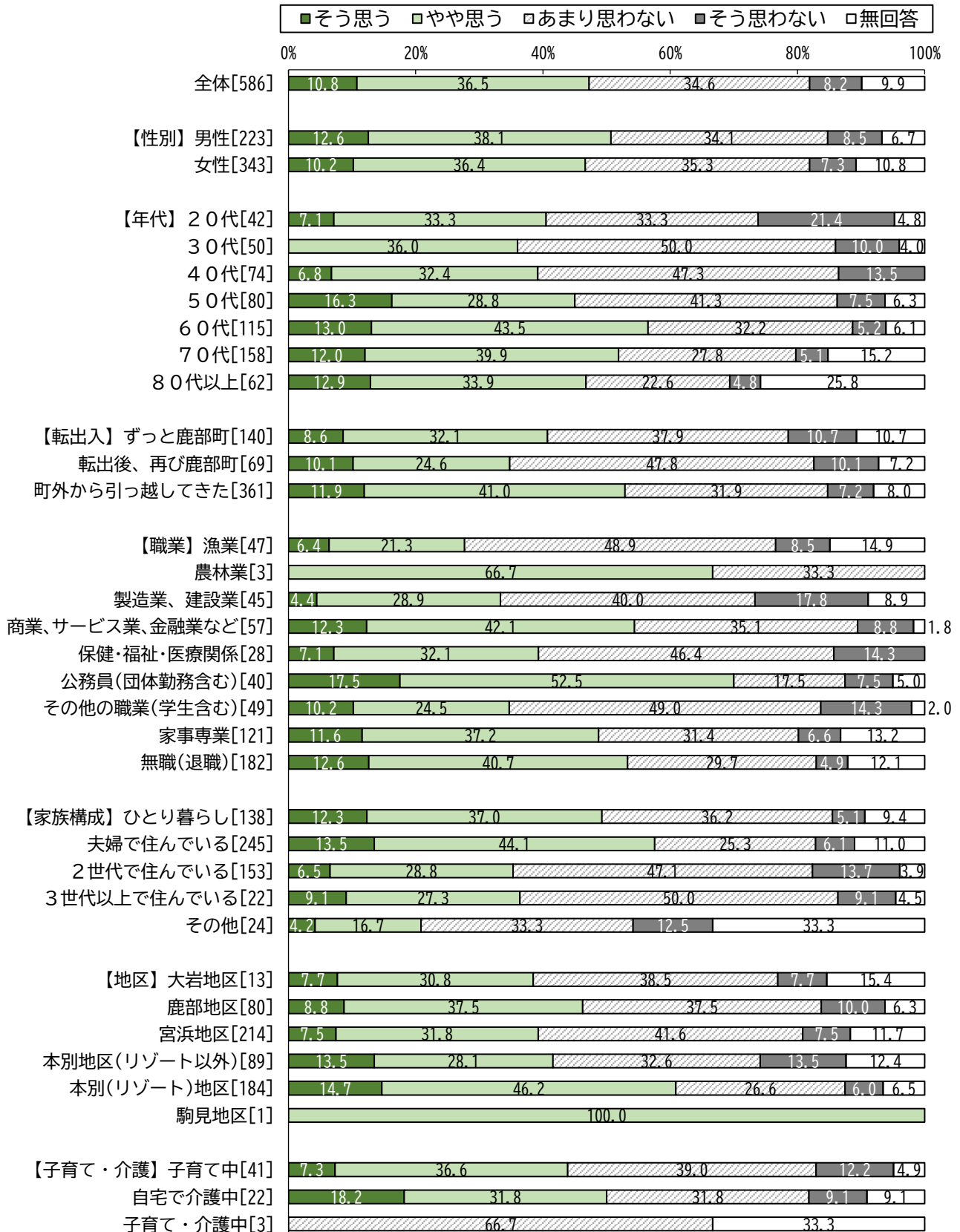
問11-2 町政には町民の意向が反映されている



### 3. 町政へ意見を伝える機会がある

- 性別でみると、「そう思う」と「やや思う」の合計は男性の方がやや高めです。
- 年代別でみると、「そう思う」が最も高いのは50代で、「そう思う」と「やや思う」の合計が最も高いのは60代です。一方、30・40代は「あまり思わない」が約半数を占め、「あまり思わない」と「そう思わない」の合計は約6割を占めます。また、「そう思わない」は20代で約2割を占めます。

問11-3 町政へ意見を伝える機会がある

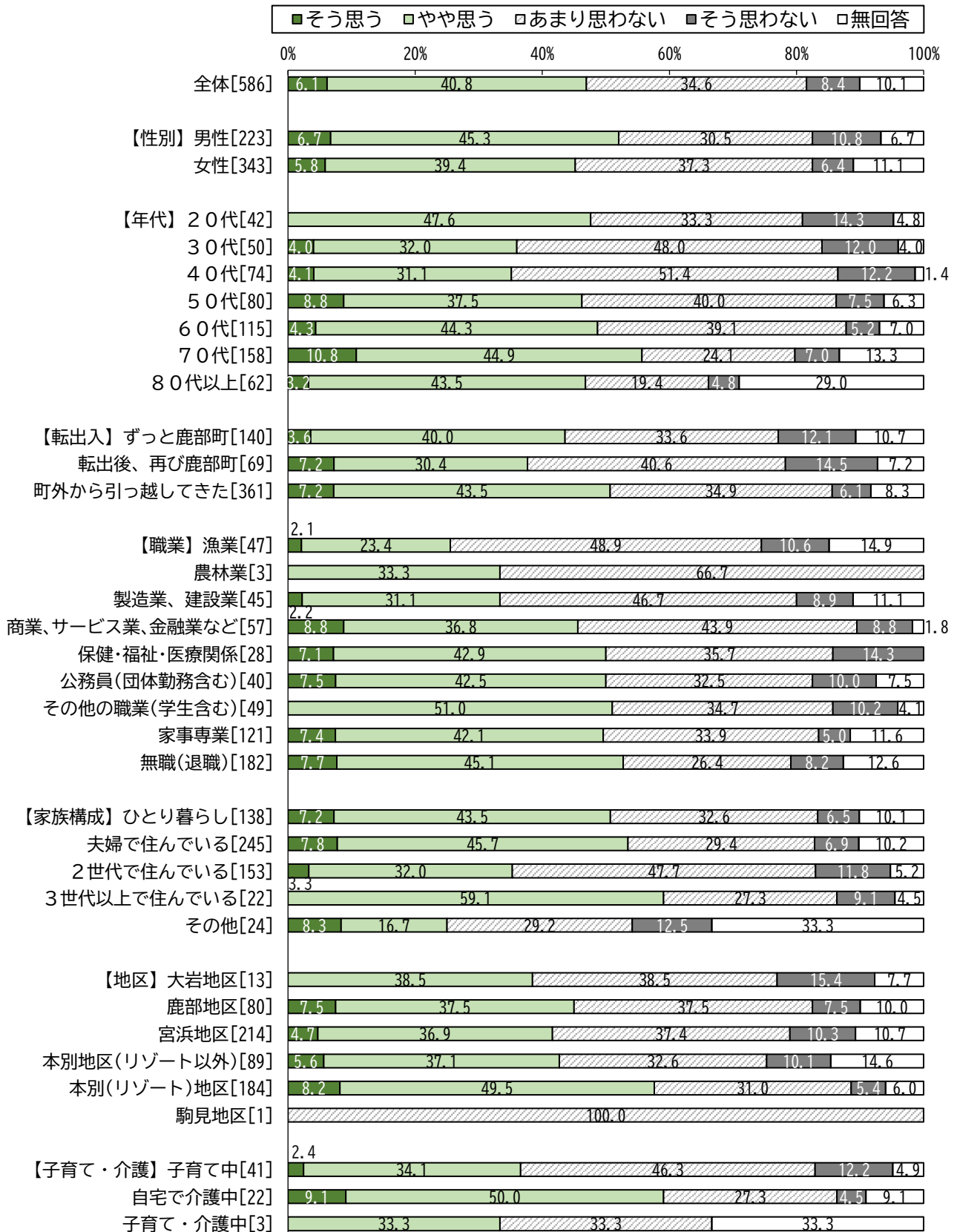




#### 4. 町政の情報が伝わっている

- 性別で見ると、「そう思う」と「やや思う」の合計は男性の方がやや高めですが、「そう思わない」も男性の方がやや高めです。
- 年代別で見ると、「そう思う」が最も高いのは70代で、「そう思う」と「やや思う」の合計が最も高いのも70代です。一方、30・40代は「あまり思わない」が約半数を占め、「あまり思わない」と「そう思わない」の合計は約6割を占めます。

問11-4 町政の情報が伝わっている

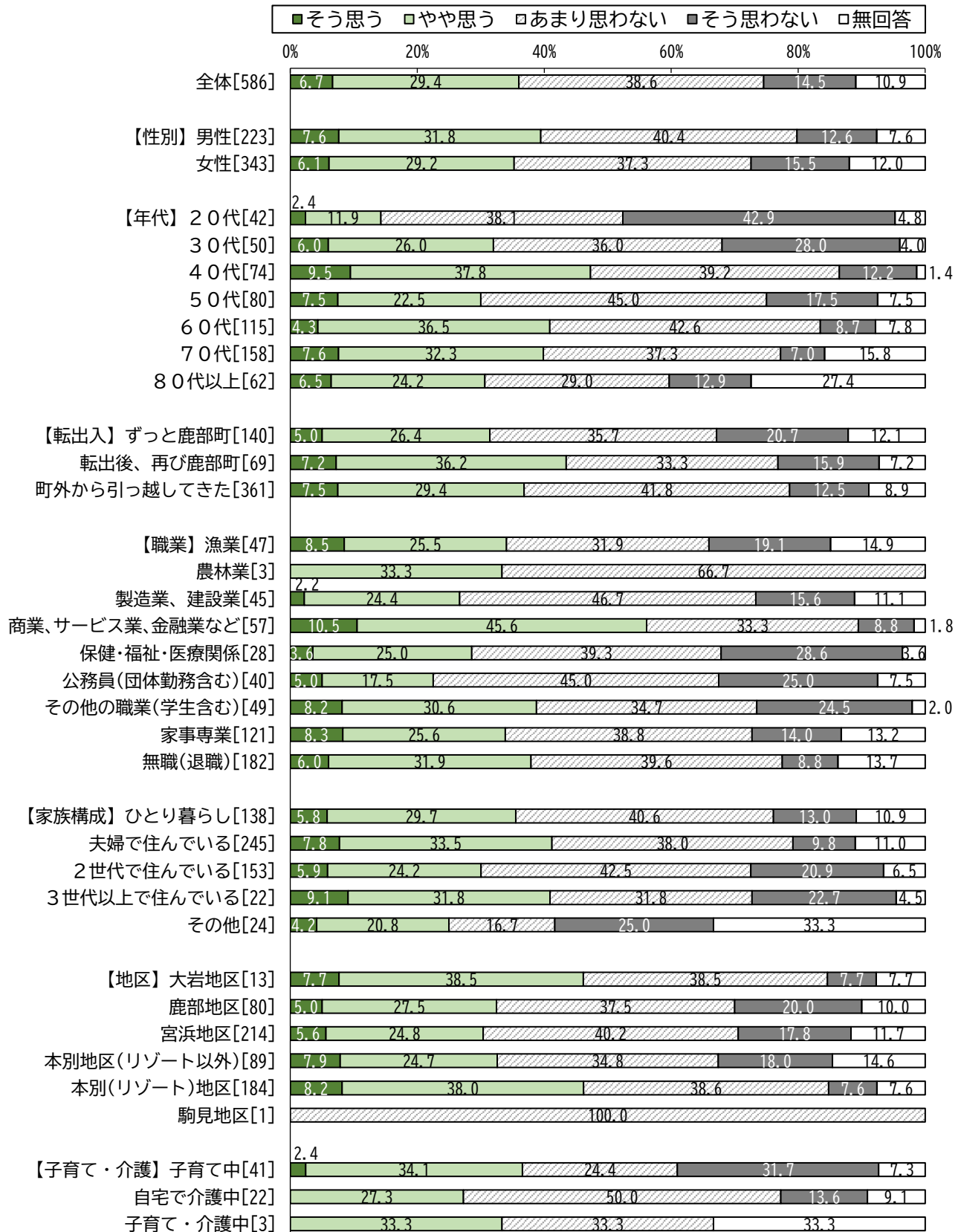




## 5.行政に意見を言う機会に参加したい

- 性別でみると、「そう思う」と「やや思う」の合計は男性の方がやや高めです。「そう思わない」は女性の方がやや高めです。
- 年代別でみると、「そう思う」が最も高いのは40代で、「そう思う」と「やや思う」の合計が最も高いのも40代です。一方、「そう思わない」は20代で約4割を占め最も高く、「そう思わない」と「あまり思わない」の合計は約8割をこえます。

問11-5 行政に意見を言う機会に参加したい



## 問12 旧庁舎の活用について

旧庁舎の活用について、お考えがありましたら、お聞かせください。

### 地場産品の販売・飲食施設

- 沖縄の公設市場のように、1階が店舗、2Fをレストランにしてはどうか。
- 環駒の農産物の直販所、前浜の海産物の直販所（漁業の町に住んでいても安く魚を買えない）
- 鹿部市場・鹿部レストラン
- 駐車場が広いので、月1回でも海産物の販売を推進すれば良いのではと思います。
- 道の駅の様に、海産物や野菜等、地元の方が出品して買物が出来る場所。

### 朝市、フリーマーケットやイベントの場

- イベント会場(2)
- イベント会場(朝市とか)
- 解体してミニイベント広場にする。
- チャリティ不用品を集め、必要な方に差しあげる場所の提供のぞむ。
- なかなか遠くに行けない人のための移動販売(色々な食衣料品など)、キッチンカーなどのイベントなど。
- リサイクルできる(服やおもちゃをリサイクル提供できるような)所。
- 建物は撤去して、町の駐車場として活用し、何かイベントをする場合の会場として利用する。
- 個人出店スペースをもうけて、町民町外から利用できたり、カフェスペースができるといい。
- 自由市場のような海産物、農産物、工芸品などの販売。ミニ水族館のような展示。
- 鹿部の特産である海産物を月に1回とか定期的に安く購入できるイベント会場に活用(漁師直売所)
- 趣味の作品、野菜等を売れる市場。
- 場所が町のほぼ中心にあるので、町民参加のイベントなどを行って欲しいが、駐車場が狭い。
- 粗大ゴミに出すにはもったいない物をリリースする場として使う。
- 他の地域や町民の自由参加マルシェ(市場)、その他販売可能な展示会など
- 地物産朝市(各自出店)、週2回(土日)
- 町内在住の手作り作品制作者の展示・販売コーナー。
- 日曜市(フリーマーケット)。リゾート内では断捨離を考えている方が多数いらっしゃいます。併せて新鮮野菜や漁港で取れたての魚の販売をしてほしいです。
- 年も取って山の方(新庁舎)へは歩けません。今まで通り、旧庁舎において何かイベントがあったら、そのつど使わせて下さい。例として盆踊りとか。
- 昔売っていたタラモバーガー等を買ったり、リサイクルバザー等を旧庁舎でやったらいかがと思ったりしています。
- 地域住民のコミュニティの場及び観光客を呼べる場として再活用する必要があります。A級グルメや海産物を食べれる場所はどうでしょうか？又は函バスや渡島信金等の企業を無料で貸し出す事も良いと思います。

### 商業・サービス施設、飲食店など

- 商業施設/商店(2)
- 商業施設(屋台村、テナント、地方物産展)など。
- ショッピングセンター誘致。
- ショッピングセンター(ドラッグストアが無いので薬が買えない)。
- 飲食店(遠方から来て良かったと云われる様な素敵でおいしいと云われる様なレストラン)。
- おそば屋さんなどの食堂が有ると喜ばしい(道の駅母さん食堂的)。
- スーパーとかドラッグストアなどのショッピング店舗を誘致して頂きたい。
- スーパーや飲食店、子ども達が遊べる施設や公園ができたら良いです。
- テナントを募集してショッピングモールにする。
- ドラッグストア。子供が遊べるような場所。雇用が生まれる営業施設があればいいと思う。
- 活用出来るので有れば、喫茶、カフェ、飲食。
- 軽食所やおみやげ品など売る場所をふくみ、町民が談話できる場所などどうでしょうか。移動販売車を複数台集めて、小さいイベントみたいにしてはどうか？(ハセガワストア、ココイチ、ニコットによく来る方など)。

- 最上階からの景色が良いので、一般人も利用できる食堂を設置してはどうでしょうか？
- 手作りパン屋さん+喫茶店(コーヒーショップ)。
- 商業の復興に活用するのがよいのではないか。
- 食料を購入できる店が欲しい。
- 大型スーパーマーケットの誘致。
- 昼食、軽食、喫茶等ができる場所にする。
- 函館にあるトライアルみたいなスーパーがほしい。
- 無印良品や東急ハンズの巡回販売の店舗として。
- コインランドリー(大型)。
- ゆうちょ銀行などの金融機関として活用。
- 道の駅第2号として、かなりスマートな「Cafe」(道南には珍しい位カッコイイもの)を町として運営→実質は若い企業人や学生…。これをウリに全国に発信。鹿部の広告塔とする。
- 運動施設のカーブスが来たらいいな。モンベルの直営店とか。東川の道の駅みたいに。
- 毎日行きたい500円ランチの食堂。B級グルメ食べられたり、売場があったりすれば、現地へ行けなくても、住民交流はできます。価格はおさえて。女性があっ!と驚くB級グルメを。

## 企業誘致や起業支援の場、レンタルオフィスなど

- 企業を誘致/企業事務所の誘致(4)
- 企業に貸し出し。
- お店誘致。町民が働ける場として。
- 企業誘致等への無償の貸し出し等。
- 起業を目指す若者へ立ち上がりオフィスとして、使へる場所の提供。
- コールセンター誘致。
- コングロマリットの、複数の企業誘致、個人事業者へのオフィス誘致など、サテライトオフィス化し事業会社を呼び込む
- サテライトオフィス利用。起業家のオフィス利用。
- テナントと貸しスペース。
- ネット環境を整えワーケーションのスペースとして活用する。町外から人(若者)が集まると町が活性化すると思います。
- ネット宣伝、募集して、部屋又は建物を町外・道外の企業に貸し出す。
- ものづくりをしたい人(職人)集団やクリエイター、デジタルクリエイターなど、工場や職場、自分のアトリエが欲しい人たちに住居兼仕事場として使ってもらう。奨励金や補助金等で応援し、旧庁舎の中に多くのものづくりやクリエイター、アーティストが入ると、集うことでさらなるインスピレーションやビジネスも広がりも期待できるのではないのでしょうか。できる限り旧庁舎の使い方には自由度を持たせて。
- 基本的には若い世代の人々の雇用につながる企業に譲渡できるのが良いのではと考えますが、既存の業者の権利を損なわない業種、例えばIT関係の部品(東南アジアを利用するだけではなく、日本のもの作りを活かす方法も皆無ではないのではないのでしょうか?)の製作所等、その他製造業を考えました。大きな建物ですので分割で活用する方法もあろうかと考えます。
- 起業したい人のアンテナショップ的な場所にしたい。
- 起業したい人への場として提供できないか。
- 起業家の誘致センターやサテライトオフィスとしての活用は可能ではないでしょうか。
- 雇用を広げる意味でも、インフラの整った町のほぼ中心に位置する役場跡地を、新たな企業の進出拠点(オフィスなど)として貸し出す。
- 交通が不便だが、ネット環境を良くしテレワークに使用。
- 公共的に使用できるもの。もしくは町外からの企業誘致の用地。
- 新規事業を始めたいと言う方達に貸したりできればいいと思います。
- 他の会社などに貸し出しする
- 地場産業(特に若い後継者)や起業の人々の為のオープンオフィスとしての活用。
- 庁舎内を区切って、起業希望者への期限付き貸与(その間、光熱費無料)。
- 鹿部の出張所として企業のオフィスに。

- レンタルオフィスやフリースペース、イベント等への貸し出し。企業誘致など。
- 在宅ワーク、起業する人たちの部屋貸会議室。
- 町営のテレワーク室。
- 地域おこし協力隊の活動拠点にする。テレワーク拠点をつくり、移住者をよびこむ。その人たちが住むエリアにリノベーションする。
- 建物が大きすぎるので、上水道下水道の問題が有りますが、今の鹿部町で外部資本を依頼する事は大変と思います！！

## コミュニティや住民活動の場

- エンタメ館、町民の趣味の会のクラブ室。(特に囲碁将棋の常設会場)
- コミュニティセンター(母子サークル、高齢者、若者等がそれぞれ集まって談話や趣味に活用出来る施設)。
- コミュニティとして活用。ギャラリー等で活用。自由に入出入り出来ると良い。
- コミュニティカフェ、展示場等に活用。
- コミュニティセンター。無料貸室。ゲーム設置(麻雀将棋オセロetc)。カルチャー教室(絵手紙、絵画、英会話etc)。だれでも気軽に楽しめる場所をお願いします。
- コミュニティセンターとして、雨天でも子供たちが遊べる場所があって、ぶらっと立ち寄って、おしゃべりをしたりするコミュニティカフェを設置する。できれば、年中無休で利用できる様に人員配置する。誘致した企業の事務所または起業された方の事務所としてのブースがあってもいいと思う。
- サークル活動への場所提供、趣味の発表の場、町提案の勉強会。(子供達が興味をそそるイベント等)
- 何かのミーティングの集まりや発表会、バザーなどの無料使用(予約制)とか。
- 会議会場貸し出し。
- 旧庁舎が津波の区域に入るのは非常に残念。地域の集会所なんか、それにしても大きすぎるかな。
- 個人の集りに会場として利用したい→町民が気軽に集り活動場所としての利用。コミュニティ会場としての利用。
- 集会場として。
- 住民がサークル活動等に利用できる場所提供。
- 地域の集会所として利用できれば良いのではないかな。
- 町民が自由に使用できるコミュニティセンターとして利用。
- 町民が集える多目的施設。
- 明りが消えた旧庁舎を見るのがとても淋しいです。町民が利用出来る事が最高です(公民館の様に！)。

## 文化・教育・娯楽の場

- カルチャーセンター/文化教室(3)
- 子供からお年寄りまでのカルチャーセンターとして、色々な講座、ふれあいの場所にする。(皆が同時にふれあえる場所)
- アートの表現の場として、貸しギャラリーや、他の地方でみられるアートイベントの企画・展示会場として提供するのはいかがでしょう。
- アトリエ等の芸術分野での使用。
- カラオケ、フリースペース、カフェなど…、娯楽施設。町内に遊べる所がない。町民の集まれる場がない。
- シルバーガレッジを再開して、活動の場として活用してはどうか。講話を聴く。交通安全に協力。消防と連携して。防災救急などの学校に近くてよいと思う。
- 移転して感じたのは希望の趣味が少ない。例えば、お抹茶(和室)、麻雀等、洋裁和裁。
- 英語教室、預り保育、教育の面で活用してほしい。
- 会議場。塾。習い事の場。各サークルの場。
- 各種資格の受講教室会場として、又左記用の軽食喫茶も併設。
- 学校に関係ない関係あるどちらでもつかえる教室や文化活動、体育館や公民館ではできないものをやっては？
- 活動(スポーツとか文化活動)のできる場所にする。
- 町民のいこいの場にしたり、子供たちの学習の場にすれば良いと思う。PCを使える場所など。プログラミング講習などイベントを開けば良いと思う。
- 町民の絵とか写真とか、文芸品の展示会場とする。
- 文化系(例えば編み物などの手芸)の教室などどうでしょうか。シニア向けに1Fに限る。階段が大変なので…。
- 鹿部多目的小ホール(民間事業者やNPO法人の催事や展示、個人やグループの小規模リサイクル等への貸出)。



- 図書館(4)
- 1Fは図書館(内容の充実した)として活用する。
- 憩える大きな図書館(八雲のような…)
- もう少し大きな図書館。
- 現在の図書室→図書館へ(司書を常設)。
- 児童生徒が放課後や休日に活動する場にしてほしい。※例えば町営の無料の学習塾など。
- 小中学生あるいは大人の楽器練習部屋に。トランペットやドラムスでも練習出来る位の個室として活用してほしい。(音楽活動の普及)
- 図書館+学習センター(情報センター)
- 図書館として閲覧室を設ける。
- 図書館や町民が利用できる文化施設にする。(サークル活動など)
- 耐震をクリアした上で、図書室を中心とした文化拠点にしてほしい。現在の公民館の耐震の問題や、2階の調理室からの水もれなど、老朽化による不具合が多発しています。各種講座やサークルの施設として、町の中心にある利便性を活用すべきと思います。
- 体験型学習の場など。
- 娯楽施設、町民が気軽に集えるスペース。

### 資料館、科学館、記念館

- 歴史博物館。
- 産地直売所併設の「郷土資料館」に変身させて観光スポットにする。鹿部をPRする情報発信基地とか。
- 史料館にする。観光客にも興味が向けられるような。
- 子どもが行きたくなるような体験型テーマパークのような施設があるといいなと思います。例えば科学博物館のような家族で楽しめる所や軽食も食べられるような所があるといいと思う。
- 鹿部町の昔がわかる歴史をパネルにして展示し、自由に見学できるようにする。
- 盛田幸妃と伊藤大海の資料館。
- 伊藤大海記念館など観光施設。

### スポーツ・健康増進施設

- バスケット場。
- 屋内パークゴルフ場。
- 室内スポーツ施設。
- 第2体育館として、2Fを卓球場などにする。1Fは憩いの畳敷きフロアに。
- 冬期間体育館では出来ないゴルフ練習場。
- 無料でカルチャー(体操で良い)的な、からだを動かせる場所の提供が出来るとのぞましい！！

### 観光・宿泊施設

- 2Fは素泊まり専用の宿泊施設にする。隣にコンビニがあるし←共用の清潔なミニキッチンを置く。お風呂は近くの温泉へ。人件費が少なくすむ。
- ロイヤルホテルの閉鎖(今後は不明)もあり、B&B(ベッドアンドブレイクファースト)の宿泊施設にして観光客に利用してもらい、ステキなおいしい朝食が用意されたレストランを開いて昼はティータイムも楽しめたらいいと思う。
- 観光(心霊)スポット、心霊宿泊施設みたいな…。
- 観光客が立ち寄れる店。「鹿部」の名前が記載されているお土産を購入できる店。展望台から夕日、海が見れるような場所にする。観光客はお土産を買いたいもの。食べ物ではなく、タオルやキーホルダー等の価格が手頃な可愛いものが必要。
- 観光客バスツアーや町人が利用できる道の駅の食堂、魚・野菜などの販売により、働ける人が増える様にしたらいいのでは？少し遊べるゲームなど、人があつまりやすい場所にする。
- 観光客や子どもたちへ見てもらえるように、魚や貝などを水槽に入れて展示する。
- 経費をかけずにできるとしたら、観光シーズンにライダーの素泊まりの宿として提供するとか…食事や入浴を町内でしてもらえたら少しは町が元気になるかもと思います！
- 周囲の市町村に広くPRし、研修会場として安価に貸し出し、大学高校運動部の合宿場所として、安価に提供。

- 他地域からの合宿受け入れ施設。
- 第二の道の駅みたいな感じ。軽く食べる所やおみやげなどを置いてもいいと思う。あと、町の歴史を展示してみるなど。自由に人が入れるようだといい。
- 町のホットステーション的に、観光案内を兼ねたみんなが利用できる場所。道の駅的に飲食もできるといい。
- 町営の温泉付きの宿泊施設。温浴施設(サウナ付き)。
- 町民と観光客のふれあいの場として利用する。
- 道の駅の分所として、町外の人向けの商業施設。
- 旅人のちょこっと休憩所。
- 綺麗なので観光スポットに役立てたら良いと思います。Cafeも良い。
- 現在のコロナ問題の中ですぐ行う事は無理と思いますが、旧庁舎を利用して④加工業者との対面販売、ある程度収まってから。⑤乳製品の製造販売(チーズ、バター、アイス)製造の見学、体験学習等々。⑥魚類、肉製品の燻製製造販売、製造の見学体験学習等々。道の駅にお客様がある程度来て居た事を考えると、もう少しインパクトを与える事が必要だと思いますが？余り経費をかけずに状況を見てから…。20年前に比べると人口も減り(特に若い人達)、魚類の収穫量も減った。現在、若い人達に1人でも2人でも残ってもらう事を考えなければ、鹿部町はなくなります。若い町長に期待しています！！

## 子どもの遊び場、居場所、世代交流の場

- 飲食出来なくても、誰でも自由に入出入りできる、公民館のような施設。学校帰りに遊ぶ約束した子と待ち合わせで、ランドセルのままでも使える感じに。
- 学童の新たな場やカフェをやって、親もいれる場があるとよい。
- 学童保育の場、幼児保育の場、高齢者ふれあいの場、または就労の場。
- 子どもたちが遊べるような室内遊具を置けるスペースにしてもよいと思う。
- 子育て(世代)や老人が気軽に集まれる施設。
- 子供が利用できる施設。
- 子供達が自由に入出入りし、いろいろな事にチャレンジできる場所にしてあげたらと…。
- 子供達の放課後学校(学力の補助)。講師世話役は老人？
- 児童館、学生の勉強スペース、貸し倉庫等。
- 児童館として(資格を有する管理者をおいて)。大人と子供の交流の場(歌を唄ったり、ゲームをしたり、昔の遊び、ケン玉やメンコ、アヤとりとか)。大人と子供の作品展示場(絵手芸彫刻とか)。
- 赤ちゃんや高齢者や障害者や町民のふれあい広場。町民散歩の寄り道所。
- 多目的施設。小さな子供と親が自由に集える空間、小中学生が自由に集える空間、高齢者が自由に集える空間+カフェ・子供食堂的なもの+図書室。
- 駐車場の広さや建物の広さからして、学童保育と高齢者のデイサービスなどをする所にしたらいいのでは。
- 町で人が集まり、交流できる場が分散しています。町民人口が少ない町は、人が集まる場を分散型から集中型へ変えて行く必要があるように思います。児童館など子供が遊び学ぶことが出来る場、また高齢者も集い、子供達と交流できる様な世代間の交流の場として活用できないでしょうか。
- 町民公園以外にも、子どもが遊べるような広場だったり、道具を設置してほしい。健康につながる遊具。高齢者が使用できるような…。
- 放課後学童保育所。

## 町民の憩いの場、公園

- 解体して公園にしたらいかがでしょうか。(景観美化のため)
- 休憩所。歩いているとチョット腰をおろせる所があるとうれしい。野草をとり、それを干して野菜茶などを飲みたい。
- 町民が気軽に集まる場所。
- 町民が利用できるいこいの場所。
- 保存維持していく意味があるのでしょうか？広場や公園などの使い道の方が良い気がしますが…。
- 老若男女交流の場(ふれあいサロン)。

## 入浴施設

- パチンコ屋にして欲しい。だめなら風呂屋で！！
- まずは取り壊し、公園か温泉施設をつくれればいいと思う。

- 温泉の街というが、お盆や年末年始の日帰り入浴の場がない為、今現在の中心部である旧庁舎の場所はお金がかかるが、入浴施設期待しています！！
- 日帰り温泉施設を作る。

## 医療施設

- 診療所をグレードアップして旧庁舎に移転する。ワクチン接種も行う。入院施設も2Fにつくる。しかば総合病院とする…。
- 整骨院、整形外科などをまとめた医療施設。
- 総合病院が出来て、近隣から患者が集まれば、町の活性になり、病院の中にレストラン、コーヒーショップが入り、いつでもお食事に行けるようになれば良いと思います。希望。
- 総合病院が町内に必要ではないでしょうか？診療所はありますが、ドクターが町外からの通勤では意味がないのでは？せめて、連絡すれば町内だとすぐ診察してもらえないではないでしょうか？
- 渡島リハビリが何時でも満杯で本当に困っている人も多くいると思います。旧庁舎を鹿部リハビリに作り替えた方が良いと思います。

## 福祉、高齢者向けの施設

- デイサービスの集合場所等。
- 健康作り(体力増進)、高齢者向け福祉(介護いこいの場としての施設の使用)。
- 広さを生かして高齢者のレクリエーション施設。
- 高齢者、障害者の人々が気軽に利用出来る施設。
- 高齢者が、おしゃべりやお茶が飲めて、遊びにいけるような明るい場所。軽い運動と血圧が計れる場所。
- 函館の「亀田福祉センター」のような、休けいや待ち合わせなど、少し長い時間をつぶせるような施設。
- 福祉関係で利用出来る施設がよい。

## 防災関連

- 一旦壊して、鉄筋コンクリート高層(少なくとも30m)の避難所があれば安心(津波対策)。
- 災害があった時の避難場所。
- 災害時の避難場所。
- 防災時の活用。

## バスなどの待合施設

- デマンド交通の待ち合い所。デマンド交通は不便である。買い物しても、帰りの時間まで過す場所がない。
- バスの間隔が少ない為、次のバスまでの待合所として利用したい。買い物に行っても、帰りまで待つ所がない為、バスを利用しにくい(他にも待合場所があれば、バス利用者は増えるのでは)。
- 図書館(読書・勉強が出来る(PCも有)など今より充実したもの)を併設した、喫茶兼バス・タクシー待ちの場所。

## 行政サービス施設

- 遠くなってしまったので、(役場を)戻してほしい。
- 旧庁舎の一部を活用し、宮浜地区、本別地区、リゾート地区の町民のために、出張所を設置してほしい。特に高齢者の一人世帯及び車のない人々のために必要。
- 出張所として町民が利用し易いようにしてほしい。現庁舎の場所は不便。
- 新庁舎が遠く利用しづらくなってしまったため、分室としての活用を期待したい。
- 分庁舎。
- 民生課保健福祉は旧庁舎に戻って欲しい。1~4月は税務課も旧庁舎で対応してほしい。不便である。
- 役場宮浜支所。
- 役場新庁舎が私の住んでいる所からはとても遠い所に思えます。身近に使える分庁舎にして下さい(マイナンバーカード利用の質問ステーションなど…)。
- 役場本庁舎が離れた感が強いので、何か出前サービスの利用方法を考えて下さい。

## 葬祭場

- リノベーション改装整備をして「セレモニーホール」を作っては？高齢化は進む。一方働く場所もあり、送られる人も、生まれ住んだ町で見送ってもらえるのはベターかと。私は43才ですが、万一の時は…と思います。納入業

者、お尚さんはきちんと考えるべきですが、環境の整ったセレモニーホールはいいアイデアかと(個人の家族も気持ち的にラクかと思います)。

- 葬儀ホール。誰でも利用できる式場。鹿部町には斎場がないから。
- 町内の人が利用しやすい葬儀場があると、ファミリー葬等気楽に利用しやすいのではないのでしょうか？

## 取り壊して更地に

- 解体/壊す(4)
- 安全上取りこわすべき/老朽化しているので、取り壊しをした方がいいです(2)
- 老朽化してるので、取りくずして平地に。
- 津波のことで新築したのだからこわす。
- 活用せずに解体するのであれば、その判断を急いだほうが良いと思います。
- 解体し、分譲する。
- 解体してさら地にすべき。解体代は年々高くなっている。負の財産は処分すべき。
- 建物が大きすぎて使えないと思うので、古くなって景観が悪くなる前に、取り壊しが必要と思う。
- 災害などを想定して(新庁舎に)引越したのに、そこ(旧庁舎)を活用しても、いざ災害が起きたらと考えると、そこに人が集まるのは好ましくないと思うのですが…。活用するなら更地にして、宅地として買却したら良いと思います。役場職員を活用すれば、更地にするコストも減らせると感じますよ。
- 鹿部町の活性化につながる利用が良いと思うが、解体も選択肢の一つである。
- 耐震について現建物に不安がある、又は津波等への対応について問題があるとの事で、また事務的機能が不都合であるとのことで、新庁舎を建設したとお聞きしていましたが、解体すべき建物ではないかと存じます。

## その他

- あらゆる特殊分野の悩みのピアサポートを開設することに用いられてほしい。困っている人の助けになることに使ってほしい。今は無理かもしれないが、子ども食堂など。
- まだ使えるのですか？老朽化で使えないものと思っていました。
- 何かに活用した方が良いと思います。前を通ってもすごくさみしい気がします。
- 各グループ団体からすぐにも希望を募り、すぐにも活用出来る様にしたい(すぐ行動してほしい)。
- 旧庁舎が活用できる建物なのか、疑問に思います。
- 旧庁舎の活用について考えないで、新庁舎を決めたのですか？そのままでは町民の負担になるのでは？
- 思い浮かびませんが有効な利用を願っています。
- 鹿部漁組につかってもらえれば、購買部も中に入るので、便利だと思います。
- 室内温室←水耕栽培で作物を育てる。
- 取り壊して、集客できる施設を作る。
- 場所的に町民が行きやすいので、解体しないでなにかに使用してほしいですね。
- 大人の遊戯施設と子供を預かる所を作れば、利用者たくさん…。
- 町内で趣味や物品製作、食品にか関わっている人たちなどを招いて交流する機会を設ける。
- 町民が通いやすい場所なので、①保健福祉課と社会福祉協議会を入居させて鹿部らしい「健康づくりセンター」にし、検診も行う。②商工会の入居。庁舎前での町民が楽しめるイベントの開催で観光発展につなげる。③2階を持ちこみふれ合い屋台。火を使用しない各自持ち寄った食品で仲間と宴会のスペースを貸出す(夜9時まで等の限定とか)。
- 長年鹿部町の発展を支えてきた場所。多少予算がかかったとしても、必ず何かに活用するべきだと思います。
- 展望スペース。
- 展望台が気になっている町民もいるのではと思うので、子どもたちが町探検などで使えるようになると思います。
- 保護猫で猫カフェと譲渡会会場。
- 予算額がどの程度あるのか分からないので、書きようがございません。当座はこのままの状態でおいておく他ないのではないかと！どう活用するか案は色々ありますが、億単位の稼ぎが必要だ。
- 老朽化、耐震基準等防災対策のために新庁舎移転となったことから、福祉、居住以外の活用を願います。



### 問13 まちづくりへのアイデアやご提案

最後に、今後のまちづくりにおける新たな取り組みや重点的に行うべき取り組み、まちづくりへのアイデアやご提案などがありましたら、ご記入ください。

#### 漂流ごみ、ポイ捨て

漂流物(漁具も含む)が散乱状態。海岸環境整備・清掃を。	60代	女性	リゾート地区
家庭のゴミをポリ袋に入れ、車の進行中に道端に投げ捨てる不心得者が多い。道徳以前の問題だ。海岸に廃棄物を放置するのも気が知れない。もっと取締るべきだ。観光開発より先に解決しなくてはならない問題だ。	80代以上	男性	リゾート地区
海岸に打ち寄せられるゴミ回収を定期的を実施。	70代	男性	リゾート地区
海岸に打上げられた漁網や発泡スチール等のゴミが散乱しているので、その処分等を行う。	70代	男性	リゾート地区
漁業を売りにしているにも関わらず、海があまりにも汚いと感じます。	20代	男性	宮浜地区
鹿部町の海はよごれている。町をきれいにしても海がよごれていたら意味がないと思う。海のクリーニング活動も必要だと思う。特に築港は本当によごれている。	40代	女性	宮浜地区
鹿部町は海に面しているのに、散歩したくなるようなきれいな浜がないことが残念です。	70代	女性	リゾート地区
出来洞～本別漁港の海岸のゴミを撤去。	70代	男性	リゾート地区
町民の自然資源に関する意識の浅薄さです。時折趣味の釣りに出掛けますが、沿岸及び海のごみがすごい！！私たち命の源の場であり、生活の糧を提供してくれる鹿部の基本の海が現在の状況では残念でなりません。衛生管理型漁港が何やら私にはよく解りませんが、建造物はいつかは壊れます。町長1人1人の意識が意味をもつのではないのでしょうか？ごみの問題も同じです。	80代以上	女性	リゾート地区
波にうち上げられた沢山のゴミ、流木他などなんとか(海)しなければ、本当の町づくりではないと思います。たとえばイベントとして考えると、カットした木材を(町民も)何かに使えないか？それ(流木)を町で買ってくれたりしたら、仕事としてやってくれる人もいるのではないかと？自分にとって不用品でも人によっては必要な物という事もあるのでは。	60代	女性	鹿部地区
浜辺のゴミ処理。	20代	男性	宮浜地区
43号大沼公園鹿部線のペットボトル、ゴミ袋のポイ捨て・・・鹿部住民として恥ずかしい、取り締まり強化してほしい。	60代	男性	リゾート地区
空き家の解体補助や税制上のことが解決すれば、解体も進むのでは。	60代	女性	本別地区
メイン道路(車道・歩道)の美化整備・運動。花のある町づくり。いつも綺麗な鹿部町へ。	70代	男性	宮浜地区
一番感じるのは、ゴミすてが非常に多く、町人達がもっと意識をもって欲しい。町・道路ゴミすて0にするまちづくり！！	70代	女性	リゾート地区

#### 景観

空き家、景観の悪い建物、古屋、倉庫、廃墟をへらす。	50代	女性	本別地区
空き家、廃屋対策(放置物件にはペナルティ)。	70代	女性	リゾート地区
市街地の整備。	40代	男性	宮浜地区
鹿部新道の脇に山紅葉など植えたり。(銀杏の木など)正直ナナカマド魅力がないし！！とにかく並木にしないと。	60代	男性	本別地区
鹿部町住民の町の景観への認識。(町の中のゴミが多すぎる)	70代	女性	リゾート地区
西興部(にしおこっぺ)村を通った時、町なみの美しさに驚いた。公共の建物だけでなく、民家も外側の色を統一している。新築あるいは建て替えの時に指定の色にすると補助を受けられるとのこと。小さい村だからできるのでしょうか。鹿部のメインストリートはちょっと残念。	70代	女性	リゾート地区
川や海岸道路のゴミ清そうが大事だと思います。	50代	女性	宮浜地区

大岩に入ってすぐの古い家なみ(あき屋)、浜道路のこわれた家々など沢山目につきます。鹿部町の(まちづくり)にはあってはならない景観の様に思います。町でなんとかすべきではないでしょうか。	70代	女性	鹿部地区
電柱の地下化。	60代	男性	リゾート地区
新庁舎付近から駒ヶ岳を望む道路沿いに、町民一人一人が「桜」(さまざまな種類の桜)などを植樹し、景色の良い街並みにする…(砂原のフラワーロードのようなイメージ)。	70代	男性	リゾート地区

## 公園など

いこいの場の拡充。狭すぎる現状の打開。	70代	男性	リゾート地区
きれいな公園があり、土日は多くの人利用していますが、この頃は手いれが雑になりました。藤棚も荒れて伸びほうだい。係の方、たまに見に来て。こんなすてきな公園は皆さんに利用して見に来てほしいです。	70代	男性	宮浜地区
鹿部公園の遊具は対象年齢が高いように思います。時々近くの幼稚園のバスなども見かけますが、もう少し遊具の見直しや遊ぶためのもの、雨天でも出かけていける公園などになると嬉しいと思います。	50代	女性	宮浜地区
鹿部広園はとてもいい公園だけど、遊具が昔からある木の遊具しかないのが残念、芝生の広い所がせつかくあるのに、何も生かされない。もう一つあそこに大きな遊具を作ってください。トイレもキレイになったし、子供をよびこむスポットにしてほしい。	20代	女性	宮浜地区
冬季(雪)にも全年齢が安心して利用でき、子どもたちが思いきり遊べる室内型の場(八雲パノラマパークのような)が鹿部にも欲しいと思っています。小さい子どもさんを育ててる方からも、そのような声を聞いています。場があれば、近隣からの利用者や又旅行者の方の集客が出来、出会いや集いの広がりにもなると思います。住み良い町になることを期待しています。	70代	女性	リゾート地区
本別地区に子供が遊べる公園を作してほしい。	20代	女性	本別地区

## ごみ収集

ゴミ袋の無料化。	70代	女性	リゾート地区
ゴミ分別について。いち早く分別のとり組んでいた横浜からの転居なので、こちらの分別にとまどう事はありませんが、分別されたものが各々(プラビン紙etc)どの様に処理され、どの様に役立ち、またどれ程の経費がかかっているのか等、知れば関心も高まり、子供達も分別の意味を実感するのではないのでしょうか。地球温暖化二酸化炭素削減にもつながっていくと思います。子供たちに空気のきれいな鹿部を大切にもらいたい。	70代	女性	リゾート地区
ひとり暮らしな為、ゴミ袋30ℓでも大きすぎて困ってます。特に燃やせるゴミ専用袋には生ゴミを入れるため、長く置いておくと異臭もひどく、うじ虫もわく時もあり、参ってます。なので燃やせるゴミ専用袋(青)だけでもいいので、5ℓくらいの袋をつくっていただきたいです。	50代	女性	宮浜地区
個人個人でゴミ入れの設置の許可を。新しいゴミ仕分ブックを出してほしい。	70代	女性	宮浜地区
大ゴミについて。大ゴミについては有料化する事により①申し込みしやすい(電話対応)②無駄な買物を少なくする③物を大切に使う等メリットがあると思う。	70代	女性	リゾート地区
役場内に資源ゴミBOX(段ボール、紙パック、新聞雑誌、衣料…)の設置。業者に買い取っていただき、町民へ還元。	70代	女性	リゾート地区

## 道路、歩道

宮浜(ニコット)～鹿部(セブンイレブン)間の歩道整備。電動車椅子利用者が車道走行の現実。子どもの通学、買い物、郵便局等々への移動に歩道の狭さと排水路のコンクリート蓋のデコボコが危険!	60代	女性	リゾート地区
今ある町道の維持を強化(バリアフリーを含める)。	60代	女性	宮浜地区
町の歩道を作してほしい(整備してほしい)。冬は冬道らしきところが雪に埋まり歩行できない。車道を歩くことになるので、事故につながる。	60代	女性	リゾート地区
道路の整備をもっとしてほしい。今現在、役場の方へ希望を出しても、予算がないと一言で終わってしまうが、町内を見ると、`何でここが?、という道路が整備されている所が数ヶ所。自費で整備するには限度がある。町長も朝の散歩の時に、もっと気を使い見て回ってほしい。行動力のある町政を希望する。	60代	男性	宮浜地区

## 除雪、排雪

リゾート地区内の道路除雪に関して申し上げる。どのような型式で除雪を行っているかわかりませんが、降雪の時、1度巡回して戴きたいと思います。今冬10cm以上の降雪にも関わらず、除雪車が入るのは午後から又午後5時過ぎです。予約タクシーをお願いしても入ってこれません。救急の場合は間に合いません。是非解決下さい。	70代	男性	リゾート地区
除雪について毎年思う事ですが、拡幅をお願いしたいです。	50代	女性	鹿部地区
冬の除雪を悪いもう少しいねいにしてほしい。今年は最低です。	50代	女性	宮浜地区
道路の除雪を重点的にやってほしい。除雪の周りが悪いので事故の原因になると思います。今年は特に除雪の周り悪いです。国道以外の道路。	50代	回答しない	本別地区
歩道の除雪をし、歩行者の安全を確保してほしいです。交差点のカドに雪を積むのはやめてほしいです。	50代	女性	鹿部地区

## 水道

水がおいしくないなので、水道整備をお願いしたい。ご飯を水道水で炊けない。	20代	男性	宮浜地区
--------------------------------------	-----	----	------

## 排水

下水道の整理してほしい。	不明	女性	宮浜地区
水洗にならないかなあ。	40代	女性	本別地区

## 公共交通

デマンド交通の試行後に、モーモータクシーの利用可能は大変喜ばしい事で有る。しかし乍ら、今迄ひとり暮らしの方々が、社会福祉協議会のお世話に成っていた人達の車利用が無くなったと伺っています。タクシーの誘致は芳しい事ではあるが、不満を抱いているとの事。一歩前進・後退と思う。特にリゾート住まいの方々は、好んで鹿部をチョイスして居を構えた人々が多い現実である。住みやすい街(町)づくりのモットーは利便性と思う。	80代以上	女性	リゾート地区
移動交通の利便性の向上。	70代	女性	リゾート地区
交通が不便なので、バスや鉄道の充実。	60代	女性	リゾート地区
交通の便	70代	女性	リゾート地区
交通手段:スマホを利用して利用者を把握して、相乗りタクシー(バス)を家の近くから郵便局、病院、役場、買物へ行き来できるようなシステム。	60代	女性	リゾート地区
車を保有していない人、運転できない人々、又函館の病院に診察に行きたい人の足を確保して欲しい。	70代	女性	リゾート地区
住み良い町と思いますが、交通、医療が課題と思います。	50代	男性	リゾート地区
地域交通など、開始ギリギリに高齢者に伝えるのではなく、取組みが明確になった時点できちんと高齢者に伝えていくべきだと思う。若い人達よりも高齢者が多いのだから、高齢者の声も聞いていくべきではないかと思う。	40代	女性	宮浜地区
町内のデマンド交通にご尽力いただいておりますが、80歳を越え、車をばなしたら利用させていただきたいと思っています。今リゾートのT街通に住んでいるのですが、バスの停留所が近くにありません。せめて国道278号線に出るところに停留所があればと思っております。	70代	女性	リゾート地区

## 鉄道、バス

JRの時間帯の見なおし。出来たら本数をふやしてほしい。	70代	女性	リゾート地区
しかバスについて。公民館で活動している講座やサークルに車のない人、免許証を返納した人も気軽に参加できるように、運行時間を考えて設定して下さい。各種活動は午前9～10時頃、午後は1時の開始が多いかと思います。又、平日と土・日のダイヤ設定でわかりやすく、覚えやすい形で時間帯(多少の待ち時間は問題ないと思います)に設定されれば、参加者の増加に伴うバス利用が活用されると思います。	70代	女性	リゾート地区
しかバスの時間が、学校の時間と合えば利用したい。	40代	女性	本別地区
しかバスの時刻表が曜日違うのは不便です。使いたい時に使いたいバス便がなかったりすると、結局利用できない。デマンドのタクシーもそうです。	60代	女性	リゾート地区

しかバスの場合、買った物を持ち歩かねばならない。2・3箇所行くとすると年寄りには負担。	80代以上	女性	リゾート地区
バスについて。停留所又は鹿部駅まで徒歩40分以上かかります。便利とはいえません。10分以内で乗車出来るよう希望する。	70代	男性	リゾート地区
とにかく駅が町内から遠いので、駅までの交通をもう少し便利にしてほしいです。七飯、函館方面だけではなく、森駅方面へのバスがあると、とても助かると思います。	40代	女性	鹿部地区
函バスとしかバスを別にしてほしい。しかバスは旧国道を利用してくれると、小学・中学の通学にも利用したいので、見直しをしてほしい。	40代	女性	本別地区
昨年2～3回鹿部庁舎に行きましたが、帰りのバスが2時間後。何か工夫して頂けませんか。	80代以上	女性	宮浜地区

## 漁業

コンブの栽培の質の上昇(副産物で、コンブの販売、海産物の質の向上など)。	20代	男性	宮浜地区
ホタテ養殖の改善。	30代	男性	本別地区
育てる漁業。	70代	男性	リゾート地区
育てる精神を長期的に(漁業・農業・林業をバランスの取れる様に)→漁業100%はあやうい！ 100か0かは良くない。くんせい等商品開発。商業観光を活用するべき。	80代以上	男性	リゾート地区
漁業→畜養施設の整備等。	50代	男性	宮浜地区
漁業が盛んな鹿部において、タラコ、ホタテ等の美味しい食材があるのだから、もっと他県にPRして、企業とかにもPRして、国民にアピールしていければと思う。	50代	男性	リゾート地区
漁業が盛んな町ですが、もっと付加価値をつけて売買できるような仕組を！気軽に買えたり、食べられり…獲れない、安いに売らない、ではなく自分たちで売れるように！	40代	女性	鹿部地区
漁業ホタテに並行し、他の種の養殖の研究開発。	70代	女性	リゾート地区
漁師町なので、漁業の支援を期待しています。漁師が活気がないとだめだと思います。	30代	男性	宮浜地区
月1回朝市など(海の町に住んでいるが、鮮魚など食べた事が無い)。	70代	男性	リゾート地区
今のマンネリで排他的な漁協の体制を改革し、漁業者の育成、販売ルートの拡大。	80代以上	男性	リゾート地区
自然豊かで水が美味しく空気も綺麗な鹿部町は素晴らしい所だと思います。町民が気付いていないような気がします。漁協朝市とかの取り組みがあれば町民も観光客も喜ぶと思います。	70代	女性	リゾート地区
鹿部はなんと言っても漁業の町で御座います。魚介類の養殖を大々的に行うことと思います。大々的に行なって居る町は所得効果が多い。	50代	不明	鹿部地区
鹿部港に上がった魚・タコ・ナマコ、これらを町民の台所に届けるシステムをつくって！”築地”の場外市場のようなものが鹿部にはないのが残念…。観光客も呼べるはず。	70代	男性	リゾート地区
鹿部町の現存資源の観点から、海洋資源、温熱資源、老人資源？が持続可能か。猿払村の管理ホタテ、森町の養殖牡蠣などの例から、まずは目の前で育てる海資源が可能か。南茅部とタッグを組んだやり方なども。	70代	男性	リゾート地区
水産加工場ではなく、末端の漁業従事者が潤うように。鹿部町で水揚げされる水産物を知らない町民、近隣市町村の人が多すぎる。獲れている物をもっとアピールする必要がある。漁師町なのに漁組で簡単に魚も買えない不思議。	50代	女性	宮浜地区
水産業は今までの特産だけでなく、新しいものの養殖などに育成、補助することが大事。	70代	男性	リゾート地区
鉄鋼スラグ等を使用した磯焼け対策(積丹方面で実績有り)。	30代	男性	鹿部地区
鹿部に人がいなくなってるのは、ホタテ養殖の環境(仕事内容が過酷すぎて、ホタテじたいキライ！だから！漁業者に労働時間を長くしすぎないことを教育した方がよい。ホタテやってる家に生まれた人は、ホタテの仕事だいikiraidoと思いますよ。だからみんな町外ににげちゃう。→人がいなくなる。→産業も衰退。漁師の頭の中、考え方おかしいよ。フルタイムで働いている人間に、休日仕事手伝ってって、バカじゃないの！←ほんとに言われた。休日くらい休ませろ。	40代	女性	宮浜地区
町民が海を楽しめるように、漁業者だけでなく一般町民も利用出来る舟の係留場所(有料で良い)の確保新設をして欲しい。今の漁港の係留指定では使えない。斜路も必要。	80代以上	男性	リゾート地区



## 農業

新しい産業農業の推進育成。ハウス栽培による薬物野菜、果実、花卉などの栽培。わが家では無暖房で、ハウスで夏はミニトマト、キュウリを、冬にはホウレン草を栽培収穫し、近所にお裾分けもしている。庭の露地栽培ではイチゴ、ジャガイモ、ズッキーニ豆類を栽培している。鹿部でも農業の育成は可能と思う。	80代以上	男性	リゾート地区
濁川温泉のハウス栽培のような、農産物を町の新しい産業としてはじめる(都会からの若い移住者を受入れ雇用)→地元の間人も雇用し、若い世代の流出を防ぐ→町の特産物をあわせてB級グルメレストランをつくる。	40代	女性	リゾート地区
地域の資源や特色をいかした産業の推進(温泉熱を利用した森町湯川でのコーヒーの栽培)。	70代	男性	本別地区
農業開拓。	20代	男性	宮浜地区

## 商業

買物の便	70代	女性	リゾート地区
「移動道の駅」(軽バス等を利用し、近隣市町に住む、来たくても来れない高齢者等に特産品を届ける)。	30代	男性	鹿部地区
リゾート地区にコンビニなどの誘致をするには、大和ハウスとの話し合いが必要ですが、旧ロイヤルホテルの利用も!	60代	女性	リゾート地区
鹿部バイパス道路沿いにコンビニ、お店などを着工。	30代	男性	鹿部地区
商店(スーパーとかホームセンター)の充実。	60代	女性	リゾート地区
食材豊富なスーパー	30代	女性	鹿部地区
食料品の買物は、森町と七飯町にとられている状況です。町としてもったいない気がします。	50代	女性	鹿部地区
水産物を購入できる市場(週2日位)があれば良いと思います。	50代	女性	鹿部地区
他町に行かずとも買い物ができるお店がほしいです(日曜に湿布が買えない!!)。	40代	女性	鹿部地区
町内で新鮮な魚が買える所が少なく、魚の入荷状況などわかるネット網(LINE)などがあればいい。	40代	女性	鹿部地区
買物に便利な商業施設等と購入意欲が上がる個人所得増(特に家族従事者)の両輪で、お金が町内で動くしくみができないものであろうか。	70代	男性	リゾート地区
買物もう1軒位、総合的な買物ができる所がほしい。	70代	男性	リゾート地区
北洋銀行をたたてほしい。もう一つスーパーをたたてほしい。	30代	男性	宮浜地区
食事どころが欲しい。	20代	男性	宮浜地区
海の見えるおしゃれなレストラン(鹿部の食材を使った)。	60代	女性	リゾート地区
新庁舎付近のバイパス道路からは、駒ヶ岳も海も見えてすばらしい景観です。眺望を生かした施設、例えばログ風のおしゃれな喫茶店等いかがでしょうか。	70代	女性	リゾート地区
バスを待つ時間等に利用できる喫茶店が必要では。	70代	女性	リゾート地区
町外産品(農・畜産)の不定期バザール。(例えば道の駅か旧庁舎のロータリー)。	60代	女性	リゾート地区
町内にも大手3社の携帯電話ショップがあると良いかと思えます。	30代	男性	鹿部地区

## 観光

サケの遡上する鹿部川の充実。河口で全部とらないで、一定量上流に登らせることも観光面・自然環境面からも、必要ではないだろうか。	70代	女性	本別地区
10年くらい前は、道々43号線大沼公園鹿部線の両側に黒松があり、赤松街道ならぬ「黒松街道」としてアピールされていたようですが、最近では立ち消えの感じがします。よく見ると立派に残っているところもあるので、もう少し整備したり、宣伝したらどうでしょう。	60代	女性	リゾート地区
(観光)ドラマとかで鹿部町の町をもっと全国に広げたい。	60代	男性	本別地区
Aグルメの構想を実現してほしい。	70代	男性	リゾート地区
たらこを使った新しい料理の開発。	60代	女性	リゾート地区

いくら観光の宣伝をしても、魅力ある観光や鹿部の立地をいかしたカフェレストランなど、もっと観るもの食べるもの体験など、アイデアをだしあい、1から作る必要を感じる。(交通が良くなるよう改善しなければ何の意味もない。)	50代	女性	リゾ-ト地区
間欠泉が売りなのに温泉に入れない!。おいしいさかなを食べるところがない。食事を中心としたお祭りをしたい。つり客が町外からたくさんよべるような整備がほしい。	60代	男性	鹿部地区
せっかく駒ヶ岳や対岸に羊蹄山・白鳥大橋が見える美しい景色があるのだから、海辺に椅子とゆっくり楽しんで眺められる、お洒落でおいしい食物も提供できるレストランや喫茶店があれば良いと思います。地元の人にも観光客にも気軽に利用してもらえる場所です。	70代	女性	リゾ-ト地区
ホテルが無くなったので、キャンピングカーが利用出来る場所を作って観光客を誘致。	70代	女性	リゾ-ト地区
温泉の熱量を使用し、イチゴを温泉栽培して観光客を誘致しやすくする。場所は新役場の山側。新道から駒ヶ岳が見える場所はとても良い風景です。	60代	女性	鹿部地区
温泉を利用して、大きな温室で植物を育て観光の一つに。今ひょうたん沼にあるアジサイについて、もっと種類を増やしてアジサイ公園とする。花の加工品なども。足の便を考える必要有り。	80代以上	女性	リゾ-ト地区
温泉施設やキャンプ場など温泉資源を活用した施設を作ると人を呼び込めると思います。子供に興味を持ってもらうと大人がセットでついてきて、観光地として理想的だと思います。町の人を呼び込める目玉的な物が道の駅だけの様に感じます。道の駅自体せま苦しい感じになっていて、少し混雑するだけで利用しなくなりそうです。駐車場が遠くなると、沢山購入したくても購買力が低下するので、道の駅の駐車場の整備を考えてほしいと思います。	40代	男性	本別地区
家族で楽しめる釣り堀公園があり、ゆっくりのんびりでき、釣れた魚を料理してくれる旅館があり、宿泊者も増え、水産業も更に発展する。	70代	男性	リゾ-ト地区
海岸線(磯・浜)を活用(三味線滝付近)して海の釣り堀を造る(観光客・スポット)。有料(漁協・組合員協力のもと、魚類投入(ソイ・カレイ等))。	70代	男性	宮浜地区
海浜公園をつくり、潮干狩りなどができるスペースをつくる。	40代	男性	宮浜地区
観光拠点、道の駅中心に、オートキャンプ場、鹿部公園をもっと広げて、オートキャンプ場等、災害時にも利用。ひょうたん沼、名水庭園等利用。鹿部ロイヤルの利用。羊蹄山周辺の絶景スポットを、駒ヶ岳周辺に。森町・七飯町といっしょに、Pパーキング付スポットで、写真もとれる場所作りと、写真展を開いたり、観光客の集客には漁業で目玉になる魚貝を考える、	60代	男性	リゾ-ト地区
観光業にもっと力を入れるべき。大沼公園から足を伸ばして、鹿部に着たくするような取り組みを。間欠泉に到着するまでの街並みを豊かにする。お土産屋、のぼりの設置、海が見れる展望台。それらをもっとPRすべき。	40代	女性	本別地区
亀の湯を町で買取り復活させる(観光客やいこいの湯対象外の若い世代の外来入浴施設をつくる)。	40代	女性	リゾ-ト地区
旧亀乃湯の有効利用。道の駅、車中泊者へ安価で提供。	30代	男性	鹿部地区
近場ではなく本州関西といった遠方に向けて、狙いを定めた情報発信を行う。北海道内に北海道のことを伝えてもなかなか響かない。そこでWEBを使い、より遠くへ広報活動を行い、北海道ではなく北海道の鹿部町という認識を広める。WEBを使い、すべてのコミュニケーションを完結させ、冬の閑散期の落ち込みを無くす。	30代	男性	鹿部地区
三味線滝に休憩できるスペースを作る(椅子、テーブル、音よけなど設置)。	60代	女性	リゾ-ト地区
子どもも大人も楽しめる自然の中にあるアスレチックレジャーランドのような所があれば、他町からも人がたくさん来て、鹿部町の名がそこから知れていくと思う。ここにも軽食があれば、すごくいいと思う。	40代	女性	本別地区
自然を活かしたキャンプ場。	60代	女性	宮浜地区
鹿部町を観光の出来る町。遊園地など。	50代	女性	宮浜地区
水産漁業以外に、温泉自然を活用した観光事業が出来ればよいと思います。それが雇用の場の拡大、少子化対策につながっていくのかなとも思います。	50代	女性	鹿部地区
遊漁船、町内飲食店、宿泊施設の融合(釣った魚を持ち込み料理してもらい食す。そして温泉に入り泊まる等、一つのプランとして売り込む)。	30代	男性	鹿部地区

町の人口減は消滅都市への一本道です。生産年齢の若い方々の流入を期待したいですが…。流入増の他市町の成功例に倣ったらいかがでしょうか…。以下に何かのヒントになればと記載しました。町内には漁業関連、温泉旅館、2つのゴルフ場が有り、他に空き家バンク等も活用し、下記の項目を組み合わせ、町の商工会、観光協会が調整し段取りしたら…雇用が生まれるかも…。◎漁業・漁師メシ(森方面、川及方面)、釣等。◎温泉旅館2泊3日飯付。全温泉手形で入浴可。但し二旅館以上使用。・ゴルフ場2プレイ+α [他の大沼レイク・北海道CC]。◎大沼公園・散策ポート回遊、カヌーカヤック体験、乗馬体験等…を7～10日間で出できれば安価で。<例>初回:2泊3日 A旅館森方面の釣り／1日目鹿部CCゴルフ／2日目…。2回目:2泊3日 B旅館大沼国際CC／1日目大沼乗馬体験／2日目出れば町内の足はバスを利用したい。勿論各旅館の温泉手形での入浴も同様のデマンドバスで…。	不明	不明	不明
道の駅の間欠泉の利用が観光客に対してのイメージが薄く感じる。外部からも自由に見学する方が良いと思う(閉鎖的に感じる)。	70代	男性	リゾ-ト地区
今全国的にコロナの関係で町の取り組みでは行き詰っているところはあるが、過去に行ってきたイベントで、密にならない範囲で行えるようにして欲しい。「町が生きている」という印象だけでも先ずあるといいと思う。	60代	男性	リゾ-ト地区
旅館とゴルフ客・つり客、連泊プラン。大学実業団マラソン。陸上部(春～秋)。卓球・バトミントン・ハンドボール等宿泊誘致(冬でも出来て温泉活用可)。	60代	男性	鹿部地区
七飯町、森町との駒ヶ岳を取り巻く観光業の強化。函館市、森町との縄文文化のつながりを持つ観光業を作る。	70代	男性	リゾ-ト地区

## 働く場

企業誘致。	50代	男性	宮浜地区
雇用捻出の為の事業取組。町外からの新規人員の募集もいいが、土着の人員も事業参加させ、長期的な雇用確保しなければ人口流出は防げないと思う(若年層を焦点に)。	30代	男性	鹿部地区
高齢者ですが、鹿部町に仕事があれば、子供達が来て、鹿部に住みたいと話している。若者～中高年が働ける場、生活していける町であってほしい。若い今の町長に期待しています。	70代	女性	リゾ-ト地区
私に町内での仕事をください！！もう生活がきびしい。	30代	男性	宮浜地区
若者が住みたい町→働く場所がある。	70代	男性	宮浜地区
若者が働ける様な場所でも作ったら人が増えるんじゃないの。だんだんシカベ町も人が減って、年寄りの町だから、二十年も前から見たら半分の人口でしょう。だから若者の仕事場を作る事。	70代	女性	宮浜地区
若年層の町外への流出を抑える為に、魅力ある雇用の実現。	40代	女性	宮浜地区
主婦の働く場所がほしい。働く所がない。若い人が働く所がない。	40代	男性	宮浜地区
大和ハウス工業等との連携強化。外部企業の誘致。	70代	男性	リゾ-ト地区
町に高校がないのは仕方ないけれど、町外の高校へ行った子達が戻って働ける魅力的な職場を作ること。	80代以上	女性	リゾ-ト地区
町外へ出ていった若者達が、また鹿部に戻って来て働きたい！！と思える町づくり(町民の若者も働きやすい町)。	30代	男性	鹿部地区
町外者の働く場所を増やしてほしい。	20代	女性	本別地区
町民の増加。町民が増えれば町が活気付くと思います。大手企業の誘致が進めば、働き場所もできる為、人の流れも多くなり、若者も増えるでしょう。	70代	女性	リゾ-ト地区
働く場所があれば自然と人が増えるし、少子化も解消されると思います。	20代	男性	宮浜地区
働ける場所が少ないので、若い人達が働ける場所が増えるといいなと思います。	30代	女性	リゾ-ト地区
年齢関係なく、雇用の場をもうけてほしい。役場でそのようなものがあるようだが、うまく活用できないので、もうすこしわかりやすく、年令や学歴など関係なくしてほしい。	50代	女性	宮浜地区
各種自然産業の事業環境に多大な変化が見られる現状から、これまで通りの事業振興から脱却し、安定的に産物を確保出来る養殖技術や自然エネルギー等を利用する新産業を一日も早く、企業や大学等と連携して進める事を期待します。また、上記のようなサテライトオフィスや安い住居提供を行い、働く若い世代を呼び込み、子供を安心して、のびのびと育てられる環境を整えてほしい。	60代	男性	リゾ-ト地区

企業の誘致を進めてほしいです。が、中国企業、中国企業との関わりが深い企業、SDGsや脱炭素などを唱える企業は絶対に入れてはいけません。	30代	男性	大岩地区
---	-----	----	------

## 起業支援

水産業のみの町から、他産業への起業育成を早急にすべき。いつまでも水産業にたよることでは衰退化は必須である。	70代	男性	リゾート地区
町内の飲食店が少ないので、新たに起業する人を応援する取組みをする。	40代	女性	リゾート地区
倒木の整備で木のチップを生産したり椎茸栽培、オオイタドリ茶の生産、鹿肉のジビエ料理店。やる気のある若い人が来て挑戦出来る町にする。	70代	女性	リゾート地区

## 保健

ワクチン接種ありがとうございます。	50代	女性	宮浜地区
昨年からのコロナ対策、ワクチン接種の取組みに町民として感謝します。	60代	女性	リゾート地区

## 医療

医院の数が少ないし、夜間は無医村になる事が大変。	70代	男性	リゾート地区
医療と交通の利便さが身近になるよう望みます。	80代以上	男性	リゾート地区
医療施設の充実化、医師の確保。	70代	女性	リゾート地区
医療体制の充実(眼科や皮膚科等、病院を作る等)。	60代	女性	リゾート地区
医療介護が不安。他の市町村におまかせ状態。	70代	女性	リゾート地区
医療についてですが、車のない人などは、乳ガン、子宮ガン検診を町の中で受けることができるかと助かります。お願いします。	60代	女性	宮浜地区
医療関係で専門医がなく不便。たとえば眼科、整形外科、歯科も一軒なので、選べるように、せめて2つ位はあると良いと思う。とにかく今はすべて町外(函館)、もしくは森まで行かないとないと言うのが、非常に不便だと思います。	70代	女性	リゾート地区
一般的な病気は診療所で診ていただいているが、高齢者にとって必要となってくる、眼科、整形外科、皮膚科など一回の通院ではすまない。専門家が鹿部にはない。高齢化が進んでいる現状、週に一度でも診ていただける環境を望みます。	60代	女性	リゾート地区
耳鼻咽喉科、動物病院→隣町に行っている。	60代	男性	リゾート地区
鹿部町には医療の充実が必要だと思います。耳鼻科は七飯町まで行くしかありません。設備を整えて、週一度程度の医師の派遣などで頂ければ助かります。	50代	女性	鹿部地区
鹿部町に住んで思うことは医療環境です。大きな病気等の場合はどうしても函館の病院を利用しますが、今少し交通が便利であれば良いのにと思っています。	70代	男性	リゾート地区
鹿部内科で子供・幼児をみれないのはおかしい。急な発熱などの時、函館まで行かなければいけないのはおかしい。	20代	女性	宮浜地区
小児科があったら便利。	30代	女性	鹿部地区
診療に関して、内科のみでなく多くの診療科目があると良いのでは。	70代	女性	リゾート地区
鹿部で生涯を終えたいと希望しています。自宅で入院せず、訪問医療を受けながら、それが今の希望です。町で訪問医療、訪問看護の事に関して前向きに進めていますでしょうか。リゾート地区はほとんどが夫婦で函館まで病院に通うのが本当に大変です。自分らしく素晴らしいこの鹿部で人生を終えたいと願う私です。是非訪問医療の件が前進する事を願っています。	70代	女性	リゾート地区
診療所について。Drに専門とされる分野があり、今までその領域で研鑽やご経験を積まれている事は重々承知していますが、鹿部町のような唯一の医療機関としては、総合家庭医としての役割が大きく求められていると思います。前のDrの時には、単純な骨折とかダニにくわれた等の折には、診療所での手当がなされたと思います。他の病院等をご紹介下さるのは適切な事と考えますが、遠方への受診が大変な面もあり、可能な限り、オールラウンドの家庭医としての存在になっていただきたく思います。	70代	女性	リゾート地区



## 子育て支援

育児の支援による若年層の移住促進。就労場所の斡旋。低家賃住宅の紹介。子育て支援金の給付。保育ママ制度の導入などによる、低年齢児の保育の充実など。	80代以上	男性	リゾート地区
子どもがいる家庭に鹿部に住んでもらえれば人口も増えると思うので、子育て支援として北斗市のような10万円給付をやってほしい。(18歳から22歳までの大学生等がいる家庭への給付)	20代	回答しない	宮浜地区
少子化対策は、高齢者対策より優先してほしいです。鹿部町は子供より高齢者に優しいように見えます。中学校の制服を近隣町村より先に男女共甲にチェンジしてはどうでしょうか？(幼稚園もです)。町が教育・子供のことに力を入れているアピールにもなるし、困っている親子さんの転入もあるかもしれません。子供が晴れでも、雨でも、体を動かせる場所が必要です。現状は大人もいて、自由に遊べるとは言えないと感じています。子供が毎日でも行きたいと思う場所が欲しいです。	40代	男性	本別地区
町が援助して無料で通える塾を運営し、経済的に大変な家庭の児童生徒が教育を受ける均等化を企む。	70代	男性	リゾート地区
子供が遊ぶ所。	30代	女性	鹿部地区
土日祝日でも利用できる児童館。	60代	女性	リゾート地区
冬場に子どもが遊べる場所があったら良いと思います。以前は町民公園で自分の子ども達にそり滑りで遊ばせたものですが、今はそれが出来なくなってしまいました。子ども達にはとても楽しい思い出となっています。孫にも遊ばせてあげたなと思いました。	50代	女性	本別地区

## 高齢者支援

高齢になってから住み続けるのは不便。ずっと鹿部に居るのは考えてしまう。高齢になっても住み続けられるような環境があればと思う。	60代	女性	本別地区
高齢者、障害者の人々への配慮	70代	女性	リゾート地区
高齢者の住みよい街づくり！～高齢者の足になるものの整備。楽しめて実行性ある健康予防運動。従来の町民とリゾート地域の町民の融合政策。	70代	女性	リゾート地区
人生100年の時代となり、高齢化社会は避けられない。それ故に町民への医療、介護、福祉、ケア等々のサービスの質向上は必須テーマである。	70代	男性	リゾート地区
町の人口の高齢化が進み、65才以上が約40%を占めるとのこと。このことに対応した老健施設の設置が強く要望されることとされます。広く町づくりの一環として、設置場所の選定、建築費、収容人員、施設設備費、介護福祉士などを、人材確保等々を含めて総合的に検討すべきものと考えます。	80代以上	女性	リゾート地区
年々高齢化が進んでいるので、高齢者の事を考えた町づくり。	30代	男性	鹿部地区
年老いても住みたい町→老人の施設が鹿部町にある。	70代	男性	宮浜地区
活気のある町作りを希望します。高齢者や一人暮らしの歩行の為、個々の道路の整備や除雪等の配慮を希望します。今後も色々な面で極め細やかな対応をお願いします。	70代	女性	宮浜地区
自立ホームヘルプ事業が無くなったことは非常に残念！！	80代以上	女性	リゾート地区
(いこいの湯について)来年から送迎バスが無くなるので、もう来れなくなると何人もの方達が仰っておられました。私は夫の車で出ておりますので困る事はないのですが、高齢者の楽しみの一つが奪われてしまうのはお気の毒だなと感じました。予算の関係もあると思うのですが、どうにもならないものでしょうか？御検討いただけましたら幸いです。	60代	女性	宮浜地区
高齢者特に車の運転などできない人、バスではなく町内だけでも代行運転サービスの充実を。	70代	回答しない	リゾート地区
コロナで全ての催しが中止状態です。高齢者は陰にこもりがち。心と体の生きがいが必要と思います。何の楽しみもなくボート過ごす日から、1日も早く外に出る催しがあればいいですネ。見る楽しみ、一緒に参加出来る楽しみ、右脳左脳を使う楽しみ(認知症予防)・・・何かないでしょうか。	70代	女性	宮浜地区
介護施設サービス付高齢者住宅が欲しい。	60代	女性	リゾート地区
良い自然環境、温泉を生かし、大型の老人ホームを誘致して老人の他地区への流出を無くし、雇用の場も広げる。	80代以上	男性	リゾート地区

本別リゾートの方々も、この場所しかない人がいるので、防災についての避難所や助け、先々国が計画している在宅医療、地域包括ケアシステムのケアを差別なく入れてほしいと思います。よろしくお願いいたします。	50代	女性	リゾート地区
--	-----	----	--------

## 生涯学習、図書館

サークル活動等、もうすこし町主催の、継続的なものがほしい。知り合いの少ない人など、参加しやすくなるように思う。	60代	女性	鹿部地区
サークル活動等、一部の方達は楽しんでらっしゃる様ですが、1人で単発でも入れる様な場所が無い気がします。	50代	女性	リゾート地区
年齢に関係なく、インターネットなどのやりかたを教える教室など、これからのための教室をふやしてほしい	50代	女性	宮浜地区
移動図書館(車に本を積んで町を移動する。本の貸し出し返却もできる)。	60代	女性	リゾート地区
鹿部中央公民館の図書室は小さくて、本の種類や数が少ないと思います。森町の図書館ぐらい本があれば良いと思います。	20代	男性	宮浜地区
図書館が明るく入りやすくなったのでとても良かったなと思いますが、もっともっと本を増やして多くの人が利用できる場にできたらと思います。	70代	女性	リゾート地区
八雲町も北斗市もうらやましく思う程の図書館があり、隣町の森町も、施設は小さいが図書の充実は非常にしっかりしています。文化施設は利用者があるから設置するというものではなく、施設がある(身近に)から利用者が増え、その町の文化度が向上し、住民の特に青少年や高齢者等の幸福度にも寄付すると考えています。将来への投資のような側面が文化にはあると思います。北斗や八雲を(図書館)見習ってほしいです。	70代	女性	リゾート地区

## 教育

教育の推進。	40代	男性	宮浜地区
幼稚園・小学校の統合。	60代	女性	宮浜地区
幼稚園の送迎バスを検討してほしい。	20代	女性	宮浜地区
スクールバスの運行。	60代	女性	リゾート地区
子育て支援をお願いします。幼稚園、学校は教師が絶対なので、コロナ禍での同調圧力が心配で、心配でたまりません。小さな町なので、マスクにしろ、いじめにしろ、大変な世の中ですが、責任者の柔軟な判断を期待しています。やめる事は簡単です。工夫して行う事ができるのではないですか。一生ワクチン接種して、マスクして、旅行をしないで過ごしますか？選択肢をたくさん出して考えましょう！！	30代	男性	宮浜地区
子供が、この先の町、道、国の宝になるので、世界に通じる教育を、他の自治体よりも、一歩先んじて環境整備して行くことを望みます。特に、言葉やIT技術を幼少の頃から充実させたり、子育て医療の無償化なども検討するべき。	60代	男性	リゾート地区
小学校・中学校を一貫校として学力の向上を企る。	70代	男性	リゾート地区
小中一貫へのとりくみ。少人数を生かせると思います。PRしだいでは外からの希望生徒もあると思います。	70代	男性	リゾート地区
高校を作る。	30代	女性	宮浜地区
地元町民及び関係子息の教育支援(町外高校・大学への入学への奨学金)。	70代	男性	リゾート地区

## 芸術文化

総合体育館でのコンサート誘致。	60代	男性	リゾート地区
郷土資料館の設置(歴史等が多くあると思う)。	70代	男性	リゾート地区

## スポーツ

チーム編成ができるスポーツクラブづくり(試合のできる種目に特化)。	60代	女性	宮浜地区
パークゴルフを楽しんでいるシニアです。シニアになると、どうしてもトイレが近いようなので、途中に、もう一ヶ所(小さな、きれいな)トイレを作って欲しいと思います。パークゴルフ場の外に見やすい外置の時計が欲しい。	70代	女性	リゾート地区

学業だけではなく、スポーツで輝ける町にしてほしい。(施設の充実、成績次第で授業料を免除してあげるなど。)	30代	男性	宮浜地区
観光面に力が入っているのはとても伝わっている。ただ観光面ばかりが目立っていて、他のことがおろそかになっているように思える。漁業水産業その他の商業産業はもちろん重要だと思うが、学校教育、社会教育面、スポーツ面、特に体育館の維持、管理、修繕、山村広場サッカー場、野球場の整備は今すぐにでもやらなければならないこと。町外からの合宿大会等の受け入れをしているわりに施設整備が不十分すぎる。使用している人達もかわいそうだし、町民からするとあんな所で大会合宿やっているんだと恥ずかしいし、とても残念。シッカリと整備してほしい。	30代	男性	本別地区
体育館の雨漏れ状態はひどい。災害避難地域に立地しているので、大規模修繕をためらっているのか。	70代	女性	リゾート地区
町内の施設が平等に使用できてない(体育館)!	60代	女性	宮浜地区
冬期間も市民プールを使用できるようにしてほしい。そしてプールの後に温泉に入れるように。老人ばかりではなく、一般の大人・子ども、時間帯でわけるなど工夫して使用させてほしい。	40代	女性	本別地区
冬季間のプールの利用(プール利用は有料でも良いと思う)。	60代	女性	リゾート地区
スイミングプール内装のペイントが必要と思う。	70代	不明	リゾート地区
プール等利用したくても1人では…と。またリゾート地区の方は高齢の方が多いため、夜は出られないので、考慮頂けると嬉しいです。	50代	女性	リゾート地区

## 防災

災害の少ない町だと思います。	70代	女性	リゾート地区
町公式のSNSアカウントをもって、災害情報など発信して欲しい。	50代	男性	宮浜地区
高齢者(独り暮らし)が多い町でもあるので、防災にもっと力を入れてほしい。毎日歩いている町長さんだからこそ、町になにか有った時、独り暮らしの高齢者をまずは考えてほしい。	80代以上	女性	宮浜地区
災害等が発生した場合、社会福祉協議会が浜の近くにあるのがおかしい。新庁舎と同時にバイパスの方面に移動するべきである。	70代	男性	宮浜地区
津波対策に備えた、早期での消防署、幼稚園などの着工。温泉着工。	30代	男性	鹿部地区
噴火もありえる町なので、十分な対策を。今噴火したら??今津波がきたら?を想定して、話し合うのも必要かと。	40代	女性	鹿部地区
防災について、「水」の確保。以前各町内会にあった井戸水を復活させる。	60代	女性	宮浜地区
幼稚園、学校、消防等の高台移転を早急にした方が良い。高台に避難できる建物を設置して欲しい。	60代	女性	リゾート地区

## 消防

リゾートの消火設備の確認見直し。消火栓が少ない。	60代	女性	リゾート地区
鹿部消防署へのお願いです。月に一度と新年のあいさつがありません。お目出とうございます。おはようございますが必要だと思います。	70代	女性	鹿部地区
非常時の緊急通報体制の構築。高齢者、障害者などが何時何処で倒れても、常時身に付けている緊急通報ボタンを押すことで、緊急通報ができるシステムの導入。複数世帯でも、夜中に倒れて、同居人に知らせたり、電話を掛けたり出来ないことは充分有り得るので、全員に貸与すること。	80代以上	男性	リゾート地区

## 交通安全

春の交通安全旗ふり運動の「旗」は、運転する側からすると、道路の前の状況が見えづらくなり、とても危ないので、気をつけてしてほしいです(なくていいと思う)。	40代	女性	本別地区
町内の外灯が少なく大変危険です。昨年には高齢者の交通事故死もあったかと思っています。まずは外部へのアピールではなく、現在暮らしている住民の安全確保を徹底していただきたいです。	20代	男性	宮浜地区

## 窓口

窓口にて。以前会計の窓口に行きましたが、来訪者に気付かずお話ししていて、しばらく待たされました。	70代	女性	リゾート地区
役場の職員が少し愛想がないです。もう少し愛想を良くしたほうがいいと思います。	30代	男性	大岩地区
役場の人、対応があまりにもひどい人がある。みながそうではないが、考えてほしい。良くして下さい。	40代	女性	本別地区
道町民税の振込用紙をコンビニで払える用紙にしてほしいです(年金同様)。	40代	女性	鹿部地区
家族全員が車の運転できるわけではない。役場が遠くなり不便。漁があれば税金の支払いができない。	20代	男性	本別地区
新庁舎はあまりにも不便。町民との距離がありすぎる。	60代	女性	宮浜地区
先日新庁舎に行って来ました。外から見ただけですけど、なかなか立派で良かったですね。駅側から行く場合、役場の標識を道と垂直方向に立て直してほしいです。現行では通り過ぎてから気付きます。	60代	女性	リゾート地区
町の発展は役場庁舎の附近から広がって来たのが今までの感じですが。高台の移転後は山林が主体の場所。附近の環境の整備が必要と思う。交通の便利を考えると、大沼道路の改変(国道に格上げ)か、直接函館へ行ける道路の建設(大岩～大船へ)。及び南茅部へ直接行けるバイパスの延長。大衆浴場の設備(観光客も風呂に入って食事休息出来る建物)の早期設置。鹿部の海産物等をいつでも食する食堂(道の駅以外)の必要性。	80代以上	男性	鹿部地区

## 広報・情報発信

広報紙について。中にパラパラと紙が多くはさみ込んであり、見づらく、内容が多く、最後まで目を通すのが大変。各部署からの報告をまとめた上で、広報にのせるという訳にはいかないのでしょうか。毎月ワクワクしながら何が書いてあるのかと読みたくなる様な元気な明るい鹿部の広報紙であってほしいなと思います。もちろん情報は大切ですから、そこは宜しくお願い致します。	70代	女性	リゾート地区
鹿部町の地理マップというか、もっと詳しい地図がほしいです。リゾート地区の知り合いに会いに行ったとき、道に迷ってしまいました。そのリゾート地区にも知らない店？があって驚きました。	20代	女性	本別地区
地域のラジオ放送局を開設して色々な情報を伝える。	60代	女性	リゾート地区
町のホームページの充実を。喫緊のコロナ情報、近隣市町村や道の情報など、噴火、津波、地震など、災害時の緊急避難や道路情報等々、リアルタイムでUP。自衛隊の訓練も。	80代以上	女性	リゾート地区
町長の顔が見えない町の重要事項。緊急で町民にお願いしたい事、今なら日々のコロナウィルスの発生状況を、防災無線で町長が発信する事も必要！タウンミーティングは敷居が高いと感じている。コロナ感染者の人数を日々の防災無線で放送して欲しい。住民は疑心暗鬼になっている。	70代	女性	リゾート地区

## 男女共同参画、ジェンダーフリーなど

ジェンダーへの意識が非常におくれていると感じています。高齢者が多いのも一因かもしれませんが、啓蒙を進めて下さい。特に高齢男性や、立場の強い方に、社会の流れや動きに自分の事として関心を持っていただく取り組みが必要です。	70代	女性	リゾート地区
女性や外国人を積極的に登用する機会の創出。	70代	男性	リゾート地区
社会的弱者(高齢者、障害者、子ども、女性、外国人)やマイノリティに優しい町になってほしい。	40代	女性	鹿部地区

## 町内の連携、協働

お昼過ぎにボランティアの方々があいさつしているのを見かけます。とてもいいと思うので、継続していただけたらなと思います。	20代	女性	本別地区
高齢者と若者の交流する場が必要と思う。	70代	男性	リゾート地区
形骸化された組織・団体、一部の人間による長期運営消化するだけの行事の見直し！	60代	女性	リゾート地区
今後のまちづくりは、現在鹿部町内で働いている10代、20代、30代の若者がアイデアを出し合い検討すべき。「長」のつく人間、議員、役職につく人間は、若者から出されたア	60代	男性	リゾート地区



アイデアをいかに実現させるかの実行部隊に徹するべし、と考えます。若者の自由闊達な討議を期待したいと思います。			
町とリゾート地区が一緒(町民全体)になってやれる活動をする。	60代	女性	リゾート地区
町民あつての町政だと思う。対話ミーティングに、町民の方が27区以外はほとんど出なかったり、少ないと聞いている。理由を聞くと、「町(役場)にニラまれたら大変だよ」とか「言っても変わらないから期待しない」と言われた。「ずっと昔からそうだ。役場が一番えらいんだ」という人もいた。行政に頼らず生きて行くたくまじさがすっかり身についている。私達移住者は意見を言う人が多いかも知れないが、「元町民と移住者の住む町」は特殊な町かも知れないが、役場の職員の方が「いいとこ取り」をしてくれ、ボランティアなども活かして、いい意味の変った町にしていきたいと思っています。	70代	女性	リゾート地区
町民と役場職員とのふれあいの場の必要性(発信の場)。	80代以上	女性	宮浜地区
たくさん意見(各方面から)、この種のアンケートの中から何か1つでも着実にスタートしてほしい。町民の人力を活用すべき。過去のアンケートから現状どうなったのか。アンケートを採るだけにならない様に！	80代以上	男性	リゾート地区

## 温泉の活用

海と温泉の町と言っているが、温泉施設がない。	60代	男性	宮浜地区
だれでも入れる大浴場。	70代	女性	宮浜地区
とにかく温泉が少なすぎるので増やしてほしいです。	50代	女性	宮浜地区
温泉の活用。	60代	男性	鹿部地区
温泉の町とうたっているのに温泉施設がない… 1日いても楽しめるような温泉施設がほしい。	40代	女性	宮浜地区
町外、町内、気軽に行ける入浴場。温泉の利用。	50代	女性	宮浜地区
町民が気軽に利用できる温泉施設があると良い。	20代	男性	本別地区
町民が入浴できる町営の銭湯(有料)。	60代	女性	宮浜地区
町営の温泉施設を作るべき！	40代	男性	宮浜地区
町民の人が皆利用できる様な温泉施設を建るべきだと思います。	70代	女性	宮浜地区
日帰り入浴のできる施設をつくる話はどうなったのでしょうか？私は行かないと思いますが、日帰り観光の人や漁師さんなんかは利用するのではないのでしょうか。	50代	女性	宮浜地区
日帰り入浴施設(お風呂に入ってゆっくり休憩し軽食のできる場を！！)。	60代	女性	宮浜地区
良い温泉を町外の方も入れる様にしてほしい。	60代	女性	宮浜地区
温泉を活用しきれていない！個人の営業をしている旅館などに配慮しているのかもしれないが、温泉町としてはひんじやくすぎる。	40代	女性	宮浜地区
温泉施設があるといいですね(食事や休憩が出来る所)。	70代	女性	本別地区
温泉施設があれば、町民のふれあいが充実するのではないかと？送迎バスの運行。雇用促進、町民割引。	60代	男性	リゾート地区
温泉地なので日帰り入浴施設が欲しい。(町内の温泉施設は閉館時間が早いので、21時まで運営してくれると嬉しい。)	40代	女性	鹿部地区
間欠泉の周辺の土地と温泉等を利用して、人口の減少を防げるような魅力ある町づくりをしてほしい。	60代	女性	大岩地区
気軽に日帰り入浴できる温泉施設。現在の旅館の入浴場では洗場が少なく、入りづらい。海といで湯のまちとなっているが、入れる温泉がない。	40代	女性	本別地区
鹿部は温泉の町なので、公共の温泉施設が有った方がいいと思います。町内のいこいの湯の対象外の方や町外からの方々のためにも。	80代以上	女性	鹿部地区
新たな温泉地を考えたり、自然を愛し、活かせるレトロでオシャレな可愛い町にしていけたらと良いと思います。	40代	女性	リゾート地区
町営温泉施設について。どの年代の町民も、観光客も利用できる温泉施設として、閉鎖になった亀ノ湯の活用を考えて下さい。町のキャッチフレーズ”いでゆの町”を揚げるにふさわしい施設は必要と思います。	70代	女性	リゾート地区

町内でロイヤルホテル、亀の湯など次々温泉又は銭湯がなくなっている。他からお客さんが来た時、温泉を入りに行く場所がない。隣町まで行かなければならず、温泉の町・鹿部とうたっているが、これでは温泉の町じゃない。鹿の湯や吉の湯も洗い場が少なく、時間によっては満ばいで入れない時がある。一人暮らしで一人だけ入るのにわざわざお湯をたくのは本当にもったいなく毎日思う。灯油も今高いので、半分だけお湯入れて入っている状態。何とか温泉又は銭湯を町民が自由にお金を払って入れる施設が欲しいです。お願いします。	50代	女性	宮浜地区
--	-----	----	------

## 再生・自然エネルギー

サステナブル(持続可能)な町として、自然エネルギーを活用する発電事業も有り得る。その為に多少の自然破壊はいたしかたない。	70代	男性	リゾート地区
今、町でとりこんでいる地熱発電が地域再生活性化の町づくりに期待しています。	80代以上	女性	リゾート地区
再生可能エネルギーの推進。	50代	男性	宮浜地区
地熱エネルギーの利用。	40代	男性	宮浜地区
地熱事業の早期運転利用開始。SDGsへの取組にもなる為、速やかに対応したほうがいいと思う。水面下ではなにか働きがあるのかもしれないが、町民にはあまり目に入らないので、見える化した働きが欲しい。	30代	男性	鹿部地区
地熱発電設備再調査、誘致。	30代	男性	鹿部地区

## 旧ロイヤルホテル

元ロイヤルホテルをどうにかして町の為に活かす。	30代	男性	鹿部地区
旧・鹿部ロイヤルホテルを町が管理運営する方法を考えて！	70代	男性	リゾート地区
旧ダイワホテルも活用できないかとも思う。	70代	男性	リゾート地区
旧ロイヤルホテルの活用を、町として真剣に検討してほしい。七飯町など、隣接町に比べ人が集まる場所(自然環境含め)がない。当町として知恵を出してはいかかでしょうか？津波の避難場所にもなる。	80代以上	男性	リゾート地区
ダイワロイヤルホテルを利用して、療養型医療施設の誘致。	60代	男性	鹿部地区
リゾートのダイワホテルについての町の意見が知りたい。	60代	女性	リゾート地区
ロイヤルがなくなったので、長期利用日帰り温泉。	60代	男性	リゾート地区
ロイヤルホテルは町と連携して使えたら良いと思います。	50代	女性	鹿部地区
リゾート住民として、ロイヤルホテルの閉鎖は大きな痛手です。高齢者の介護施設、町民のいこいの場など、リフォームして人の集まれる場所、災害時の避難所など、寄り所となる場所などに再建してほしい。	70代	女性	リゾート地区
ロイヤルホテル正面左の駐車場からは、"哲学者ゴリラ何を憂う"が堂々とそびえます。人間が作り得ないこの自然の奇跡を、ホテル誘致に使えないでしょうか。単純明快に"ゴリラホテル"と銘うち、本州の"カカシの里"のように、ゴリラのオブジェを町内に(まずは公共施設に)1つずつ設置する。それぞれのゴリラには名前をつける。幼稚園、小学校のみんなにも作ってもらう。小さい町だからこそ出来る、おもしろい町造りは何より機動力。町民だけでは限界があるから、日本全国作品募集。芸術家が移住してくれても良いし(リゾート空き家いっぱいあるから)、駒ヶ岳はそれぞれ見る方向から顔が違うけど、ゴリラ君が見えるのはリゾート地区だけ。鹿部地区から見るゴリラ君はもう違う顔になっています。こんなすばらしい景色があるのに、そこにあるのがあたり前で、その価値に気づかないのはあまりにももったいないです。「町民だって笑っちゃうぶったま企画」→ゴリラ君の名字をつけましょう。	60代	女性	リゾート地区
ロイヤルホテル閉鎖の影響で観光客の減少も心配です。温泉付きの宿泊施設が新たにあると、鹿部町の活性化につながると思います。	40代	男性	宮浜地区
旧ロイヤルホテルについて、町でまた第三者でも良いので、高齢者用の老人ホームのような施設を作ってもらいたい。温泉もあり、何か…に使用できたらと思います。それにより、そこでの雇用もうまれると思います。	60代	女性	本別地区

## 若者、子ども

若い人が町に残れる様に。	50代	女性	鹿部地区
--------------	-----	----	------

若い夫婦が移住しやすくするため、支援金や税金の減額、住宅支援に力を入れて若年者を増やす。	70代	男性	リゾート地区
若者が町外から戻ってきて働く場所がある町にするために、商業施設などを増やしたり、今ある施設の事務業務などの職員の枠を増やすなど。また職員募集に対してインターネットでの応募など申し込みしやすい環境をつくる。	20代	女性	本別地区
若者人口を増やす施策を徹底的に考え実行すること。	40代	男性	リゾート地区
少子化の時代、若年者の流出を防ぐ施策を！～働く場所の拡大策。子育て支援策。	70代	女性	リゾート地区
①若者を集める企業(プログラミング企業、情報管理企業等)を新庁舎周辺に誘致し、その周辺にニュータウンを建設する。②温泉と水産の町らしい町並みを造る。今のままでは若者は来ないし、定着しない。上記①②が出来れば、人口増に転ずること間違いなし。	70代	男性	リゾート地区
働く若い世代の活躍を望み、古い考えも時には重要かも知れないが、今の時代に合った、沿った若者の斬新な意見も必要では無いのでしょうか。これからを担う若者に期待をしたいと思います。	60代	女性	リゾート地区
これから鹿部町を担って行く若い人達の(10代～)考え、希望、話し合いの場を設け、若い方々の意見を参考に大切に！ボランティア活動にも、若い方の参加、声掛けし、力を借りるなど…(雪かき…)、赤十字炊き出し参加(中学生も一緒に)。	60代	女性	鹿部地区
このようなかたちのアンケートはいいと思う。子育て世代の声をもっと取り入れてほしい。	40代	女性	鹿部地区
未来を背おってくれる子供達を大切に育ててほしいです。	70代	女性	リゾート地区

## 定住、移住、ワーケーション

アパート等の住む場所を増やしてほしい。	20代	女性	本別地区
アパート等の増設。	20代	男性	宮浜地区
リゾート地区在住(約2年)ですが、住民の高齢化もあり、私の住んでいるあたりでも少しずつ空き家が増えていきます。このままでは全体がさびれた感じの地域になってしまいそうです。不動産業者まかせではなく、町としてももっと積極的に宣伝をして新たに居住する人を増やせないかと思います。車がないと不便ですが、道内の中では雪も少なく自然や食べ物に恵まれた良い所なので。	60代	男性	リゾート地区
ワーケーションの人々を呼び込む為に、①通信環境(NET環境)の拡充。②空き別荘・ホテルの貸出。③新函館北斗駅とのバス定期運行(新幹線毎運行)。④ホテルを利用して、食堂、コインランドリー、コンビニ、NET会議室等を整える。	60代	女性	リゾート地区
移住促進。	60代	男性	鹿部地区
気掛りなのは人口の減少です。原因は若い世代の方々の流出かなと考えています。その原因は？ですが、全国的な減少ですので、鹿部が特別ではないのかもしれませんが、やはり若い人達が希望を持って生活できる環境を提供してほしいと願っています。	80代以上	女性	リゾート地区
近年の人口減少や少子化などの対策案を考え、移住者が住みやすい(若い)町づくり。企業誘致を積極的に行ってほしい。全国の移住者、成功している町を参考にしてほしい。	40代	男性	本別地区
県外から来て、住みたいと思い、職業さがしても、どこの企業も(土地柄なのか?)とても閉鎖的で、他県からの人をよせつけない傾向があり、苦勞している人達を何人も知ってます(いじめですね)。昔からのものかもしれませんが、改善できないものですか?観光でくる分は良いですが、二度も住むことを断念いたしました。こんな様では人口が減るばかりです。	70代	女性	リゾート地区
情報通信環境をレベルアップして、リゾート地区などの空家をリモートオフィス兼住宅として整備し、若い人達を呼び込むことに力を入れてはどうでしょうか。ダイワハウスさんとの連携プレーも重要ですね。	70代	男性	リゾート地区
人口減少を食い止めるに、移住を促進させる。リゾートに空地も多く、町全体で宣伝をし、移住者が鹿部で購入出来る海産物を増やす。中間マージンも移動費(ガソリン代等)も抑えられるので売る側も買い手も双方良し。元々の町民と移住者と考え方も違うので、程良い距離も必要でお互いを尊重したい。	60代	女性	リゾート地区
全国から若い人達を呼び込むために、リモートワークスペースの開設。	60代	女性	リゾート地区
東川町の移住定住計画を見習って、より本格的に取り組んで欲しい。	70代	女性	リゾート地区
本別のリゾート空家の活用。	60代	男性	リゾート地区

## 行政運営

役場の効率化。	70代	男性	リゾート地区
「町長の柔らかく頭を試すのけぞり企画」→昇進など気にせずおもしろい事やりましょう。たとえば昼の防災無線の時、最後のめめに「今日の一曲は盛田町長推薦のチゴイネルワイゼンです」とか。緊急時のためにの無線で曲を流すなど、なんたることぞ！と非難ごうごうも、想定内のおもしろい町造り。コロナが治まった後をみすえて、企画案が山積みとなりますように。	60代	女性	リゾート地区
まちづくりは人づくりから。デジタルファースト結構！だが使いこなす人間はどうか。役場職員皆さんの勤勉さと使命感には敬服しています。一方で全例や前任者からの踏襲の実務遂行と着座時間の長さで能力判断できない部分もある。この度のアンケートの目に見える課題の他に、デジタルファーストと同時進行で、職員の能力向上(知識、意識、行動力、判断力)に取り組むことが不可欠と考える。	60代	女性	リゾート地区
人事異動は必要ですが、その事によって、事業や取り組みや目標が停止する事のないようにして下さい。	70代	女性	リゾート地区
役場職員の意識改革からでは？年に数回しか役場には行きませんが、行くのが本当に嫌です。前に江差にいたのですが、江差の役場の職員は本当に親切で、誰にでも笑顔で向こうのほうから「何かありましたか？」と声をかけてくれて本当に雰囲気が良いです。他の役場とか見学に行ったりすればいいんじゃないですか？せっかくの金のポストも、なぜ役場前なんですかね？町民に見せるなら郵便局とか道の駅とかだったのでは？	40代	女性	宮浜地区

## 議会

町議・役場職員のリフレッシュと人員削減。必要な部署にはそれ相応の人を！町をよくするために活躍してくれる議員さんを！1企業の役員の議員が兼務できるのは？？マークです。	40代	女性	鹿部地区
町議員の若返りと議員定数3増くらいにしてはと思います。新しい風をと存じます。	70代	女性	宮浜地区
町議会議員の高齢化が心配。	60代	女性	リゾート地区

## その他

FM鹿部の開局。	60代	女性	リゾート地区
moomoo taxiなど期待しています！	40代	男性	本別地区
いこいの湯の休祝日の開業を考えて欲しい。	80代以上	男性	リゾート地区
セレモニーホール建設を。	40代	女性	鹿部地区
わかりやすい住所表記(もう少し区域を細かく表示する)。特にリゾート内住所通りに動いても範囲が広すぎてわかりづらい。	60代	女性	リゾート地区
町内に温度計を設置した方が良いかと思います。	30代	男性	鹿部地区
役場入口と公民館入口に伊藤君の成績を貼ってほしい。	20代	男性	宮浜地区
同じ緯度や経度にある世界の都市と姉妹都市の締結。	60代	女性	リゾート地区
北海道鹿部町地域おこし協力隊の発展。(若い人の未来に対する考え方に期待する)	80代以上	女性	宮浜地区
地域おこし協力隊の成果が薄い(人数の割には)。	70代	男性	リゾート地区
正午を知らせる時報のメロディが、美しい鹿部の町にマッチしていませんと感じました(松田聖子さんには黒い噂が絶えないので、この曲を聴くとどうしてもそれをイメージしてしまっていました。個人時には松田聖さんが好きだとか嫌いだとか…といった主観的なものではございません)。「いこいの湯」にいらしている利用者さん達の会話を耳にして。鹿部町への提言・のどかで美しく懐かしさをイメージさせる様なメロディがいいなあと思っております。個人的には山口百恵さんの「いい日旅立ち」なんて如何でしょう？→ex. ああ～日本のどこかで～♪私を待ってる人が居る～いい日旅立ち夕焼けをさがしに母の背中で聞いた歌を道連れに～♪	60代	女性	宮浜地区
コインボリ、おひな様、大クリスマスツリー、子供を楽しませる物。	70代	女性	宮浜地区
財政面が全てのネックになろうかと思えますし、優先度も町民のニーズも様々で、行政に関わる皆様のご苦労も多い事と承知していますが、小さい町だからこそ可能という側面もあります。	70代	女性	リゾート地区



今ある自然環境を大切にしつつ、人が集まり仕事をし、鹿部で暮しが成りたつようにしたいですね。資源を活用していただければと思います。	50代	女性	リゾート地区
「第6次鹿部町総合計画」の策定は、当然「第5次…」の総括(=評価)が下敷きになるものと思いますが、まずはその進捗状況を知りたいです。「第5次…」を読み直してみると、これらが総合的に実現していたら、まさに<きらめき><うるおい>の町へと変貌してきたでしょう。2018年1月、盛田町長作成、「27区町内会総会用」に配布された「町長ビジョン」「鹿部町未来のストーリー」は、夢と希望を抱かせる示唆に富んだ内容で、それから4年間で実現している(コミュニティバス、オンデマンドタクシー)、あるいは消えてしまった内容(地熱発電)もあるが、この町に住み、この町で生きていく人々への熱いエールとなっています。この「ビジョン」「ストーリー」を夢物語にしないのが、「第6次」ですね。総合計画策定審議会がもたれるのでしょうか、各職種、年齢層、男女、できれば未来の町の主人公となる小中学生も含めた構成にし、草案は町民に提示して、小さな寄り合いで練り上げ、町ぐるみで作ったものにしていただきたい。なお、盛田町長には、毎年中学3年生を対象に町づくりの夢を共有する講座を特設し、子どもたちが町に誇りをもって戻り、町づくりに取り組めるような職、住環境を作っていただきたい。	70代	男性	リゾート地区
プロ野球選手を二人も出している町！すごいと思います。	70代	女性	リゾート地区
まずは基幹である水産業加工業対策にしっかり取り組むこと。そこで後継者がしっかり育てば子育て支援等の強化が必要。並行して高齢者への支援も必要となる。町としての本筋をしっかり進めつつ、観光等へも目配りしていくべきだが、町の規模からすべての方向へ予算を向けてはいけないので、欲張らず一步一步進めていくこと。	50代	男性	宮浜地区
もっとオタク文化をとり入れ、町の活性化につなげてほしい。萌え文化をとり入れて成功した例は結構あります。頑張ってください。	20代	男性	鹿部地区
リゾート地区に力入れすぎ。	不明	回答しない	鹿部地区
遠隔地で過疎化・高齢化している町村にて、独自に工夫している全国の(又は世界の)情報の収集。収集した情報の町としての分析と評価、及び町民への公表。それらの分析・評価を踏まえた、町の長期的な発展計画の作成。長期計画の毎年の更新・見直し(魅力ある町づくりへ)。外部有識者や専門家からの助言。	70代	男性	リゾート地区
各設問が役場の各部署単位で考えたものの様に思える。それはそれなりに各課にとって参考になるだろうが、これでは小さな「改善」活動の域を出ない。「まちづくり」と云うからには、もう少し「長期的」「包括的」に視座を拡げ、検討すべきと思う。	80代以上	男性	リゾート地区
観光業並びに水産業を含め、10~20年先ではなく、町づくりとして50年~100年先を見据えた企画が必要だと思う。	70代	不明	リゾート地区
現実的なまちづくりを進めるための計画を策定してほしい。	60代	女性	リゾート地区
公共施設を建て替える機会があるならば、1つの目的(例えば幼稚園、公民館)で建物を建築するのではなく、子供や老人と一緒に使えるようなものにしてはいかがでしょうか。1階は幼稚園、2階は公民館など。年齢が違う人たちと交流できる場がもっとあれば、子育て、高齢者、障害者への支援もしやすいのではないのでしょうか?鹿部町に住む人たちがみな幸せに暮らせるようにしてください。	40代	女性	リゾート地区
施設や食事のできる町民割を利用し活性化させる。	20代	女性	本別地区
今の日本(資本主義)の中ではまだ、とても難しいとは思いますが、脱成長の視点を持ると良いと考えます。日本中の市町村で人口増加のための施策を競い、パイを取り合っている状況に将来性を感じられません。それに参加するよりも、上手に人口減少しながら町長のリーダーシップによって、公共の福祉を充実させ、心豊かで安心できる生活と未来を創る子どもの育成に力を入れ続ける町にしてはどうでしょうか。道の駅やふるさと納税、鹿部の特産物や特色あるお店・商品のブランド化などの観光振興などがカギだと考えます。	50代	男性	宮浜地区
鹿部と言えば漁業と温泉くらいしか無い。道の駅なども観光の眼球とはならない。何回でも行きたくなるような町作りをどうすすめるかに全てがかかっていると思う。海の状況の悪化。人口の減少をくい止める為にも、町民にとって住み易く、環境改善に取り組む行政であって欲しい。リゾート近くの湧水園なども町の施設とするなど、方策はあるように思う。	70代	男性	リゾート地区
鹿部に来て分かったのは、一部の人だとは思いますが、たとえばお店のドアを開ける時、同時に入る出の人がいた場合、開けても会釈するとかありがとうかないのです。これって小さい時の教育、特に家庭だと思います。そういう場面が多いかなと。	60代	女性	リゾート地区

鹿部町が有している自然や環境をさらに魅力あるものにするため、施設面の充実やイベント等活気ある町づくりを推進してもらいたいです。	60代	男性	リポート地区
人口減少は今後も続くと予測されていますので、鹿部町の社会(町の姿)も変化せざるを得ません。町民サービスとの観点から言えば、①あらゆる業務をITを活用して改善し、②オンデマンド型のサービスの拡大と推進(交通ネットワークを含めて個人々人が希望するサービスをタイムリーに提供する)が不可欠です。また、児童、働く世代、高齢者と町民、それぞれの置かれている立場も異なりますが、③世代間の交流をより広めて、双方向の活動を推進していく必要があります。難しい点もありますが、④世代に関わらずボランティアの数を増やして、足らずまいを補強して行くことが必要でないかと考えます。	60代	男性	リポート地区
町内で自給自足、持続可能な町づくりができたなら素敵だなと思います。自然、環境を守りながら…。	50代	女性	リポート地区
定年後に鹿部に移住してきた人材が持つ様々なノウハウを、町の活性化に利用出来る仕組みを作る。	80代以上	男性	リポート地区
目指そう！みんなで一緒につくるまち「地域まちづくり協議会」の設立 ※鹿部町にふさわしい未来に向けて豊かな地域を築いて行く。	80代以上	女性	宮浜地区
勤務先が町外の人は住んでいても意味がないので、出て行くと思う。	30代	男性	宮浜地区
令和3年12月1日現在、当町の人口は3,727人(65歳以上の人口1,470人39.4%)、この現実をどう見る。少子化及び町外転出数が増加。町民人口数は減ることあり、増加はあり得ない。小・中学校の各学年生徒数は2名～6名である。近い将来この町の姿はどうなる？まちづくりうんぬん言う前に、この鹿部というまちをいかなる方向に舵をとるのかを真剣に考えねばならない。	70代	男性	リポート地区
盛田町長のはつらつとした笑顔を広報で見ると元気が出ます。ああこの方に任せて安心…という気持ちになります。少しでもより良くと、町のとりくみや町民の生活を思いやっ下さると感じます。町民として只甘えるのではなく、協力しなければと思う反面、自分の生活を維持する力しかなく、申し訳ありません。沢山の情報や提案を示して下さい、ありがとうございます。今後も町長のポリシーを貫き、お励み下さいます様に！	70代	女性	リポート地区
現在満足しております。	70代	男性	リポート地区
今コロナで水道代や買い物券を頂いて感謝しています。	50代	女性	宮浜地区
私は現在2人で暮らしていますが(夫婦、今のところは別に不満も有りません。これからの町作りも何も考えてもいないし、思うことも有りません。申し訳御座居ません。	80代以上	女性	宮浜地区

## IV 調査票

# まちづくり町民アンケートにご協力お願いします

日頃より、町政へのご理解とご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

町では、“きらめく海・駒ヶ岳 うるおいの温郷”をテーマとした「第5次鹿部町総合計画」にもとづき、まちづくりを進めています。そして、令和4年度にこの計画が終了するため、新たな総合計画「第6次鹿部町総合計画」の策定にとりかかりました。

そこで、これからも鹿部のまちづくりに町全体で取り組むにあたり、町民のみなさまから、お考えやご意見などを頂き、計画づくりを進めていきたいと考え、このアンケートを実施させていただくことになりました。

鹿部町で生活する中で、感じていること、気づいたことなどお答えいただければ幸いです。

年始のお忙しい中、恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年1月 鹿部町長 盛田 昌彦

対象者	鹿部町に住む20歳以上の方から無作為に選ばせていただきました。 宛名の方が回答できない場合は、20歳以上のご家族の方が回答されても構いません。実際に回答された方の年齢、性別等に○をつけてください。
締め切り	令和4年1月31日(月曜日)
提出方法	アンケート記入後、①②③、どれかの方法でご送付ください。 ①返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函する(切手はいりません)。 ②「ご意見箱」や「回収ボックス」に投函する。 [3 か所にあります] 役場1階民生課にある「ご意見箱」 鹿部中央公民館に設置する「回収ボックス」 本別中央会館にある「ご意見箱」 QRコード  ③インターネットから回答して送信する(送信先は特定されません)。 <a href="https://forms.office.com/r/EvsKrLNUSy">https://forms.office.com/r/EvsKrLNUSy</a> 
結果について	個人を特定したり、回答を問い合わせたりすることは一切ありません。 結果は、「広報しかべ」や町のホームページなどでご報告します。 町政運営の目的以外に利用することはありません。
問い合わせ	ご不明な点がございましたら、鹿部町役場企画振興課にご連絡ください。 電 話 : 01372-7-5297(直通)

# 調 査 票

はじめに、回答される方についておたずねします。次の(ア)～(キ)について、それぞれ1つだけ○をつけてください。

(ア)性別	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない						
(イ)年齢	1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代	5. 60代	6. 70代	7. 80代以上		
(ウ)転出入	1. 鹿部町生まれでずっと鹿部町 2. 鹿部町生まれで転出、再び鹿部町 3. 鹿部町外から引っ越してきた								
(エ)職業	※アルバイト、パート、役員の方は、仕事の業種で選んでください。 ※職業を複数お持ちの方は、主なもの1つを選んでください。 1. 漁業							2. 農林業	3. 製造業、建設業
	4. 商業、サービス業、金融業など		5. 保健・福祉・医療関係		6. 公務員(団体勤務含む)			7. その他の職業(学生含む)	
	8. 家事専業		9. 無職(退職)						
(オ)家族構成	1. ひとり暮らし(単身赴任も含む) 2. 夫婦で住んでいる(パートナーと住んでいる方、子どもが独立している方も含む) 3. 2世代で住んでいる(夫婦と子ども、子どもと住んでいる、親と住んでいるなど) 4. 3世代または3世代以上で住んでいる 5. その他								
(カ)居住地区	1. 大岩地区	2. 鹿部地区	3. 宮浜地区	4. 本別地区(リゾート以外)				5. 本別(リゾート)地区	
	6. 駒見地区								
(キ)子育てや介護の状況	1. 未就学児を子育て中		2. 自宅で介護中						
	3. 子育ても、介護も行っている			4. どちらもあてはまらない					

【問1】鹿部町は住みよい町ですか。1つだけ選んで○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 住みよい<br>2. どちらかといえば住みよい<br>3. どちらかといえば住みにくい<br>4. 住みにくい |
|--|

【問2】これからも、鹿部町に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで、○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 住み続けたい<br>2. どちらともいえない<br>3. 転勤があるので、転出すると思う<br>4. 町外に移りたい |
|---|

【問2-1】「4. 町外に移りたい」を選んだ方は、その理由を教えてください(○はいくつでもかまいません)。

- |  |
|--|
| 1. 住宅など居住環境がよくない<br>2. 子育て、子どもの教育に不安がある<br>3. 移動、交通が不便<br>4. 働く場所がない<br>5. 医療や福祉面が不安<br>6. 買い物や飲食などが不便<br>7. 人づきあいが苦手<br>8. 自然環境が厳しい、気候条件が悪い<br>9. 老後生活する場として不安がある<br>10. 町外の家族や親族等と同居する、近くに住む<br>11. その他( ) |
|--|

【問3】鹿部町での暮らしについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」を、5段階で評価し、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。特定の場所やサービス内容は示していませんが、それぞれの項目の総合的な評価をお願いします。

現在の満足度					
1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	6 分からない

今後の重要度					
A 重要	B やや重要	C 普通	D あまり重要ではない	E 重要ではない	F 分からない

■ 自然や景観などについて

1	山や緑地などの自然
2	海や海岸の景観、美しさ
3	まちの景観、まちなみの美しさ
4	公園や緑地などの整備

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F

現在の満足度					
1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	6 分からない

今後の重要度					
A 重要	B やや重要	C 普通	D あまり重要ではない	E 重要ではない	F 分からない

### ■生活を支える基盤（インフラ）について

5	ごみの収集、リサイクル
6	道路や歩道の整備
7	道路や歩道の除排雪
8	公営住宅の整備
9	水道の整備や水質
10	浄化槽などの排水処理
11	鉄道の利用のしやすさ
12	バスの利用のしやすさ

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F

### ■産業について

13	漁業の振興
14	水産加工業の振興
15	農業の振興
16	林業の振興
17	商業の振興(買い物の便利さ)
18	観光の振興
19	企業誘致など働く場の確保
20	起業(自分で仕事を始める方)への支援

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F

### ■健康づくり・子育て・福祉について

21	健康づくりや病気の予防対策
22	診療所などの医療環境
23	子育てへの支援
24	高齢者への支援
25	障がい者(児)への支援

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F

### ■教育・スポーツ・文化などについて

26	生涯学習の情報や機会の提供
27	幼・小・中学校の教育環境
28	芸術文化活動の推進
29	文化財や史跡の伝承保存
30	スポーツ活動の推進

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F

現在の満足度					
1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	6 分からない

今後の重要度					
A 重要	B やや重要	C 普通	D あまり重要ではない	E 重要ではない	F 分からない

■ 生活の安全を守る体制、取り組みについて

31	防災への取り組み、体制
32	消防・救急体制
33	交通安全に対する取り組み
34	防犯、特殊詐欺などへの取り組み

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F

■ 行政サービス、町政への参加について

35	役場の窓口対応やサービス
36	役場からみなさんへの情報提供
37	町内会などの地域活動の支援
38	男女が等しく社会参加できる環境
39	町民と役場の連携、協力

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F

上の1～39の内容の中で、今後、鹿部町のまちづくりで特に重要だと思うものを選んで番号をお書きください。(5つまで選べます。)

番号(1～39)をお書きください→

【問4】これからの鹿部町のまちづくりに特に必要と思う「言葉(キーワード)」を5つまで選んで○をつけてください。

1. ふれあいがある	2. 助け合いがある	3. 次世代につながる
4. 持続可能な	5. 将来を見すえた	6. 町民と町が一緒に
7. 町民が参加する	8. 希望のある	9. 人にやさしい、人が温かい
10. 活気・にぎわいがある	11. 地元愛がある	12. 生きがいがある
13. 子育てしやすい	14. 働きやすい	15. 交通が便利な
16. 事故や犯罪が少ない	17. 災害に強い	18. 歴史や文化を感じる
19. 産業が盛んな	20. 買い物しやすい	21. 自然が豊かな
22. 自然や風景が美しい	23. 地球にやさしい	24. その他( )



【問5】鹿部町の産業全体を通じて、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。  
次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1. 生産性の高い漁業
2. 地域の資源を活用した水産加工
3. 農林業
4. 身近な買い物の場を支える商業
5. 観光関連産業
6. 情報通信、福祉、教育など新たな分野の産業
7. 町民や町内事業者による新たな事業の取り組みの支援
8. 雇用の場の拡大につながる企業の誘致
9. その他( )

【問6】鹿部町の水産業について、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。  
次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1. 漁港の改良など基盤整備を今後も続ける
2. 衛生管理型漁港をいかし、衛生管理を徹底する
3. 稚魚や稚貝の増養殖など、栽培漁業を推進する
4. 畜養施設など出荷調整などにより、生産価格を安定させる
5. 水産物の流通・販売を改善する
6. 水産物のブランド化やPRを強化する
7. 水産加工を振興し、付加価値(特色や値段)を高める
8. 来訪者や観光客が水産物を購入しやすいようにする
9. 町民や来訪者、観光客が水産物を町内で食べやすいようにする
10. その他( )

【問7】観光・交流を振興するには、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。  
次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 観光資源を保護する(海や山の景観や環境、温泉など)
2. 今ある観光スポットの魅力を高める
3. 温泉、自然をいかした観光を進める
4. 町内で食が楽しめる観光を進める
5. 鹿部町ならではの特産品を増やす
6. 観光客も参加できるまつりやイベントを充実させる
7. 町外に向けた宣伝活動を充実させる(インターネット上、町外活動で)
8. 町内に来た人への観光案内を充実する
9. 観光業が、もっと水産業や農林業、商工業などと連携する
10. 新幹線や高速道路の整備に合わせて観光客を呼び込む
11. 周辺市町と連携し、地域を越えた広い範囲で観光客を呼び込む
12. その他( )

【問8】少子化対策として、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 男女が出会う(知り合う)機会を増やす
2. 安心して子どもが遊べる公園や遊び場を充実させる
3. 低年齢から子どもを預かる保育サービスを充実させる
4. 小学生などの学童保育(放課後児童対策)を充実させる
5. 出産や子育てに関する相談が気軽にできるようにする
6. 子育て世代の親同士が交流できる機会を増やす
7. 地域で子育てを助け合えるようにする
8. 男性(夫)の育児や家事への参加をうながす
9. 労働時間の短縮や育児休暇の普及など雇用労働条件を改善する
10. 子どもを産み、育てやすい住宅を増やす
11. 妊娠、出産、育児、保育、教育などの経済的負担が減るようにする
12. その他( )

【問9】あなたが自宅でインターネットを利用する際に、一番良く使うものは何ですか。  
1つだけ選んで○をつけてください。

1. 利用できない
2. パソコン
3. スマートフォン
4. タブレット
5. テレビにつなげて
6. ゲーム機で
7. 携帯電話(スマートフォン以外)
8. 利用できるが利用していない
9. その他( )

【問10】町からの情報として、どのような内容がほしいですか。  
5つまで選んで○をつけてください。

1. 町のとりくみ、かかる予算などの情報
2. 町民が利用できる制度の情報
3. 防災や消防・救急、医療などの情報
4. 健康づくりや病気予防、各種検診などの情報
5. 子育てや子どもの教育、健全育成の情報
6. ごみの減量化や省資源、リサイクル、環境保全の情報
7. 高齢者、障がい者の方のための情報
8. 町内にある施設やその利用に必要な情報
9. 町内で参加できる講座・教室の情報
10. 町内の自然や歴史、名所の情報
11. 町や地区の行事、イベントの情報
12. 町民が参加できる活動、ボランティア活動などの情報
13. 周辺市町の情報(イベントなど参加できるものの情報)
14. 国や北海道のとりくみの情報
15. その他( )

【問11】町政(まちづくり)や町民参加について、どのようにお考えですか。  
 それぞれ、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

	A そう思う	B やや思う	C あまり思わない	D そう思わない
1. 町政(まちづくり)に関心がある	A	B	C	D
2. 町政(まちづくり)には町民の意向が反映されている	A	B	C	D
3. 町政(まちづくり)への意見を伝える機会がある	A	B	C	D
4. 町政(まちづくり)の情報が伝わっている	A	B	C	D
5. 審議会や対話ミーティングなどで、行政(まちづくり)に意見を言う機会に参加したい	A	B	C	D

【問12】旧庁舎の活用について、お考えがありましたら、お聞かせください。

【問13】最後に、今後のまちづくりにおける新たな取り組みや重点的に行うべき取り組み、まちづくりへのアイデアやご提案などがありましたら、ご記入ください。

---



---



---



---



---



---



---



---



---

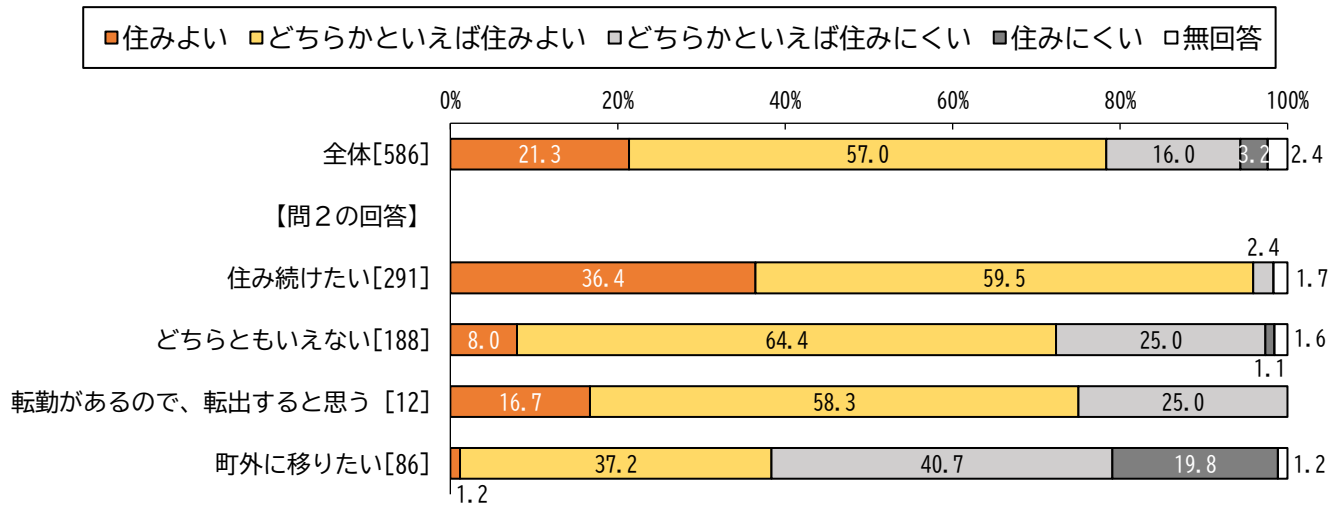
回答にご協力いただき、ありがとうございました。

返信用封筒に入れて、1月31日(月曜日)までにご返送ください。切手はいりません。また、役場庁舎(1階民生課)と本別中央会館にある「ご意見箱」、鹿部中央公民館に設置する「回収ボックス」に入れていただいても構いません。

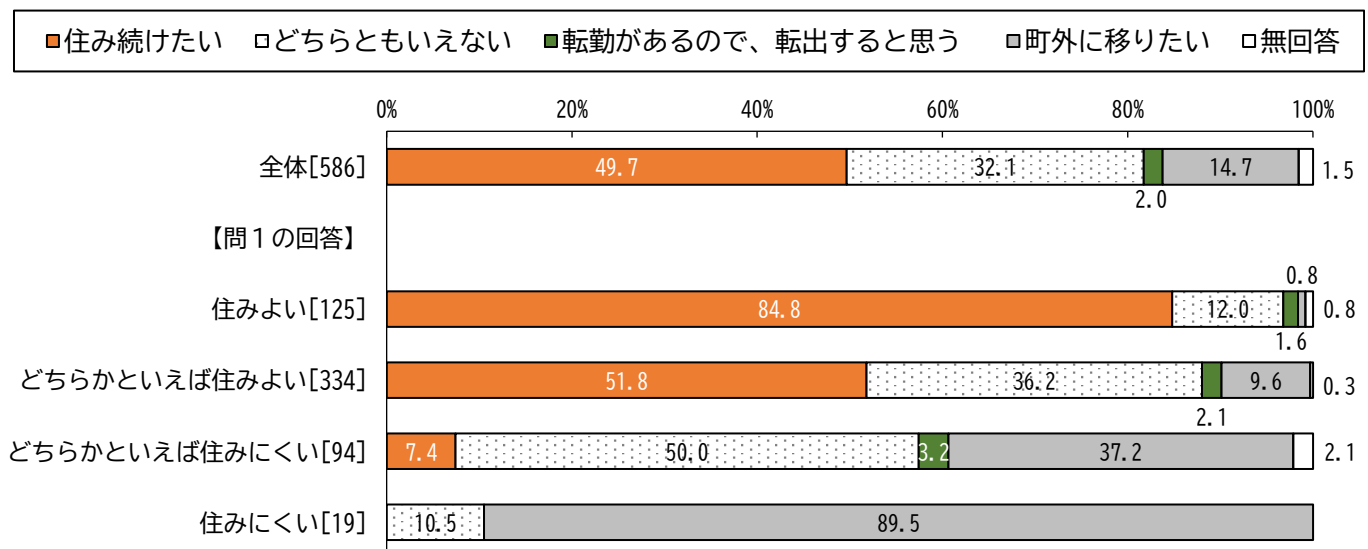
## 鹿部町町民アンケートの追加資料

## 問1「住み良さ」と問2「定住意向」のクロス集計

問1 鹿部町は住みよい町か（問2の回答別）

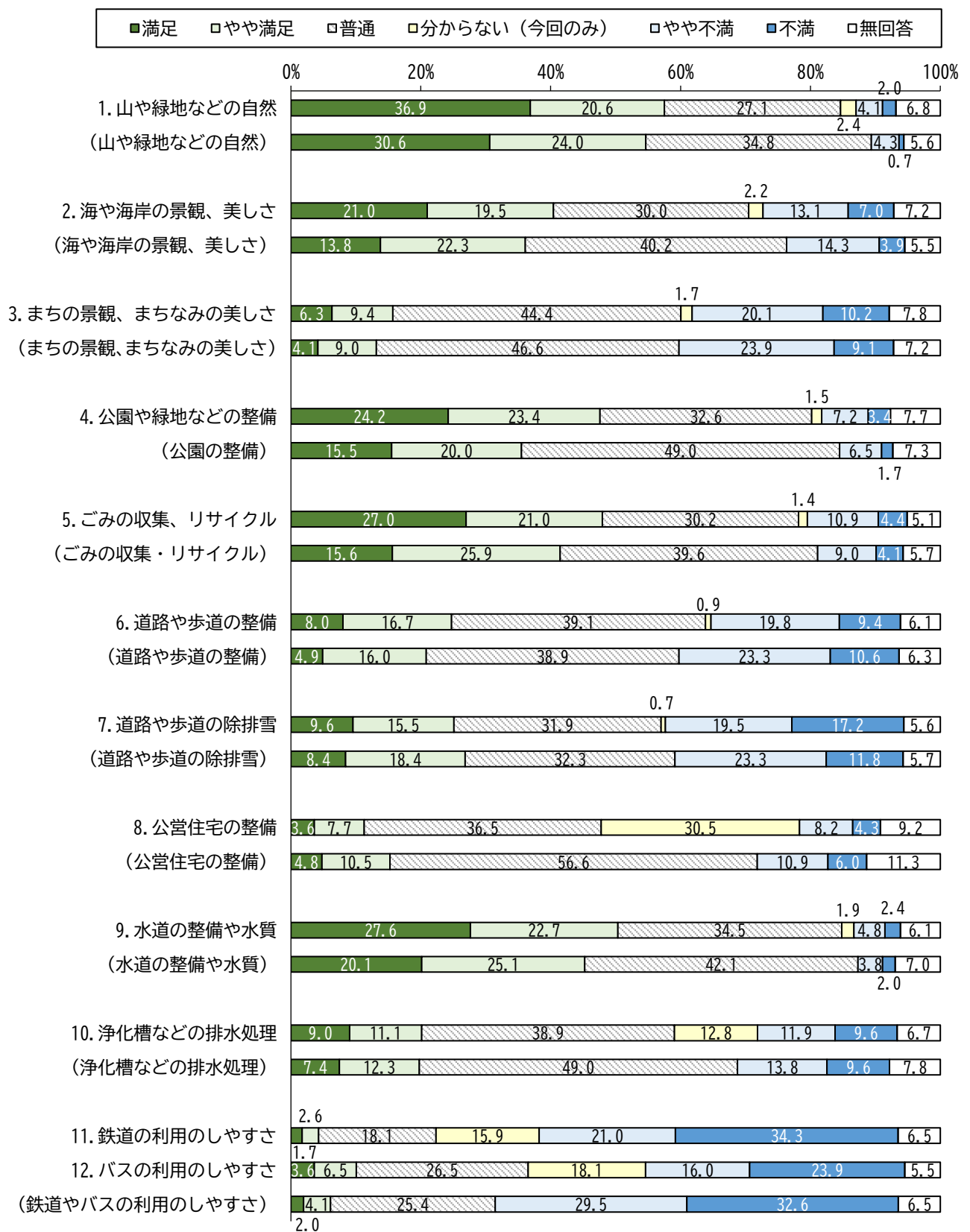


問2 鹿部町に住み続けたいと思うか（問1の回答別）

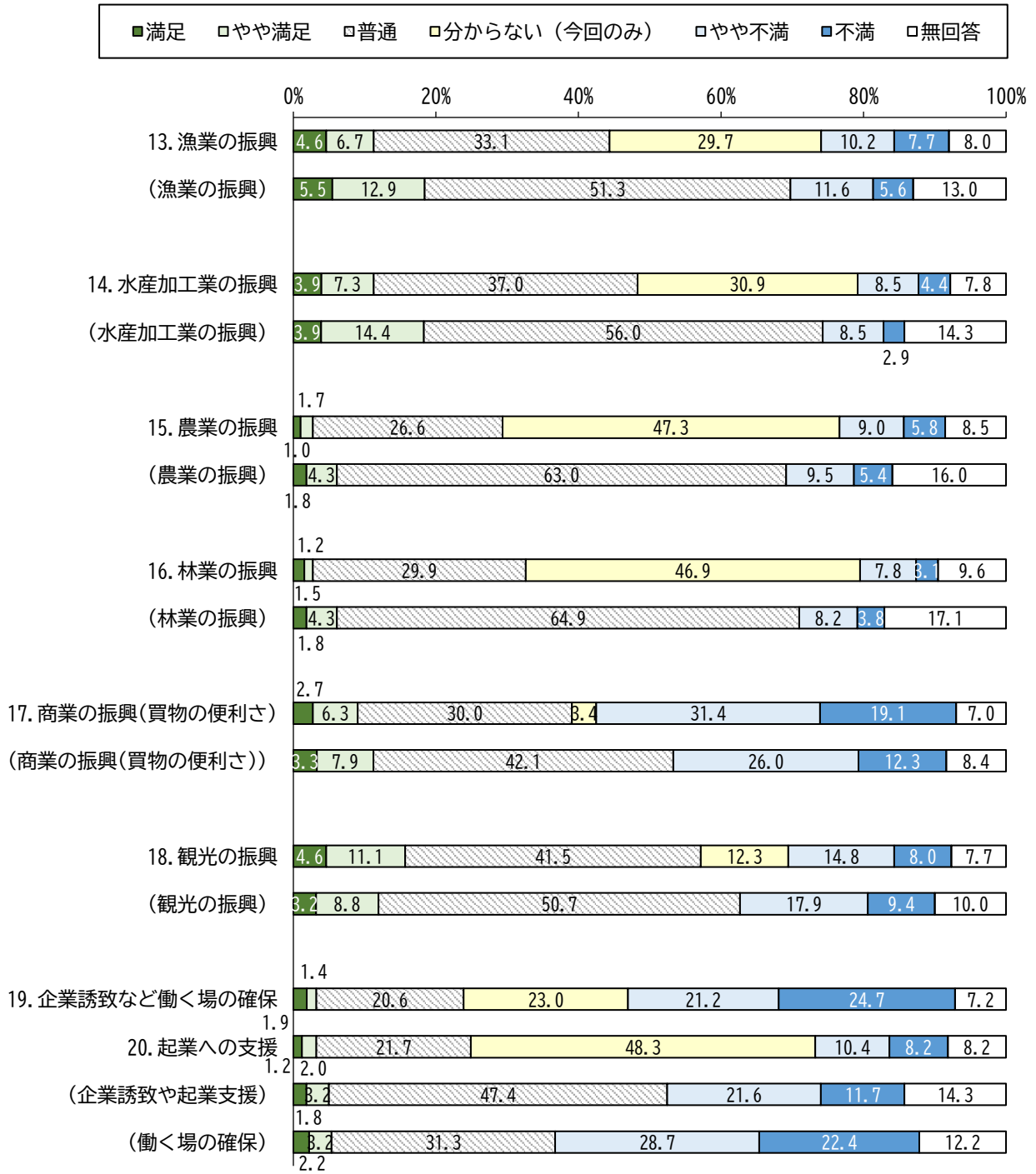


### 問3 暮らしの満足度～前回との比較～

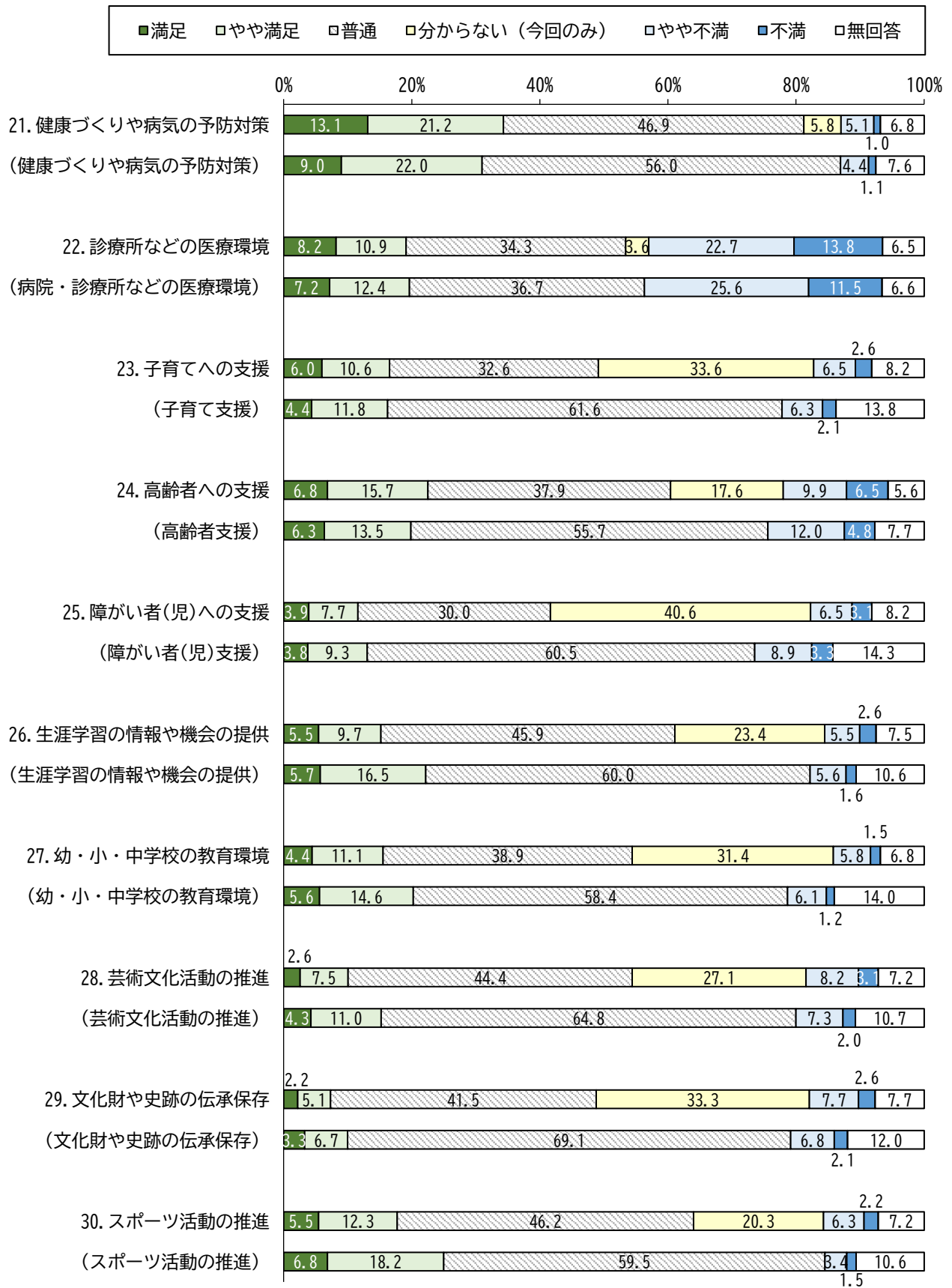
問3 暮らしの満足度 [前回との比較]



### 問3 暮らしの満足度 [前回との比較]

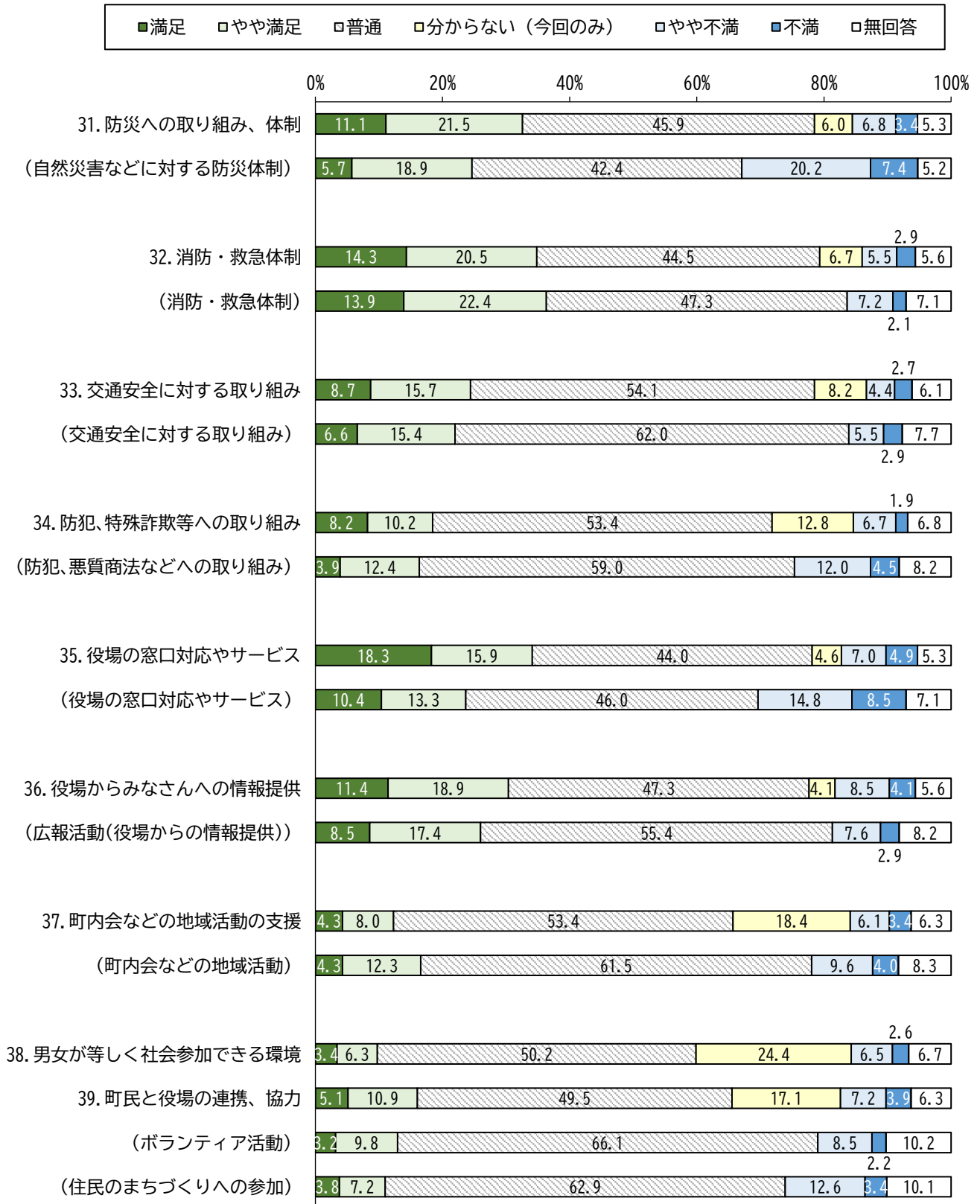


### 問3 暮らしの満足度 [前回との比較]





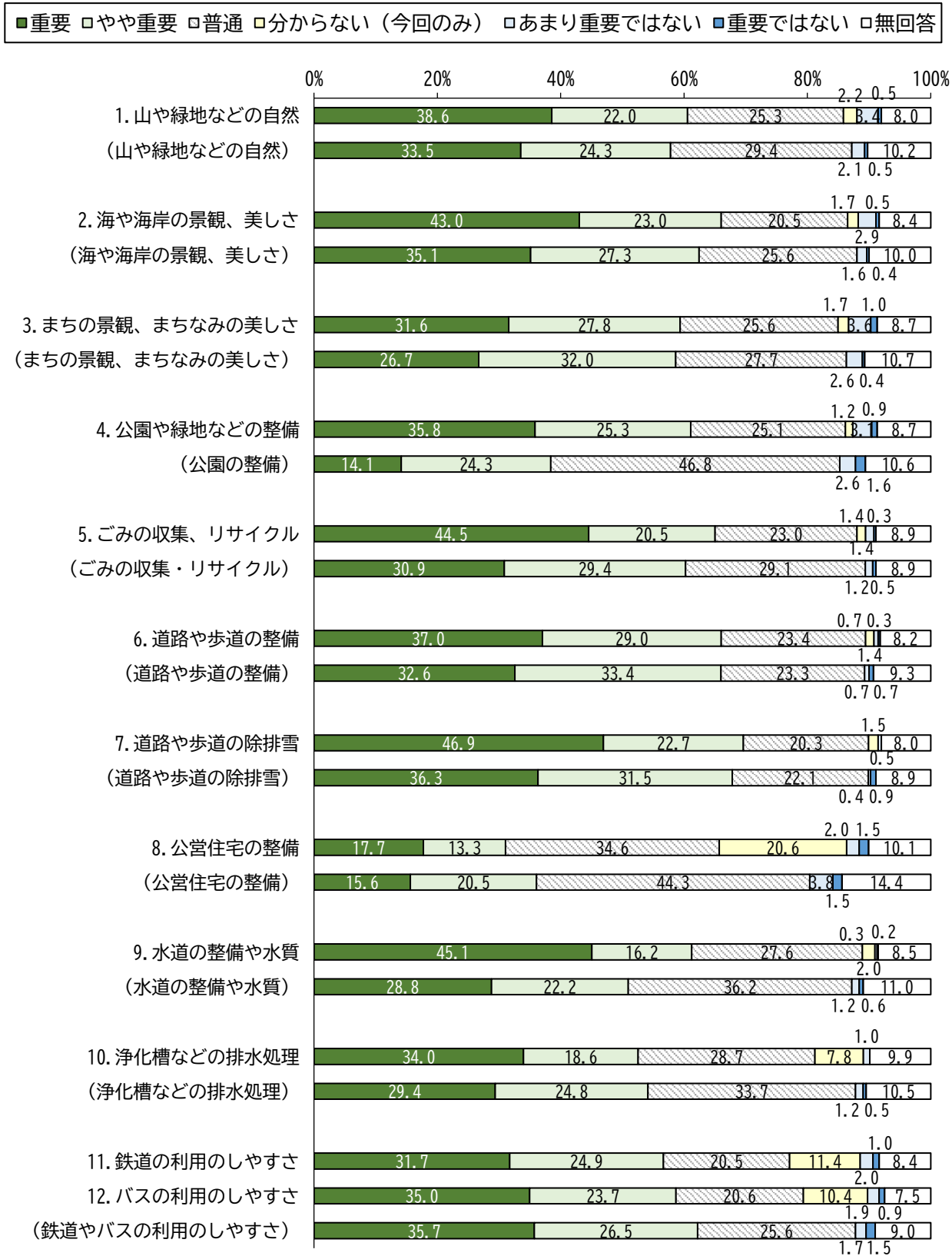
### 問3 暮らしの満足度 [前回との比較]



前回/2012年実施 [回答者数: 820人] 暮らしの満足度	全体	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
1. 山や緑地などの自然	820	30.6	24.0	34.8	4.3	0.7	5.6
2. 海や海岸の景観、美しさ	820	13.8	22.3	40.2	14.3	3.9	5.5
3. まちの景観、まちなみの美しさ	820	4.1	9.0	46.6	23.9	9.1	7.2
4. 自然災害などに対する防災体制	820	5.7	18.9	42.4	20.2	7.4	5.2
5. 消防・救急体制	820	13.9	22.4	47.3	7.2	2.1	7.1
6. 交通安全に対する取り組み	820	6.6	15.4	62.0	5.5	2.9	7.7
7. 防犯、悪質商法などへの取り組み	820	3.9	12.4	59.0	12.0	4.5	8.2
8. ごみの収集・リサイクル	820	15.6	25.9	39.6	9.0	4.1	5.7
9. 道路や歩道の整備	820	4.9	16.0	38.9	23.3	10.6	6.3
10. 道路や歩道の除排雪	820	8.4	18.4	32.3	23.3	11.8	5.7
11. 公園の整備	820	15.5	20.0	49.0	6.5	1.7	7.3
12. 公営住宅の整備	820	4.8	10.5	56.6	10.9	6.0	11.3
13. 水道の整備や水質	820	20.1	25.1	42.1	3.8	2.0	7.0
14. 浄化槽などの排水処理	820	7.4	12.3	49.0	13.8	9.6	7.8
15. 鉄道やバスの利用のしやすさ	820	2.0	4.1	25.4	29.5	32.6	6.5
16. 子育て支援	820	4.4	11.8	61.6	6.3	2.1	13.8
17. 健康づくりや病気の予防対策	820	9.0	22.0	56.0	4.4	1.1	7.6
18. 病院・診療所などの医療環境	820	7.2	12.4	36.7	25.6	11.5	6.6
19. 高齢者支援	820	6.3	13.5	55.7	12.0	4.8	7.7
20. 障がい者（児）支援	820	3.8	9.3	60.5	8.9	3.3	14.3
21. 生涯学習の情報や機会の提供	820	5.7	16.5	60.0	5.6	1.6	10.6
22. 幼・小・中学校の教育環境	820	5.6	14.6	58.4	6.1	1.2	14.0
23. 芸術文化活動の推進	820	4.3	11.0	64.8	7.3	2.0	10.7
24. 文化財や史跡の伝承保存	820	3.3	6.7	69.1	6.8	2.1	12.0
25. スポーツ活動の推進	820	6.8	18.2	59.5	3.4	1.5	10.6
26. 漁業の振興	820	5.5	12.9	51.3	11.6	5.6	13.0
27. 水産加工業の振興	820	3.9	14.4	56.0	8.5	2.9	14.3
28. 農業の振興	820	1.8	4.3	63.0	9.5	5.4	16.0
29. 林業の振興	820	1.8	4.3	64.9	8.2	3.8	17.1
30. 商業の振興（買い物の便利さ）	820	3.3	7.9	42.1	26.0	12.3	8.4
31. 観光の振興	820	3.2	8.8	50.7	17.9	9.4	10.0
32. 企業誘致や起業支援	820	1.8	3.2	47.4	21.6	11.7	14.3
33. 働く場の確保	820	2.2	3.2	31.3	28.7	22.4	12.2
34. 町内会などの地域活動	820	4.3	12.3	61.5	9.6	4.0	8.3
35. ボランティア活動	820	3.2	9.8	66.1	8.5	2.2	10.2
36. 広報活動（役場からの情報提供）	820	8.5	17.4	55.4	7.6	2.9	8.2
37. 住民のまちづくりへの参加	820	3.8	7.2	62.9	12.6	3.4	10.1
38. 役場の窓口対応やサービス	820	10.4	13.3	46.0	14.8	8.5	7.1

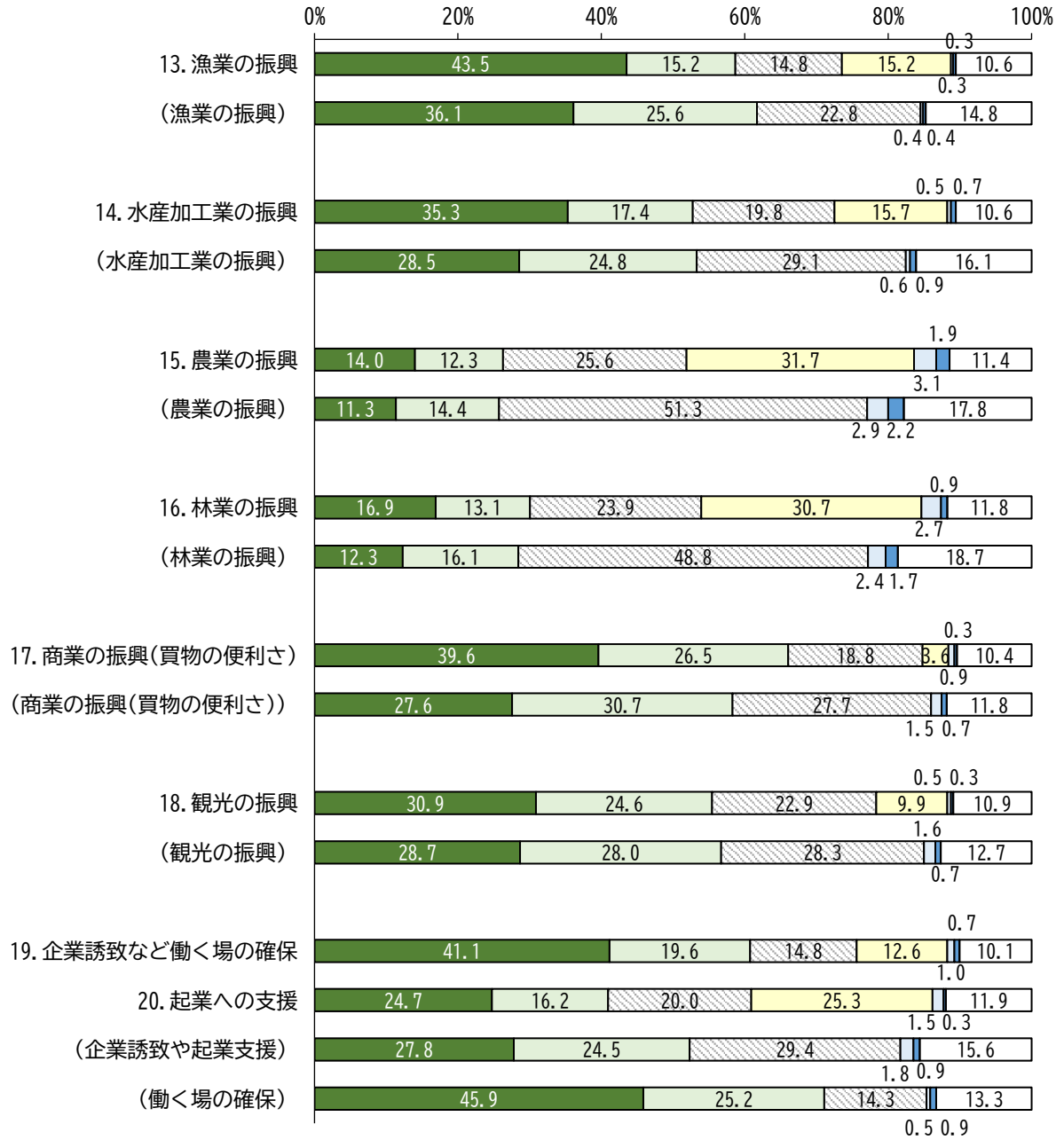
### 問3 暮らしの重要度～前回との比較～

問3 暮らしの重要度 [前回との比較]



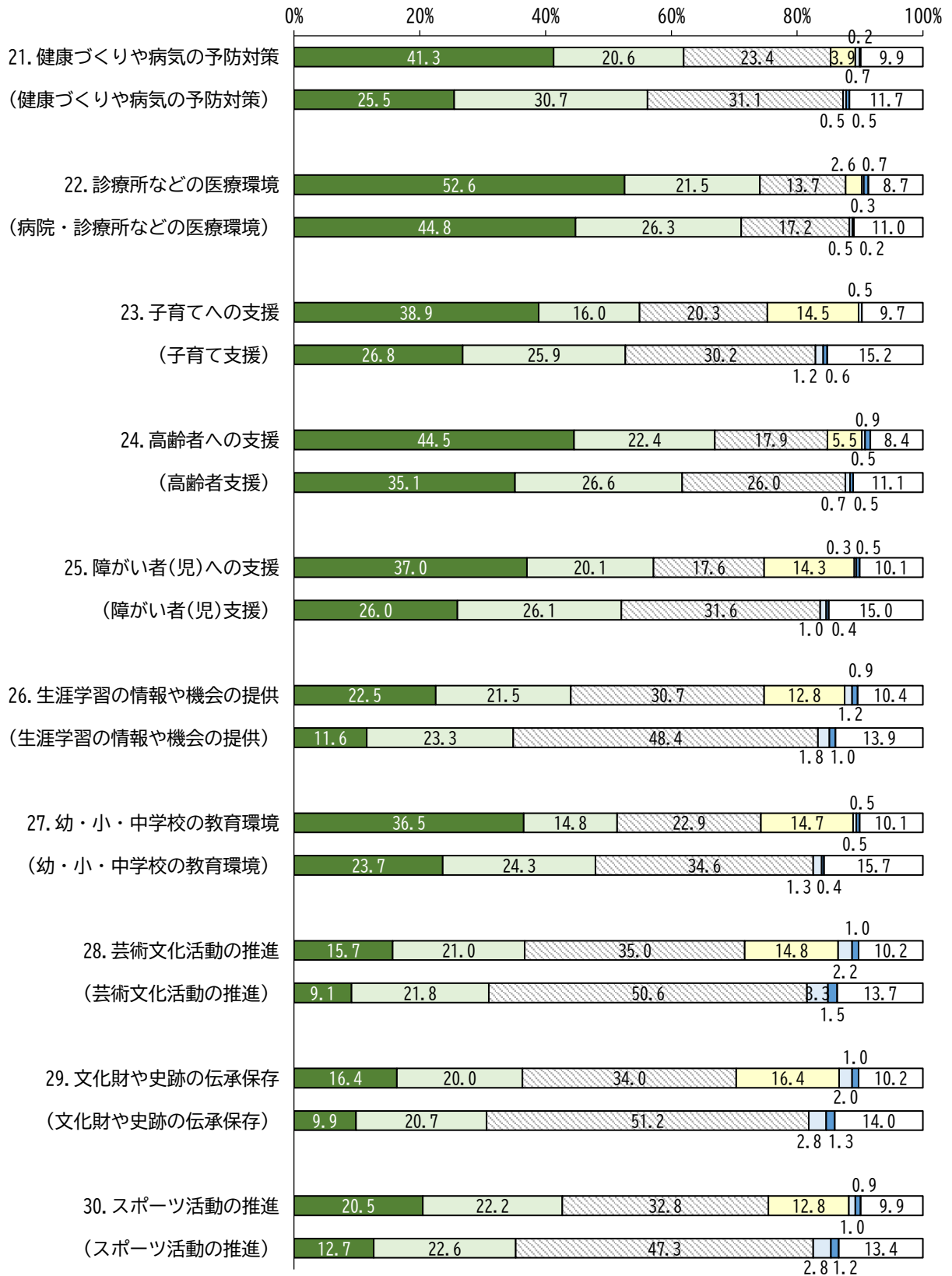
問3 暮らしの重要度 [前回との比較]

■重要 □やや重要 □普通 □分からない (今回のみ) □あまり重要ではない ■重要ではない □無回答



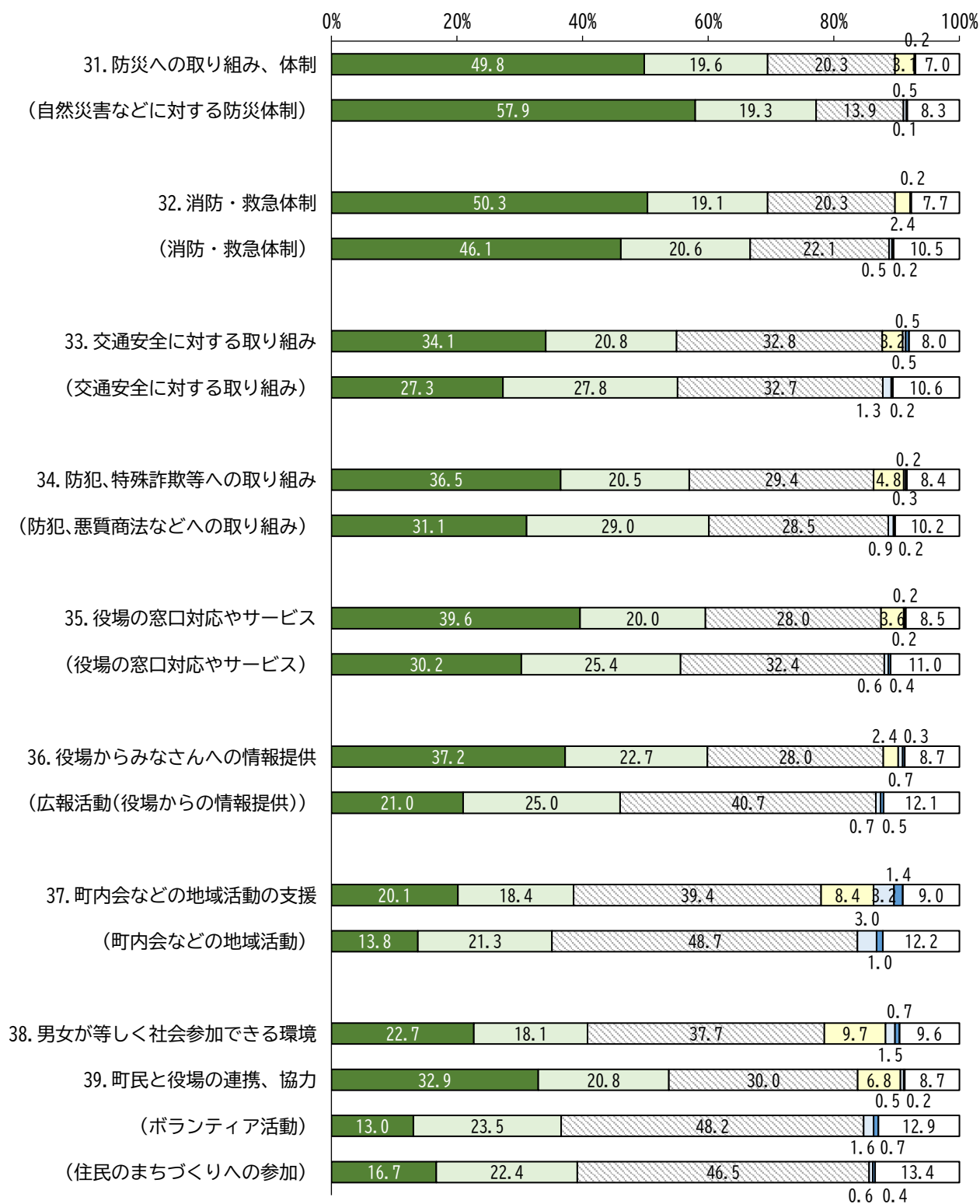
### 問3 暮らしの重要度 [前回との比較]

■重要 □やや重要 □普通 □分からない(今回のみ) □あまり重要ではない ■重要ではない □無回答



### 問3 暮らしの重要度 [前回との比較]

■重要 □やや重要 □普通 □分からない(今回のみ) □あまり重要ではない ■重要ではない □無回答





前回/2012年実施 [回答者数：820人] 暮らしの重要度	全体	重要	やや重要	普通	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
1. 山や緑地などの自然	820	33.5	24.3	29.4	2.1	0.5	10.2
2. 海や海岸の景観、美しさ	820	35.1	27.3	25.6	1.6	0.4	10.0
3. まちの景観、まちなみの美しさ	820	26.7	32.0	27.7	2.6	0.4	10.7
4. 自然災害などに対する防災体制	820	57.9	19.3	13.9	0.5	0.1	8.3
5. 消防・救急体制	820	46.1	20.6	22.1	0.5	0.2	10.5
6. 交通安全に対する取り組み	820	27.3	27.8	32.7	1.3	0.2	10.6
7. 防犯、悪質商法などへの取り組み	820	31.1	29.0	28.5	0.9	0.2	10.2
8. ごみの収集・リサイクル	820	30.9	29.4	29.1	1.2	0.5	8.9
9. 道路や歩道の整備	820	32.6	33.4	23.3	0.7	0.7	9.3
10. 道路や歩道の除排雪	820	36.3	31.5	22.1	0.4	0.9	8.9
11. 公園の整備	820	14.1	24.3	46.8	2.6	1.6	10.6
12. 公営住宅の整備	820	15.6	20.5	44.3	3.8	1.5	14.4
13. 水道の整備や水質	820	28.8	22.2	36.2	1.2	0.6	11.0
14. 浄化槽などの排水処理	820	29.4	24.8	33.7	1.2	0.5	10.5
15. 鉄道やバスの利用のしやすさ	820	35.7	26.5	25.6	1.7	1.5	9.0
16. 子育て支援	820	26.8	25.9	30.2	1.2	0.6	15.2
17. 健康づくりや病気の予防対策	820	25.5	30.7	31.1	0.5	0.5	11.7
18. 病院・診療所などの医療環境	820	44.8	26.3	17.2	0.5	0.2	11.0
19. 高齢者支援	820	35.1	26.6	26.0	0.7	0.5	11.1
20. 障がい者（児）支援	820	26.0	26.1	31.6	1.0	0.4	15.0
21. 生涯学習の情報や機会の提供	820	11.6	23.3	48.4	1.8	1.0	13.9
22. 幼・小・中学校の教育環境	820	23.7	24.3	34.6	1.3	0.4	15.7
23. 芸術文化活動の推進	820	9.1	21.8	50.6	3.3	1.5	13.7
24. 文化財や史跡の伝承保存	820	9.9	20.7	51.2	2.8	1.3	14.0
25. スポーツ活動の推進	820	12.7	22.6	47.3	2.8	1.2	13.4
26. 漁業の振興	820	36.1	25.6	22.8	0.4	0.4	14.8
27. 水産加工業の振興	820	28.5	24.8	29.1	0.6	0.9	16.1
28. 農業の振興	820	11.3	14.4	51.3	2.9	2.2	17.8
29. 林業の振興	820	12.3	16.1	48.8	2.4	1.7	18.7
30. 商業の振興（買い物の便利さ）	820	27.6	30.7	27.7	1.5	0.7	11.8
31. 観光の振興	820	28.7	28.0	28.3	1.6	0.7	12.7
32. 企業誘致や起業支援	820	27.8	24.5	29.4	1.8	0.9	15.6
33. 働く場の確保	820	45.9	25.2	14.3	0.5	0.9	13.3
34. 町内会などの地域活動	820	13.8	21.3	48.7	3.0	1.0	12.2
35. ボランティア活動	820	13.0	23.5	48.2	1.6	0.7	12.9
36. 広報活動（役場からの情報提供）	820	21.0	25.0	40.7	0.7	0.5	12.1
37. 住民のまちづくりへの参加	820	16.7	22.4	46.5	0.6	0.4	13.4
38. 役場の窓口対応やサービス	820	30.2	25.4	32.4	0.6	0.4	11.0

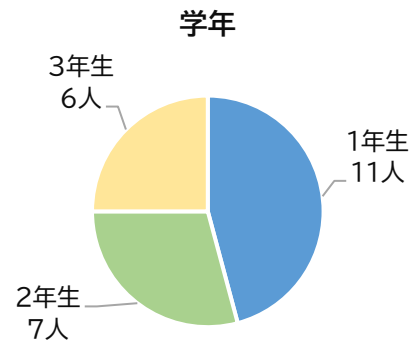
# 鹿部町まちづくり中学生アンケート結果

対象：鹿部中学校の生徒（1年生・2年生・3年生）

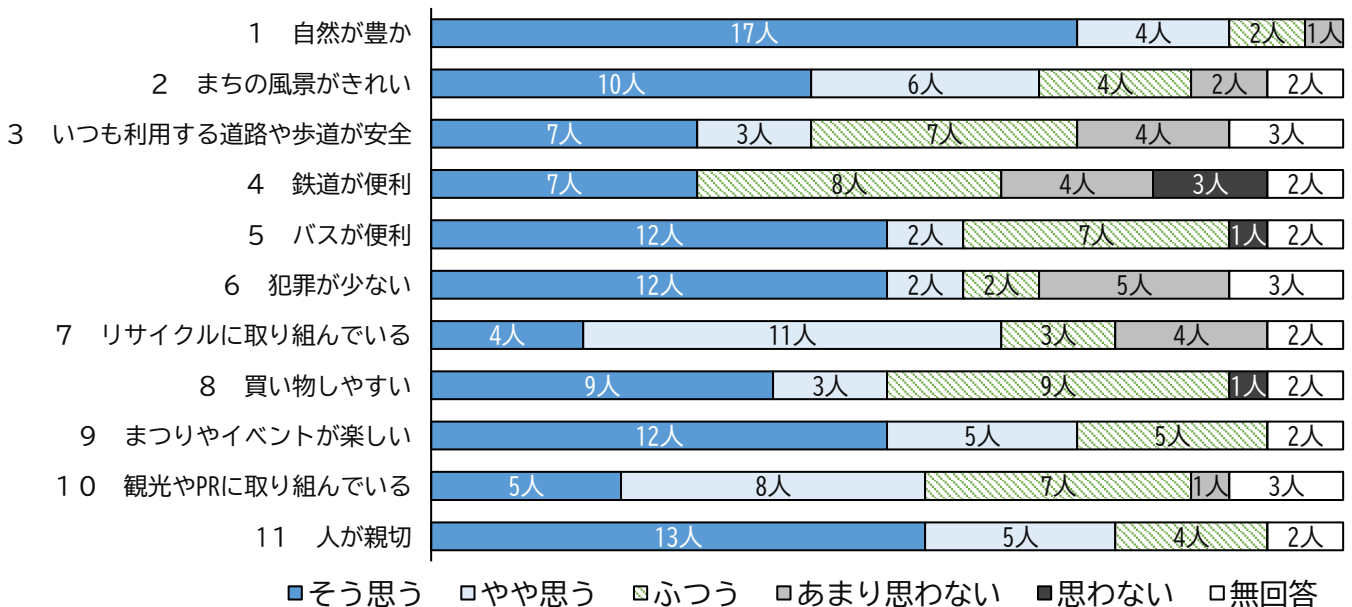
方法：Web アンケートを通して回答、回収

## 回答者の学年、回答者数

1年生	11人	45.8%
2年生	7人	29.2%
3年生	6人	25.0%
合計	24人	100.0%



問1 次の内容について、鹿部町で暮らしていて、どう思いますか。それぞれ「そう思う・やや思う・ふつう・あまり思わない・思わない」のどれかを選んでください。

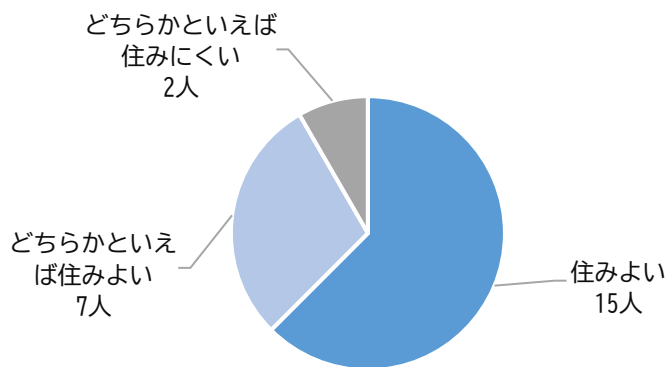


上のグラフの%

	そう思う	やや思う	ふつう	あまり思わない	思わない	無回答
1 自然が豊か	70.8%	16.7%	8.3%	4.2%	0.0%	0.0%
2 まちの風景がきれい	41.7%	25.0%	16.7%	8.3%	0.0%	8.3%
3 いつも利用する道路や歩道が安全	29.2%	12.5%	29.2%	16.7%	0.0%	12.5%
4 鉄道が便利	29.2%	0.0%	33.3%	16.7%	12.5%	8.3%
5 バスが便利	50.0%	8.3%	29.2%	0.0%	4.2%	8.3%
6 犯罪が少ない	50.0%	8.3%	8.3%	20.8%	0.0%	12.5%
7 リサイクルに取り組んでいる	16.7%	45.8%	12.5%	16.7%	0.0%	8.3%
8 買い物しやすい	37.5%	12.5%	37.5%	0.0%	4.2%	8.3%
9 まつりやイベントが楽しい	50.0%	20.8%	20.8%	0.0%	0.0%	8.3%
10 観光やPRに取り組んでいる	20.8%	33.3%	29.2%	4.2%	0.0%	12.5%
11 人がやさしい、親切	54.2%	20.8%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%

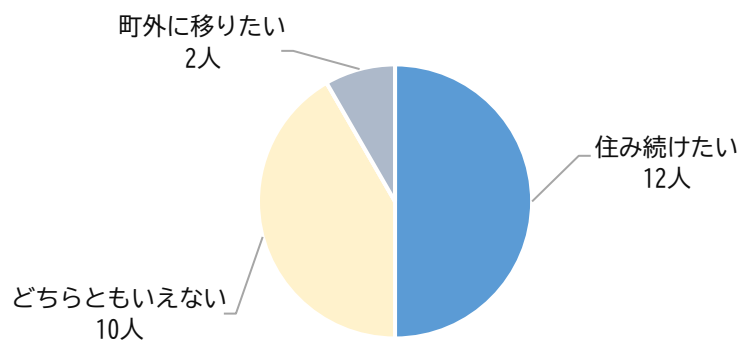
問2 鹿部町は住みよい町ですか。1つだけ選んでください。

住みよい	15人	62.5%
どちらかといえば住みよい	7人	29.2%
どちらかといえば住みにくい	2人	8.3%
住みにくい	0人	0.0%
無回答	0人	0.0%
合計	24人	100.0%



問3 これからも、鹿部町に住み続けたいと思いますか。1つだけ選んでください。

住み続けたい	12	50.0%
どちらともいえない	10	41.7%
転勤があるので、転出すると思う	0	0.0%
町外に移りたい	2	8.3%
無回答	0	0.0%
合計	24	100.0%



問3で「町外に移りたい」を選んだ方は、その理由を、おおまかでもかまいませんので、教えてください。

鹿部町はあまり大きいお店がなく不便だから  
都会に行きYouTuberになる

問4 鹿部町で、気に入っている場所、好きなポイント、おすすめポイントなどを教えてください。

間欠泉公園(5)  
道の駅(5)  
道の駅の周辺  
鹿部公園(2)  
公園  
山

漁港(4)

総合体育館(4)  
総合体育館:部活の練習の時も貸してもらっていてとても助かるし、プライベートでも雨の日も気にせず楽しく遊べるから  
公民館

コンビニ(2)  
ローソン

問5 鹿部町で、残念なところ、良くしてほしいことなどを教えてください。

海が汚い。  
海が正直汚い時がある。  
海を綺麗に生き物が住みやすい。  
川があまりきれいではないところ。  
ゴミが多い。  
ゴミが少し道端にある。  
ポイ捨てをしないで欲しい。  
不法投棄が少し多い。

高校がない!(高校に通うのが大変。)  
高校が無いこと。  
高校が無い。  
幼小中あるのに、高大が無いから残念な事。

駅が遠い。  
少し町から離れている事(離れているから、いい事もある)。  
友達と遊ぶところがすくない。  
遊べるところを増やしてほしい。  
家が少ない。  
残念なところは必要になったものをすぐには買えるお店があまりない。  
店が少ないところが残念なので、店を多くしてほしいです。

道の駅・間欠泉の裏の階段が整備されていないところ。  
心が狭いです。

問6 もしも、あなたが鹿部町長になったら、何をしたいですか(どのようなまちづくりをしたいですか)。

自然を大事にしたい。  
自然を増やしたい。  
自然を綺麗にすることから始める。  
海をきれいにしたい。  
まずはゴミを減らしたい、綺麗にしたい。

高校を作れるように、何とかする。  
高校と大学を作れるようにする。  
高校を作ること。大学も。

遊べる所を増やして欲しい。  
子供が遊べる遊びばやホテル、スーパーを増やしたいです。  
1つの建物の中に複合のお店(薬局、服屋、魚屋など)をいれる。  
遊園地と百均を作ってほしいスタバも良い。  
百均と蔦屋とグッズ店を建てたい。  
ゲオ、ガンブラ専門店。  
函館にあるような店を建てる。  
本屋を作る。

観光スポットでとても有名なところしてみたいです。  
建造物を建てたい。  
少しでも住み心地がよい町にしたい。  
鹿部町に住んでいる人たちが明るく元気で過ごせるまちづくりをしたいです。

問7 「こんな鹿部町になってほしい」という内容や、「まちづくりへの意見やアイデア」などが  
ありましたら、教えてください。

誰でも住みやすい町(2)  
自然豊かな鹿部町になって欲しい。  
優しく自然豊かな町。  
幼小中高大(専門学校)。が、ある町になって欲しかった。  
小さい子供や小中高学生が遊べる場所を増やしてほしい。  
イベントを増やしたい  
アイヌ文化がある鹿部町にしたいです。  
働く所を増やしなが、自然を守りなが、若者が定住しやすい町作りをして欲しいです。  
もっと町と人たちの間に交流がある鹿部町になって欲しいです。  
みんなの不満がない鹿部町にこれからもなってほしいです。  
笑顔が多い町。  
パッピーな町にしたい。  
今まで通りの鹿部町を保って下さい。

# 鹿部町の人口分析と 将来人口推計

令和4年（2022）4月

株式会社日本コンサルタントグループ  
地域経営研究所

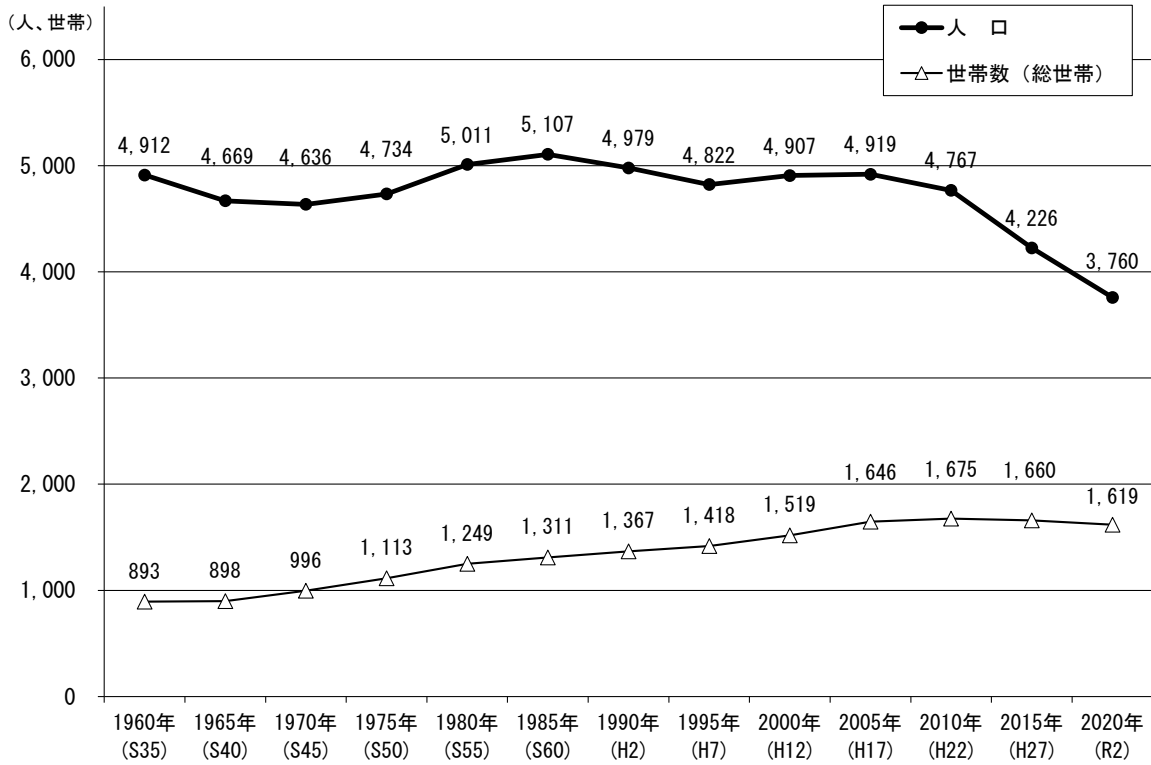


= も く じ =

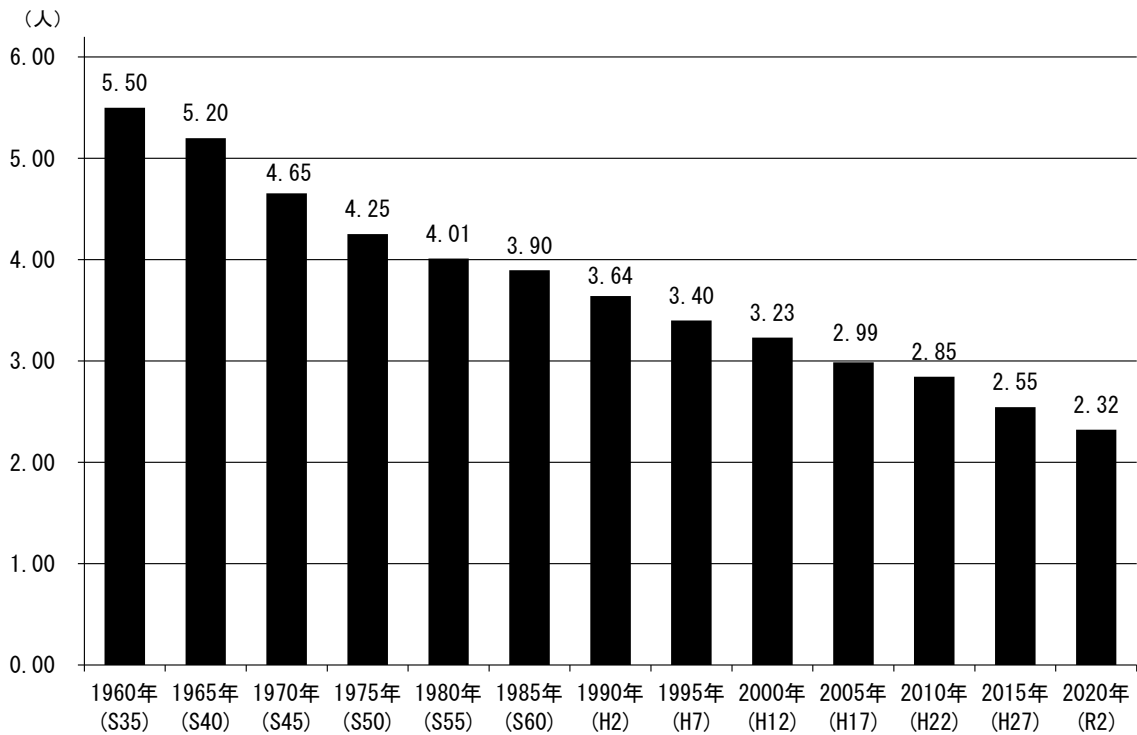
1	人口、世帯数.....	1
2	年齢別人口 .....	4
3	人口動態（出生・死亡、転入・転出） .....	7
4	転入出の状況.....	9
5	合計特殊出生率、子ども、児童・生徒.....	13
6	高齢者.....	17
7	就業 <未>.....	20
8	通勤・通学、昼夜間人口 <未>.....	20
9	将来人口推計.....	21

# 1 人口、世帯数

人口、世帯数の推移（鹿部町）【国勢調査】

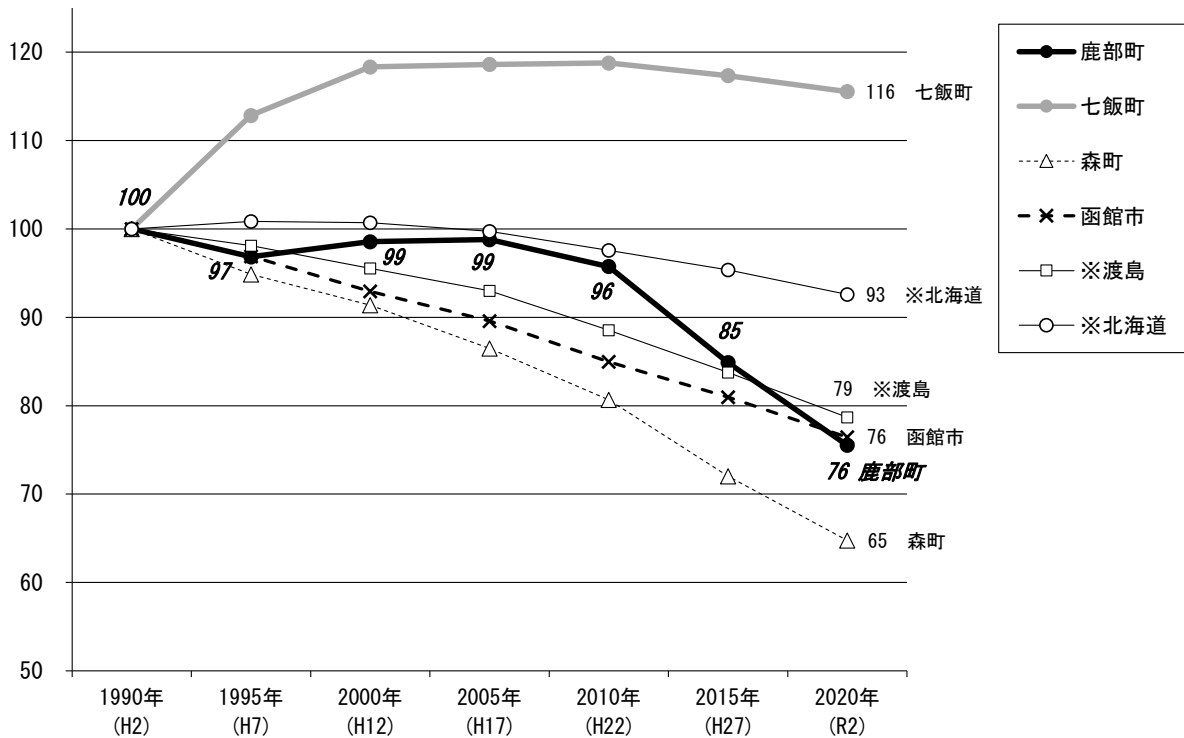


1世帯あたり人員の推移（鹿部町）【国勢調査】



※ 1世帯あたり人員 = 総人口 ÷ 総世帯数 (以下同じ。)

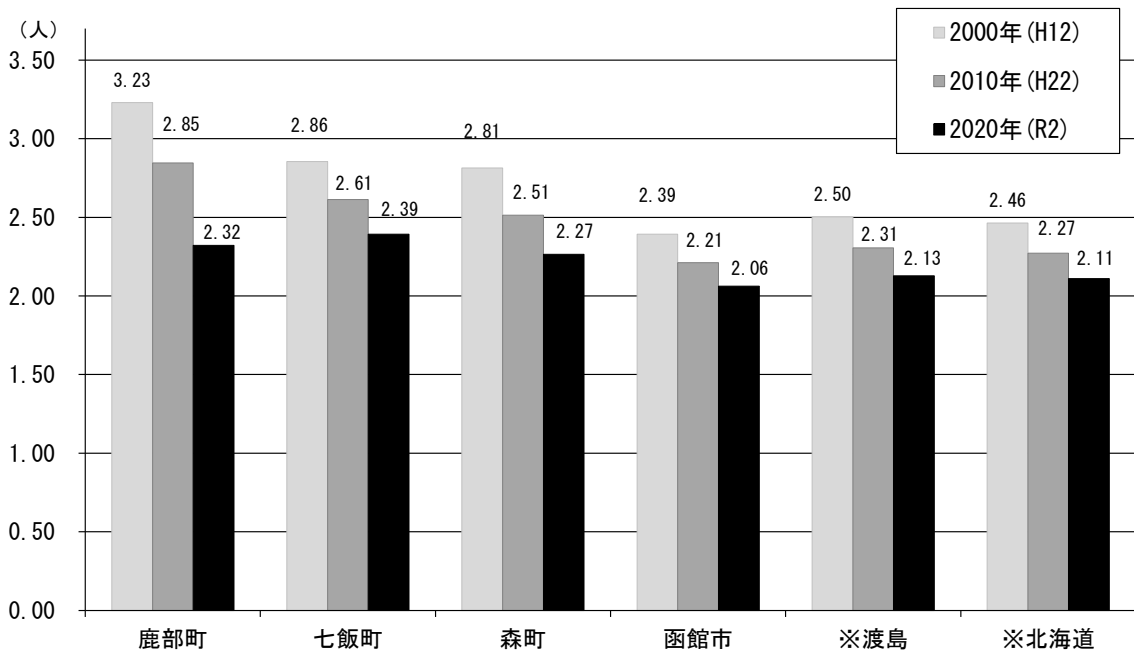
人口増減指数（管内・全道比較）（1990年=100）【国勢調査】



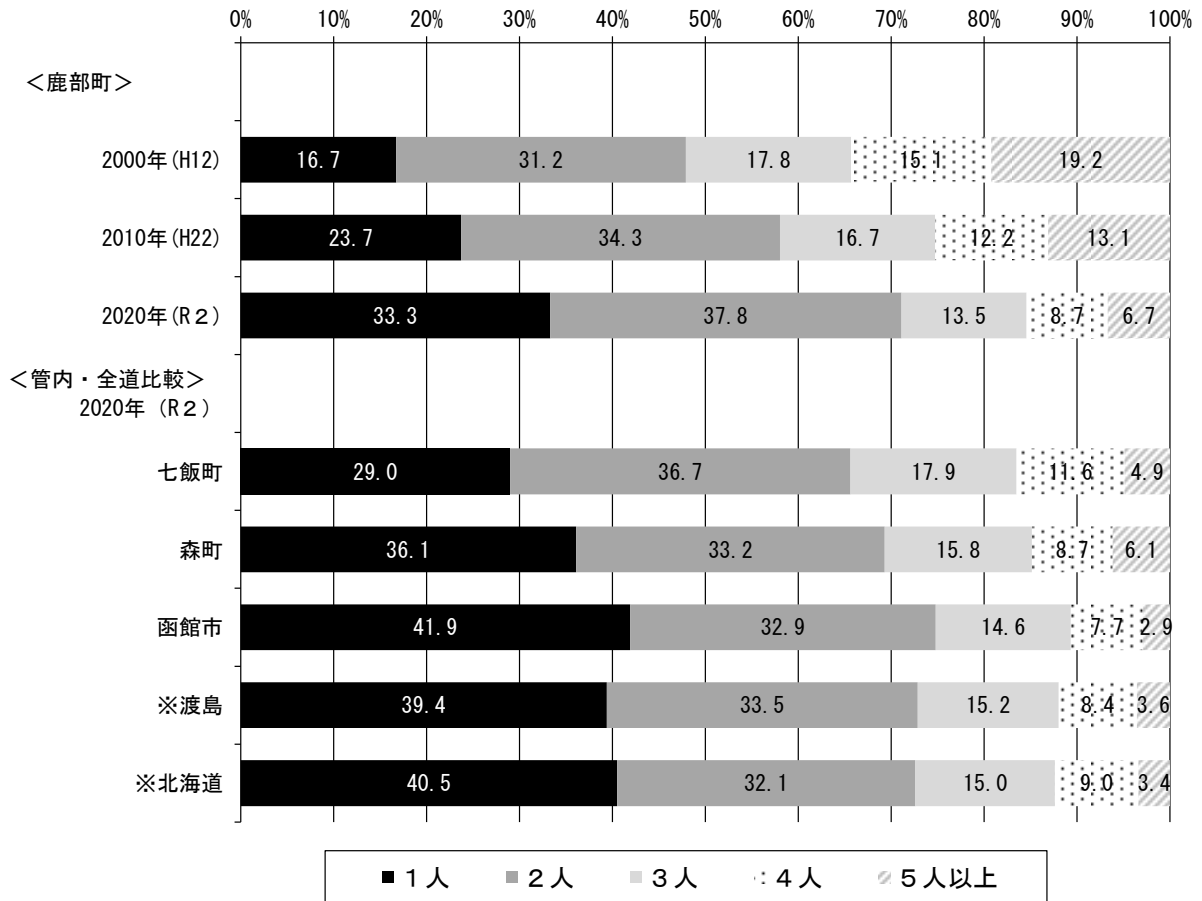
※2000年（H12）までの函館市には合併以前の旧戸井町、旧恵山町、旧楸法華村、旧南茅部町を、森町には旧砂原町を含む。（以下同じ。）

※2005年（H17）までの渡島管内には、旧熊石町を含まない。（以下同じ。）

1世帯あたり人員の推移（管内・全道比較）【国勢調査】



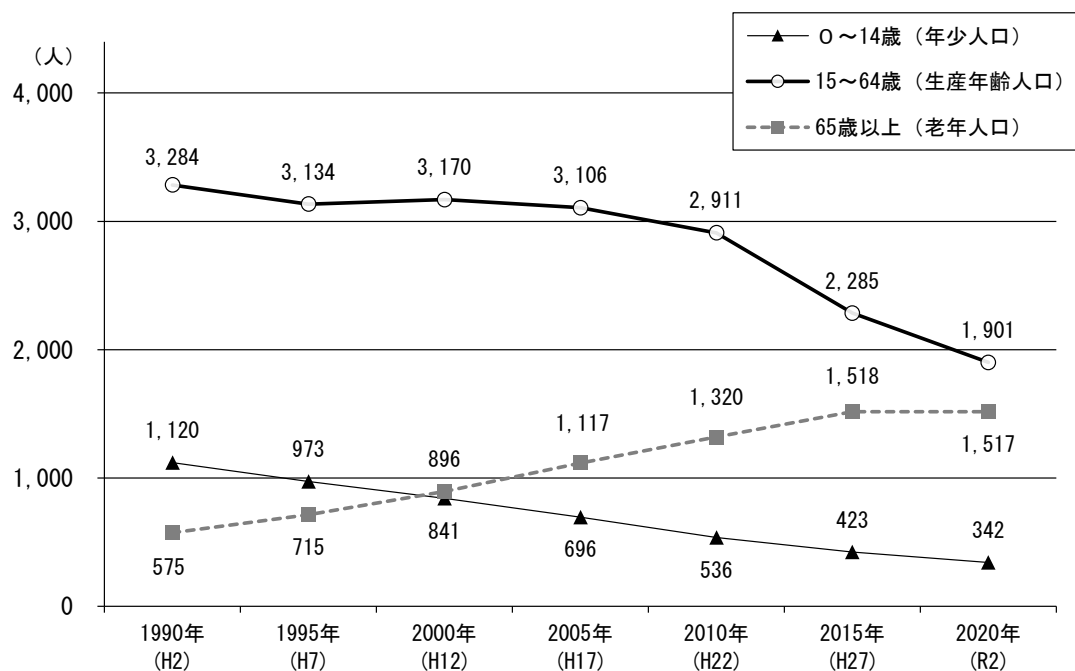
世帯人員別世帯数構成比（鹿部町の推移と管内・全道比較）  
（一般世帯）【国勢調査】



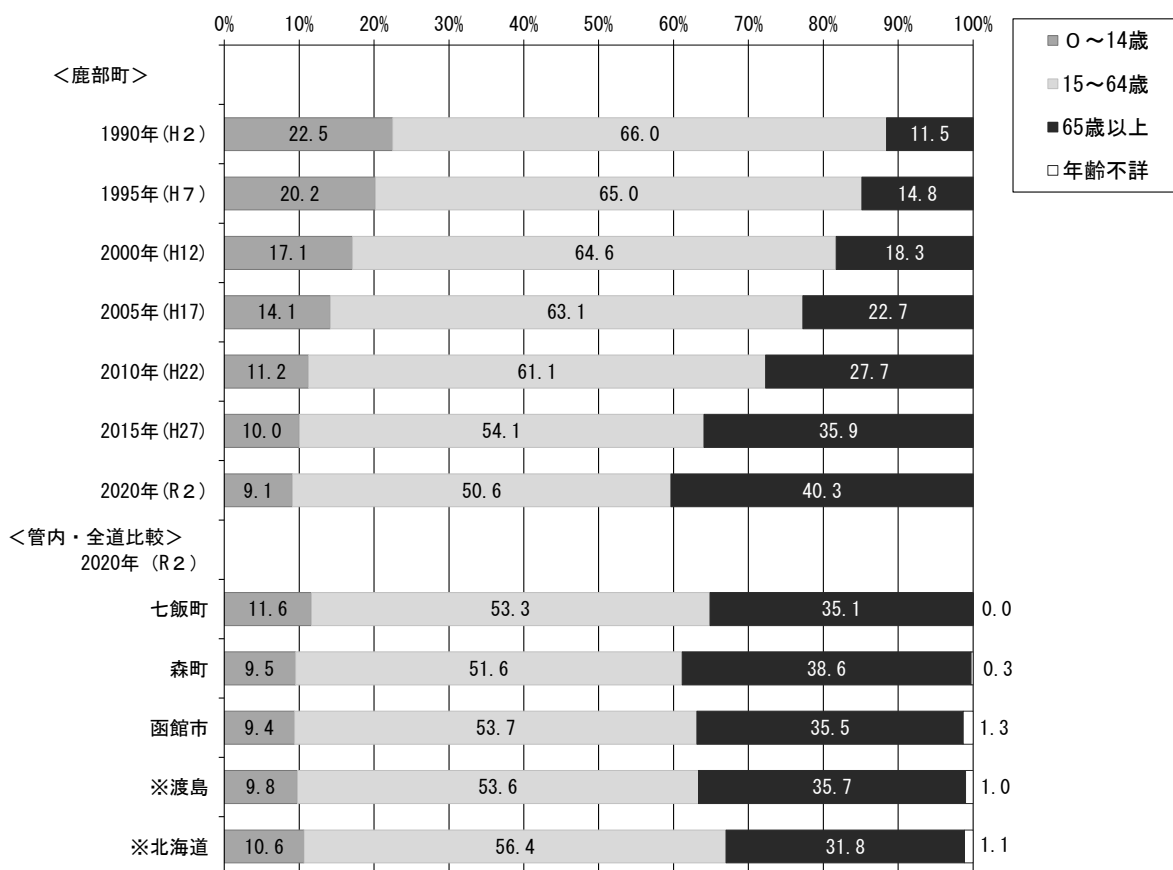
※「一般世帯」とは、総世帯から、各種施設や寮、病院などを除いた世帯。（以下同じ。）

## 2 年齢別人口

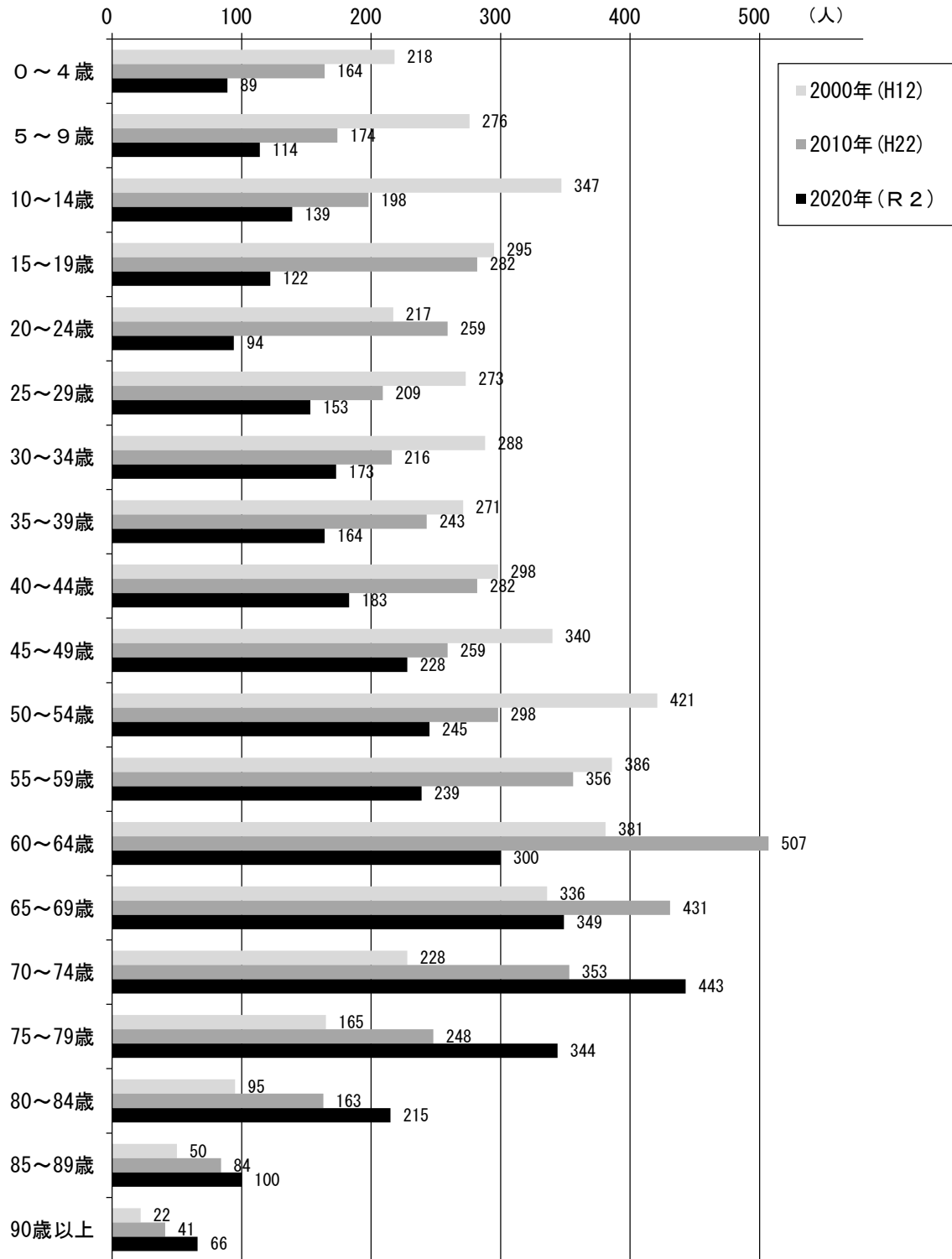
年齢3区分別人口の推移（鹿部町）【国勢調査】



年齢3区分別人口構成比  
（鹿部町の推移と管内・全道比較）【国勢調査】

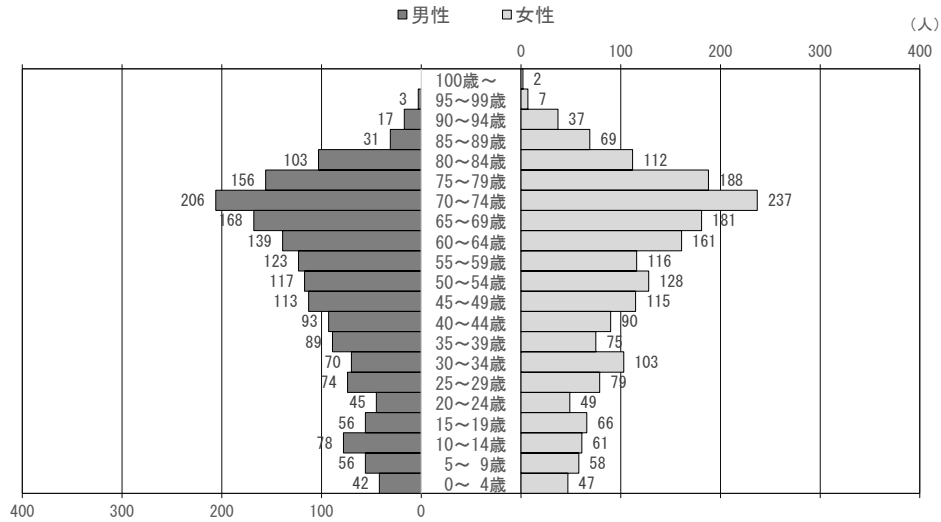


年齢5歳階級別人口の推移（鹿部町）【国勢調査】

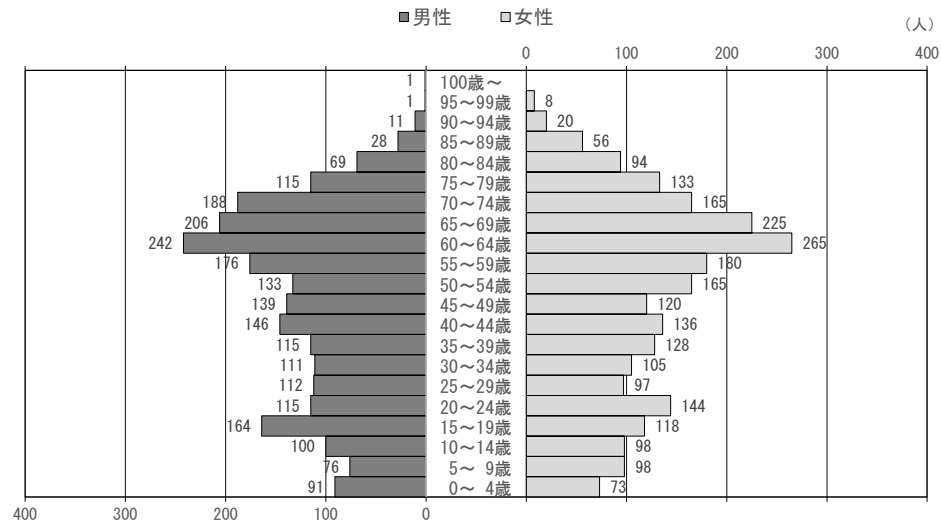




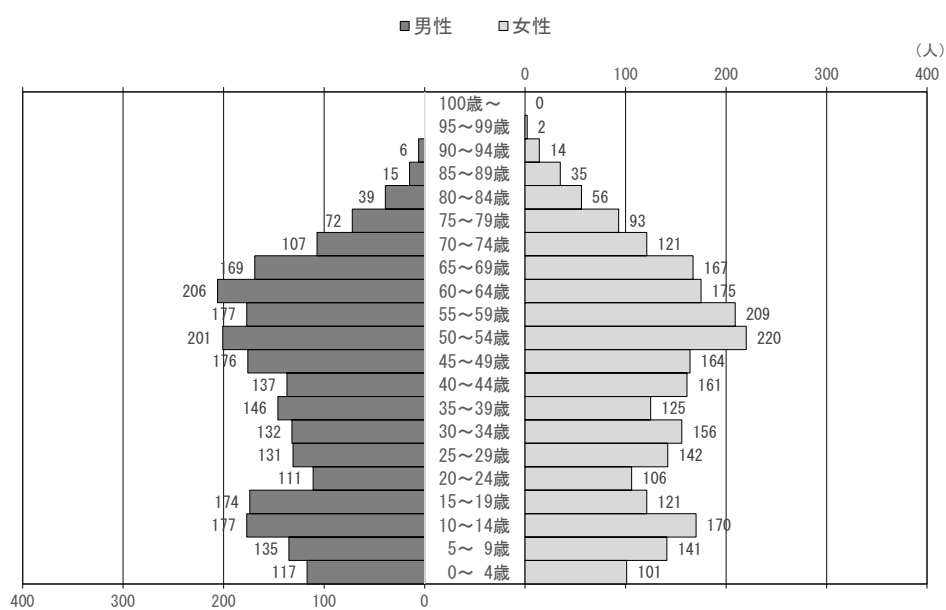
2020年（R2）人口ピラミッド（鹿部町）【国勢調査】



2010年（H22）人口ピラミッド（鹿部町）【国勢調査】



2000年（H12）人口ピラミッド（鹿部町）【国勢調査】



### 3 人口動態（出生・死亡、転入・転出）

#### 人口動態の推移（鹿部町）【住民基本台帳】

（各年4月1日から翌年3月31日まで）

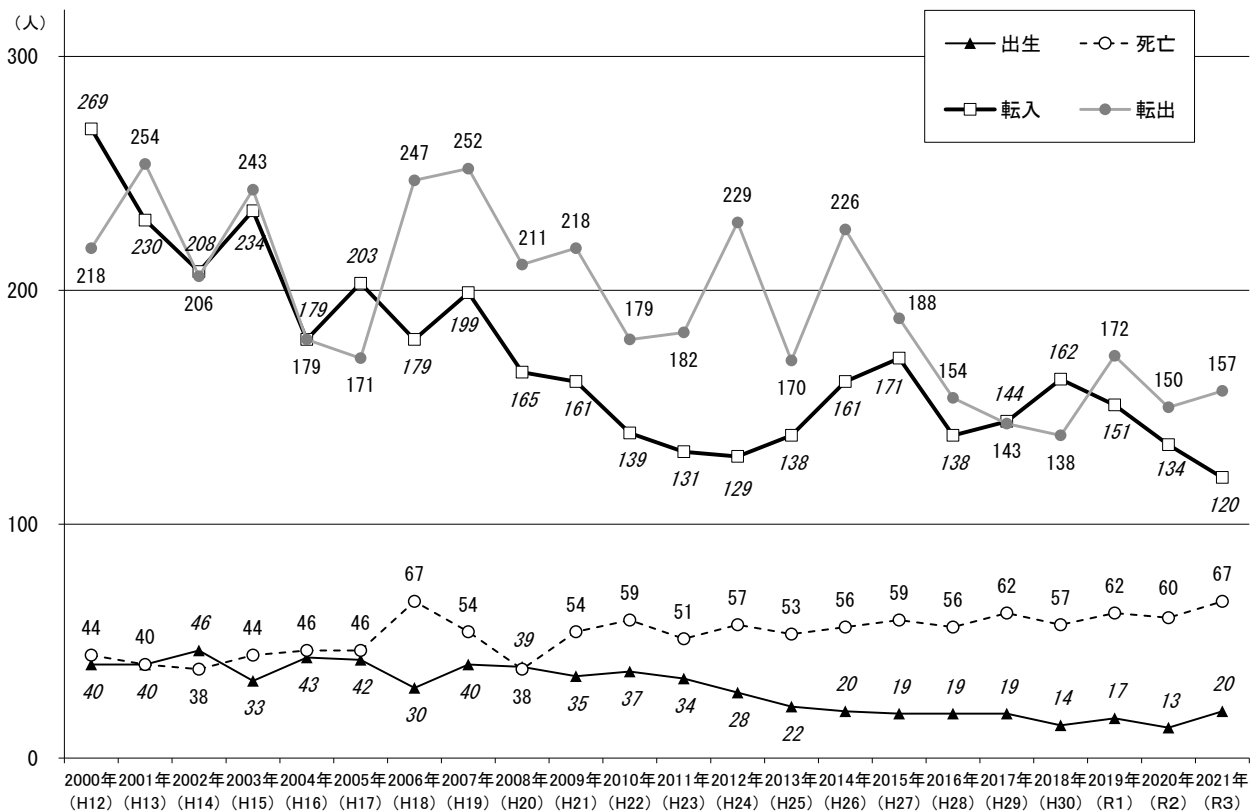
（人）

年次	人口増減 合計 (ア)+(イ)+(ウ)	自然動態			社会動態			職権（その他）		
		出生-死亡 (ア)	出生	死亡	転入-転出 (イ)	転入	転出	増一減 (ウ)	その他増	その他減
2000年 (H12)	46	▲ 4	40	44	51	269	218	▲ 1	4	5
2001年 (H13)	▲ 24	0	40	40	▲ 24	230	254	0	0	0
2002年 (H14)	11	8	46	38	2	208	206	1	3	2
2003年 (H15)	▲ 14	▲ 11	33	44	▲ 9	234	243	6	7	1
2004年 (H16)	▲ 2	▲ 3	43	46	0	179	179	1	1	0
2005年 (H17)	34	▲ 4	42	46	32	203	171	6	6	0
2006年 (H18)	▲ 105	▲ 37	30	67	▲ 68	179	247	0	1	1
2007年 (H19)	▲ 65	▲ 14	40	54	▲ 53	199	252	2	2	0
2008年 (H20)	▲ 46	1	39	38	▲ 46	165	211	▲ 1	0	1
2009年 (H21)	▲ 78	▲ 19	35	54	▲ 57	161	218	▲ 2	0	2
2010年 (H22)	▲ 66	▲ 22	37	59	▲ 40	139	179	▲ 4	0	4
2011年 (H23)	▲ 68	▲ 17	34	51	▲ 51	131	182	0	0	0
2012年 (H24)	▲ 84	▲ 29	28	57	▲ 100	129	229	45	64	19
2013年 (H25)	▲ 80	▲ 31	22	53	▲ 32	138	170	▲ 17	0	17
2014年 (H26)	▲ 114	▲ 36	20	56	▲ 65	161	226	▲ 13	1	14
2015年 (H27)	▲ 58	▲ 40	19	59	▲ 17	171	188	▲ 1	11	12
2016年 (H28)	▲ 74	▲ 37	19	56	▲ 16	138	154	▲ 21	0	21
2017年 (H29)	▲ 65	▲ 43	19	62	1	144	143	▲ 23	2	25
2018年 (H30)	▲ 55	▲ 43	14	57	24	162	138	▲ 36	3	39
2019年 (R1)	▲ 86	▲ 45	17	62	▲ 21	151	172	▲ 20	0	20
2020年 (R2)	▲ 63	▲ 47	13	60	▲ 16	134	150	0	2	2
2021年 (R3)	▲ 86	▲ 47	20	67	▲ 37	120	157	▲ 2	1	3

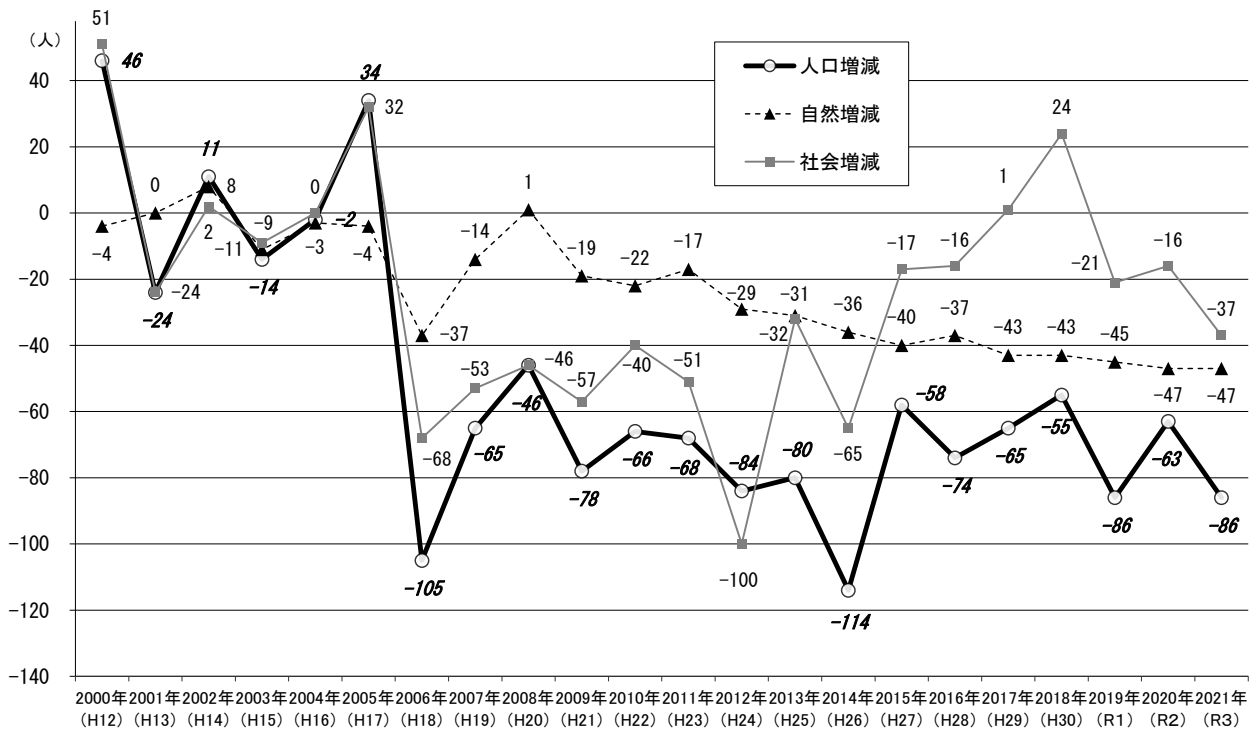
※2013年（H25）からは外国人を含む。（以下同じ。）

資料：住民基本台帳（町）

#### 自然動態（出生・死亡）、社会動態（転入・転出）の推移（鹿部町）【住民基本台帳】 （各年4月1日から翌年3月31日まで）



人口動態（増減）の推移（鹿部町）【住民基本台帳】  
 （各年4月1日から翌年3月31日まで）



※人口増減には、自然増減と社会増減のほか、「その他（職権）」による増減分を含む。

資料：住民基本台帳（町）

## 4 転入出の状況

2021年（R3）のデータが公表され次第、追記します。（公表予定は4月下旬）

地域別の転入出状況（鹿部町への転入、鹿部町からの転出）  
【2019年（R1）、2020年（R2）、2021年（R3） 住民基本台帳人口移動報告】

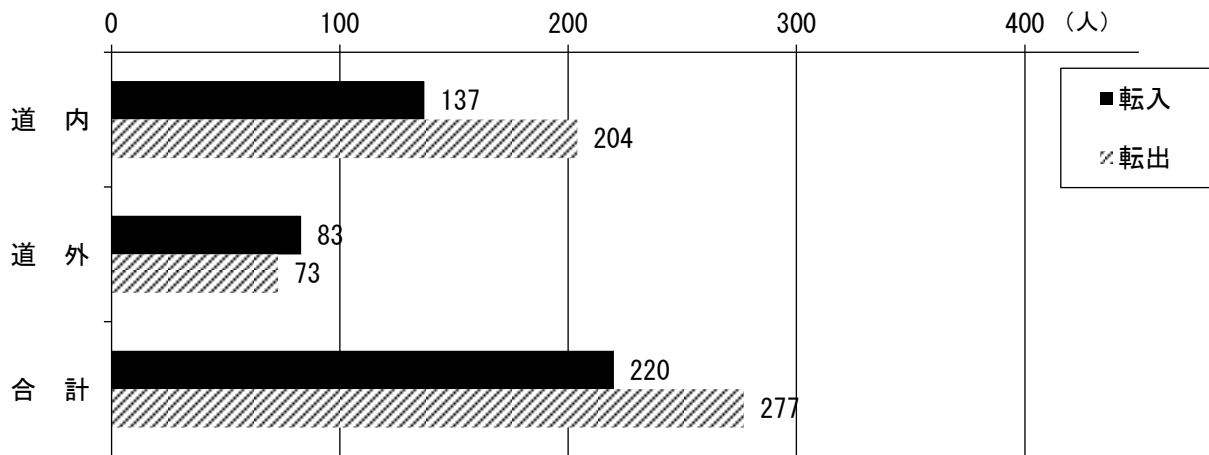
転入元・転出先	転 入					転 出					差し引き (転入-転出) (3年合計)
	人 数				構成比 (3年平均)	人 数				構成比 (3年平均)	
	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	3年 合計		2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	3年 合計		
道 内	85	52		137	62.3	94	110		204	73.6	▲ 67
道 外	34	49		83	37.7	31	42		73	26.4	10
合 計	119	101		220	100.0	125	152		277	100.0	▲ 57

※各年1月1日～12月31日の国内移動分で、外国人を含む。（以下同じ。）

資料：住民基本台帳人口移動報告（総務省）

道内外別転入出状況（鹿部町）  
(2019年（R1）、2020年（R2）の合計)  
【住民基本台帳人口移動報告】

2021年（R3）のデータが公表され次第、3年合計のグラフと差し替えます。



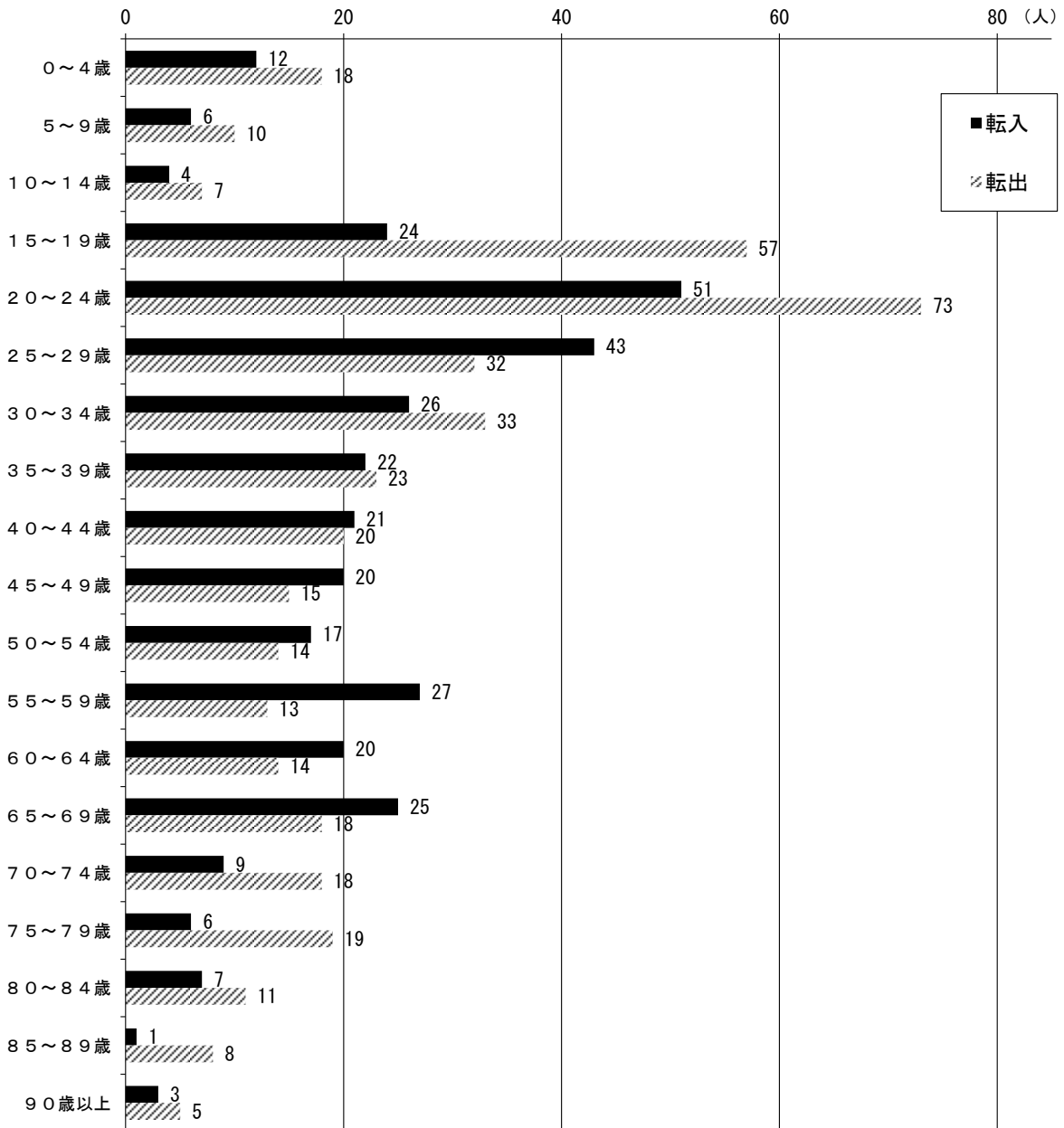
資料：住民基本台帳人口移動報告（総務省）

年齢5歳階級別・男女別転入出状況（鹿部町）  
【2019年（R1）、2020年（R2）、2021年（R3） 住民基本台帳人口移動報告】

年齢区分	転 入					転 出					差し引き (転入－転出) (3年合計)	
	人 数				構成比 (3年平均)	人 数				構成比 (3年平均)		
	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	3年 合計		2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	3年 合計			
年少人口												
0～4歳	2	6	4	12	3.5	9	5	4	18	4.4	▲ 6	
5～9歳	2	1	3	6	1.7	4	3	3	10	2.5	▲ 4	
10～14歳	1	1	2	4	1.2	2	4	1	7	1.7	▲ 3	
<小計>	5	8	9	22	6.4	15	12	8	35	8.6	▲ 13	
生産年齢人口												
15～19歳	10	7	7	24	7.0	19	20	18	57	14.0	▲ 33	
20～24歳	22	12	17	51	14.8	18	29	26	73	17.9	▲ 22	
25～29歳	17	11	15	43	12.5	10	14	8	32	7.8	11	
30～34歳	10	8	8	26	7.6	12	11	10	33	8.1	▲ 7	
35～39歳	5	10	7	22	6.4	8	5	10	23	5.6	▲ 1	
40～44歳	9	3	9	21	6.1	7	10	3	20	4.9	1	
45～49歳	6	9	5	20	5.8	4	7	4	15	3.7	5	
50～54歳	8	4	5	17	4.9	3	5	6	14	3.4	3	
55～59歳	10	6	11	27	7.8	6	3	4	13	3.2	14	
60～64歳	4	6	10	20	5.8	6	4	4	14	3.4	6	
<小計>	101	76	94	271	78.8	93	108	93	294	72.1	▲ 23	
老年人口												
65～69歳	7	3	15	25	7.3	7	4	7	18	4.4	7	
70～74歳	3	5	1	9	2.6	3	7	8	18	4.4	▲ 9	
75～79歳	1	3	2	6	1.7	2	13	4	19	4.7	▲ 13	
80～84歳	0	4	3	7	2.0	1	3	7	11	2.7	▲ 4	
85～89歳	0	1	0	1	0.3	3	2	3	8	2.0	▲ 7	
90歳以上	2	1	0	3	0.9	1	3	1	5	1.2	▲ 2	
<小計>	13	17	21	51	14.8	17	32	30	79	19.4	▲ 28	
合 計	119	101	124	344	100.0	125	152	131	408	100.0	▲ 64	

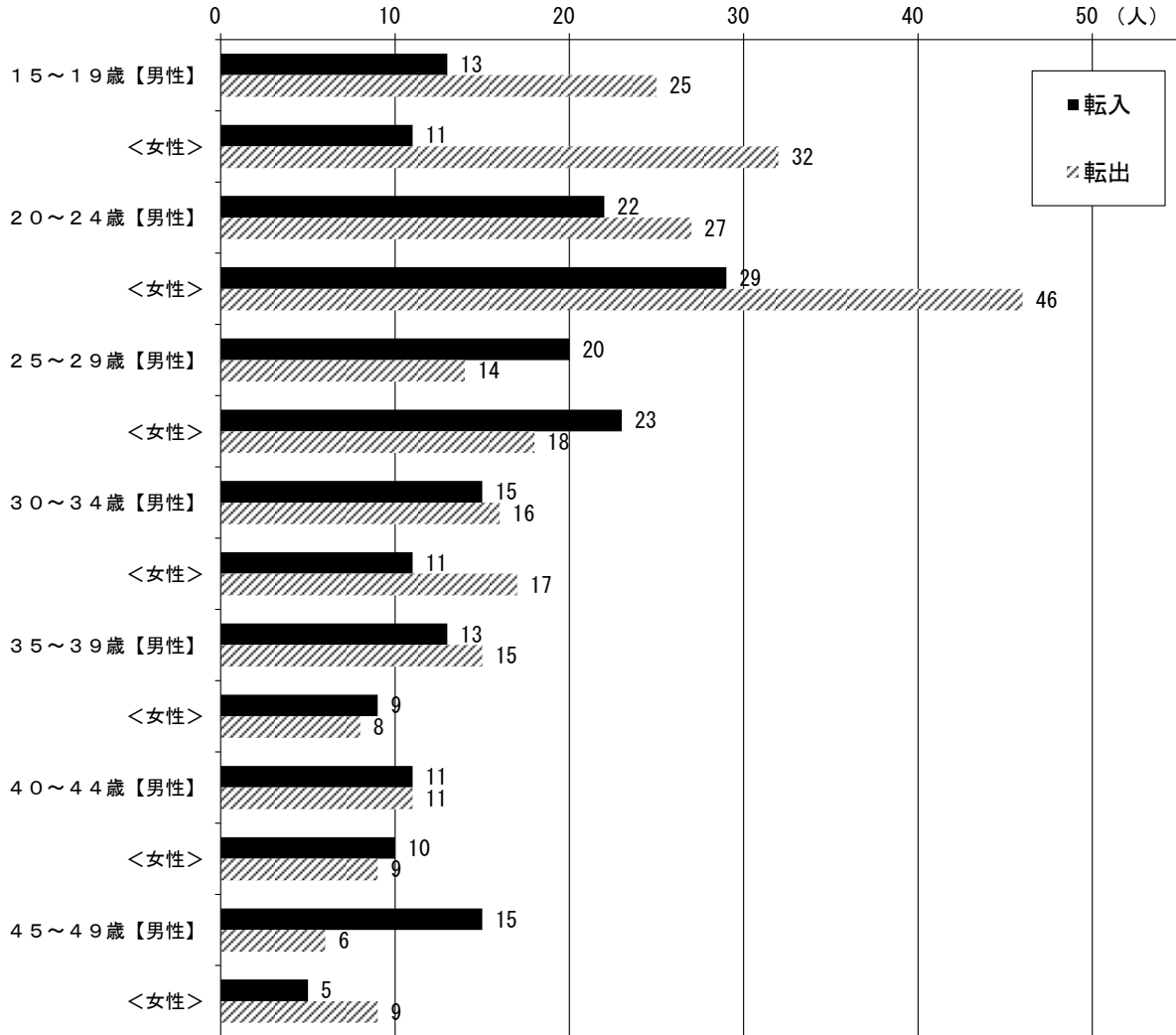
資料：住民基本台帳人口移動報告（総務省）

年齢5歳階級別転入出者数（鹿部町）  
 (2019年(R1)・2020年(R2)・2021年(R3)の合計)  
 【住民基本台帳人口移動報告】



資料：住民基本台帳人口移動報告（総務省）

男女別・年齢5歳階級別転入出者数（15～49歳）（鹿部町）  
 （2019年（R1）・2020年（R2）・2021年（R3）の合計）  
 【住民基本台帳人口移動報告】

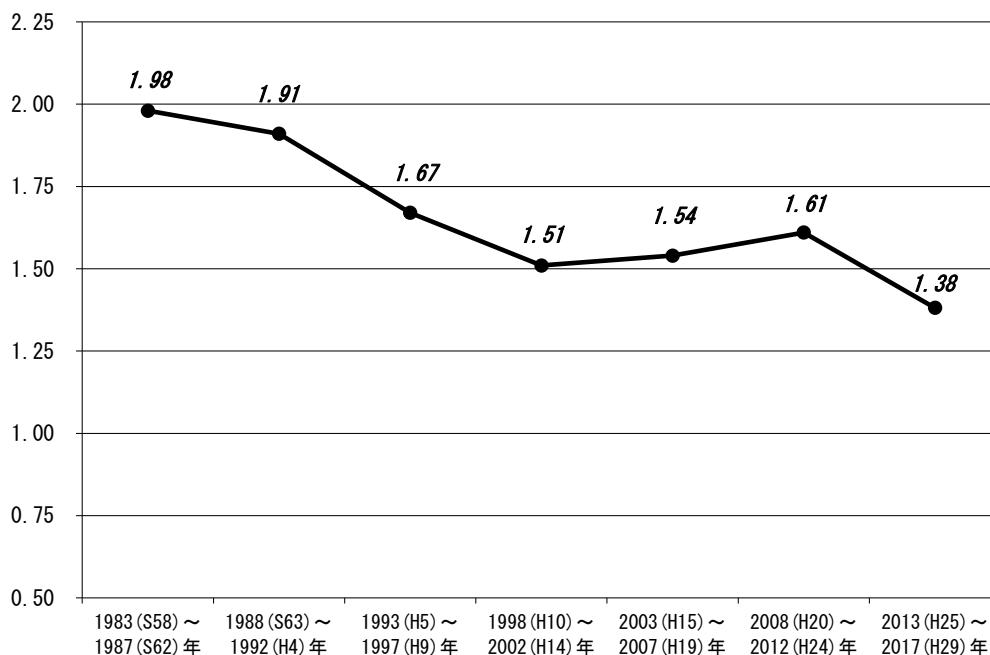


資料：住民基本台帳人口移動報告（総務省）



## 5 合計特殊出生率、子ども、児童・生徒

合計特殊出生率の推移（ベイズ推定値、5年間平均）（鹿部町）



資料：人口動態保健所・市区町村別統計（厚生労働省）

- ★合計特殊出生率：1人の女性が生涯を通じて生む子どもの平均数に相当する指数。  
 ★ベイズ推定値：人口や出生数が少ない市区町村等では、合計特殊出生率が不安定になりやすい（特異値が発生しやすい）ため、都道府県の出生状況を加味して推定値として算出したもの。厚生労働省では、5年おきに、全国市町村の5年間の平均値として公表している。

合計特殊出生率の推移（管内・全道・全国比較）（ベイズ推定値、5年間平均）

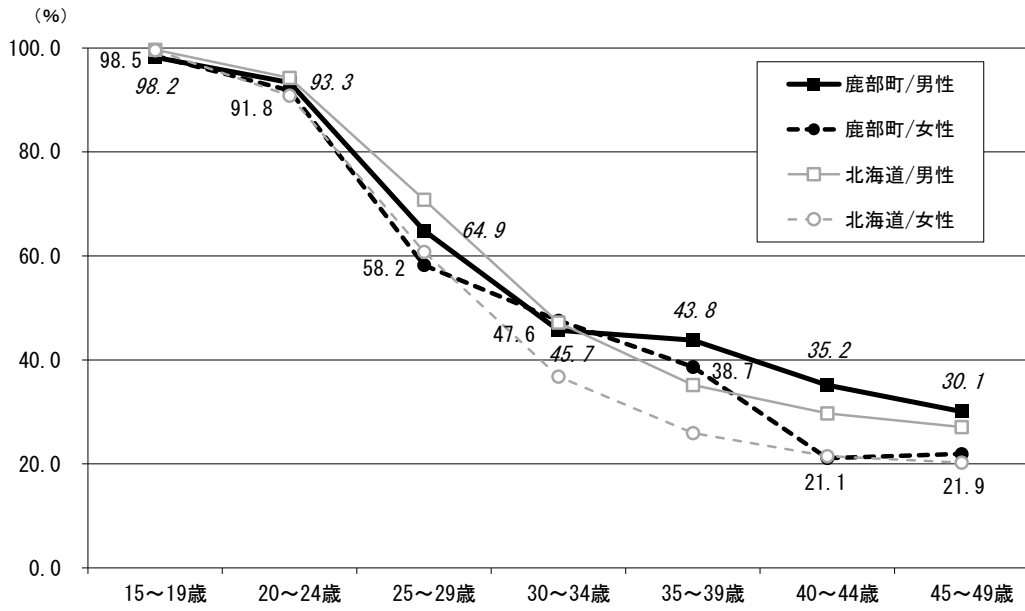
	1983 (S58) ~ 1987 (S62) 年	1988 (S63) ~ 1992 (H4) 年	1993 (H5) ~ 1997 (H9) 年	1998 (H10) ~ 2002 (H14) 年	2003 (H15) ~ 2007 (H19) 年	2008 (H20) ~ 2012 (H24) 年	2013 (H25) ~ 2017 (H29) 年
<b>鹿部町</b>	<b>1.98</b>	<b>1.91</b>	<b>1.67</b>	<b>1.51</b>	<b>1.54</b>	<b>1.61</b>	<b>1.38</b>
七飯町	1.46	1.40	1.33	1.28	1.18	1.38	1.35
森町	1.85	1.61	1.55	1.54	1.52	1.46	1.55
函館市	1.51	1.34	1.21	1.14	1.14	1.22	1.25
※渡島保健所	1.81	1.63	1.55	1.44	1.38	1.43	1.42
※北海道	1.62	1.45	1.33	1.24	1.19	1.25	1.30
※全国	1.76	1.56	1.44	1.36	1.31	1.38	1.43

※函館市は「市立函館保健所」管内の数値で、1998（H10）～2002（H19）年までは、旧戸井町、旧恵山町、旧榎法華村、旧南茅部町を含まない。

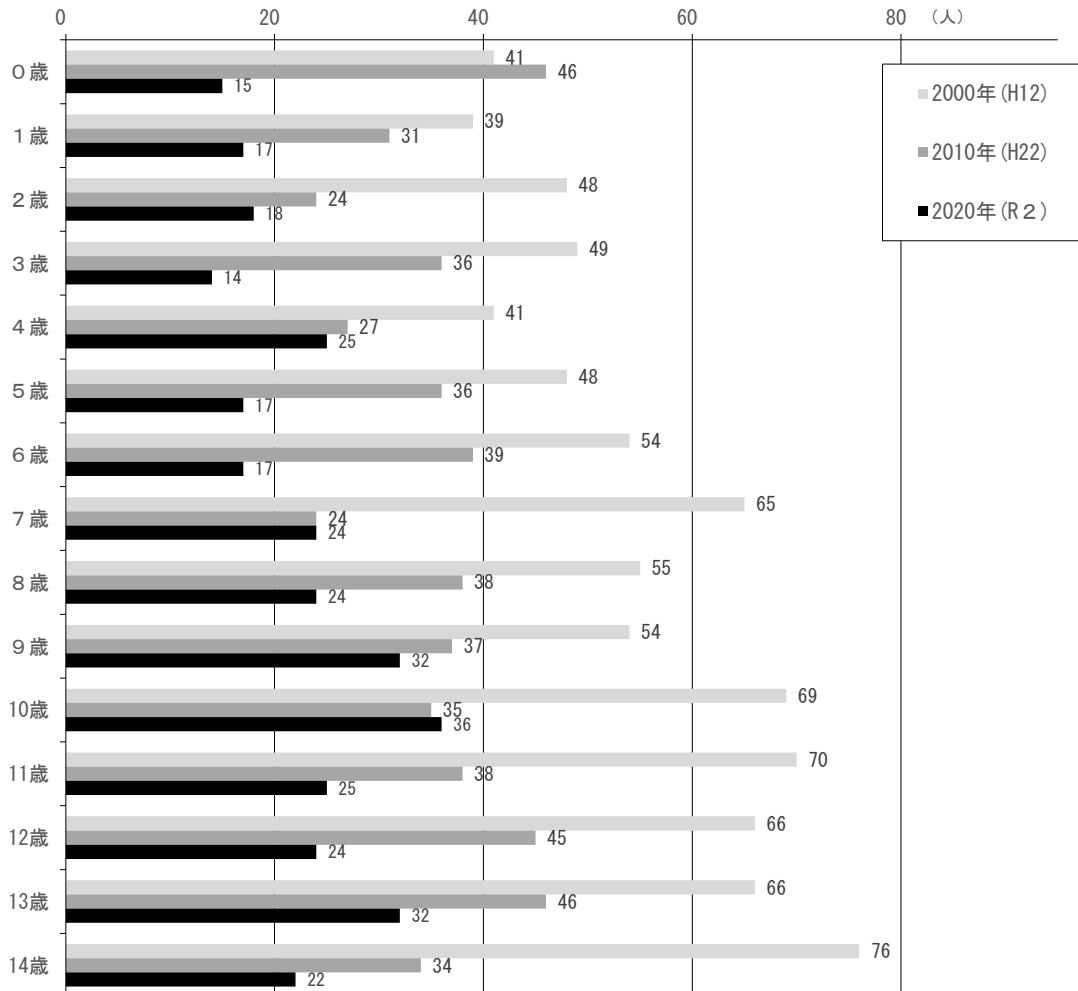
※渡島保健所は、北斗市（旧上磯町、旧大野町）、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町（旧砂原町を含む）の合計の数値で、1998（H10）～2002（H19）年までは、旧戸井町、旧恵山町、旧榎法華村、旧南茅部町を含む。

資料：人口動態保健所・市区町村別統計（厚生労働省）

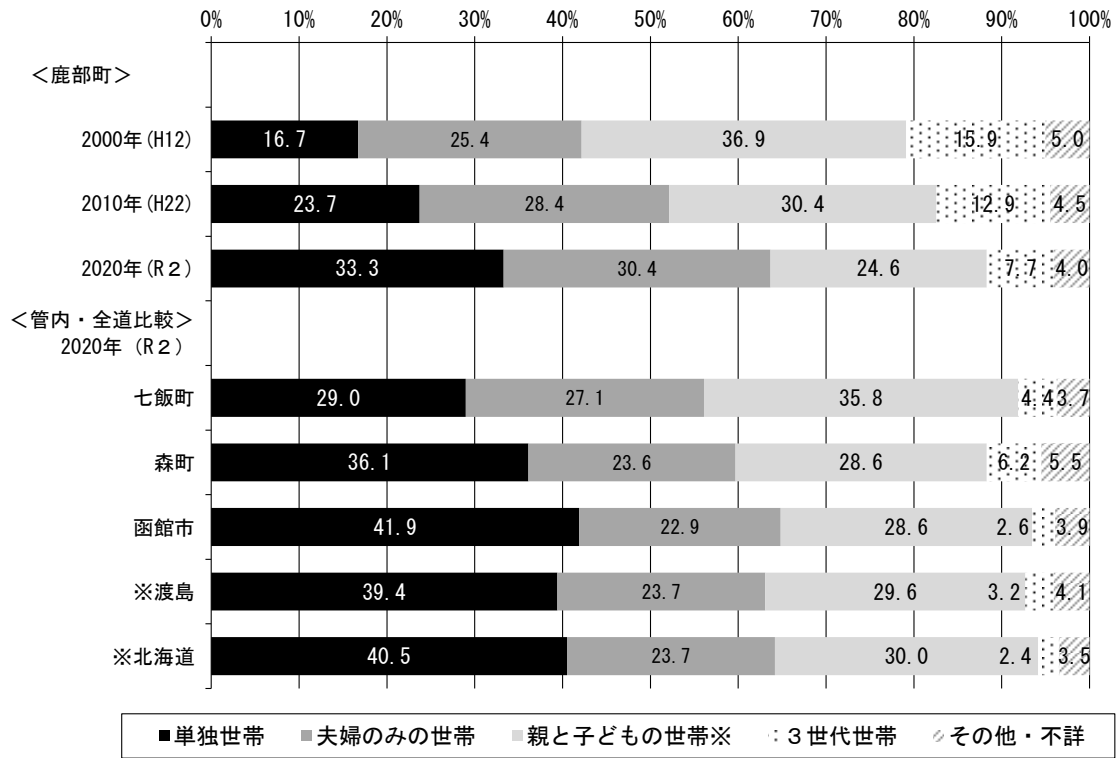
男女別・年齢5歳階級別の未婚率（15～49歳）  
（鹿部町・全道比較）【2020年（R2）国勢調査】



年少人口（0～14歳）の各歳別人口の推移（鹿部町）【国勢調査】

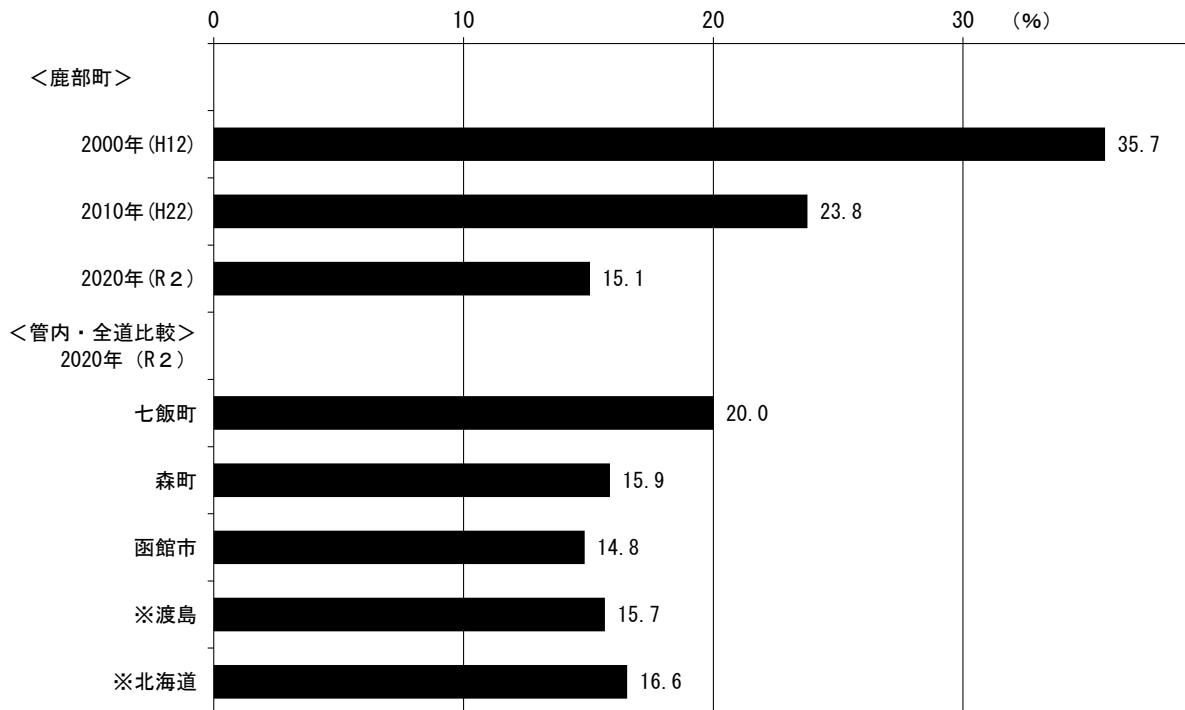


家族類型別世帯数構成比（鹿部町の推移と管内・全道比較）  
（一般世帯）【国勢調査】

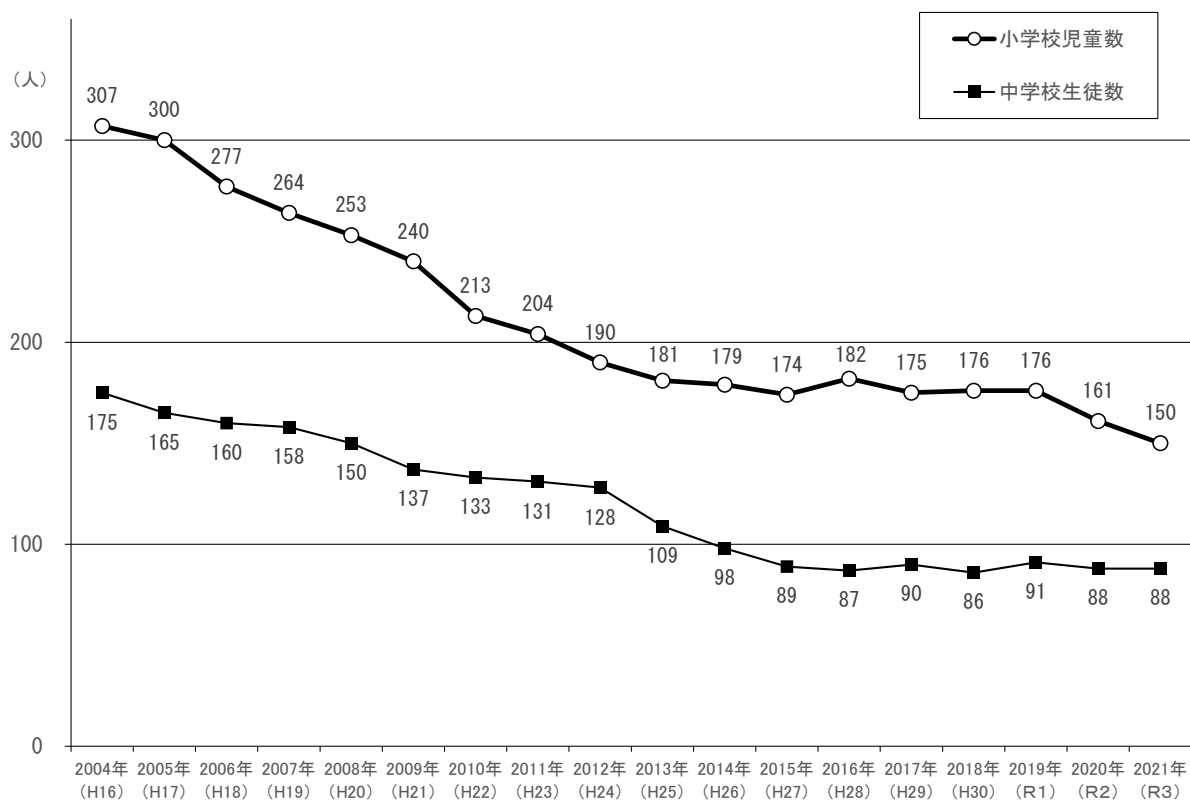


※「親と子どもの世帯」は、夫婦および男親または女親と子どもの世帯の合計。

18歳未満の世帯員がいる世帯の割合（鹿部町の推移と管内・全道比較）  
（一般世帯）【国勢調査】



町内小中学校の児童・生徒数の推移（鹿部町）【学校基本調査】

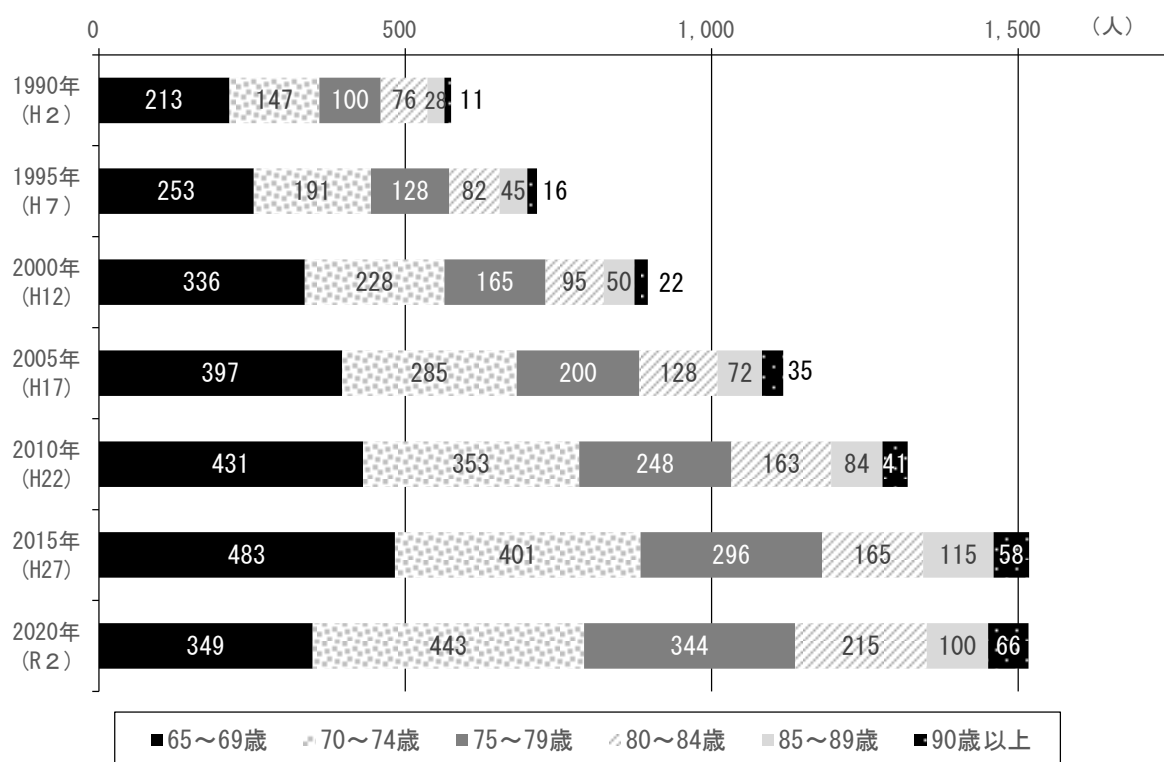


※各年5月1日現在。2021年(R3)は速報値。

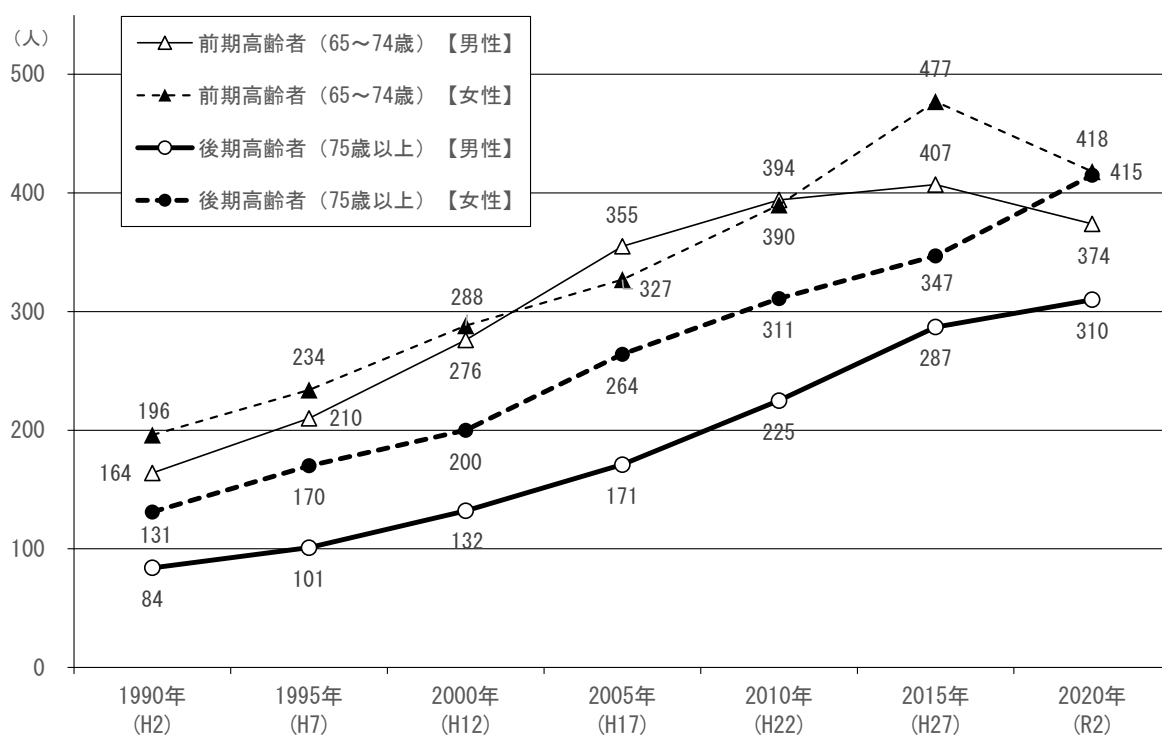
資料：学校基本調査（文部科学省）

## 6 高齢者

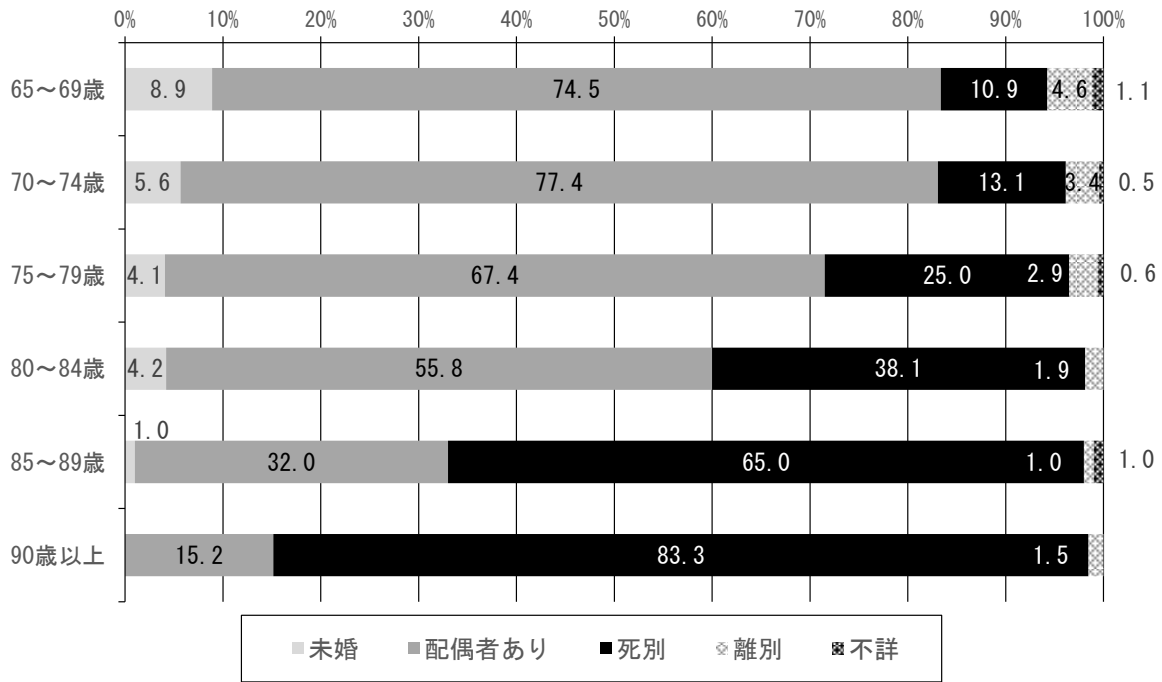
高齢者（65歳以上）の年齢5歳階級別人口の推移（鹿部町）【国勢調査】



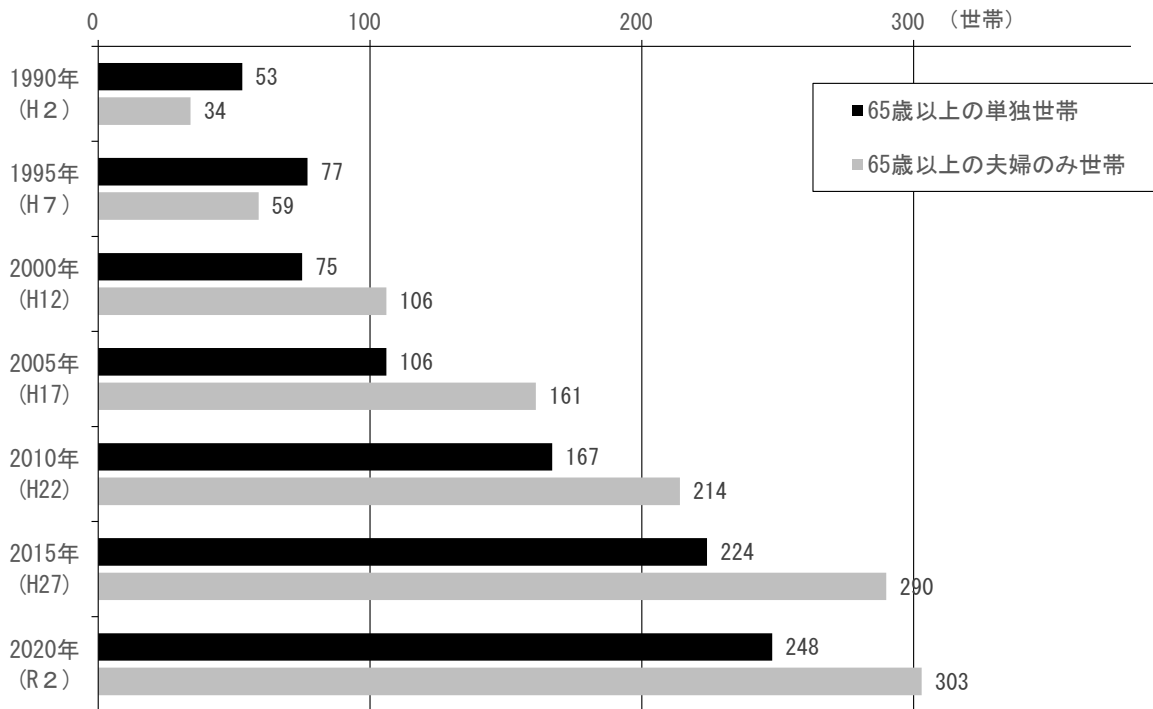
男女別前期高齢者・後期高齢者数の推移（鹿部町）【国勢調査】



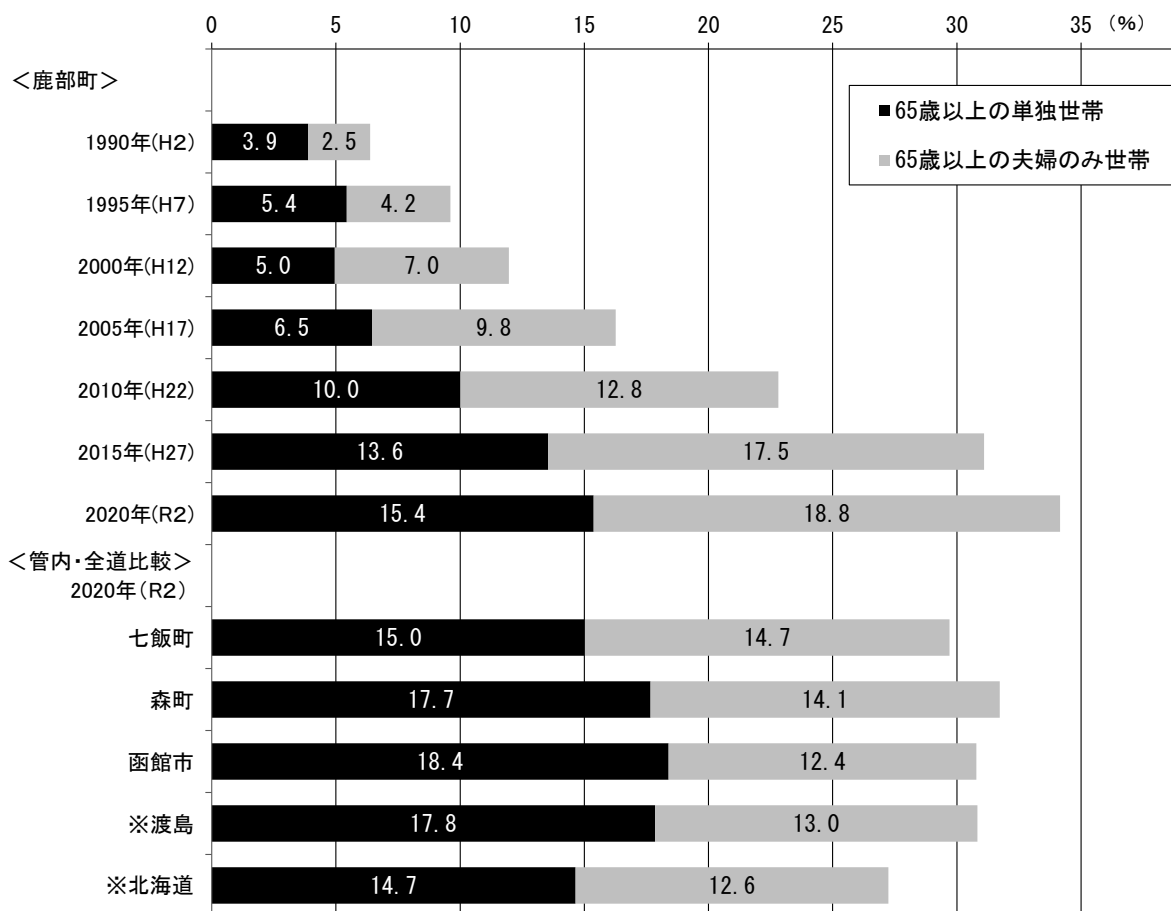
高齢者（65歳以上）の年齢5歳階級別配偶関係（鹿部町）  
【2020年（R2）国勢調査】



65歳以上の単独世帯数および65歳以上の夫婦のみ世帯数の推移（鹿部町）  
（一般世帯）【国勢調査】



65歳以上の単独世帯および65歳以上の夫婦のみ世帯の構成比  
 (鹿部町の推移と管内・全道比較) (一般世帯) 【国勢調査】



65歳以上世帯員だけの世帯の構成比 (管内・全道比較)  
 (一般世帯) 【2020年(R2) 国勢調査】





## 7 就業 <未>

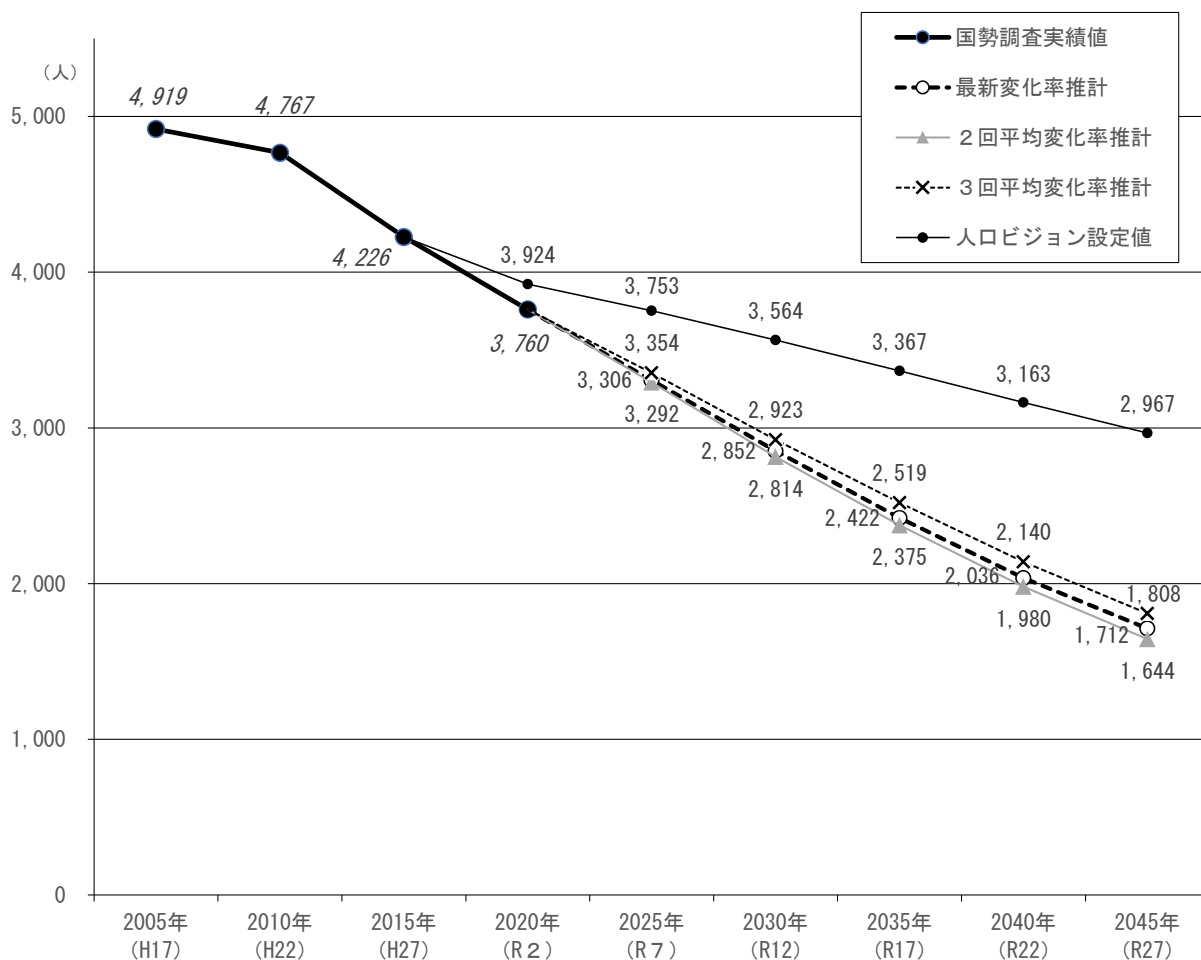
※2022年5月末公表予定

## 8 通勤・通学、昼夜間人口 <未>

※2022年7月末公表予定

## 9 将来人口推計

各種将来人口推計結果【国勢調査コーホート変化率推計】  
【2020年(R2)基準】(2020年までは国勢調査実績値)



	実績値 (人)				推計値 (人)				
	2005年 (H17)	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2025年 (R7)	2030年 (R12)	2035年 (R17)	2040年 (R22)	2045年 (R27)
国勢調査実績値	4,919	4,767	4,226	3,760					
最新変化率推計					3,306	2,852	2,422	2,036	1,712
2回平均変化率推計					3,292	2,814	2,375	1,980	1,644
3回平均変化率推計					3,354	2,923	2,519	2,140	1,808
人口ビジョン設定値				3,924	3,753	3,564	3,367	3,163	2,967

※人口ビジョン設定値は、2020年(R2)3月の改定値で、2015年(H27)の国勢調査実績値を基準としたもの。

## 〔コーホート変化率推計について〕

### ■コーホート変化率推計とは：

コーホートとは、ある年齢層の人口の塊（かたまり）を指し、ここでは、男女別・年齢5歳階級ごとの「塊」を1つのコーホートとしています。各コーホートは、5年後には1階級上の年代に移行しますが、その5年間の人口増減率を各コーホートの「変化率」とし、以降も各コーホートの変化率が継続すると仮定して、コーホートごとの将来人口を推計するものです。（総人口は、すべてのコーホートの合計です。）なお、0～4歳人口は5年前には存在しなかったため、15～49歳の女性人口に比例して存在すると仮定し、男女別に将来を推計します。

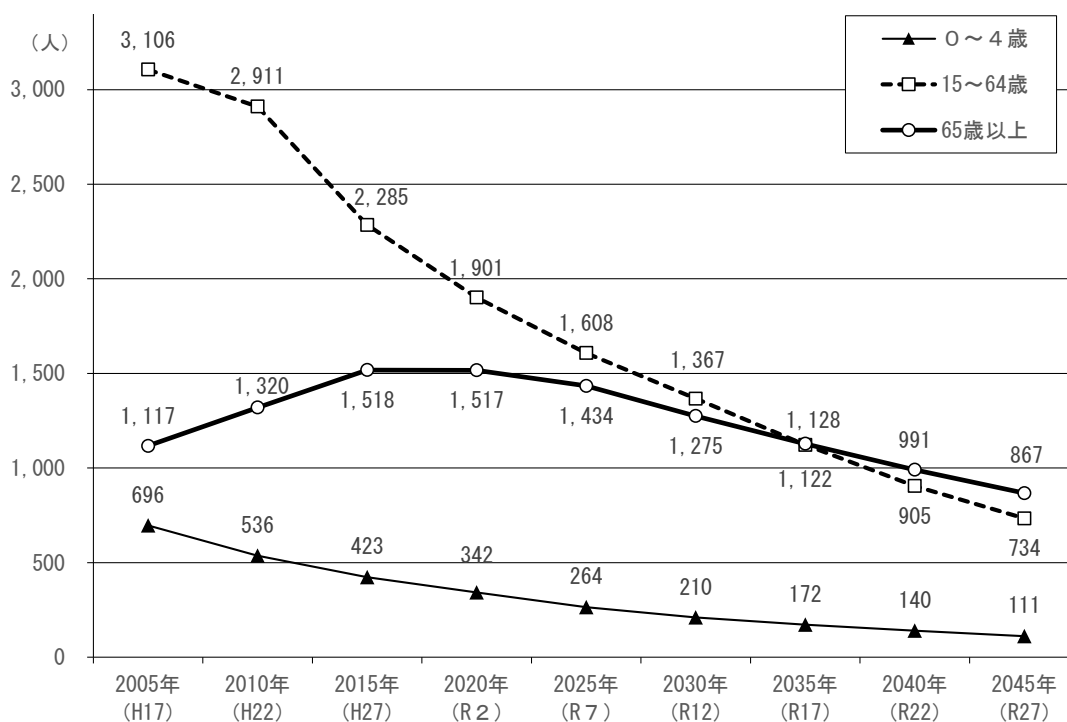
### ■3種類の変化率について：

- ・「最新変化率」とは、2015年（H27）→2020年（R2）の直近の変化率を使用した推計で、直近5年間の変化状況が反映されます。
- ・「2回平均変化率」とは、2010年（H22）→2015年（H27）→2020年（R2）の2回の変化率の平均値を使用した推計で、過去10年間の変化状況が反映されます。
- ・「3回平均変化率」とは、2005年（H17）→2010年（H22）→2015年（H27）→2020年（R2）の3回の変化率の平均値を使用した推計で、過去15年間の変化状況が反映されます。

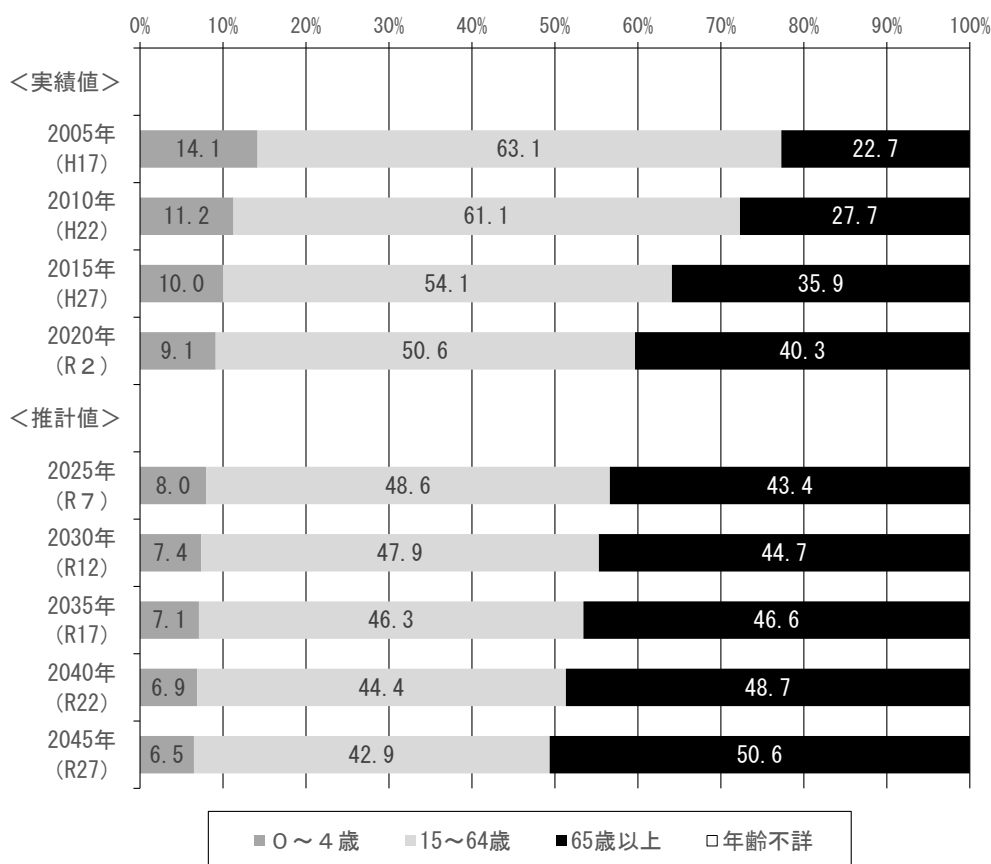
※実績値の年齢不詳人口については、当該年の各コーホートの人口に応じて年齢不詳人口を配分し、推計を行いました。

〔①最新変化率を使用した推計結果〕

年齢3区分別推計人口【最新変化率推計】（2020年(R2)までは実績値）

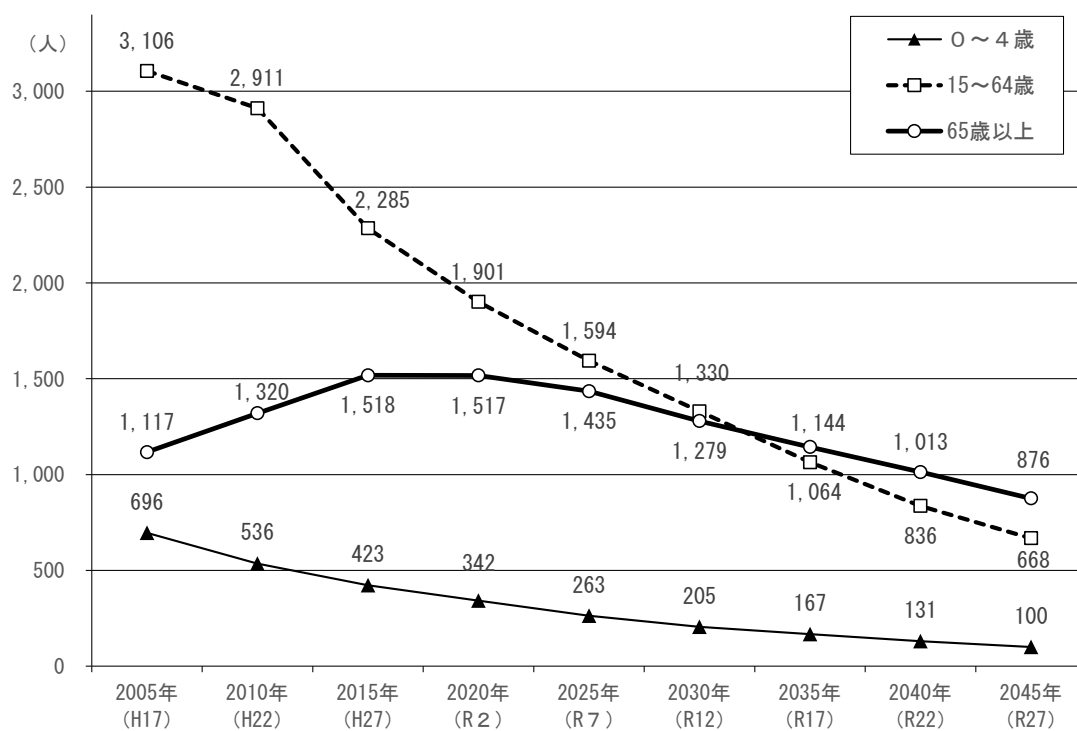


年齢3区分別推計人口構成比【最新変化率推計】

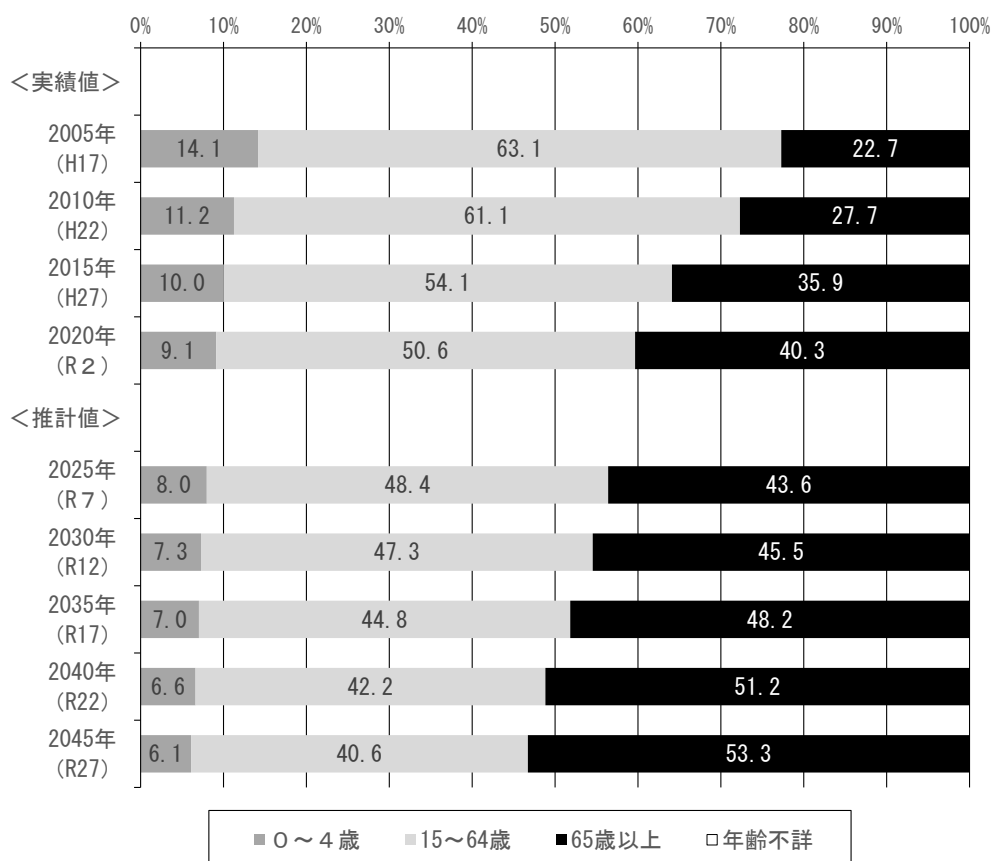


〔② 2回平均変化率を使用した推計結果〕

年齢3区分別推計人口【2回平均変化率推計】（2020年(R2)までは実績値）

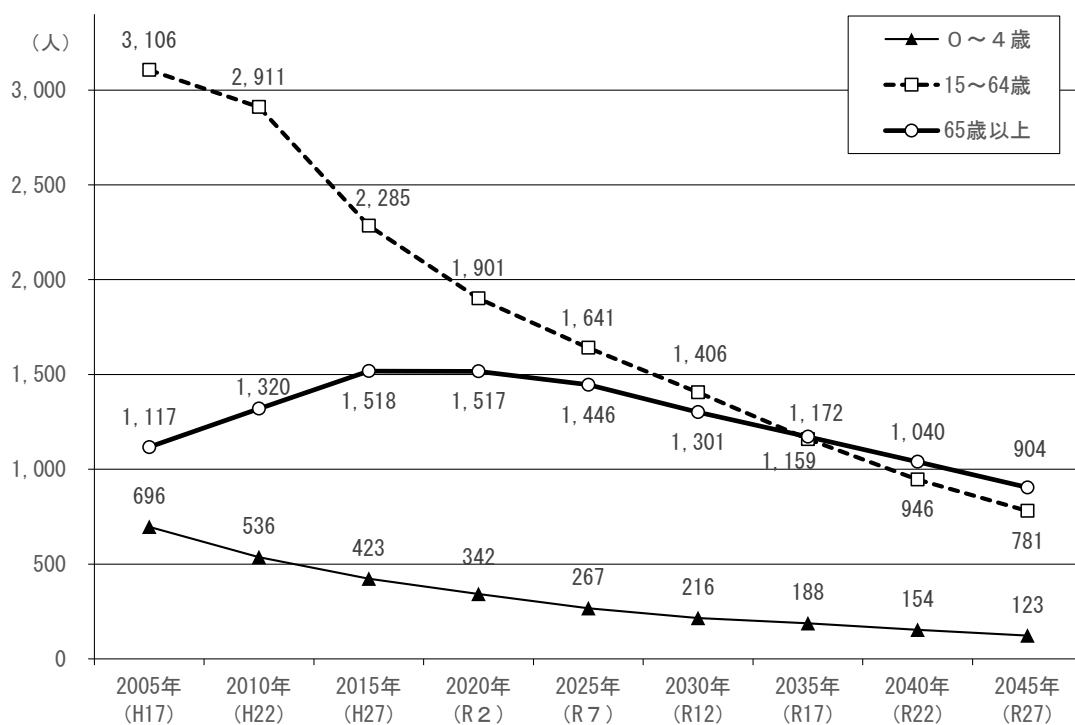


年齢3区分別推計人口構成比【2回平均変化率推計】

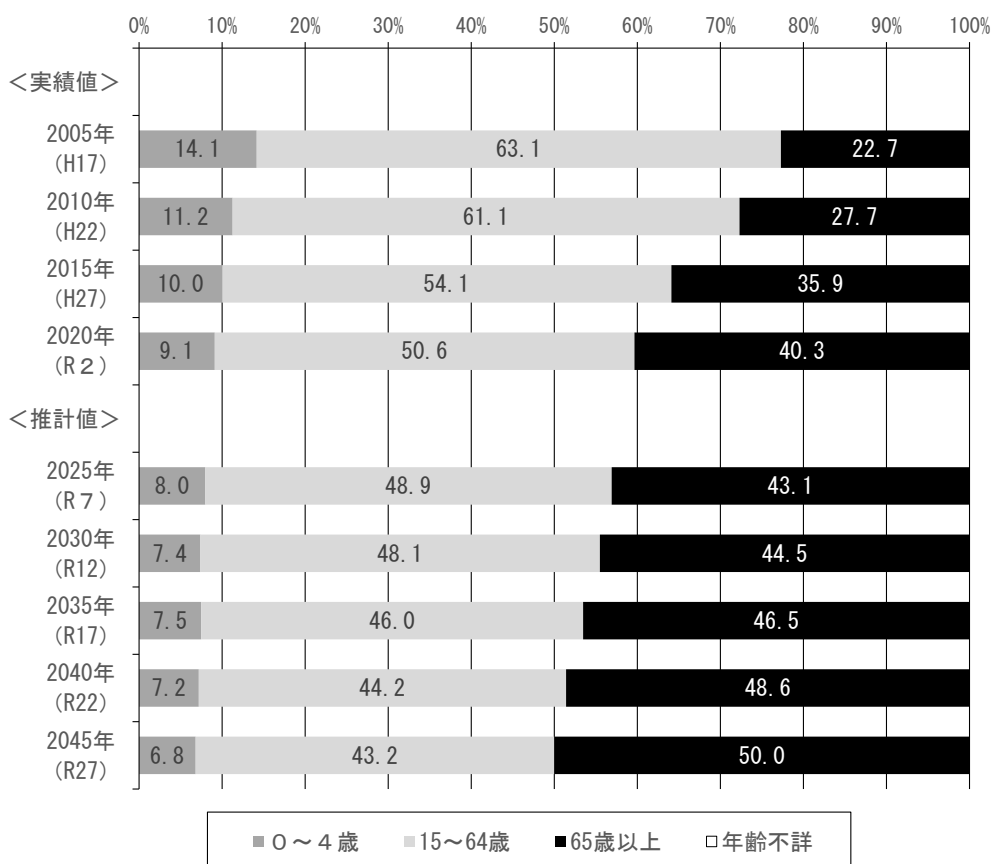


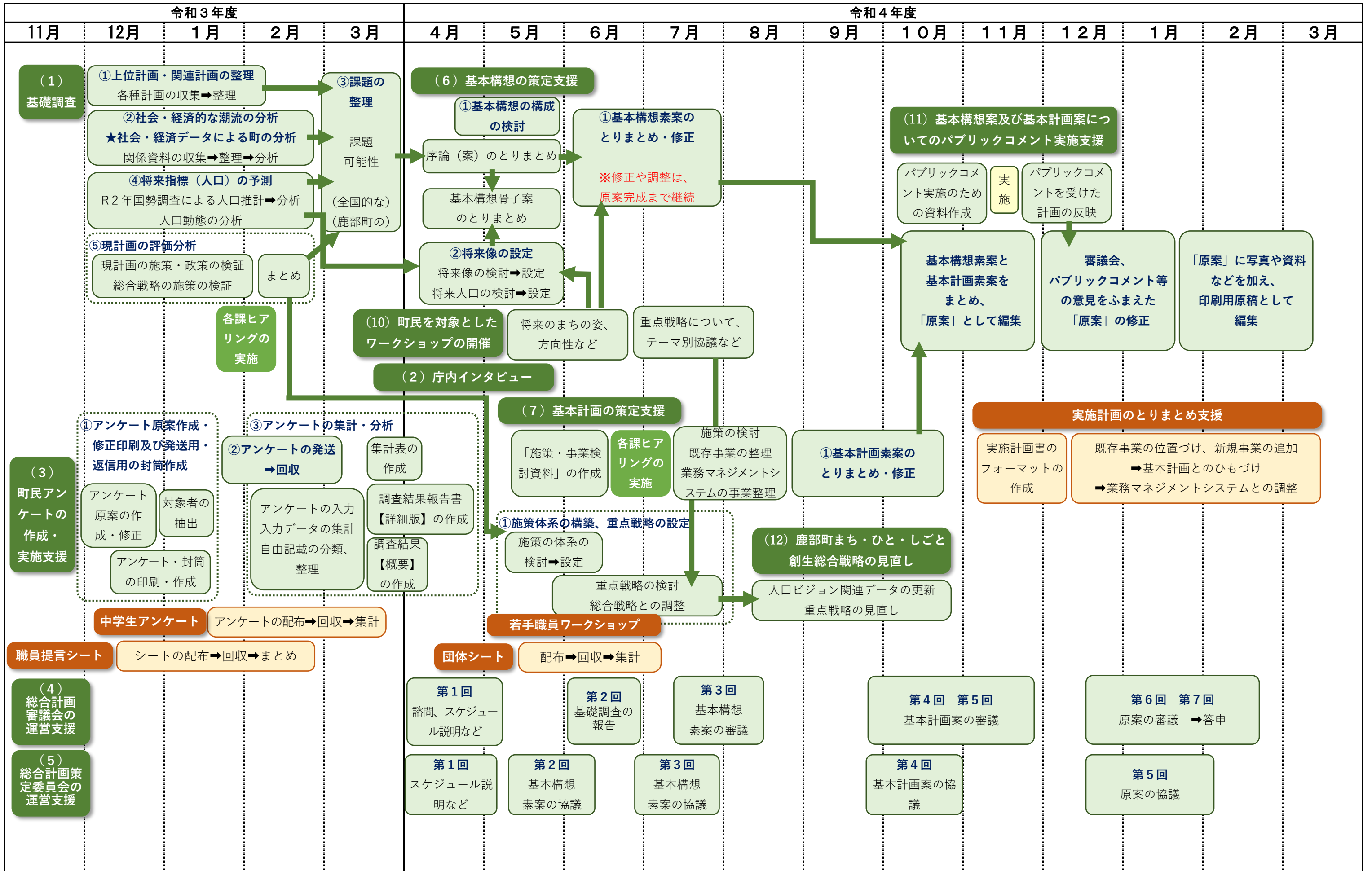
〔③ 3回平均変化率を使用した推計結果〕

年齢3区分別推計人口【3回平均変化率推計】（2020年(R2)までは実績値）



年齢3区分別推計人口構成比【3回平均変化率推計】









鹿部町総合計画策定審議会条例

平成23年3月11日

条例第2号

改正 令和元年6月14日条例第4号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項及び第202条の3第1項の規定に基づき、鹿部町総合計画策定審議会の設置、組織及び運営に関する事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 町長の諮問に応じて、総合計画の調整その他その実施に関し必要な調査及び審議を行わせるため、鹿部町総合計画策定審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(組織)

第3条 審議会は、委員30人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 町議会の議員
- (2) 知識経験を有する者
- (3) 町内の公共的団体等から推薦された者
- (4) 町内からの公募による者
- (5) その他町長が必要と認める者

3 委員は、当該諮問に係る調査審議が終了したときは、解嘱されたものとする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に、会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会は、会長が招集し、その会議の議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第6条 審議会は、総合計画の諸事項を調査・審議するため部会を置くことができる。

2 部会の委員は、会長が審議会に諮って指名する。

3 部会には、部会長及び副部会長1人を置き、部会に属する委員の互選により定める。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、企画振興課において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議に関し必要な事項は、町長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成23年4月1日から施行する。

(鹿部町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 鹿部町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和31年条例第13号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

附 則(令和元年6月14日条例第4号)

この条例は、公布の日から施行する。

## 鹿部町総合計画策定審議会 委員名簿

( 委嘱期間 R4.4.26 ~ R5.3.31 )

	団 体 名	役 職	氏 名	備考
1	鹿部町議会総務経済常任委員会	委員長	千葉 光義	
2	鹿部町議会民生文教常任委員会	委員長	高橋 茂夫	
3	鹿部町町内会連合会	会長	松川 正	
4	鹿部町教育委員会	委員	松本 大樹	
5	鹿部町社会教育委員会	委員長	中村 綾乃	
6	鹿部漁業協同組合	組合長	若山 唯敏	
7	鹿部漁業協同組合	青年部長	能戸 仁士	
8	鹿部漁業協同組合	女性部長	平井 悦子	
9	鹿部商工会	会長	吉 康郎	
10	鹿部商工会	青年部長	山田 大春	
11	鹿部商工会	女性部長	金子 ふさえ	
12	鹿部温泉観光協会	会長	吉 英樹	
13	鹿部町社会福祉協議会	会長	松本 善一	
14	渡島福社会	理事長	佐々木 博史	
15	鹿部郵便局	局長	矢野 和成	
16	鹿部町民生児童委員協議会	主任児童委員	松本 広美	
17	一般公募委員		石割 恒彦	
18	一般公募委員		内山 勝之	
19	一般公募委員		原田 光雄	
20	一般公募委員		内田 隆	